

枚 方 市  
運動やスポーツに関するアンケート調査  
報 告 書 (案)

枚 方 市

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査概要 .....	1
3 報告書の見方 .....	1
<b>II 一般市民調査の結果</b> .....	1
1 回答者の属性 .....	2
2 運動やスポーツに関する意識 .....	4
3 運動やスポーツの実施状況 .....	12
4 スポーツの観戦状況 .....	56
5 スポーツ活動への支援 .....	75
6 障がい者スポーツとのかかわり .....	86
7 スポーツに関する情報の入手方法 .....	93
8 今後の運動やスポーツへの意向 .....	98
9 自由意見 .....	123
<b>III 関係団体調査の結果</b> .....	124
1 団体の属性 .....	124
2 活動状況 .....	128
<b>IV スポーツ推進委員調査の結果</b> .....	150
1 スポーツ推進委員の属性 .....	150
2 活動状況 .....	153
<b>V スポーツ指導者の調査結果</b> .....	171
1 スポーツ指導者の属性 .....	171
2 指導状況 .....	177
<b>VI 障がい者調査の結果</b> .....	201
1 回答者の属性 .....	201
2 運動やスポーツに関する意識 .....	202
3 運動やスポーツの実施状況 .....	203
4 スポーツの観戦状況 .....	209
5 スポーツ活動への支援 .....	212
6 障がい者スポーツとのかかわり .....	215
7 スポーツに関する情報の入手方法 .....	217
8 今後の運動やスポーツへの意向 .....	218
9 自由意見 .....	222





## I 調査の概要

### 1 調査の目的

平成29年3月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」（計画期間：平成29年度から令和9年度までの11年間）が中間年度を迎えるにあたり、東京オリンピック・パラリンピックなどのビッグイベントの開催や新型コロナウイルス感染症の拡大など、スポーツを取り巻く社会情勢をふまえ、市民の運動・スポーツへの参加状況や変化、スポーツ参加にあたっての問題点・課題などを把握し、「枚方市スポーツ推進計画」の取組の方向性や具体的施策について中間見直しを行うための基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2 調査概要

調査種別	①一般市民	②関係団体
対象	市内在住の18歳以上の市民2,000人及び障がい者	市内のスポーツ関係団体50団体
調査実施時期	令和4年9月26日（火） ～10月11日（火）	令和4年9月26日（火） ～10月11日（火）
調査方法	郵送配布・郵送回収及びWEB調査	郵送配布、郵送回収
有効回答数	市民：928件（45.7%）	48件（96.0%）
調査種別	③スポーツ推進員	④スポーツ指導者
対象	市内在住のスポーツ推進員48人	市内在住のスポーツ指導者294人
調査実施時期	令和4年9月26日（火） ～10月11日（火）	令和4年9月26日（火） ～10月11日（火）
調査方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布、郵送回収
有効回答数	43件（89.6%）	209件（71.1%）

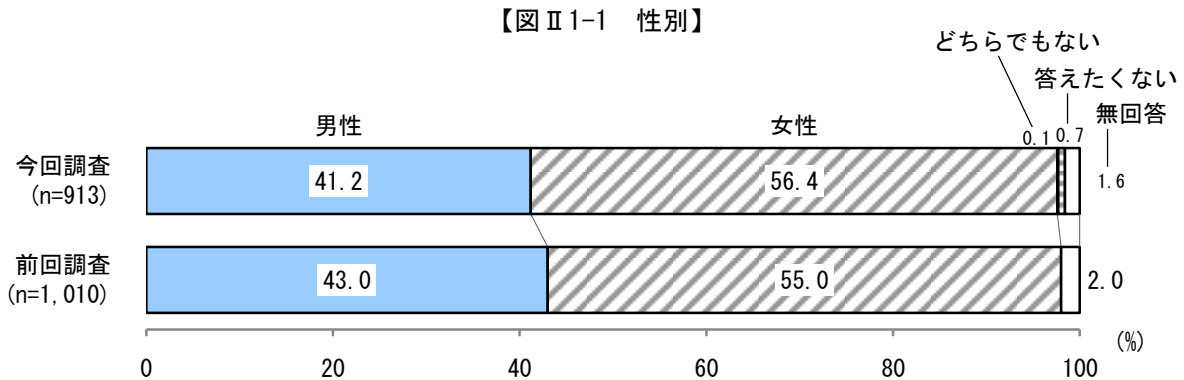
### 3 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は回答数の制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ④ 単純集計およびクロス集計において、サンプル数が少ない項目は解釈に注意を要す。
- ⑤ 一般市民調査結果における『前回調査』とは、平成28年7月に実施した「枚方市運動やスポーツに関するアンケート調査」を示す。
- ⑥ 60歳以上の年代から多数の回答を得たことで母集団の年代構成に比べ高齢層に偏りが生じていることから、年代別を除く集計値については、母集団の年代構成に合うよう補正集計を行っている。なお、年代別集計については補正を行う前の数値である。

## II 一般市民調査の結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 性別

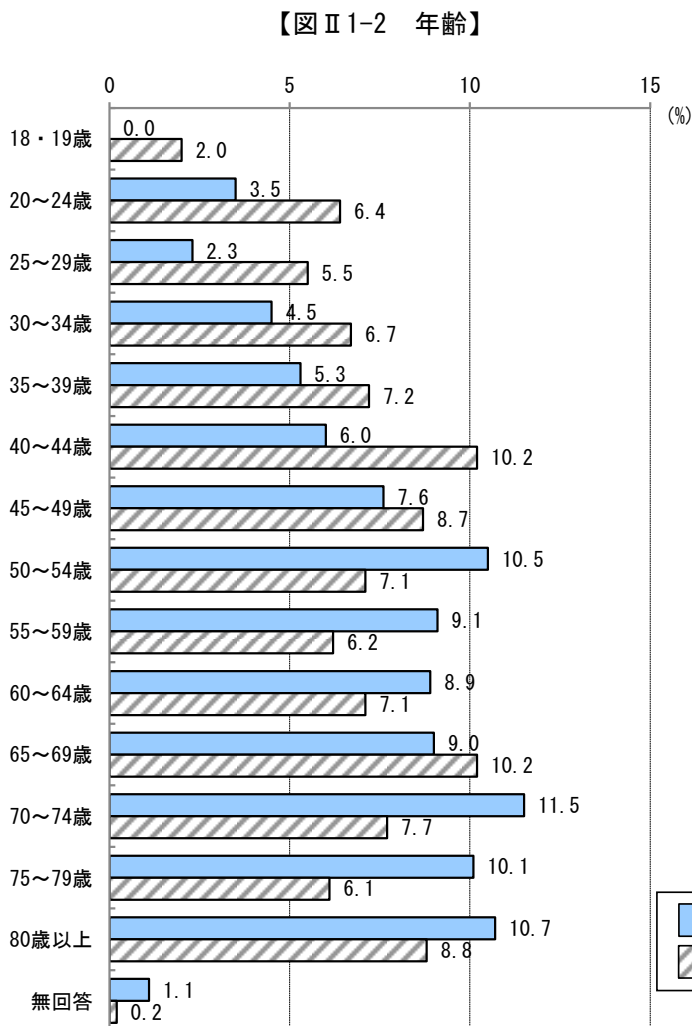


※「どちらでもない」「答えたくない」は今回新規

回答者の性別は、「男性」が41.2%に対し、「女性」が56.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図 II 1-1)

#### (2) 年齢



回答者の年齢は、「70～74歳」が11.5%で最も多く、次いで「80歳以上」が10.7%、「50～54歳」が10.5%、「75～79歳」が10.1%となっている。

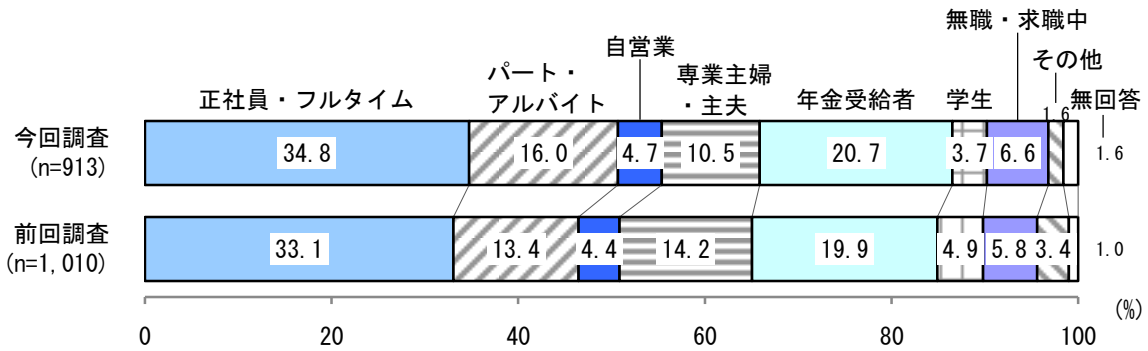
前回調査と比較すると、18～39歳(15.6%)が前回より12.2ポイント低く、65歳以上(41.3%)は前回より8.5ポイント高くなっている。

(図 II 1-2)

なお、18・19歳も調査対象として調査票を送付したが、これらの年代からは回答を得られていない。

### (3) 職業

【図Ⅱ1-3 職業】

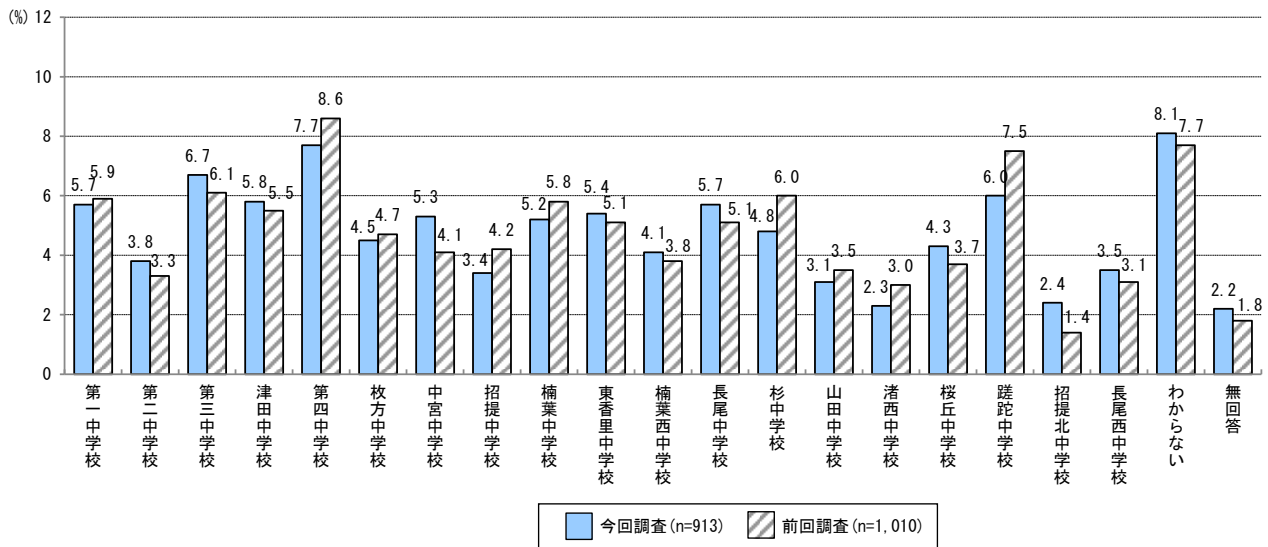


職業については、「正社員・フルタイム」が34.8%で最も多く、次いで「年金受給者」が20.7%、「パート・アルバイト」が16.0%となっている。

前回調査と比較すると、「専業主婦・主夫」（10.5%）が前回より3.7ポイント低く、「パート・アルバイト」が前回より2.6ポイント高くなっている。（図Ⅱ1-3）

### (4) 居住中学校区

【図Ⅱ1-4 居住中学校区】



居住中学校区については、「第四中学校」が7.7%で最も多く、次いで「第三中学校」が6.7%、「蹠陀中学校」が6.0%、「津田中学校」が5.8%となっている。

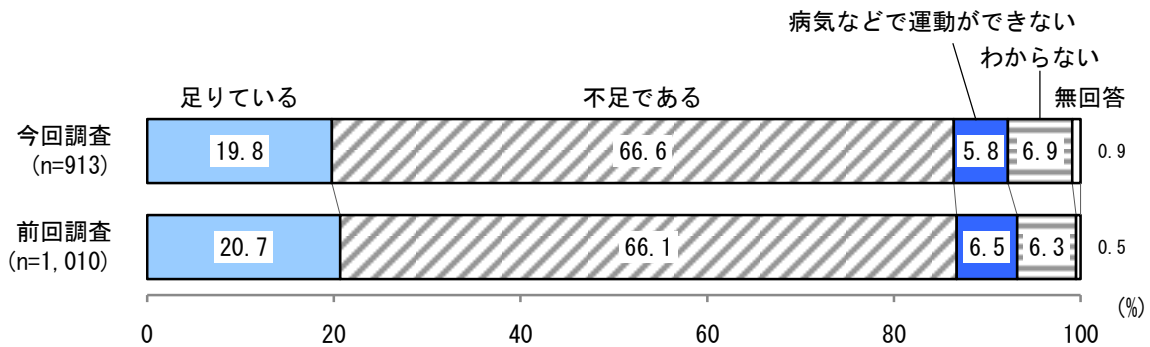
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。（図Ⅱ1-4）

## 2 運動やスポーツに関する意識

### (1) 現在の運動量

問5. あなたは、自分自身の現在の運動量をどう思いますか。(○は1つ)

【図Ⅱ2-1 現在の運動量】

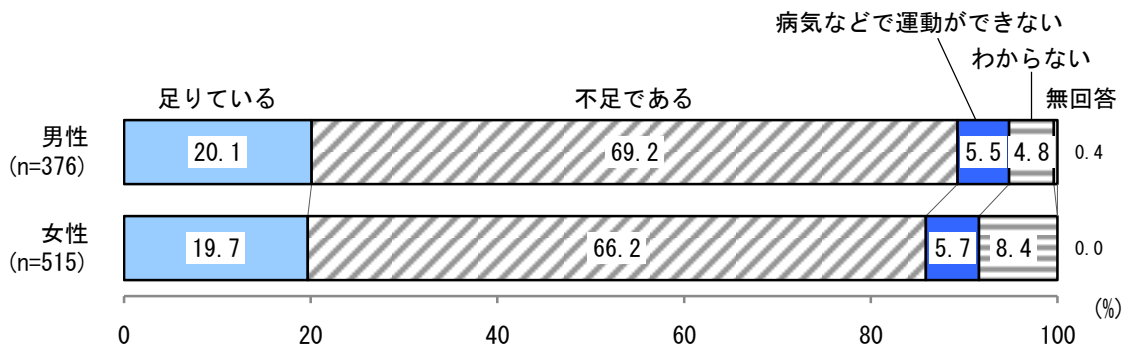


自分自身の現在の運動量については、「不足である」が66.6%で最も多く、次いで「足りている」が19.8%、「病気などで運動ができない」が5.8%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図Ⅱ2-1)

性別でみると、「不足である」は女性(66.2%)より男性(69.2%)のほうが3.0ポイント高くなっている。(図Ⅱ2-1-1)

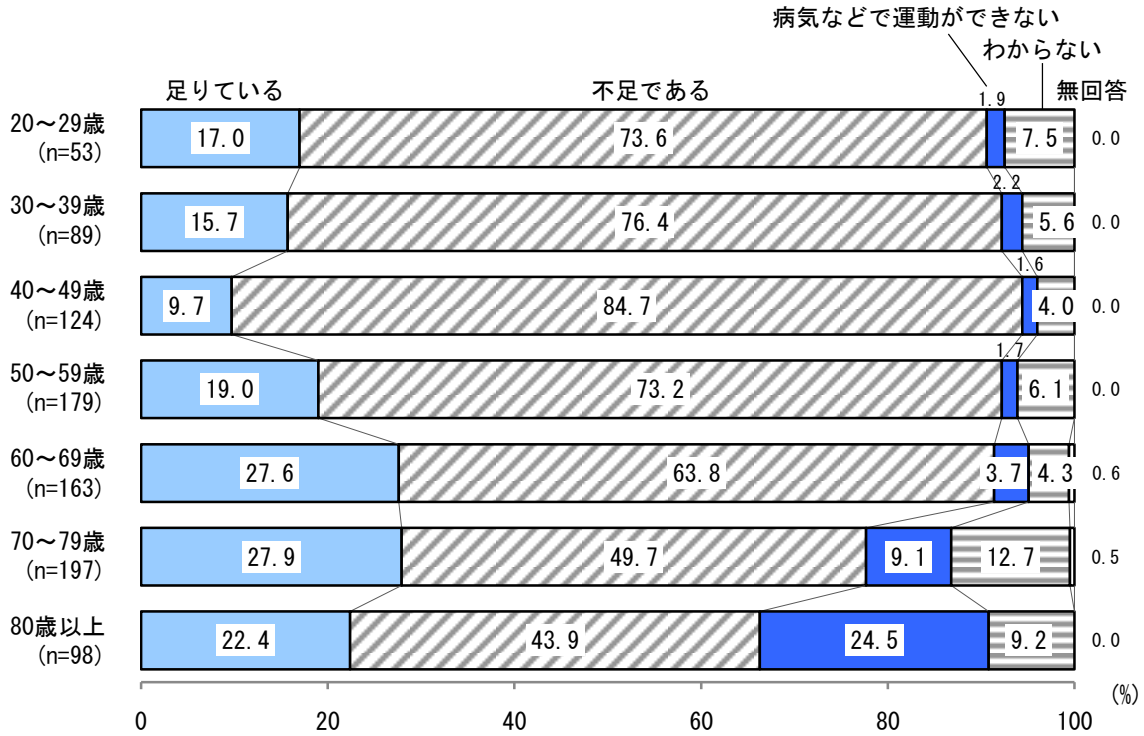
【図Ⅱ2-1-1 性別 現在の運動量】





年齢別で見ると、「足りている」は60～69歳が27.6%で最も高い。一方、「不足である」は40～49歳（84.7%）で最も高く、20～59歳の年代で70%以上を占めている。（図Ⅱ2-1-2）

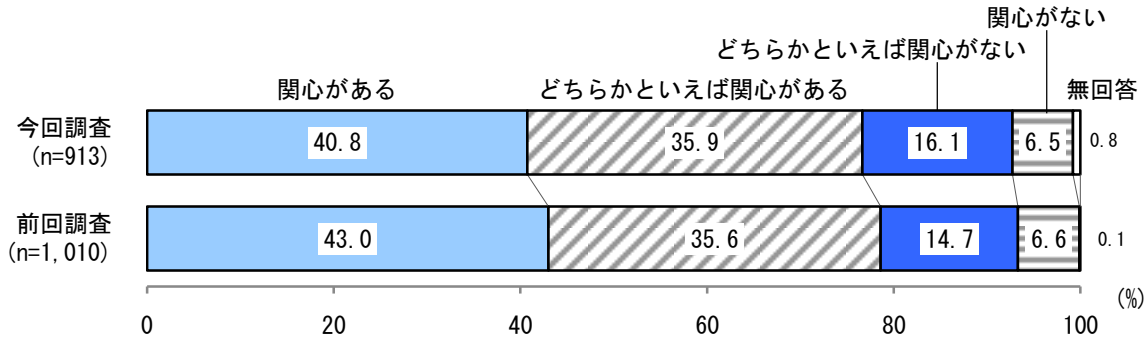
【図Ⅱ2-1-2 年齢別 現在の運動量】



## (2) 運動やスポーツへの関心

問6. あなたは運動・スポーツに関心がありますか。(○は1つ)

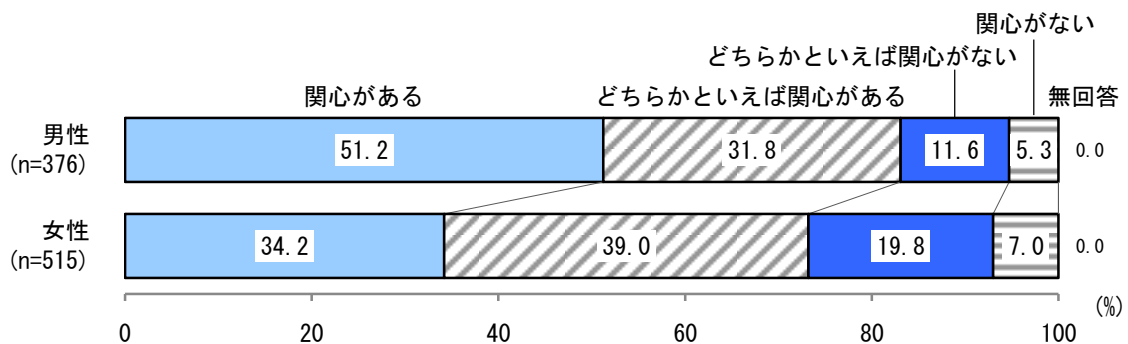
【図Ⅱ2-2 運動やスポーツへの関心】



運動・スポーツへの関心については、「関心がある」が40.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば関心がある」が35.9%、「どちらかといえば関心がない」が16.1%で、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた『関心がある』は76.7%であり、前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図Ⅱ2-2)

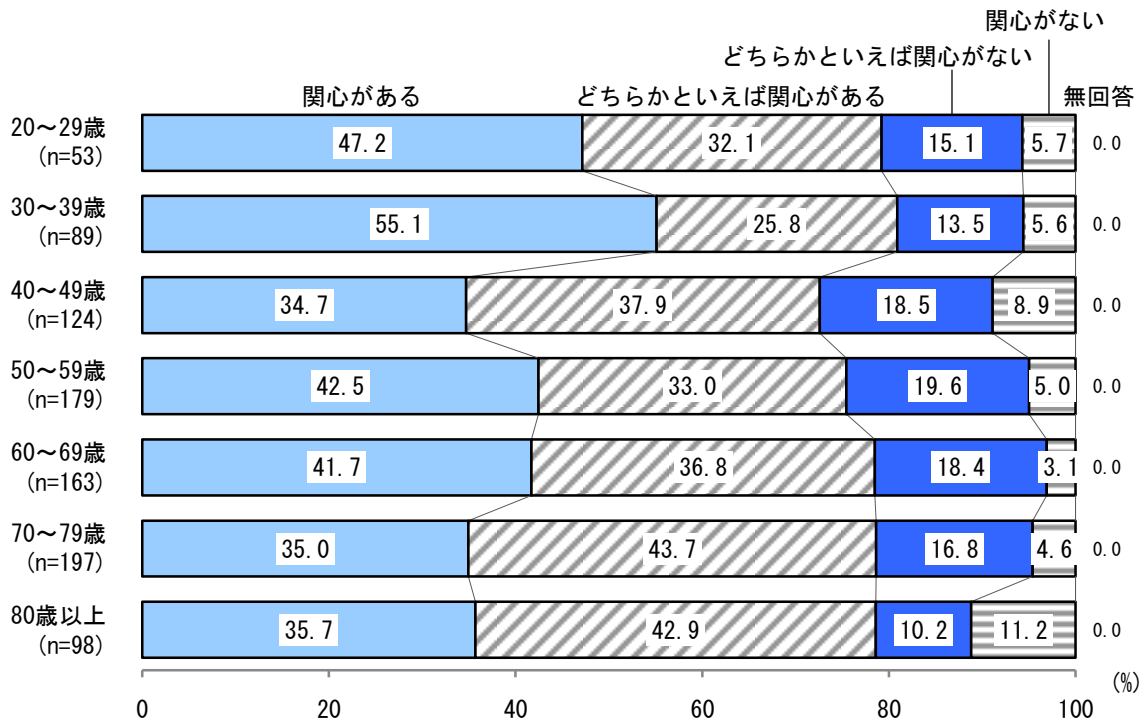
性別でみると、『関心がある』は女性(73.2%)より男性(83.0%)のほうが9.8ポイント高くなっている。(図Ⅱ2-2-1)

【図Ⅱ2-2-1 性別 運動やスポーツへの関心】



年齢別で見ると、『関心がある』は30～39歳が80.9%で最も高く、次いで20～29歳(79.3%)となっている。(図Ⅱ2-2-2)

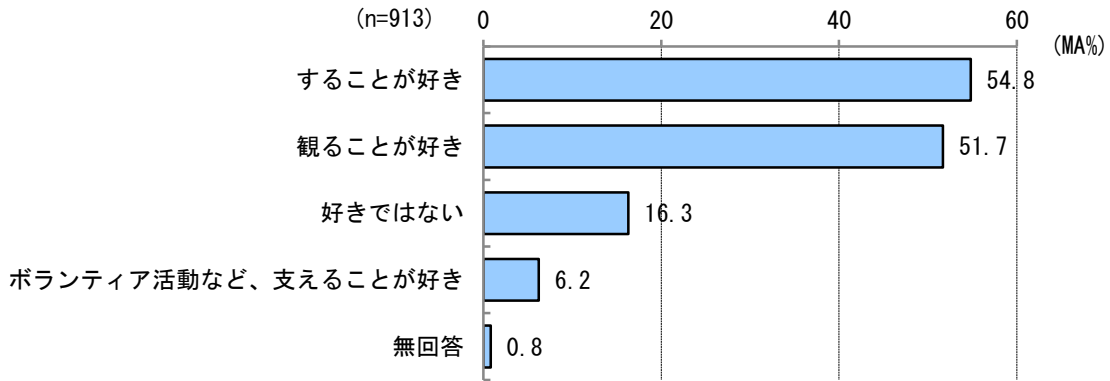
【図Ⅱ2-2-2 年齢別 運動やスポーツへの関心】



### (3) 運動やスポーツとの関わり方

問7. あなたは運動・スポーツにどう関わるのが好きですか。(〇はいくつでも)

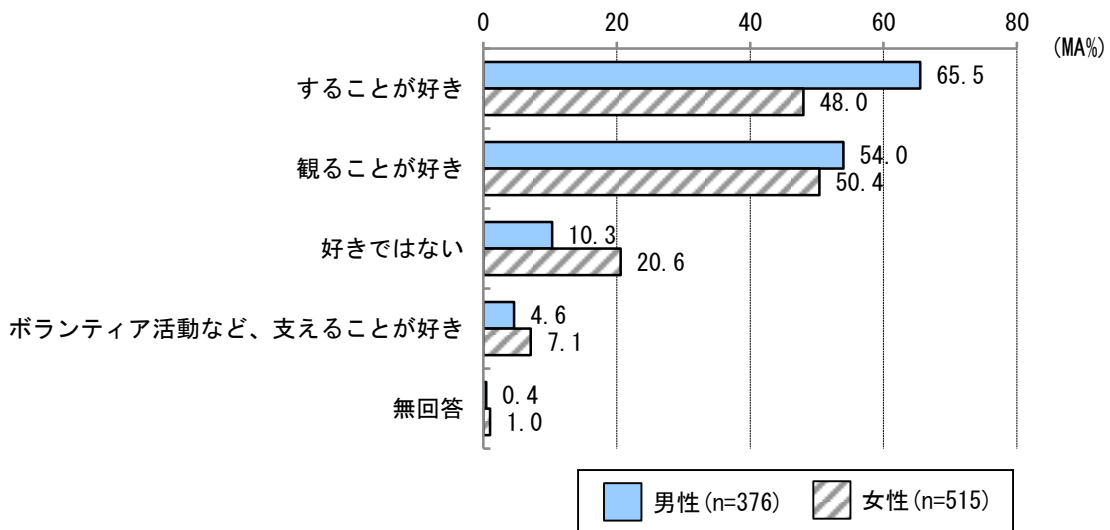
【図Ⅱ2-3 運動やスポーツとの関わり方】



運動・スポーツとの関わり方については、「することが好き」が54.8%で最も多く、次いで「観ることが好き」が51.7%、「好きではない」が16.3%となっている。(図Ⅱ2-3)

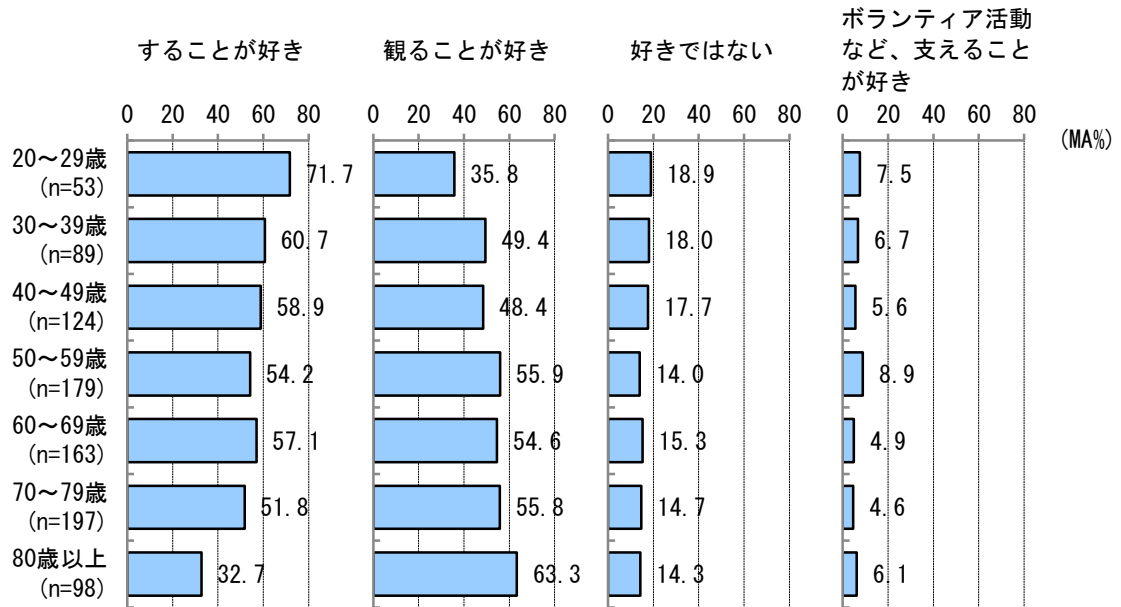
性別で見ると、「することが好き」は女性(48.0%)より男性(65.5%)のほうが17.5ポイント高い。一方、「好きではない」は男性(10.3%)より女性(20.6%)のほうが10.3ポイント高くなっている。(図Ⅱ2-3-1)

【図Ⅱ2-3-1 性別 運動やスポーツとの関わり方】



年齢別でみると、「することが好き」は若い年代ほど高く、「観ることが好き」は高齢になるほど高い割合となっている。(図Ⅱ2-3-2)

【図Ⅱ2-3-2 年齢別 運動やスポーツとの関わり方】

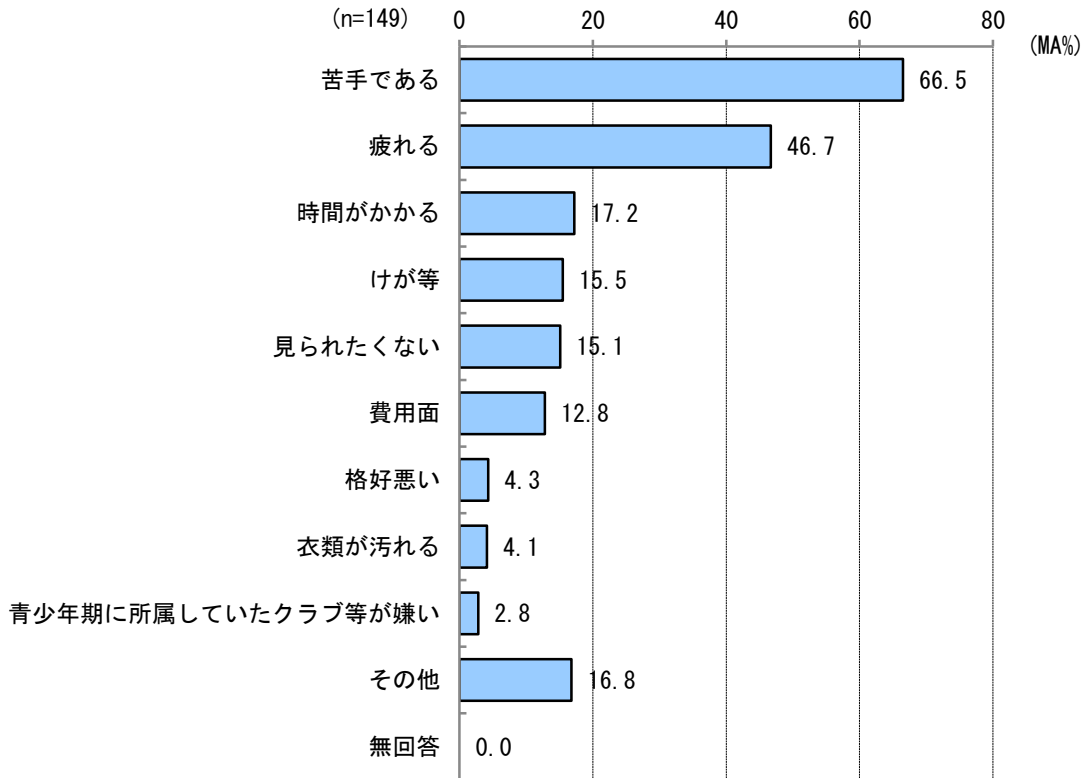


(4) 運動やスポーツが好きではない理由

【問7で「4. 好きではない」と回答した方にうかがいます。】

問7-1. 好きではない理由をお選びください。(〇はいくつでも)

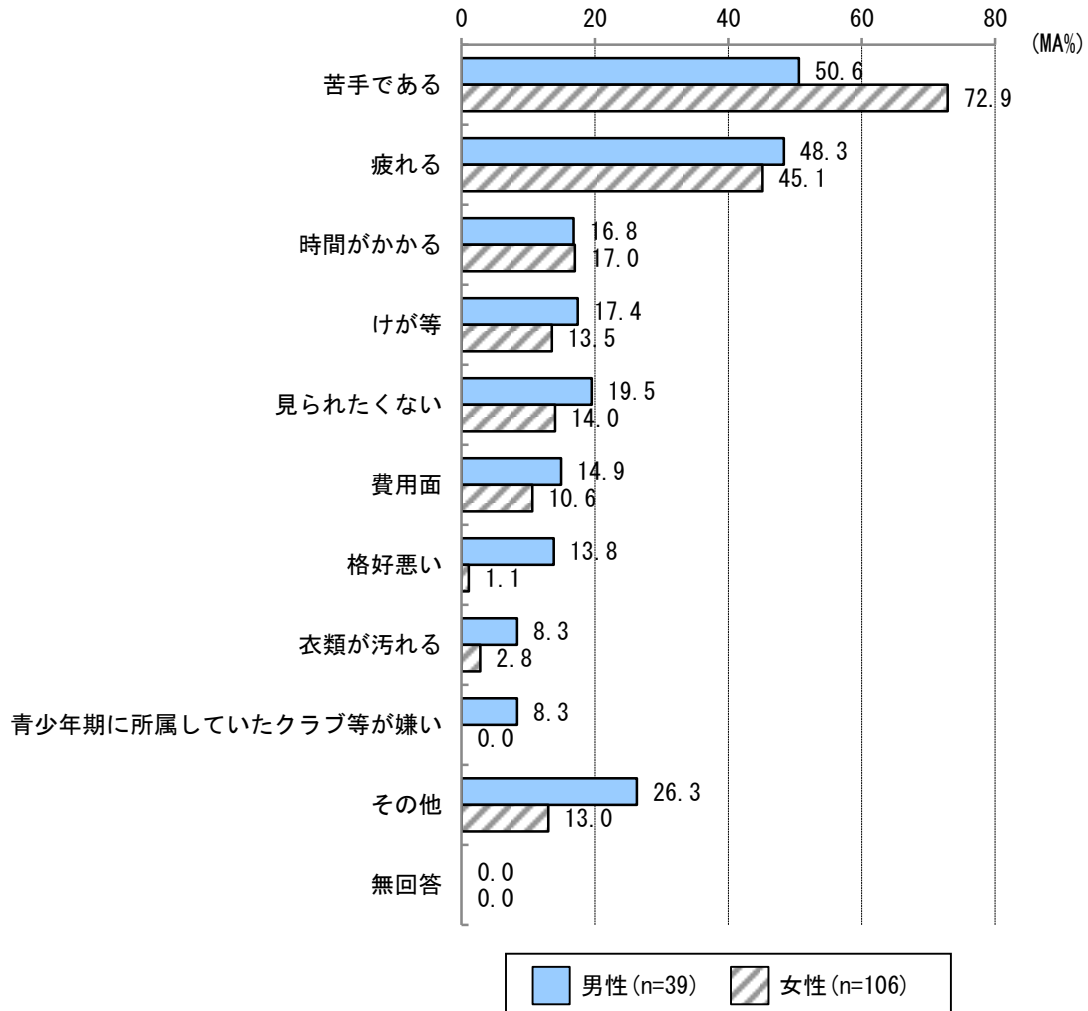
【図Ⅱ2-4 運動やスポーツが好きではない理由】



運動・スポーツが好きではないと回答した人に、その理由をたずねると、「苦手である」が66.5%で最も多く、次いで「疲れる」が46.7%、「時間がかかる」が17.2%となっている。(図Ⅱ2-4)

性別で見ると、「苦手である」は男性（50.6%）より女性（72.9%）のほうが22.3ポイント高くなっている。（図Ⅱ2-4-1）

【図Ⅱ2-4-1 性別 運動やスポーツが好きではない理由】

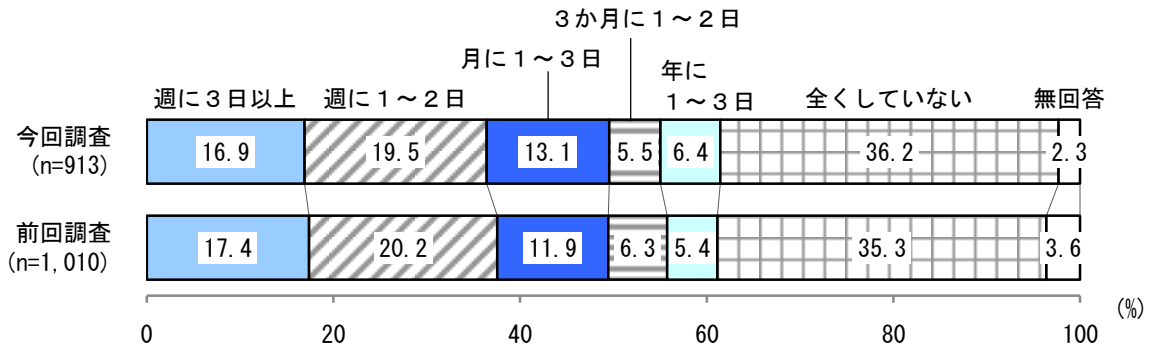


### 3 運動やスポーツの実施状況

#### (1) 運動やスポーツの実施頻度

問8. あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度していますか。(〇は1つ)

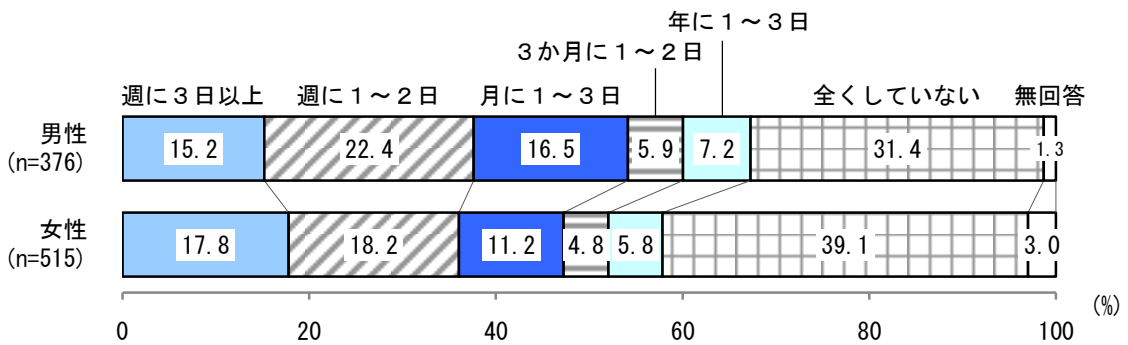
【図Ⅱ3-1 運動やスポーツの実施頻度】



この1年間の運動やスポーツの実施頻度については、「全くしていない」が36.2%で最も多く、次いで「週に1~2日」が19.5%、「週に3日以上」が16.9%となっている。「週に3日以上」と「週に1~2日」をあわせた『週に1日以上』は36.4%であり、前回調査(37.6%)に比べ、今回は1.2ポイント減となっている。(図Ⅱ3-1)

性別でみると、「全くしていない」は男性(31.4%)より女性(39.1%)のほうが7.7ポイント高くなっている。(図Ⅱ3-1-1)

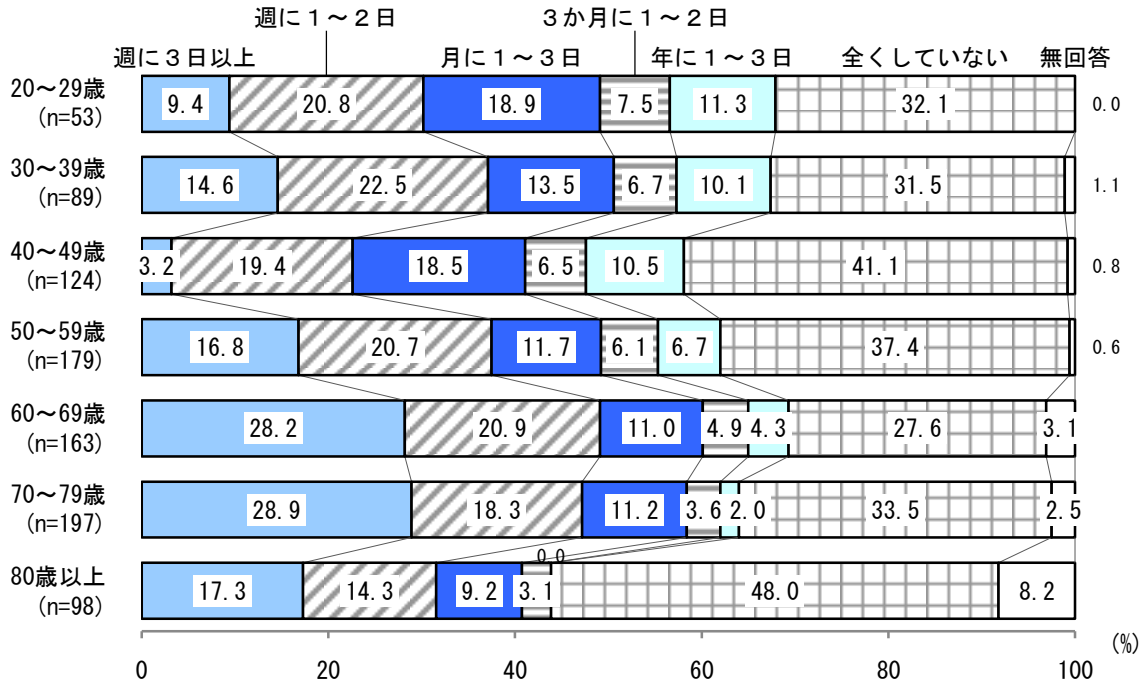
【図Ⅱ3-1-1 性別 運動やスポーツの実施頻度】





年齢別で見ると、『週に1日以上』は60～69歳(49.1%)が最も高く、次いで70～79歳(47.2%)となっている。一方、「全くしていない」は80歳以上が48.0%で最も高くなっている。(図Ⅱ3-1-2)

【図Ⅱ3-1-2 年齢別 運動やスポーツの実施頻度】

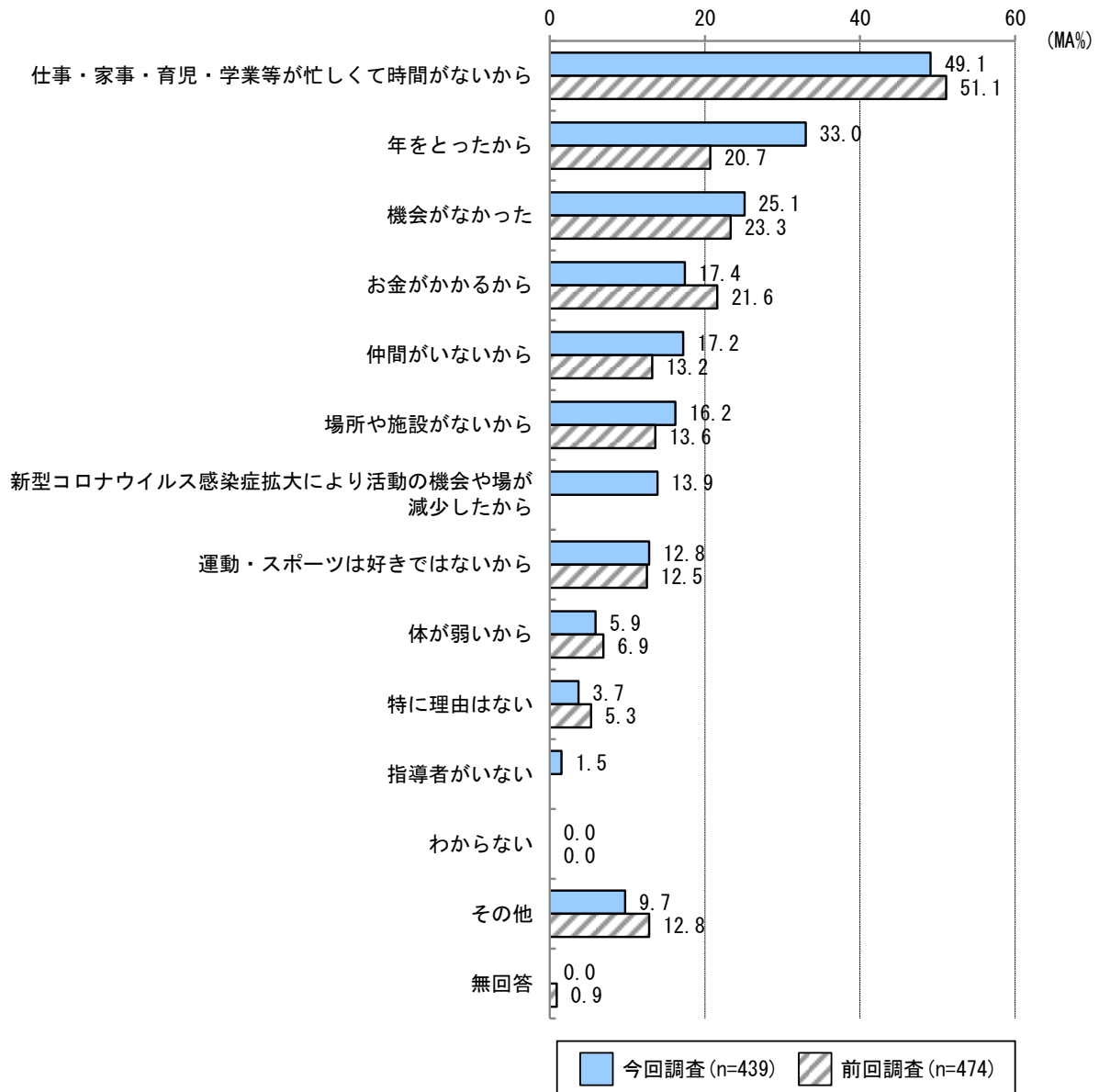


## (2) 運動やスポーツをしていない理由

【問8で「4. 3か月に1～2日」「5. 年に1～3日」「6. 全くしていない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問9. 運動やスポーツをあまりしていない(しなくなった)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図II3-2 運動やスポーツをしていない理由】



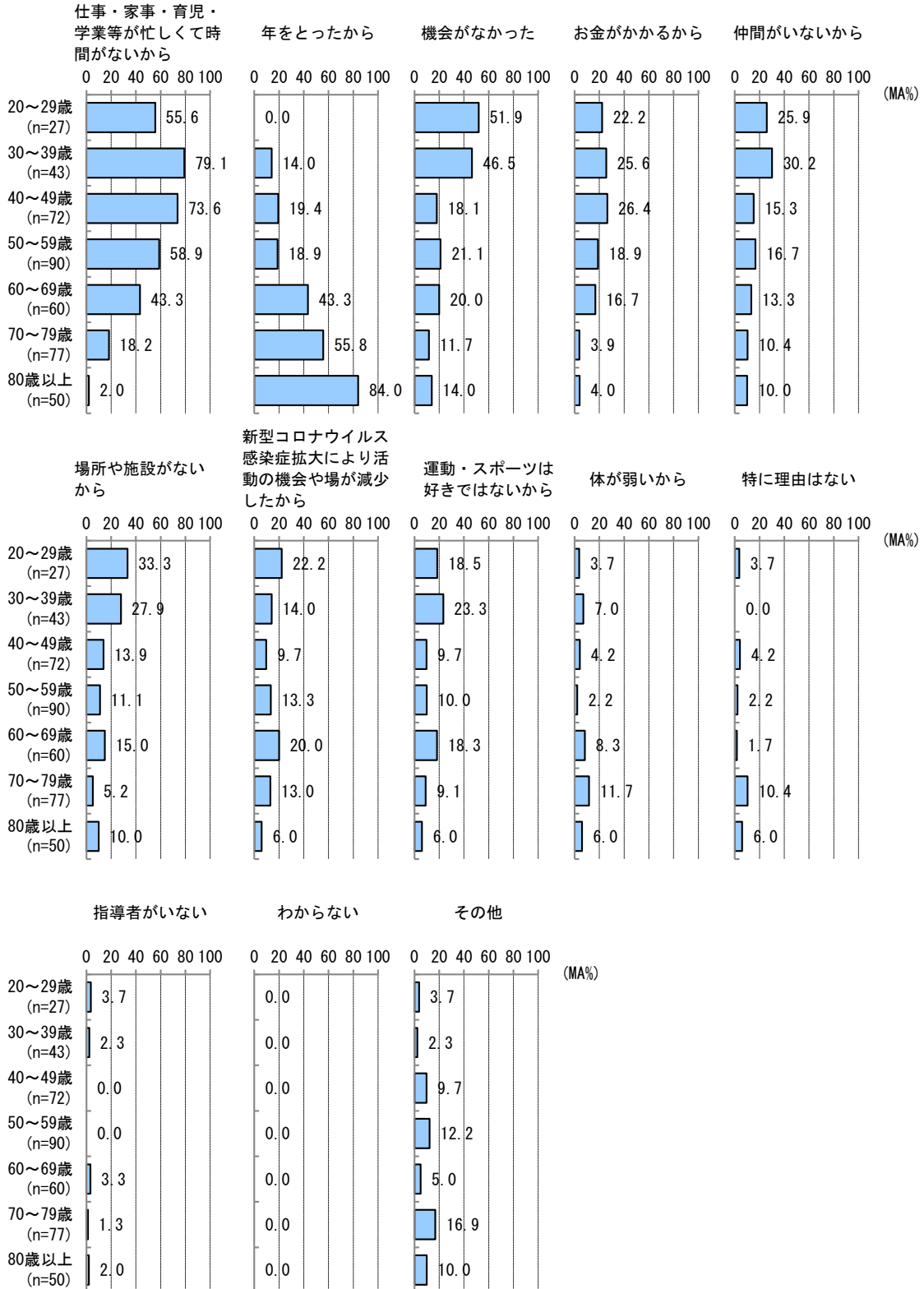
※「新型コロナウイルス感染症拡大により活動の機会や場が減少したから」と「指導者がいない」は今回新設

運動やスポーツをあまりしていないと回答した人に、その理由をたずねると、「仕事・家事・育児・学業等が忙しくて時間がないから」が49.1%で最も多く、次いで「年をとったから」が33.0%、「機会がなかった」が25.1%となっている。

前回調査と比較すると、「年をとったから」は前回より12.3ポイント高くなっている。(図II3-2)

年齢別で見ると、「仕事・家事・育児・学業等が忙しくて時間がないから」は30～39歳(79.1%)で最も高く、それ以降、年齢が上がるほど割合は低くなっている。一方、「年をとったから」は高齢になるほど割合が高く、70歳以上では過半数を占めている。また、「機会がなかった」では20～29歳(51.9%)で過半数を占め最も高くなっている。(図II 3-2-1)

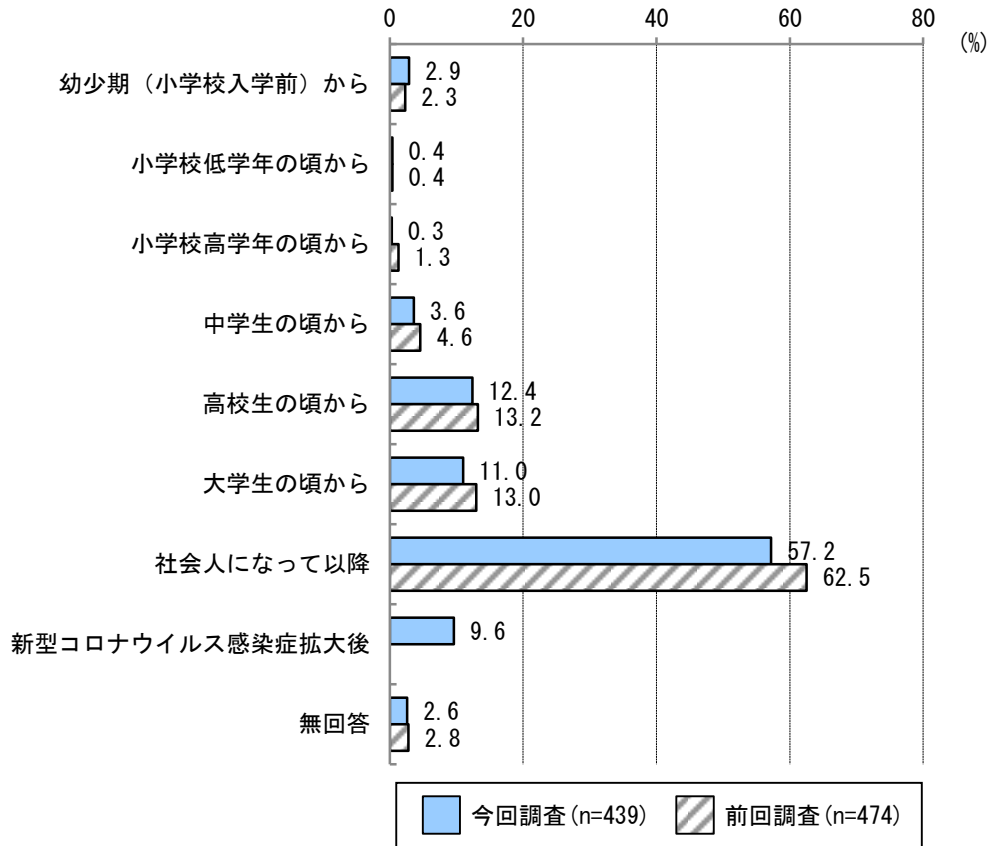
【図II 3-2-1 年齢別 運動やスポーツをしていない理由】



### (3) 運動やスポーツをしなくなった時期

問10. 運動やスポーツをしなくなった時期はいつ頃からですか。(〇は1つ)

【図 II 3-3 運動やスポーツをしなくなった時期】



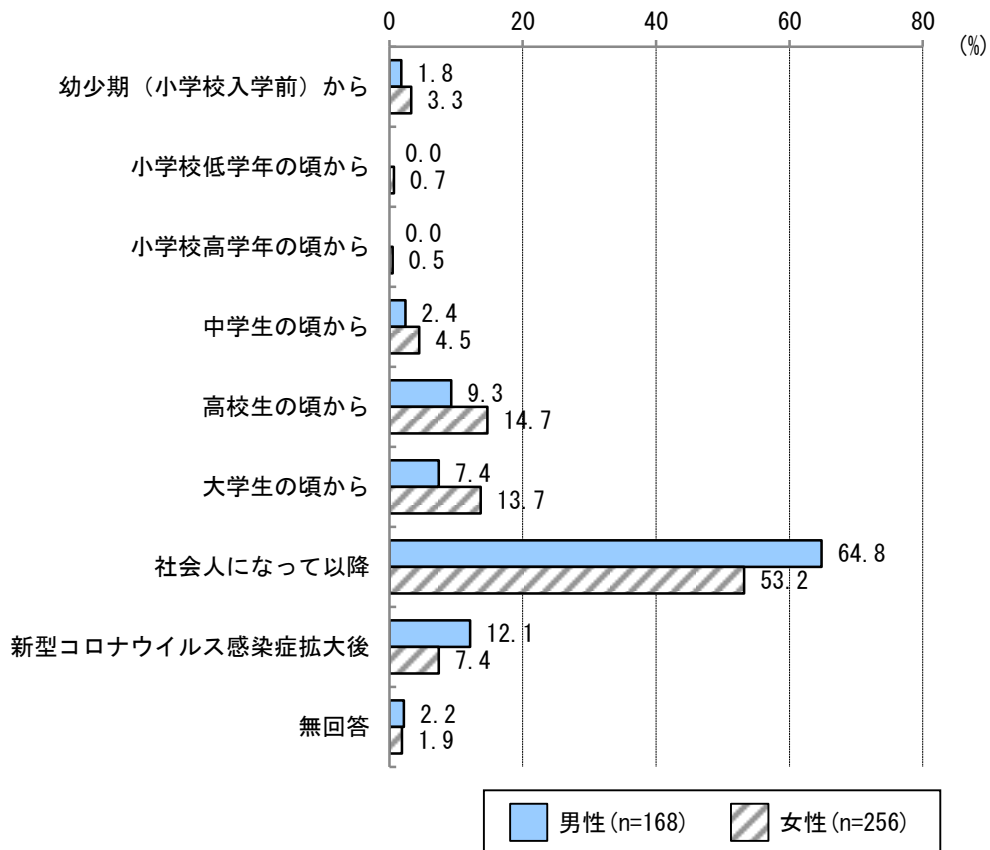
※「新型コロナウイルス感染症拡大後」は今回調査のみ

運動やスポーツあまりしなくなったと回答した人に、運動やスポーツをしなくなった時期についてたずねると、「社会人になって以降」が57.2%で最も多く、次いで「高校生の頃から」が12.4%、「大学生の頃から」が11.0%となっている。

「社会人になって以降」と回答した人の、しなくなった平均年齢は35.3歳となっている。前回調査と比較すると、「社会人になって以降」は前回より5.3ポイント低くなっている。(図 II 3-3)

性別で見ると、「社会人になって以降」は女性（53.2%）より男性（64.8%）のほうが11.6ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-3-1）

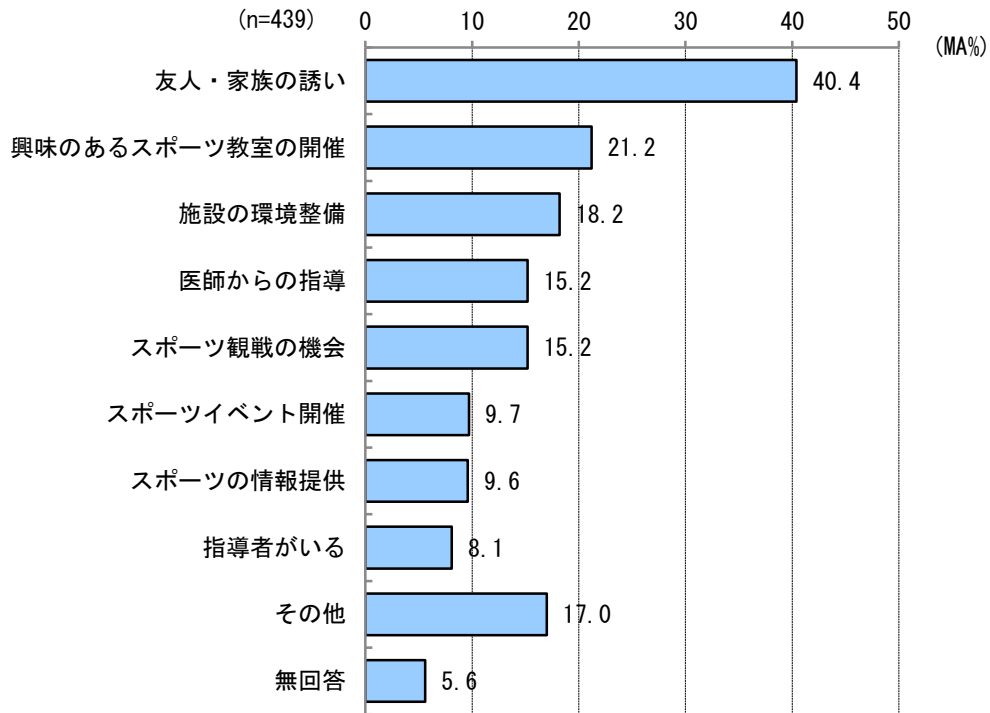
【図Ⅱ3-3-1 性別 運動やスポーツをしなくなった時期】



(4) 運動やスポーツを始めようと思えるきっかけ

問11. どのようなきっかけがあればスポーツを始めようと思えますか。(〇はいくつでも)

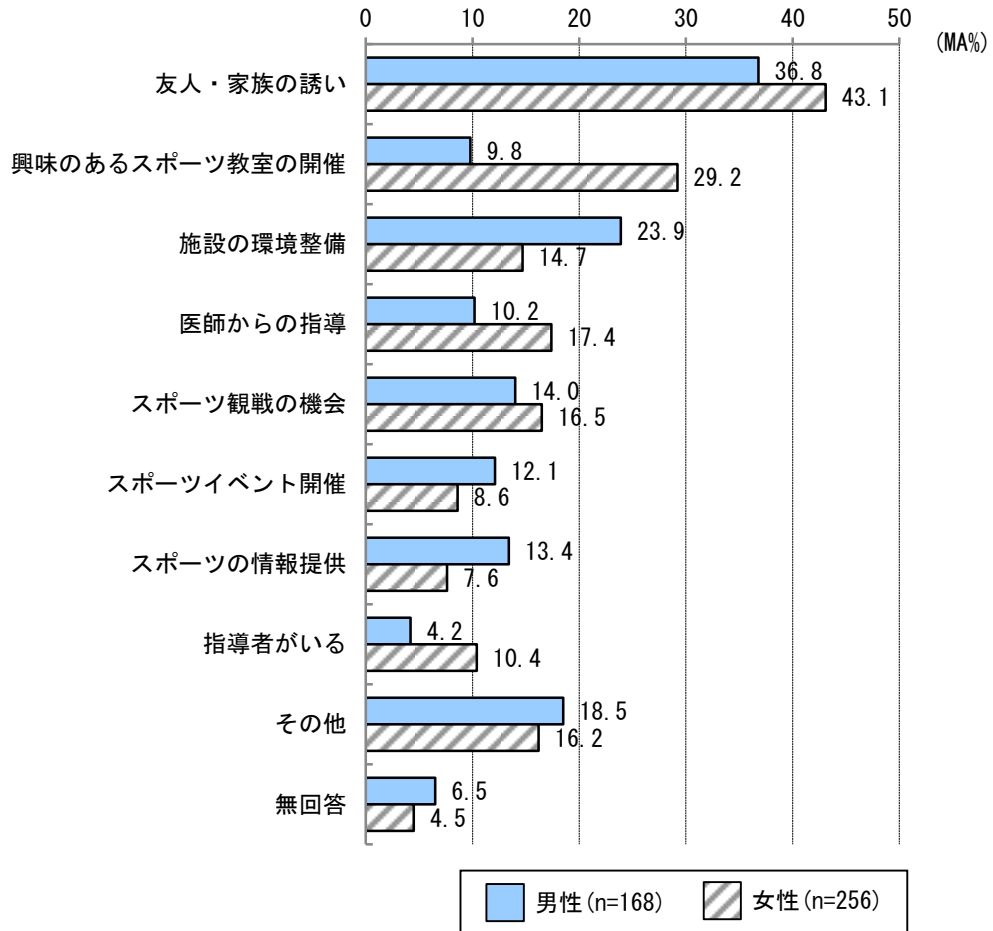
【図Ⅱ3-4 運動やスポーツを始めようと思えるきっかけ】



スポーツを始めようと思えるきっかけについては、「友人・家族の誘い」が40.4%で最も多く、次いで「興味のあるスポーツ教室の開催」が21.2%、「施設的环境整備」が18.2%となっている。(図Ⅱ3-4)

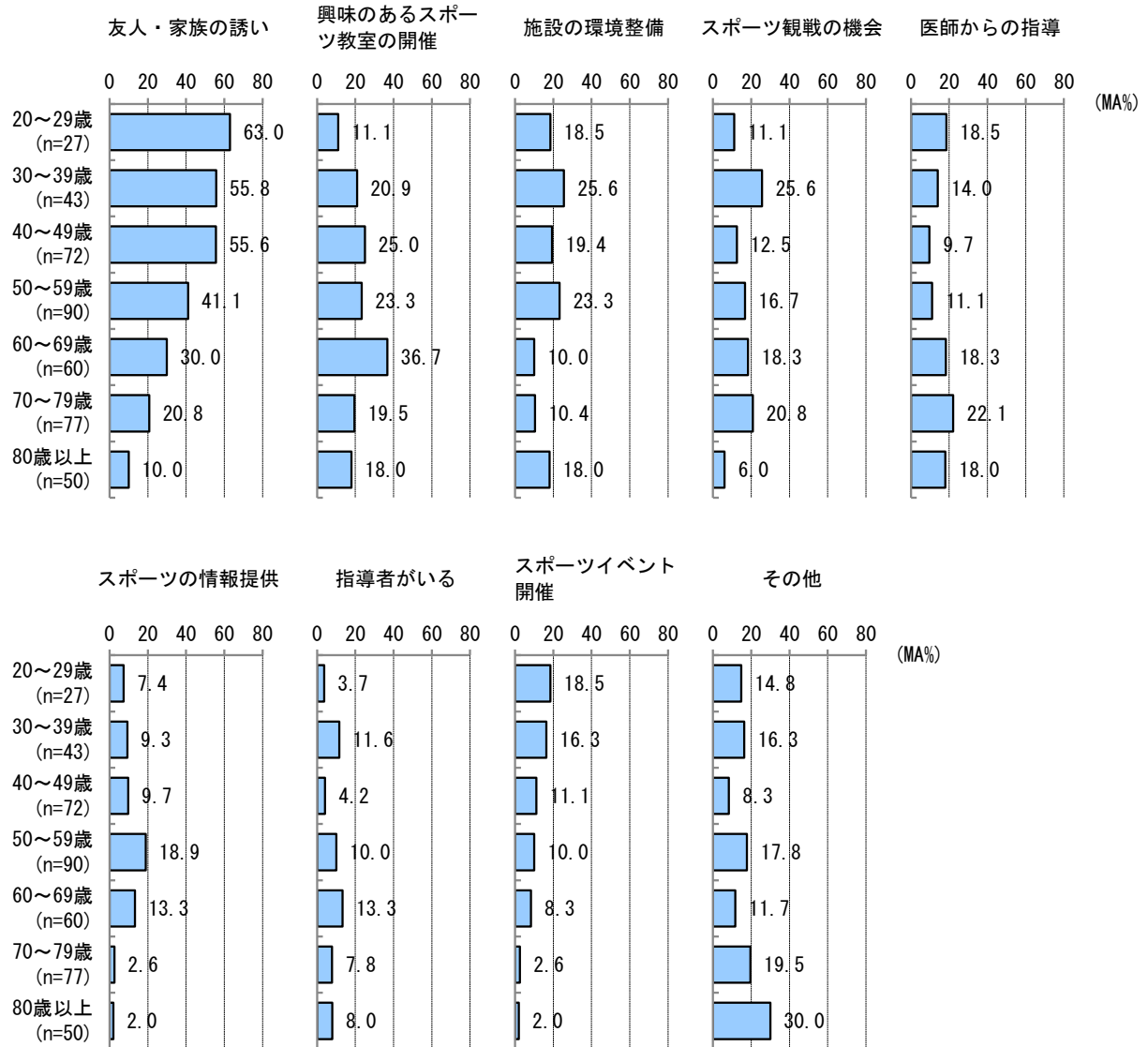
性別で見ると、「興味のあるスポーツ教室の開催」は男性（9.8%）より女性（29.2%）のほうが19.4ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-4-1）

【図Ⅱ3-4-1 性別 運動やスポーツを始めようと思えるきっかけ】



年齢別で見ると、「友人・家族の誘い」は若い年代ほど割合が高く、20～29歳（63.0%）で最も高い。「興味のあるスポーツ教室の開催」は60～69歳（36.7%）で最も高くなっている。（図Ⅱ3-4-2）

【図Ⅱ3-4-2 年齢別 運動やスポーツを始めようと思えるきっかけ】

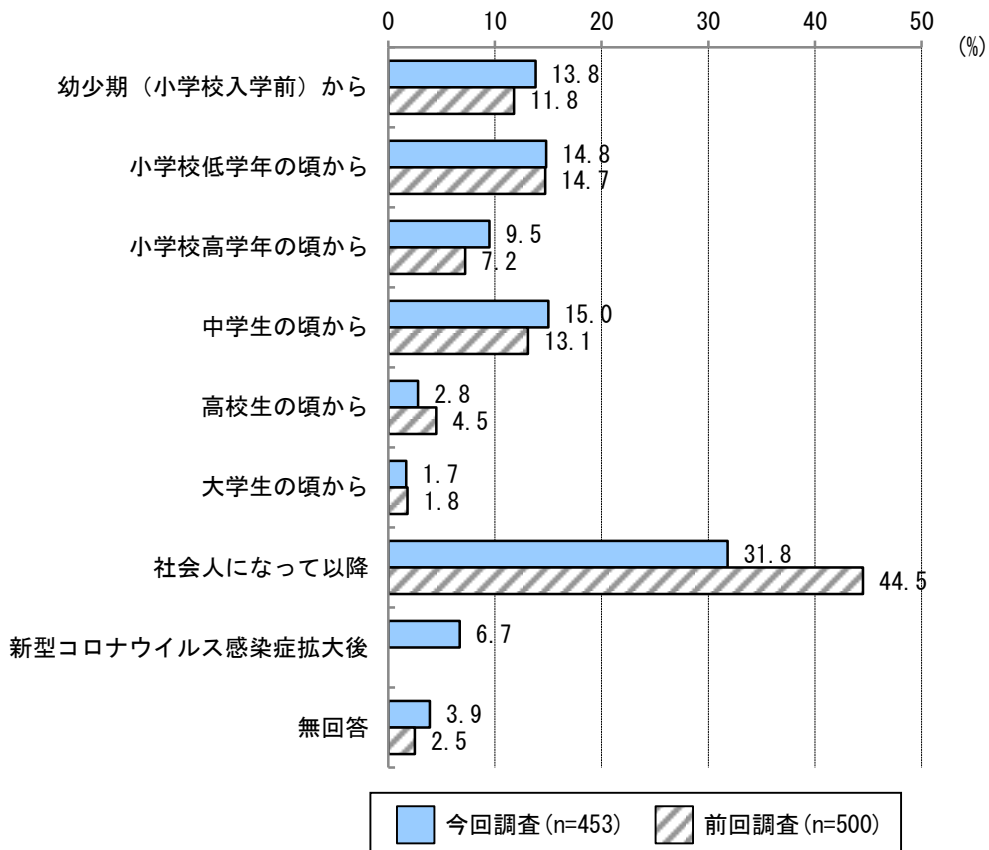




(5) 運動やスポーツを始めた時期

【問8で「1. 週に3日以上」「2. 週に1～2日」「3. 月に1～3日」のいずれかを回答した方にうかがいます。それ以外の回答の方は問21へお進みください。】  
 問12. 運動やスポーツを始めた時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

【図Ⅱ3-5 運動やスポーツを始めた時期】



※「新型コロナウイルス感染症拡大後」は今回調査のみ

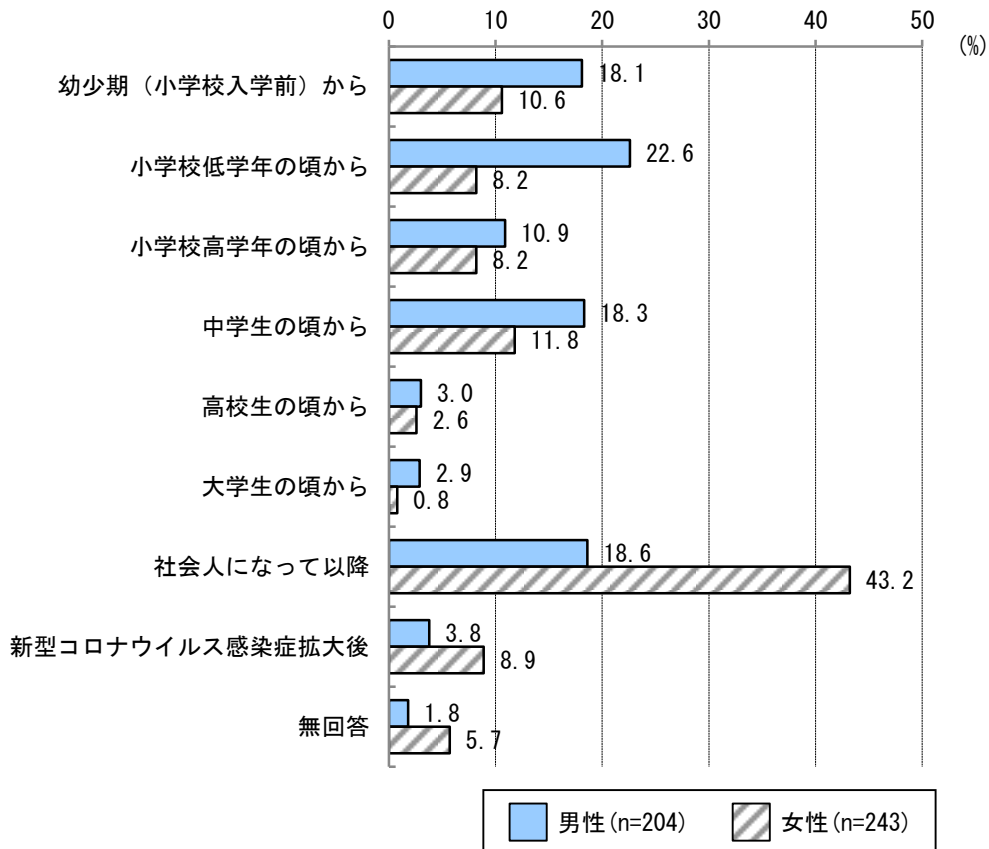
運動やスポーツを月に1日以上していると回答した人に、運動やスポーツを始めた時期についてたずねると、「社会人になって以降」が31.8%で最も多く、次いで「中学生の頃から」が15.0%、「小学校低学年の頃から」が14.8%となっている。

「社会人になって以降」と回答した人の運動やスポーツを始めた平均年齢は、43.2歳となっている。

前回調査と比較すると、「社会人になって以降」は前回より12.7ポイント低くなっている。(図Ⅱ3-5)

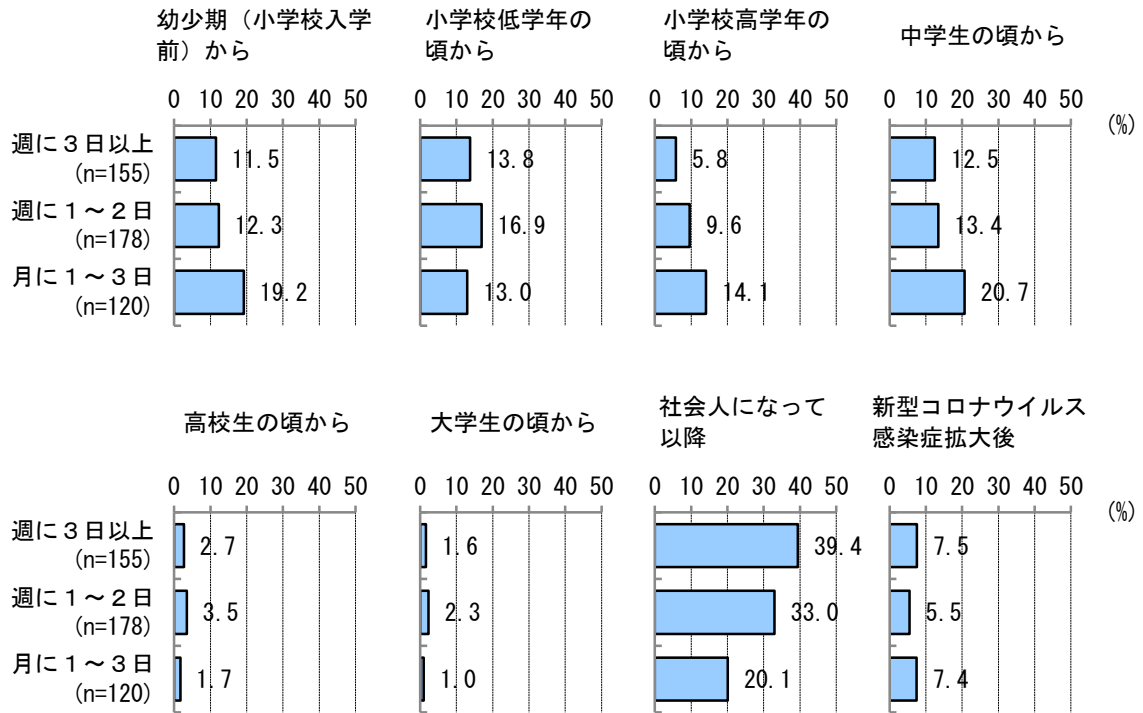
性別で見ると、「幼少期（小学校入学前）から」は女性（10.6％）より男性（18.1％）のほうが7.5ポイント、「小学校低学年の頃から」は女性（8.2％）より男性（22.6％）のほうが14.4ポイント、「中学生の頃から」は女性（11.8％）より男性（18.3％）のほうが6.5ポイント高いが、「社会人になって以降」については男性（18.6％）より女性（43.2％）のほうが24.6ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-5-1）

【図Ⅱ3-5-1 性別 運動やスポーツを始めた時期】



運動やスポーツの実施頻度別で見ると、「幼少期（小学校入学前）から」、「小学校高学年の頃から」、「中学生の頃から」は実施頻度が少ない人ほど割合は高いが、「社会人になって以降」は実施頻度が多い人ほど割合が高くなっている。（図Ⅱ3-5-2）

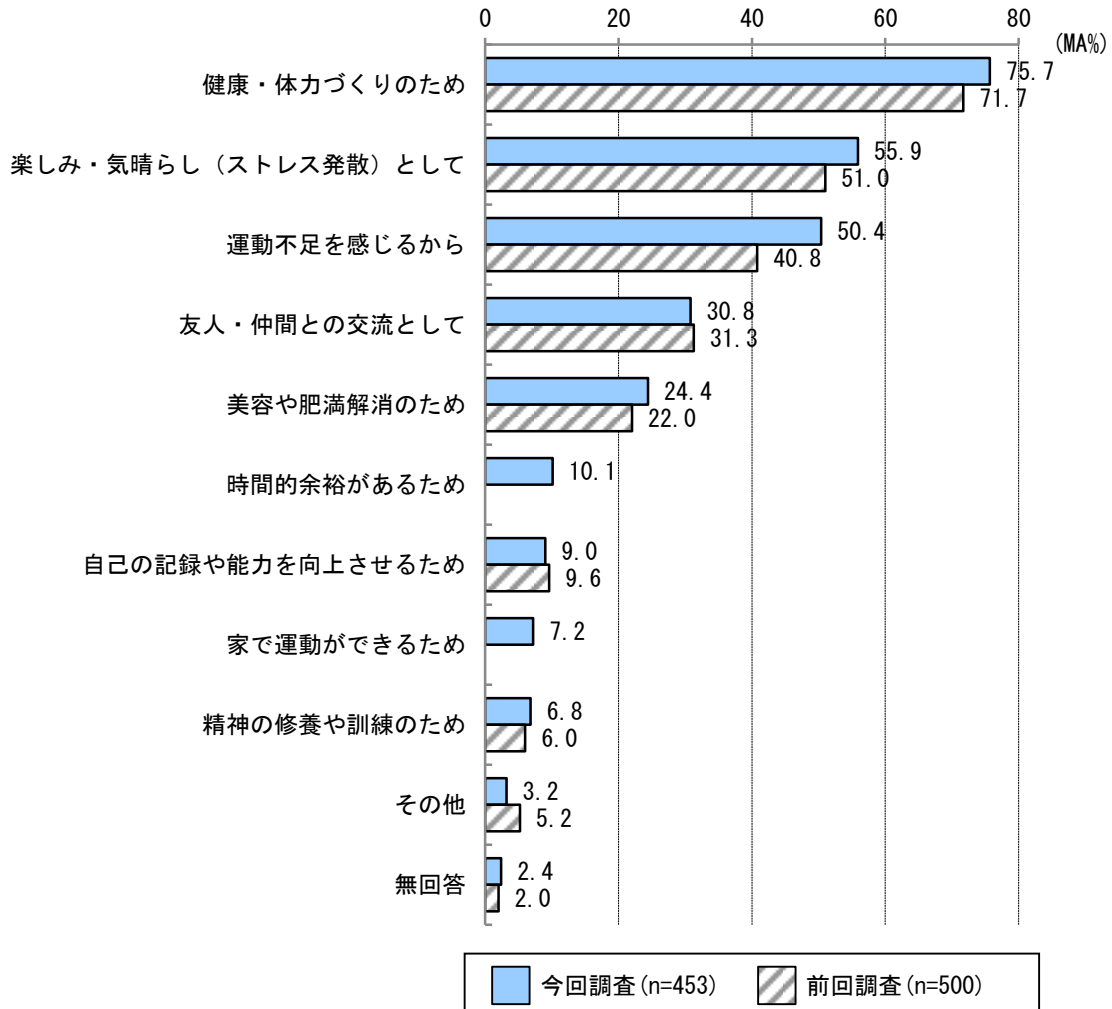
【図Ⅱ3-5-2 運動やスポーツの実施頻度別 運動やスポーツを始めた時期】



## (6) 運動やスポーツをしている理由

問13. 運動やスポーツをしている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 II 3-6 運動やスポーツをしている理由】



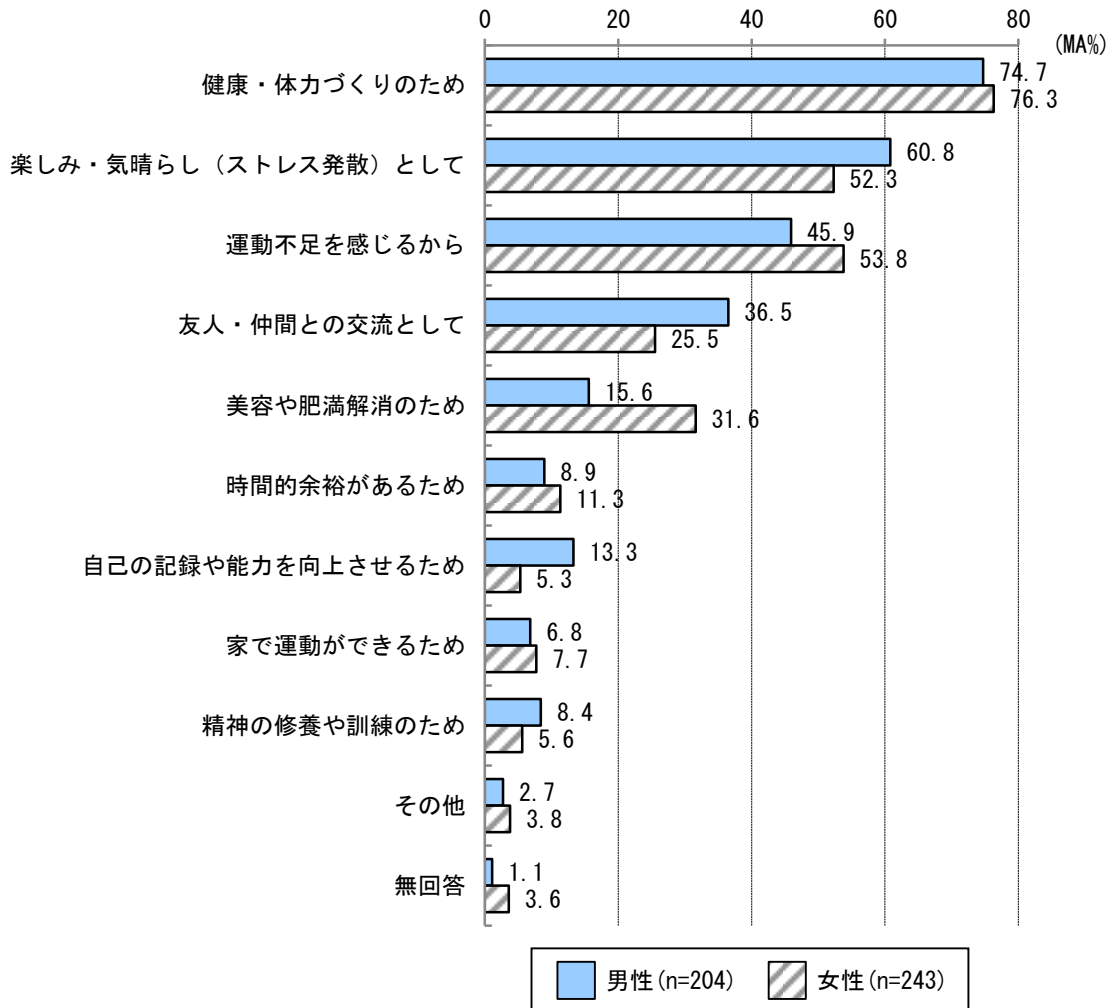
※「時間的余裕があるため」と「家で運動ができるため」は今回調査のみ

運動やスポーツをしている理由については、「健康・体力づくりのため」が75.7%で最も多く、次いで「楽しみ・気晴らし(ストレス発散)として」が55.9%、「運動不足を感じるから」が50.4%となっている。

前回調査と比較すると、「運動不足を感じるから」は前回より9.6ポイント高くなっている。  
(図 II 3-6)

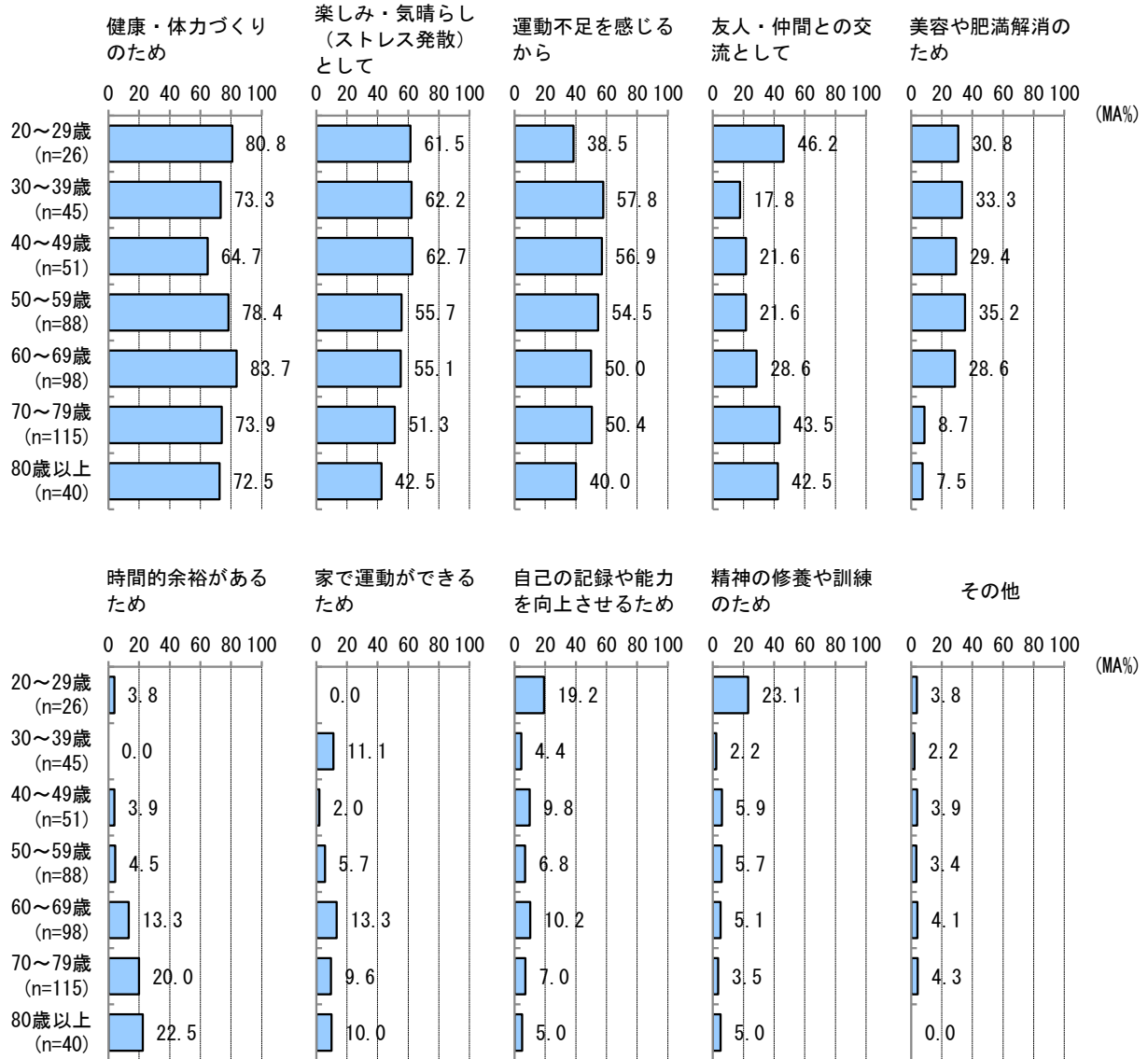
性別で見ると、「友人・仲間との交流として」は女性（25.5%）より男性（36.5%）のほうが11.0ポイント、「楽しみ・気晴らし（ストレス発散）として」は女性（52.3%）より男性（60.8%）のほうが8.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「美容や肥満解消のため」は男性（15.6%）より女性（31.6%）のほうが16.0ポイント、「運動不足を感じるから」は男性（45.9%）より女性（53.8%）のほうが7.9ポイント、それぞれ高くなっている。（図Ⅱ3-6-1）

【図Ⅱ3-6-1 性別 運動やスポーツをしている理由】



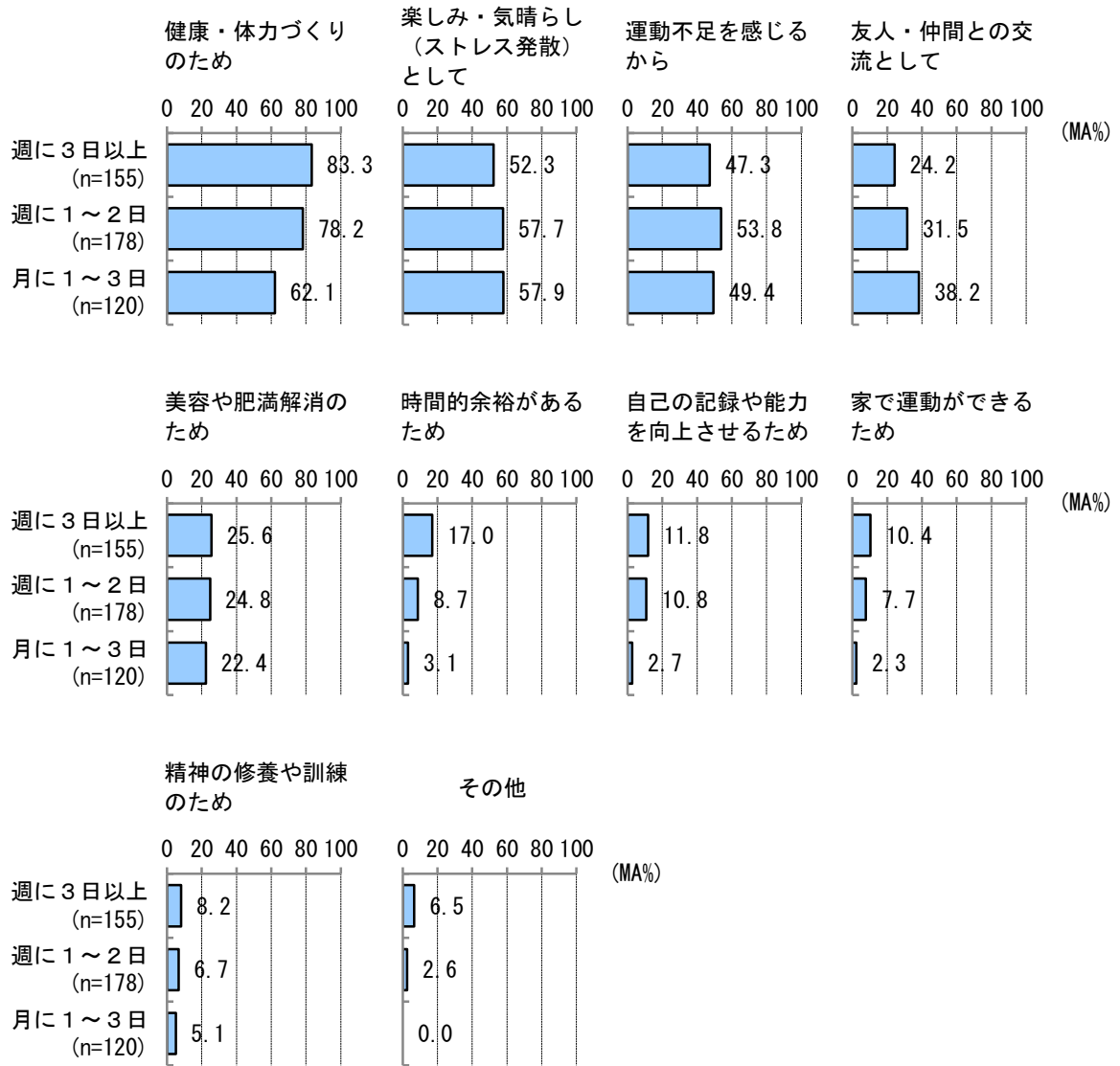
年齢別で見ると、「楽しみ・気晴らし（ストレス発散）として」は20～49歳の年代で60%台となっている。「友人・仲間との交流として」は20～29歳が46.2%で最も高くなっている。（図II 3-6-2）

【図II 3-6-2 年齢別 運動やスポーツをしている理由】



運動やスポーツの実施頻度別で見ると、「健康・体力づくりのため」は実施頻度の多い人ほど割合が高く、週に3日以上が83.3%を占めている。(図II 3-6-3)

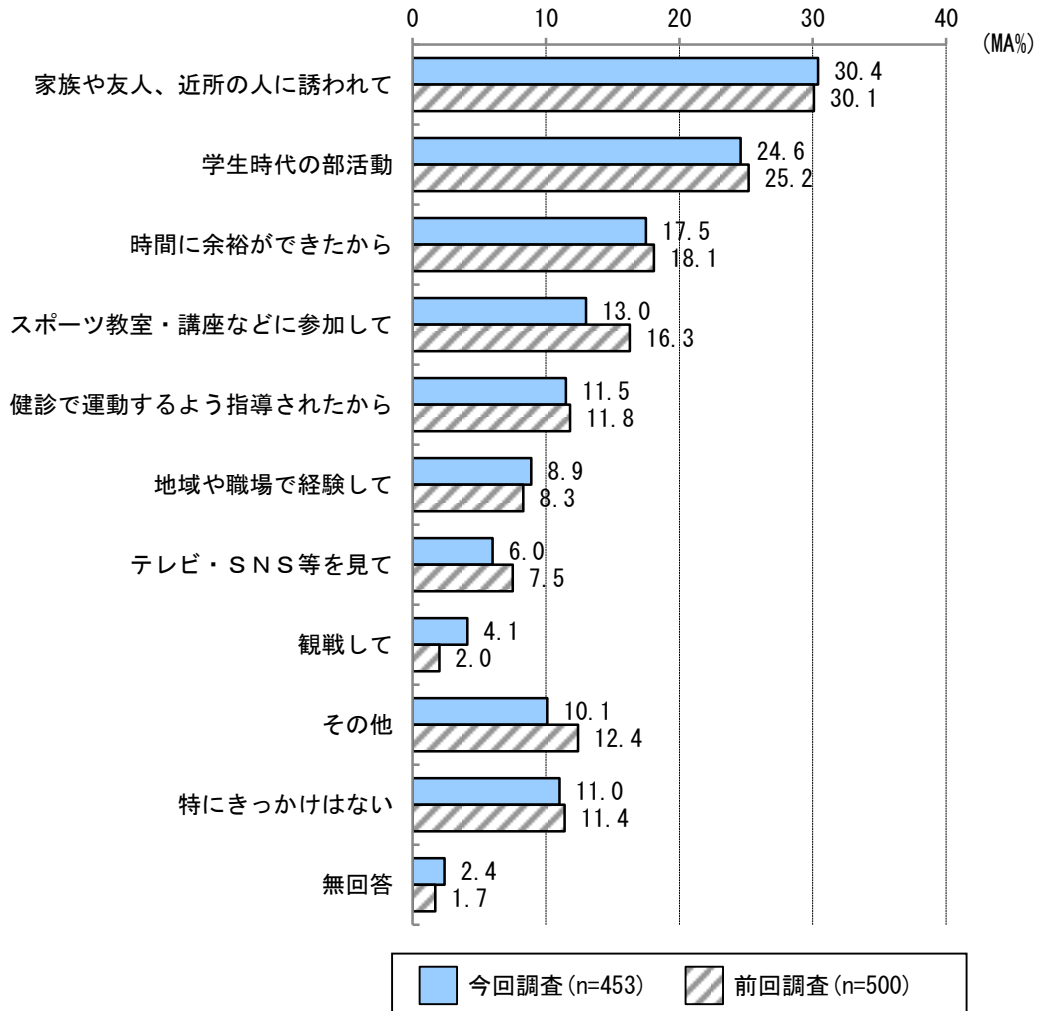
【図II 3-6-3 運動やスポーツの実施頻度別 運動やスポーツをしている理由】



(7) 運動やスポーツを始めたきっかけ

問14. 運動やスポーツを始めたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図 II 3-7 運動やスポーツを始めたきっかけ】



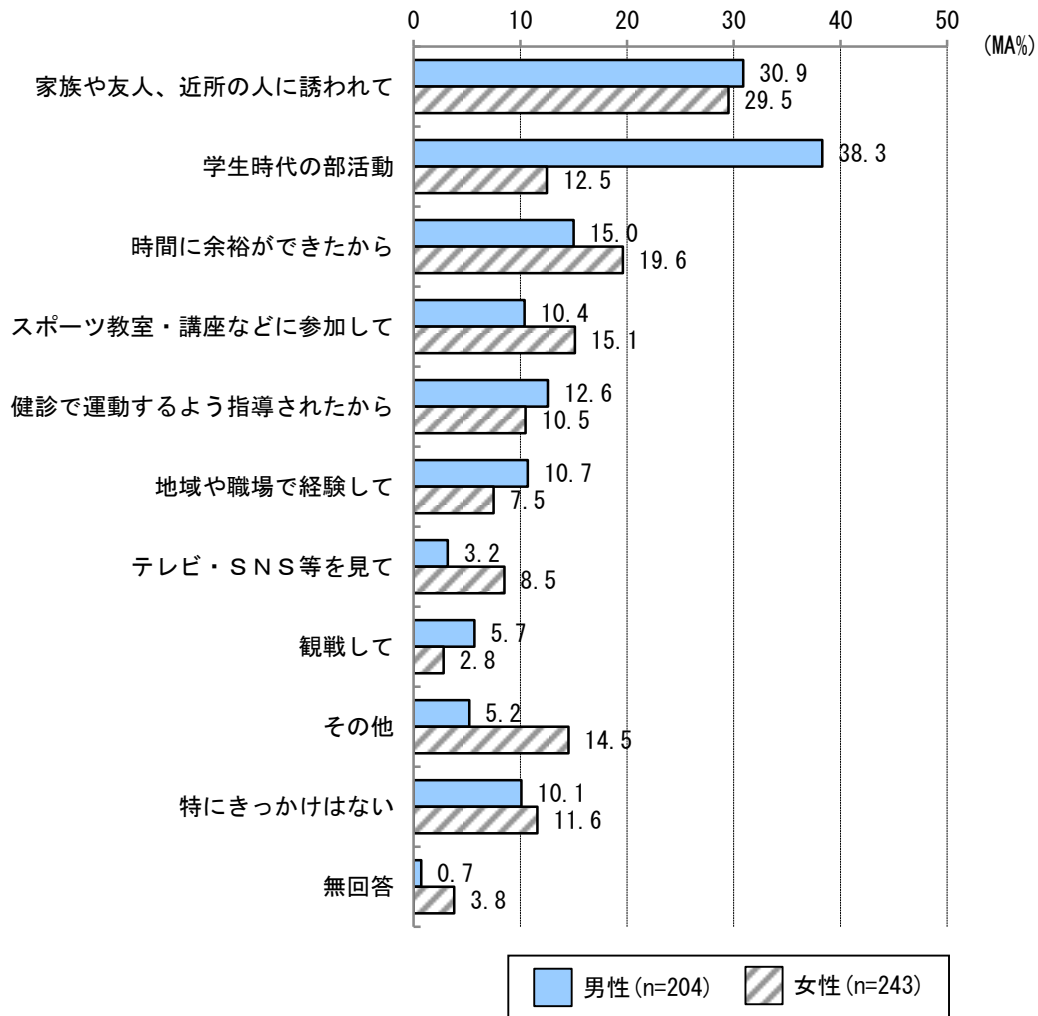
運動やスポーツを始めたきっかけについては、「家族や友人、近所の人に誘われて」が30.4%で最も多く、次いで「学生時代の部活動」が24.6%、「時間に余裕ができたから」が17.5%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図 II 3-7)



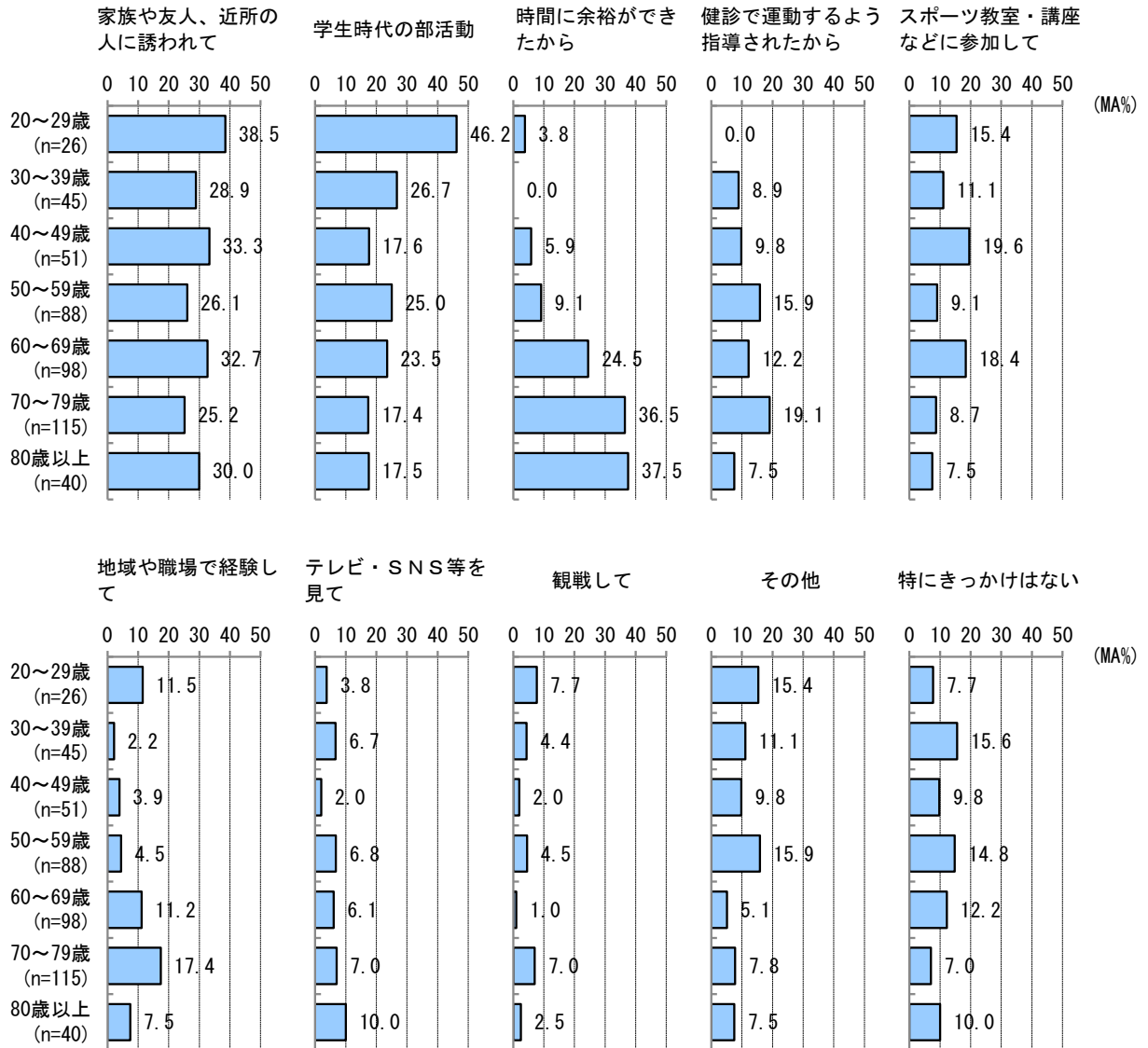
性別で見ると、「学生時代の部活動」は女性（12.5%）より男性（38.3%）のほうが25.8ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-7-1）

【図Ⅱ3-7-1 性別 運動やスポーツを始めたきっかけ】



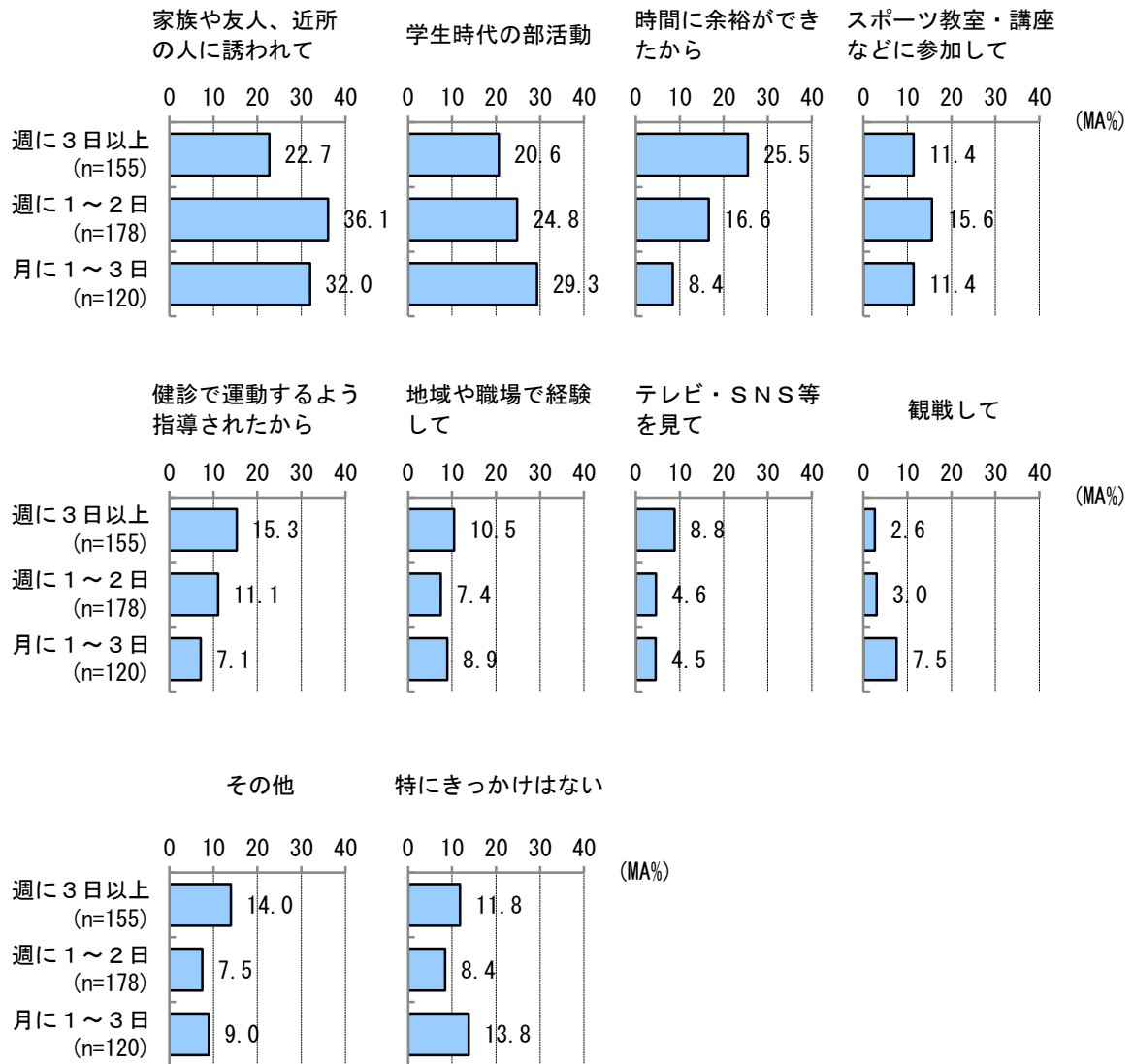
年齢別で見ると、「学生時代の部活動」は20～29歳（46.2%）で最も高くなっている。「時間に余裕ができたから」は80歳以上（37.5%）で最も高く、次いで70～79歳（36.5%）となっている。（図Ⅱ3-7-2）

【図Ⅱ3-7-2 年齢別 運動やスポーツを始めたきっかけ】



運動やスポーツの実施頻度別で見ると、「時間に余裕ができたから」、「健診で運動するよう指導されたから」、「テレビ・SNS等を見て」は実施頻度が多い人ほど割合が高くなっている。(図Ⅱ3-7-3)

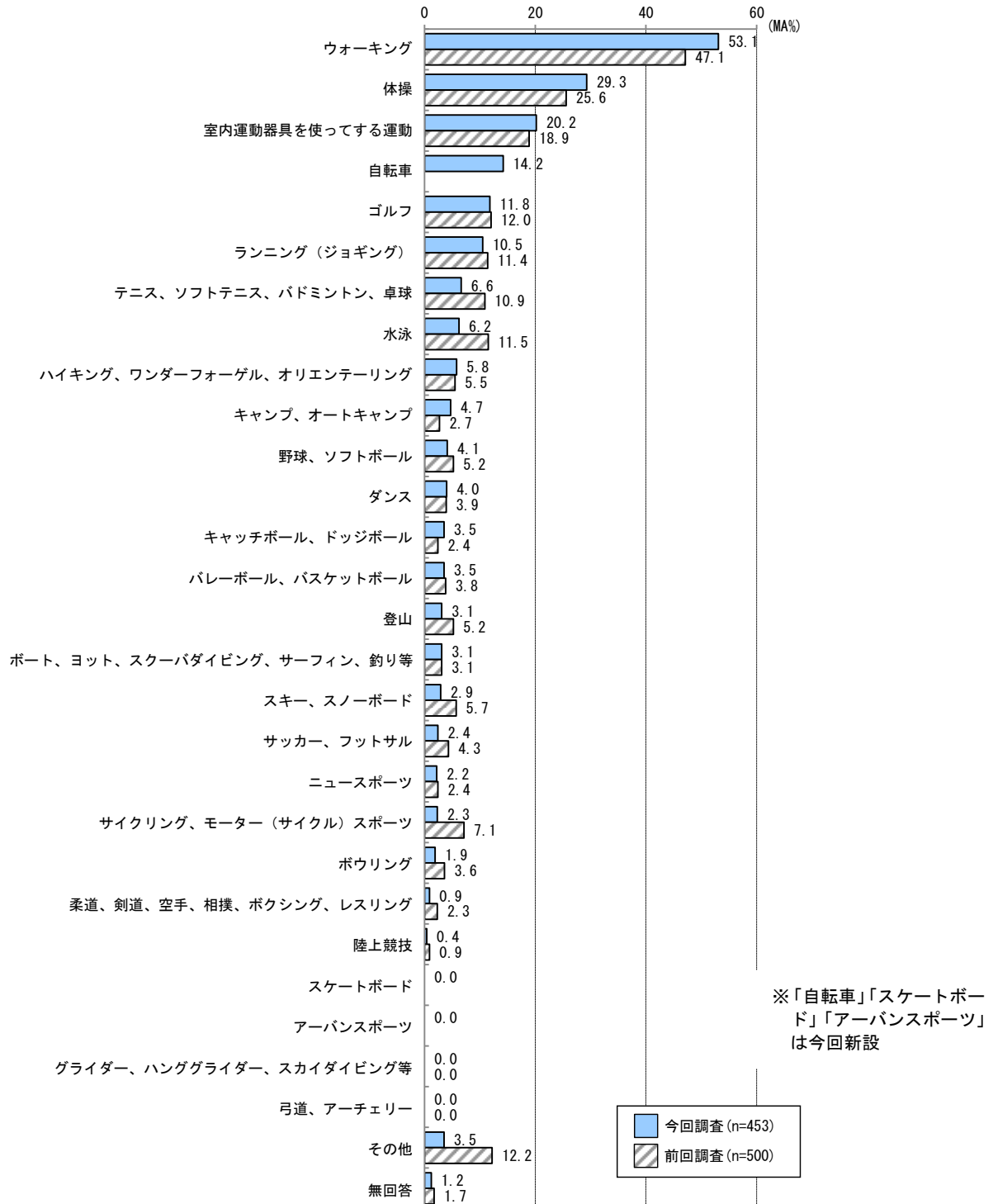
【図Ⅱ3-7-3 運動やスポーツの実施頻度別 運動やスポーツを始めたきっかけ】



(8) 現在行っている運動やスポーツの種目

問15. 現在行っている運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

【図 II 3-8 現在行っている運動やスポーツの種目】



現在行っている運動やスポーツについては、「ウォーキング」が53.1%で最も多く、次いで「体操」が29.3%、「室内運動器具を使ってする運動」が20.2%となっている。

前回調査と比較すると、「ウォーキング」は前回より6.0ポイント高くなっている。(図 II 3-8)

性別で見ると、男女とも「ウォーキング」（男性48.7%、女性56.0%）が最も多く、次いで男性は「ゴルフ」（22.9%）、女性は「体操」（45.3%）が続いている。（表Ⅱ3-8-1）

【表Ⅱ3-8-1 性別 現在行っている運動やスポーツの種目（上位5項目）】

（単位：MA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=204)	ウォーキング 48.7	ゴルフ 22.9	室内運動器具を 使っている運動 20.7	ランニング（ジョ ギング） 17.2	自転車 15.5
女性 (n=243)	ウォーキング 56.0	体操 45.3	室内運動器具を 使っている運動 19.9	自転車 12.7	水泳 6.8

年齢別で見ると、20～29歳は「ウォーキング」と「室内運動器具を使っている運動」（ともに38.5%）が最も多いが、それ以上の年代では「ウォーキング」が最も多く、50歳以上の年代で50%以上を占めている。（表Ⅱ3-8-2）

【表Ⅱ3-8-2 年齢別 現在行っている運動やスポーツの種目（上位5項目）】

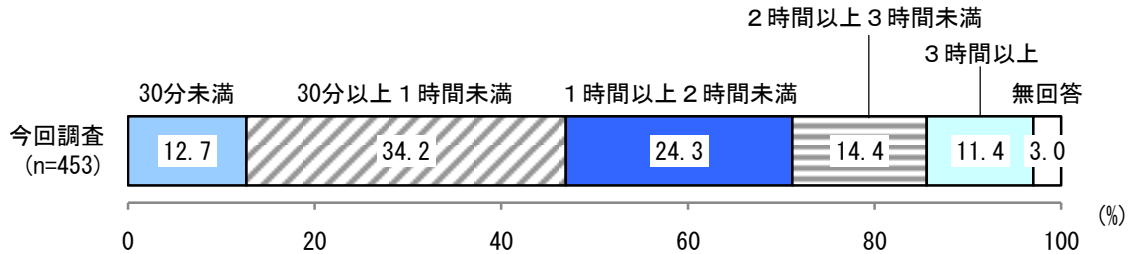
（単位：MA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (n=26)	ウォーキング／室内運動器具を使っ てする運動 38.5	体操／ランニング（ジョギング） 19.2	自転車 15.4		
30～39歳 (n=45)	ウォーキング 42.2	体操 35.6	室内運動器具を 使っている運動 28.9	キャンプ、オー トキャンプ 17.8	自転車 15.6
40～49歳 (n=51)	ウォーキング 41.2	ランニング （ジョギング） 17.6	体操 15.7	ゴルフ／キャッチボール、ドッジボール	13.7
50～59歳 (n=88)	ウォーキング 59.1	体操 22.7	自転車 17.0	室内運動器具を 使っている運動 15.9	ゴルフ 14.8
60～69歳 (n=98)	ウォーキング 60.2	体操 40.8	室内運動器具を 使っている運動 20.4	自転車 13.3	ゴルフ／水泳 11.2
70～79歳 (n=115)	ウォーキング 67.8	体操 33.9	ゴルフ 20.0	自転車 14.8	室内運動器具を使っ てする運動／水泳 9.6
80歳以上 (n=40)	ウォーキング 50.0	体操 42.5	室内運動器具を 使っている運動 27.5	自転車 15.0	ハイキング、ワンダー フォーゲル、オリエン テーリング／テニス、 ソフトテニス、パドミ ントン、卓球 7.5

(9) 運動やスポーツの1回あたりの実施時間

問16. 問15で答えた運動・スポーツを1回につき、どのくらいの時間で行っていますか。(○は1つ)

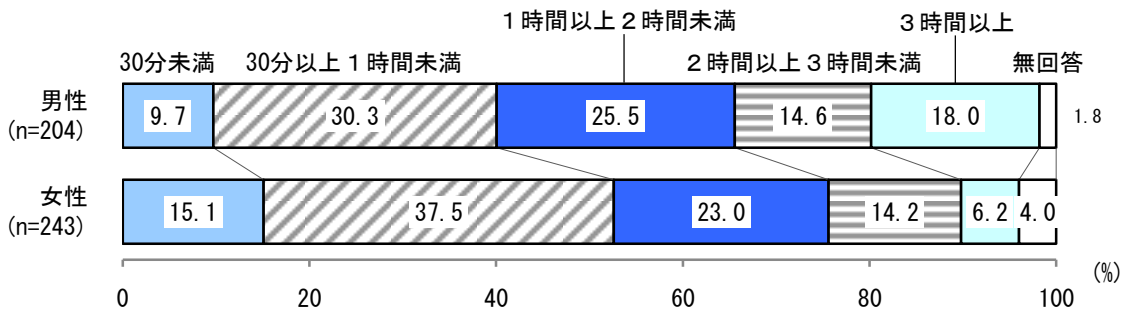
【図 II 3-9 運動やスポーツの1回あたりの実施時間】



1回あたりの運動時間については、「30分以上1時間未満」が34.2%で最も多く、次いで「1時間以上2時間未満」が24.3%、「2時間以上3時間未満」が14.4%となっている。『1時間以上』（「1時間以上2時間未満」と「2時間以上3時間未満」、「3時間以上」をあわせた割合）は50.1%となっている。（図 II 3-9）

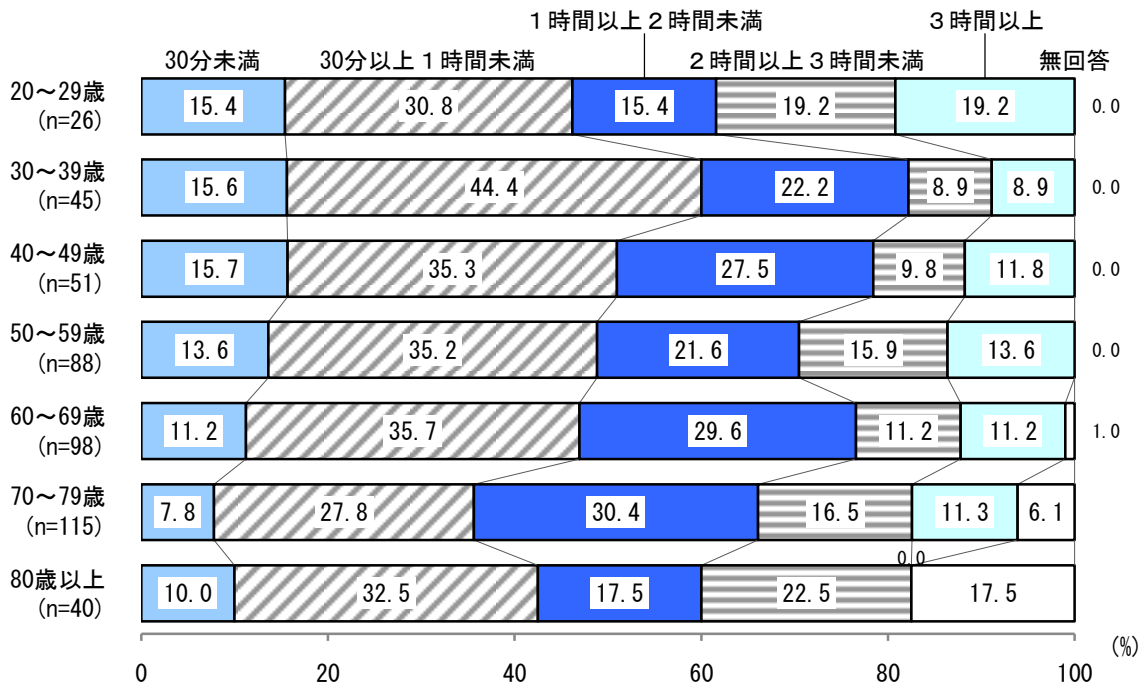
性別でみると、『1時間以上』は女性（43.4%）より男性（58.1%）のほうが14.7ポイント高くなっている。（図 II 3-9-1）

【図 II 3-9-1 性別 運動やスポーツの1回あたりの実施時間】



年齢別で見ると、『1時間以上』は70～79歳(58.2%)が最も高く、次いで20～29歳(53.8%)、60～69歳(52.0%)となっている。「3時間以上」は20～29歳(19.2%)で最も高くなっている。(図Ⅱ3-9-2)

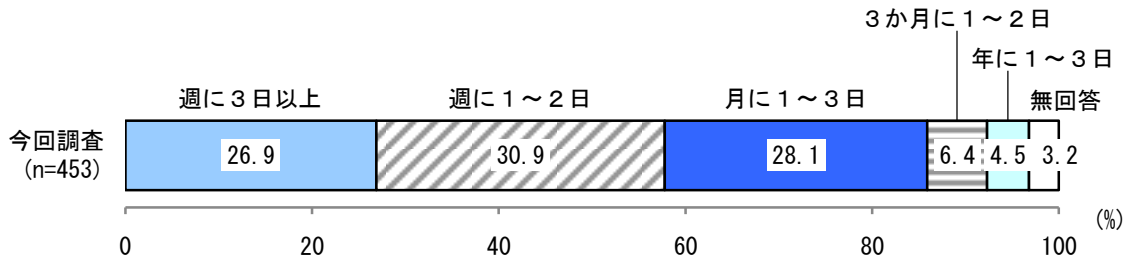
【図Ⅱ3-9-2 年齢別 運動やスポーツの1回あたりの実施時間】



(10) 汗をかく運動を30分以上実施した頻度

問17. この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数はどのくらいですか。(○は1つ)

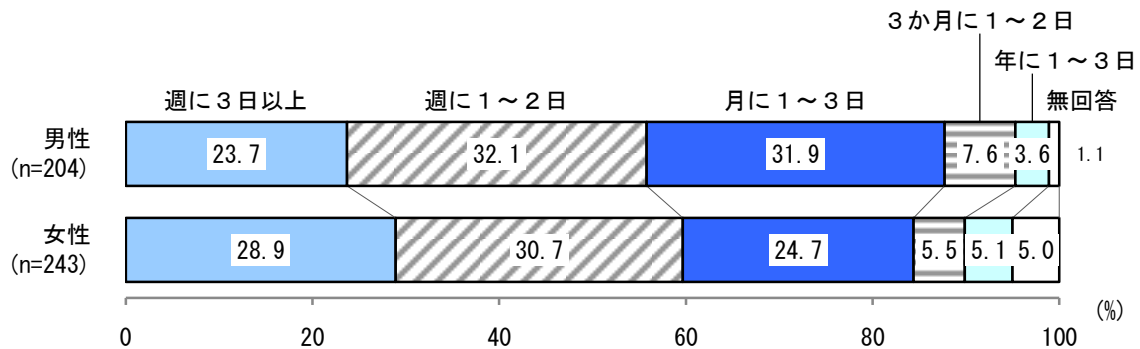
【図Ⅱ3-10 汗をかく運動を30分以上実施した頻度】



汗のかく運動を30分以上実施した頻度については、「週に1~2日」が30.9%で最も多く、次いで「月に1~3日」が28.1%、「週に3日以上」が26.9%となっている。(図Ⅱ3-10)

性別でみると、「週に3日以上」は男性(23.7%)より女性(28.9%)のほうが5.2ポイント高くなっている。(図Ⅱ3-10-1)

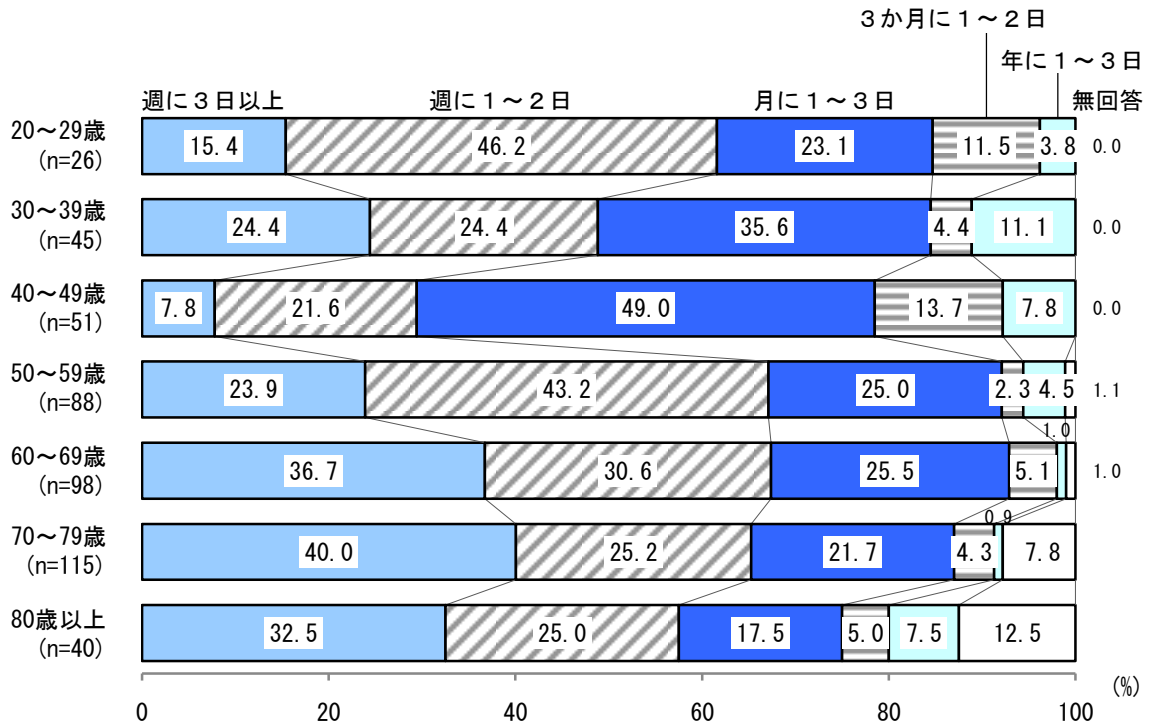
【図Ⅱ3-10-1 性別 汗をかく運動を30分以上実施した頻度】





年齢別で見ると、「週に3日以上」は70～79歳(40.0%)で最も高く、次いで60～69歳(36.7%)となっている一方、40～49歳では7.8%と最も低く、「月に1～3日」(49.0%)、「3か月に1～2日」(13.7%)が他の年代に比べて高くなっている。(図Ⅱ3-10-2)

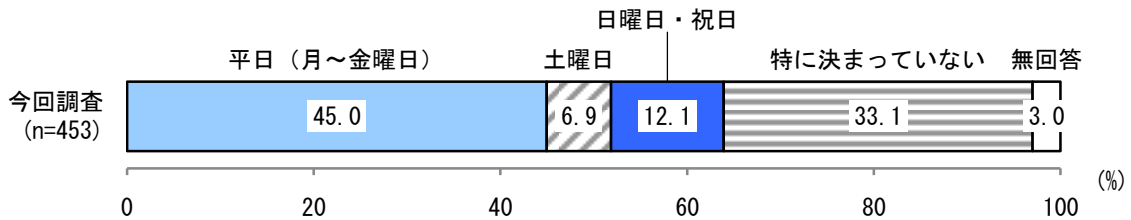
【図Ⅱ3-10-2 年齢別 汗をかく運動を30分以上実施した頻度】



(11) 運動やスポーツをする主な曜日

問18. 主にいつ運動やスポーツをしますか。(〇は1つ)

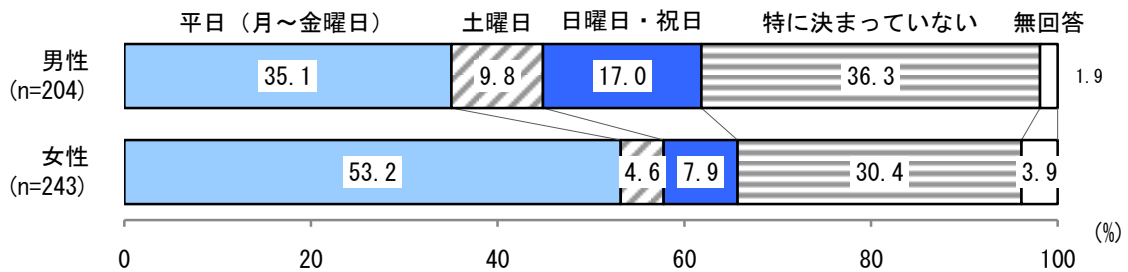
【図Ⅱ3-11 運動やスポーツをする主な曜日】



運動やスポーツをする主な曜日については、「平日 (月～金曜日)」が45.0%で最も多く、次いで「特に決まっていない」が33.1%、「日曜日・祝日」が12.1%となっている。(図Ⅱ3-11)

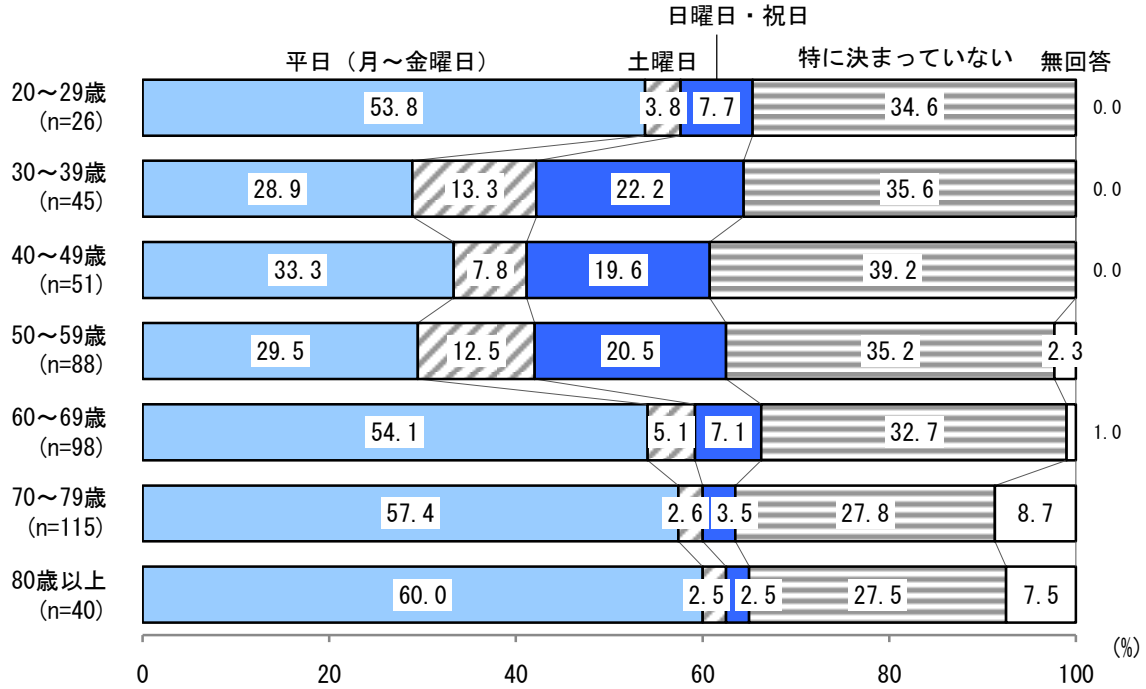
性別で見ると、「平日 (月～金曜日)」は男性 (35.1%) より女性 (53.2%) のほうが18.1ポイント高いが、「土曜日」は女性 (4.6%) より男性 (9.8%) のほうが5.2ポイント、「日曜日・祝日」は女性 (7.9%) より男性 (17.0%) のほうが9.1ポイント、それぞれ高くなっている。(図Ⅱ3-11-1)

【図Ⅱ3-11-1 性別 運動やスポーツをする主な曜日】



年齢別で見ると、「土曜日」と「日曜日・祝日」は30～59歳の年代で割合が高くなっている。  
 (図Ⅱ3-11-2)

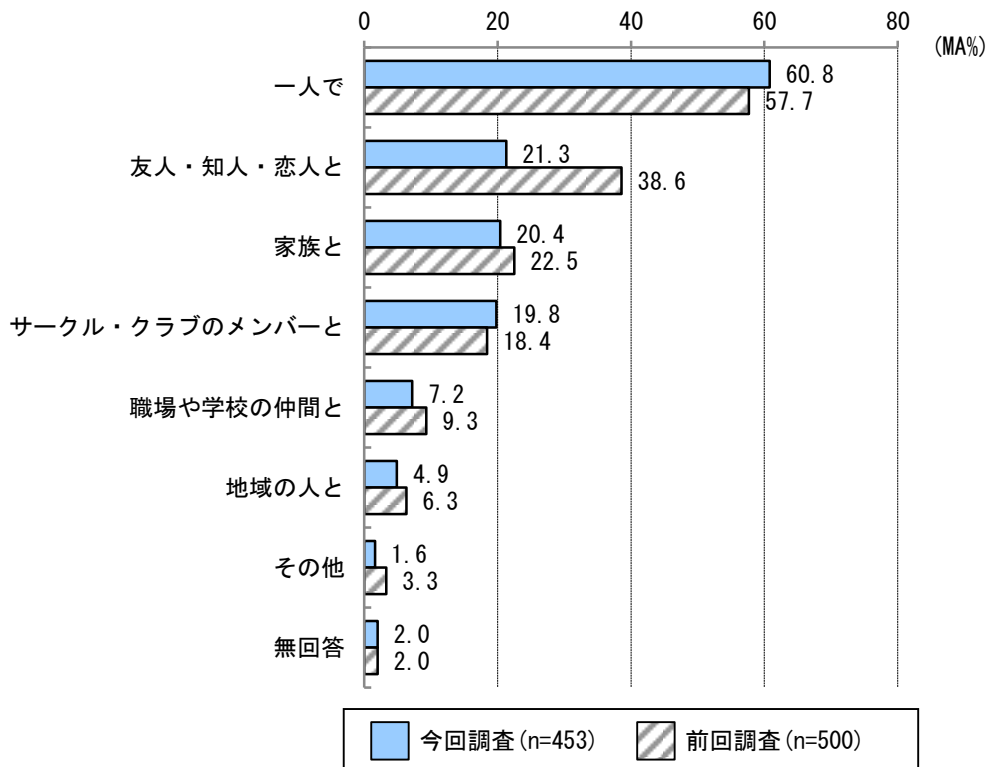
【図Ⅱ3-11-2 年齢別 運動やスポーツをする主な曜日】



(12) 運動やスポーツを一緒にする相手

問19. 主に誰と運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ3-12 運動やスポーツを一緒にする相手】

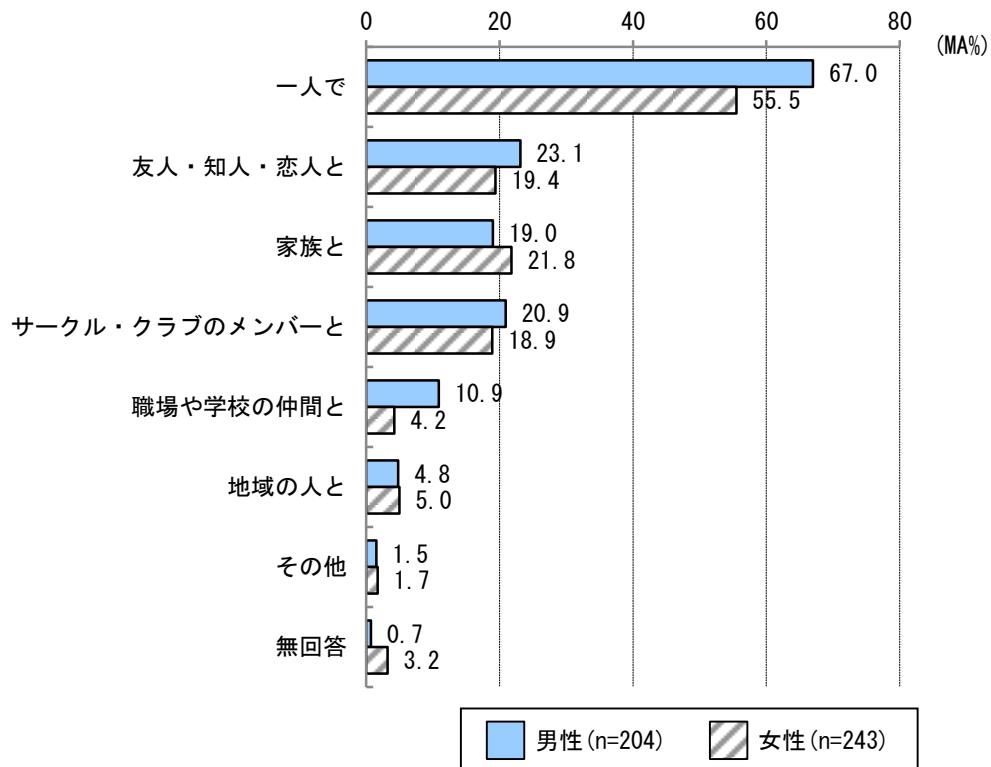


運動やスポーツを一緒にする相手については、「一人で」が60.8%で最も多く、次いで「友人・知人・恋人と」が21.3%、「家族と」が20.4%となっている。

前回調査と比較すると、「友人・知人・恋人と」は前回より17.3ポイント低くなっている。  
(図Ⅱ3-12)

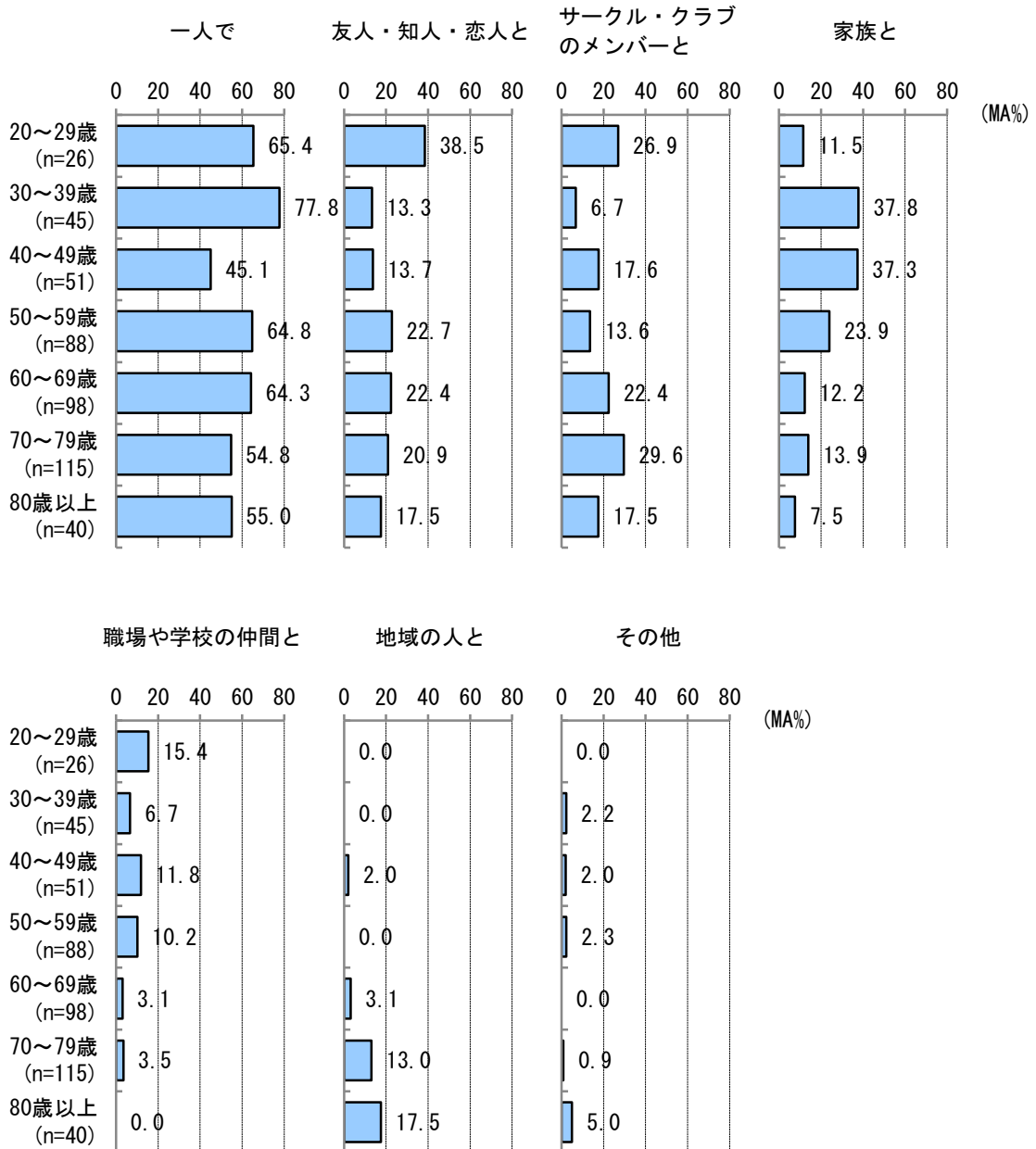
性別で見ると、「一人で」は女性（55.5%）より男性（67.0%）のほうが11.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-12-1）

【図Ⅱ3-12-1 性別 運動やスポーツを一緒にする相手】



年齢別で見ると、「友人・知人・恋人と」は20～29歳（38.5%）が最も高く、「家族と」は30～49歳の年代が37%台で高くなっている。（図Ⅱ3-12-2）

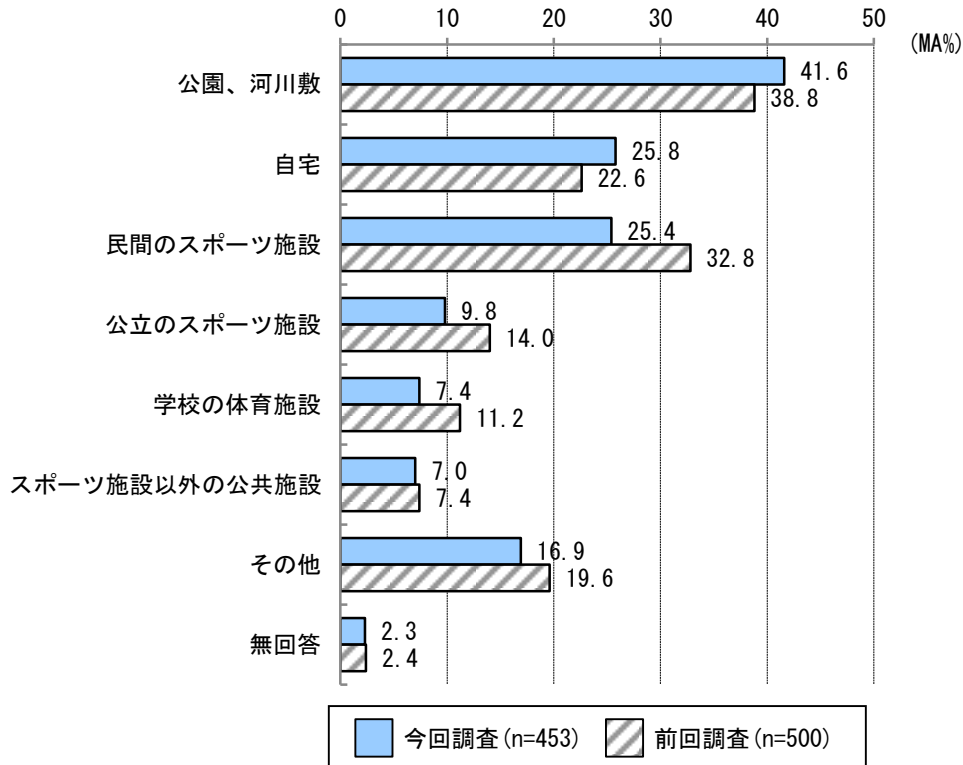
【図Ⅱ3-12-2 年齢別 運動やスポーツを一緒にする相手】



(13) 運動やスポーツをする場所

問20. ふだん、どこで運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ3-13 運動やスポーツをする場所】

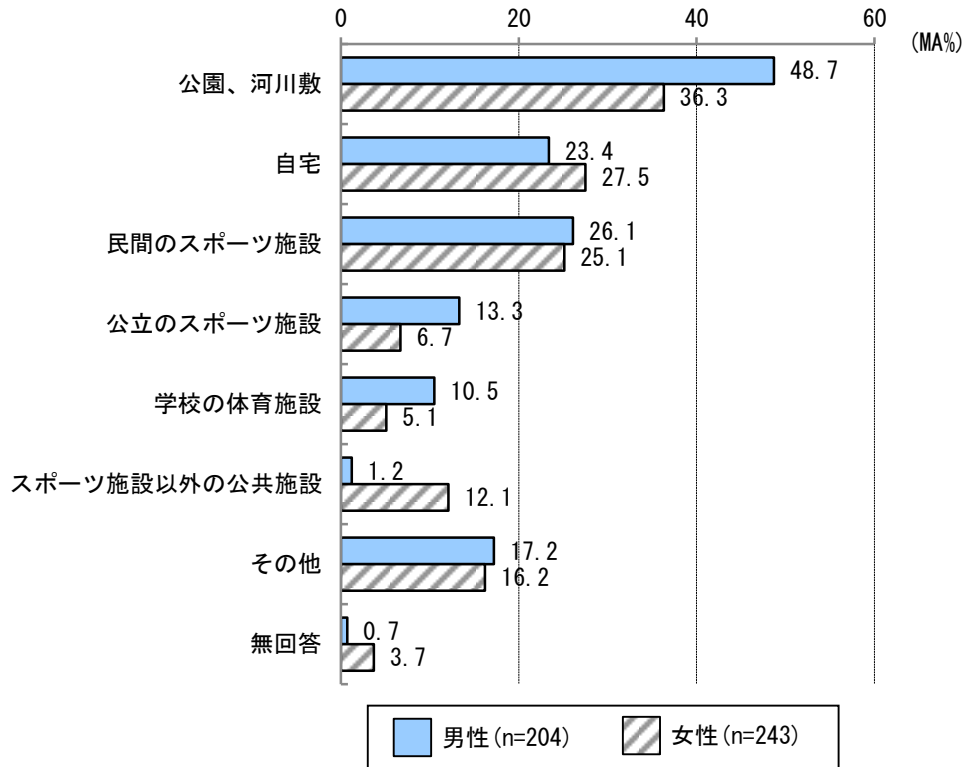


ふだんの運動やスポーツをする場所については、「公園、河川敷」が41.6%で最も多く、次いで「自宅」が25.8%、「民間のスポーツ施設」が25.4%となっている。

前回調査と比較すると、「民間のスポーツ施設」は前回より7.4ポイント低くなっている。  
(図Ⅱ3-13)

性別で見ると、「公園、河川敷」は女性（36.3%）より男性（48.7%）のほうが12.4ポイント高いが、「スポーツ施設以外の公共施設」は男性（1.2%）より女性（12.1%）のほうが10.9ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-13-1）

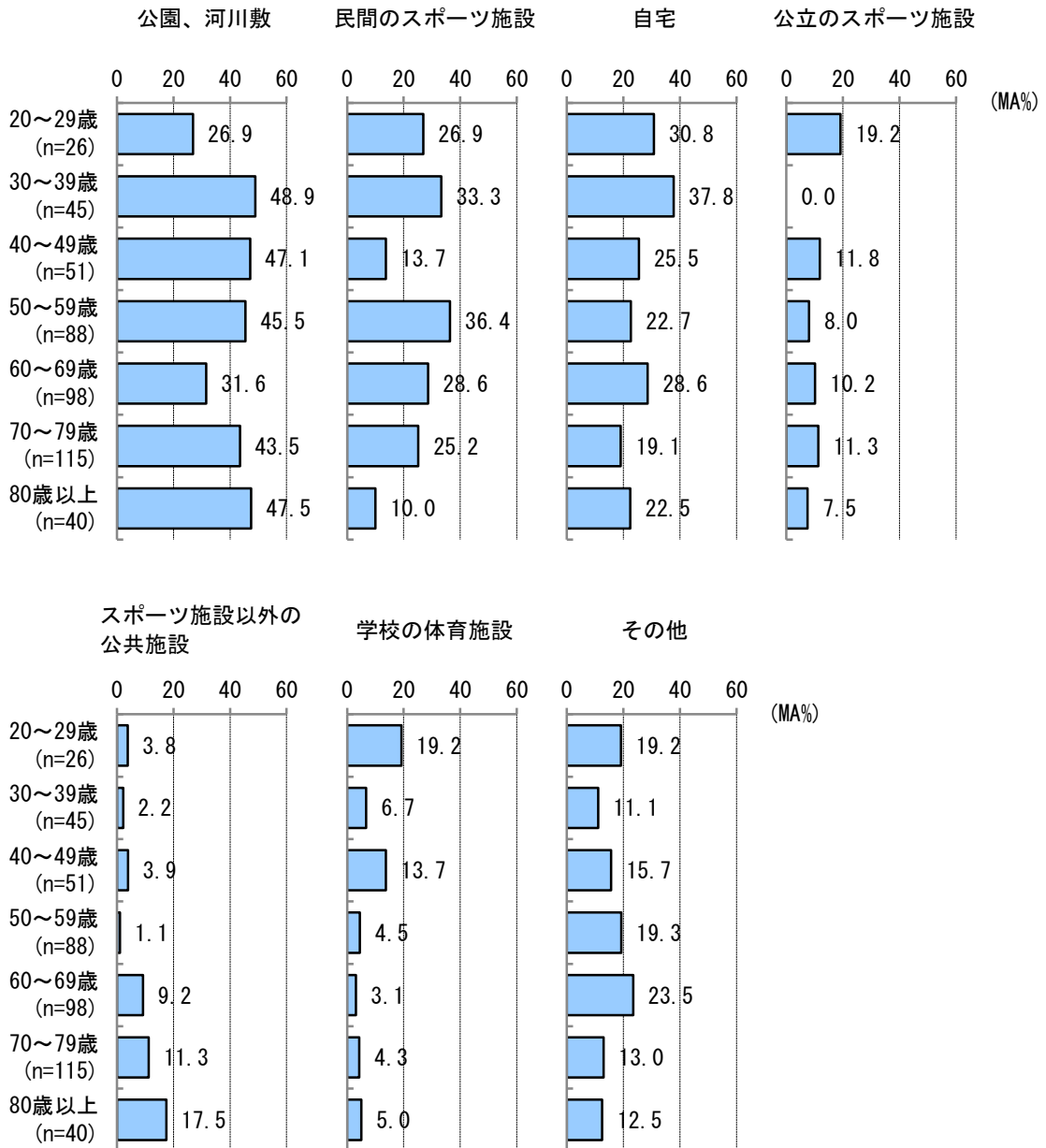
【図Ⅱ3-13-1 性別 運動やスポーツをする場所】





年齢別で見ると、20～29歳では「自宅」(30.8%)が最も多いが、30歳以上の年代では「公園、河川敷」が最も多くなっている。(図Ⅱ3-13-2)

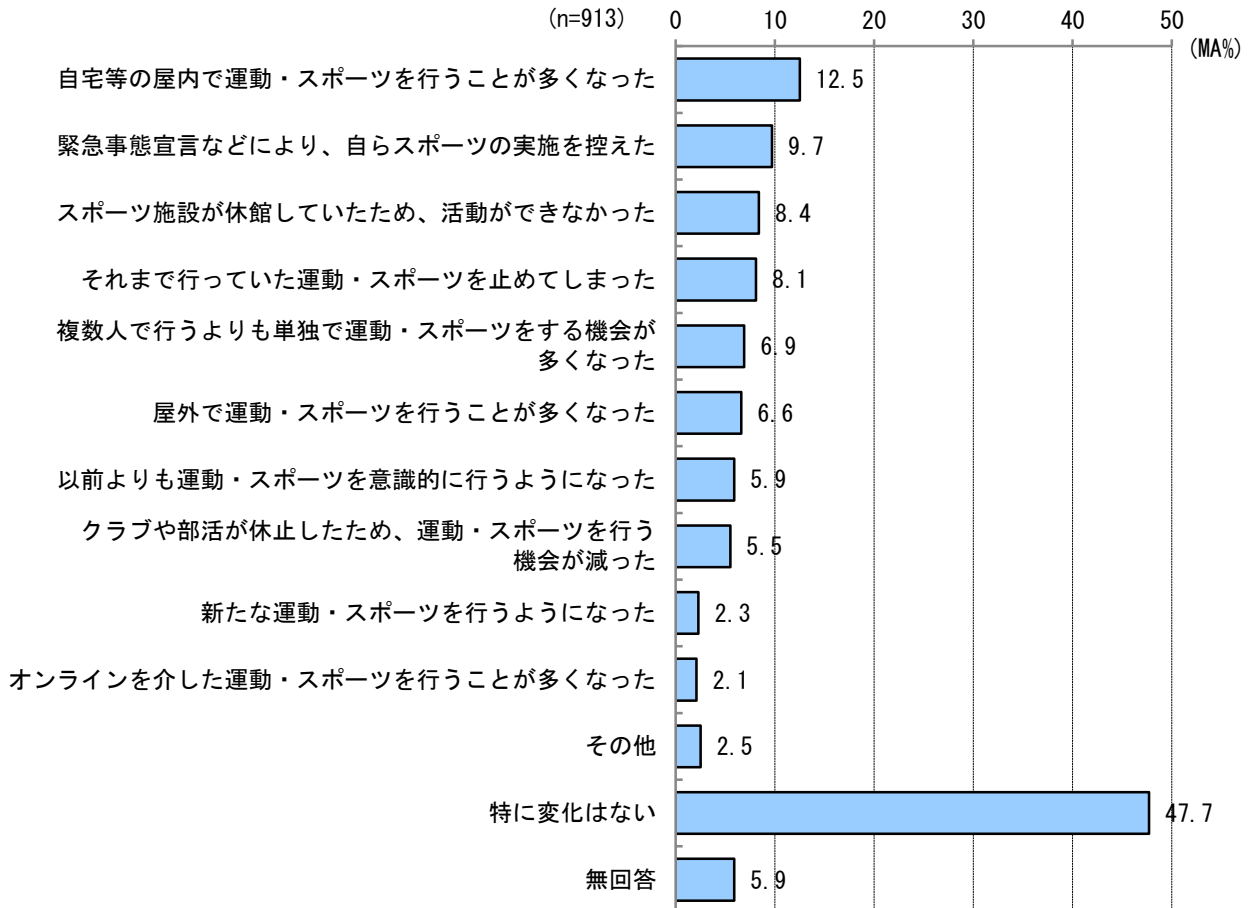
【図Ⅱ3-13-2 年齢別 運動やスポーツをする場所】



(14) 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化

問21. 新型コロナウイルスの感染拡大（2020年3月頃）以降において、あなたが運動・スポーツを行う環境には、どのような変化がありましたか。（〇はいくつでも）

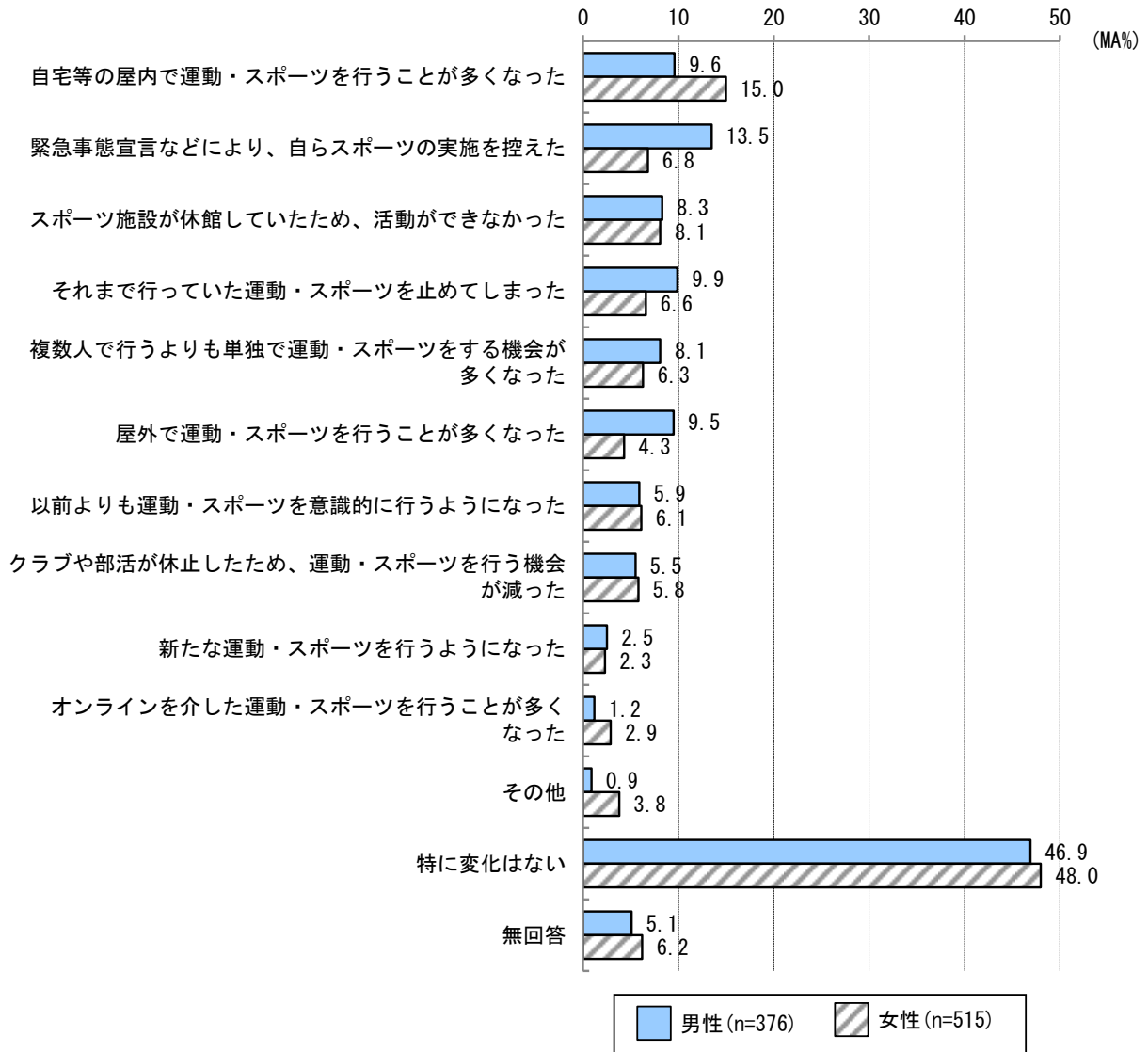
【図Ⅱ3-14 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化】



新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化については、「特に変化はない」が47.7%を占め最も多い。変化があった人では「自宅等の屋内で運動・スポーツを行うことが多くなった」が12.5%で最も多く、次いで「緊急事態宣言などにより、自らスポーツの実施を控えた」が9.7%、「スポーツ施設が休館していたため、活動ができなかった」が8.4%となっている。（図Ⅱ3-14）

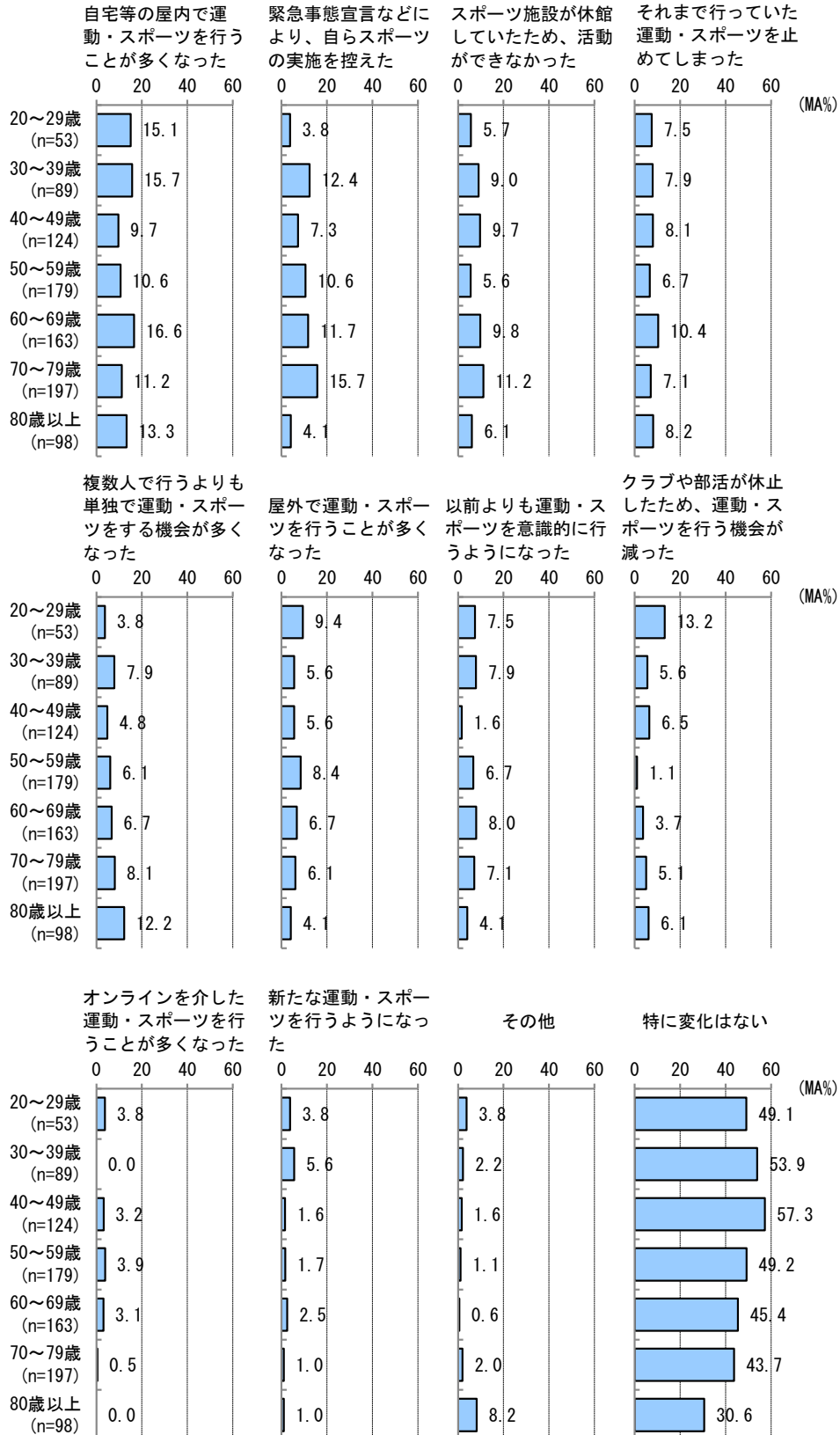
性別で見ると、「緊急事態宣言などにより、自らスポーツの実施を控えた」は女性（6.8%）より男性（13.5%）のほうが6.7ポイント高くなっている。（図Ⅱ3-14-1）

【図Ⅱ3-14-1 性別 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化】



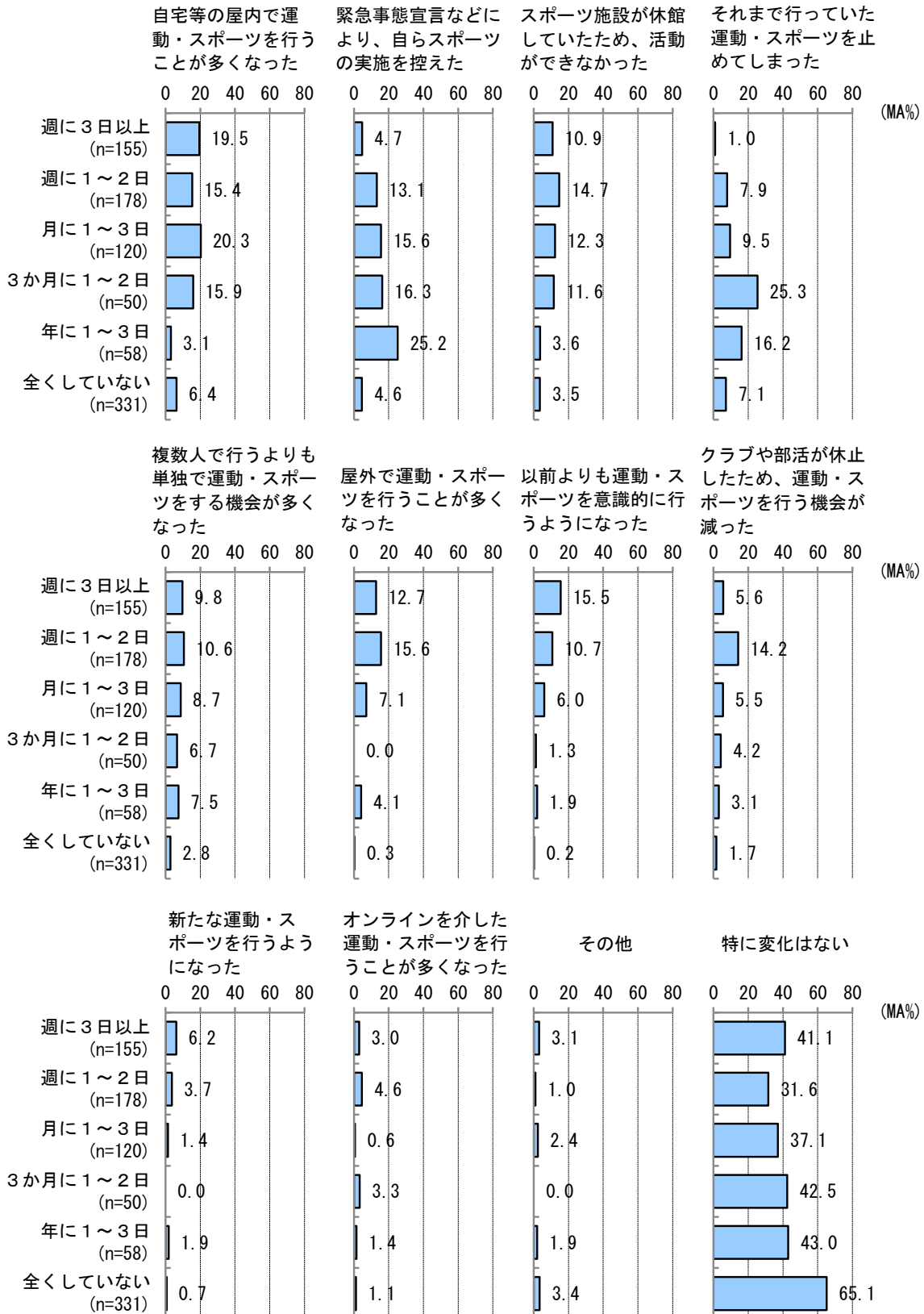
年齢別で見ると、「自宅等の屋内で運動・スポーツを行うことが多くなった」は60～69歳（16.6%）で最も高く、次いで30～39歳（15.7%）となっている。（図Ⅱ3-14-2）

【図Ⅱ3-14-2 年齢別 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化】



運動やスポーツの実施頻度別で見ると、「緊急事態宣言などにより、自らスポーツの実施を控えた」は実施頻度が少ない人ほど割合が高く、「それまで行っていた運動・スポーツを止めてしまった」では3か月に1～2日（25.3%）が最も高くなっている。（図Ⅱ3-14-3）

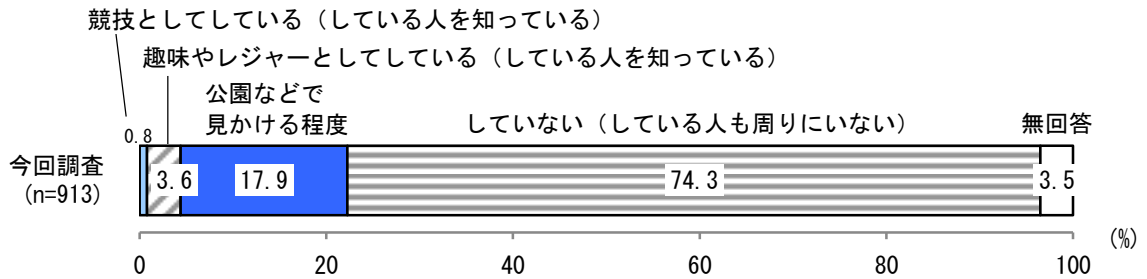
【図Ⅱ3-14-3 運動やスポーツの実施頻度別 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化】



(15) スケートボードの実施状況

問22. 東京2020オリンピック以降、アーバンスポーツの人気の高まり、その中でも新競技で金メダルを獲得したことでスケートボードの人気の沸騰しています。  
あなたは、スケートボードを現在していますか。又は周りにスケートボードをしている人はいますか。

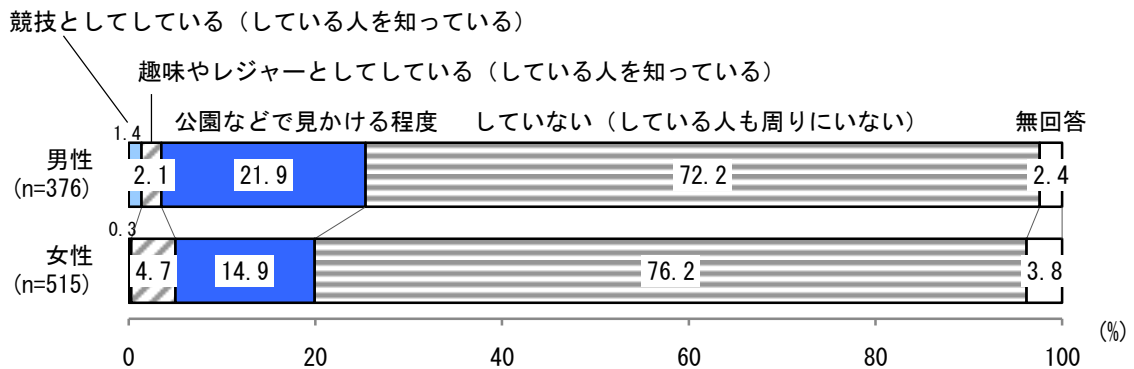
【図Ⅱ3-15 スケートボードの実施状況】



スケートボードの実施状況については、「していない (している人も周りにいない)」が74.3%で最も多く、次いで「公園などで見かける程度」が17.9%、「趣味やレジャーとしてしている (している人を知っている)」が3.6%となっている。(図Ⅱ3-15)

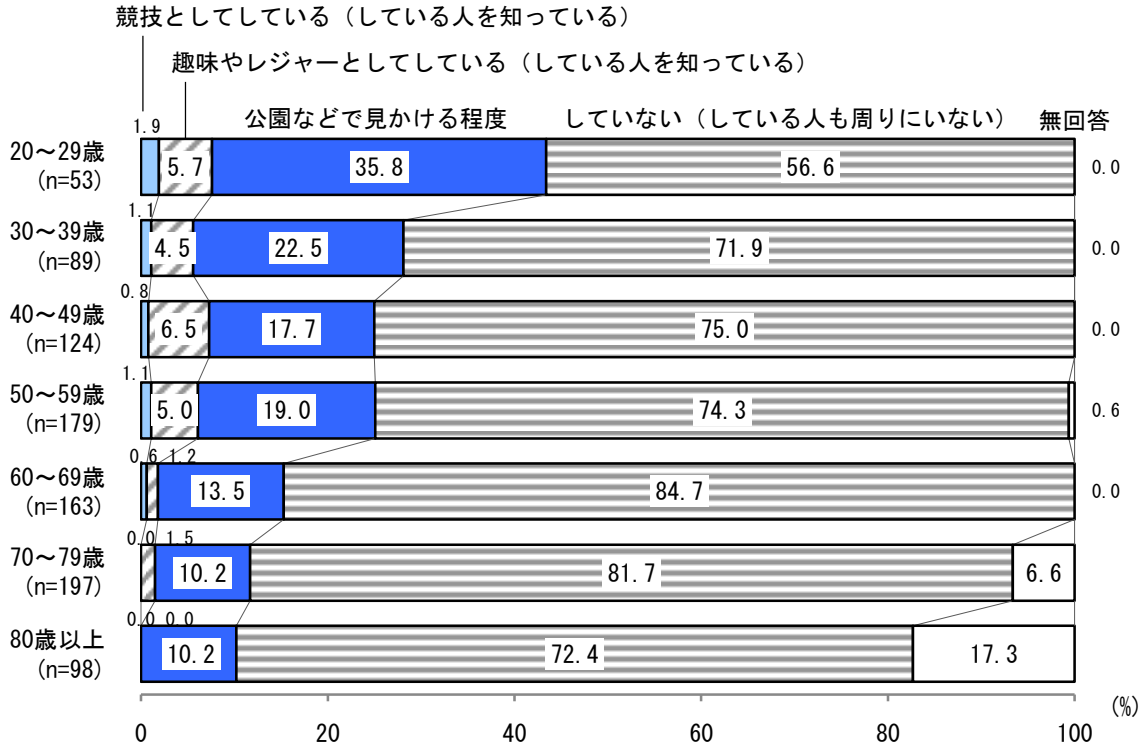
性別でみると、「公園などで見かける程度」は女性 (14.9%) より男性 (21.9%) のほうが7.0ポイント高くなっている。(図Ⅱ3-15-1)

【図Ⅱ3-15-1 性別 スケートボードの実施状況】



年齢別で見ると、「公園などで見かける程度」は若い年代ほど割合が高く、「していない（している人も周りにいない）」は60～79歳の年代で80%台と高くなっている。（図Ⅱ3-15-2）

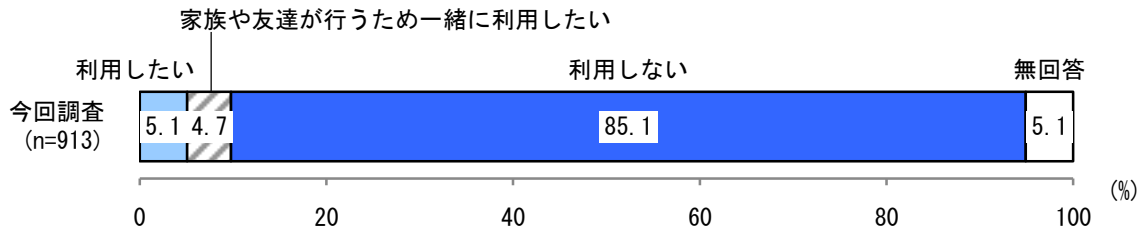
【図Ⅱ3-15-2 年齢別 スケートボードの実施状況】



(16) スケートボード場の利用意向

問23. 市内にスケートボード場ができれば利用したいですか。

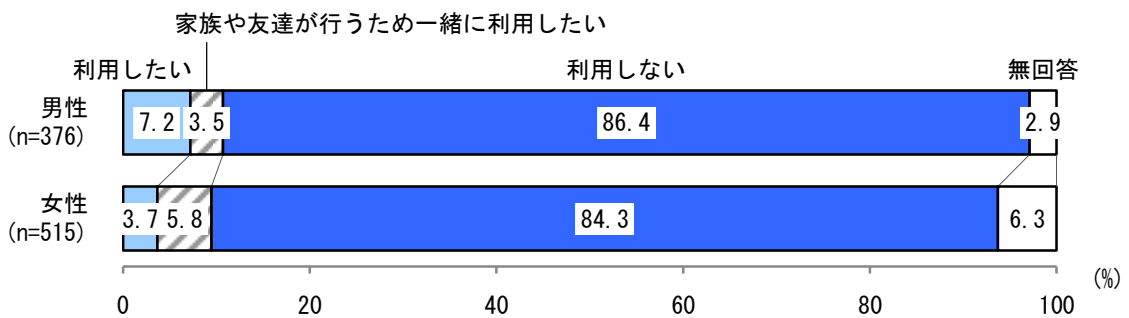
【図Ⅱ3-16 スケートボード場の利用意向】



スケートボード場の利用意向については、「利用しない」が85.1%で最も多く、次いで「利用したい」が5.1%、「家族や友達が行うため一緒に利用したい」が4.7%となっている。(図Ⅱ3-16)

性別でみると、「利用したい」は女性(3.7%)より男性(7.2%)のほうが3.5ポイント高くなっている。(図Ⅱ3-16-1)

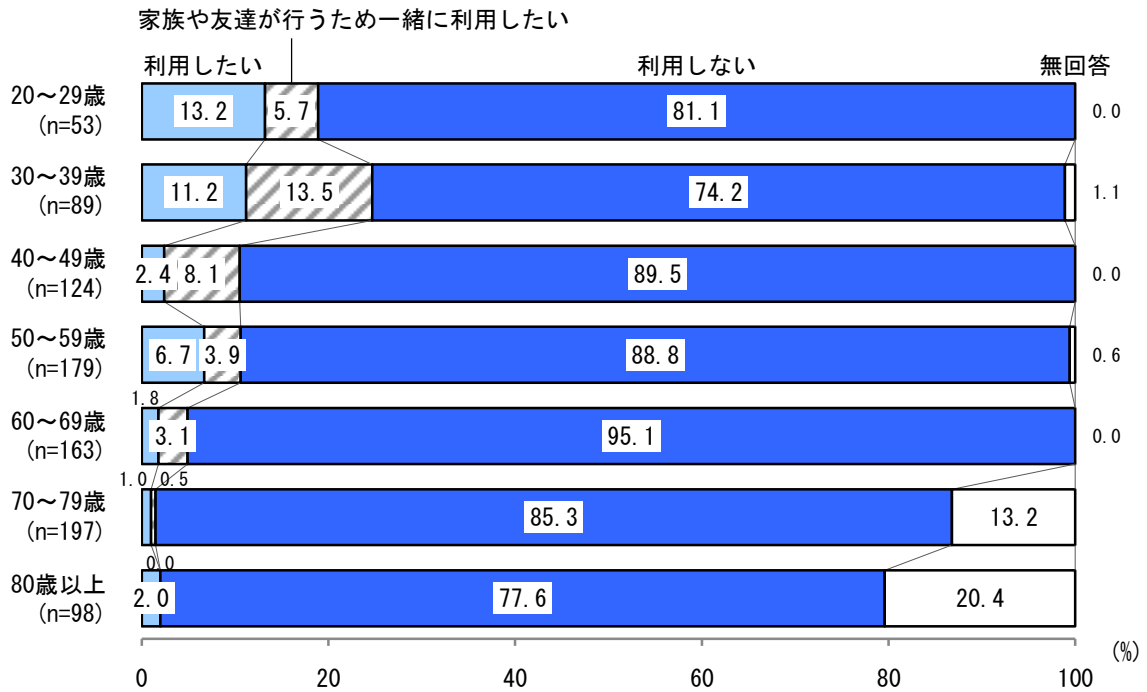
【図Ⅱ3-16-1 性別 スケートボード場の利用意向】





年齢別でみると、「利用したい」は20～29歳（13.2%）で最も高く、「家族や友達が行うため一緒に利用したい」は30～39歳（13.5%）で最も高くなっている。（図Ⅱ3-16-2）

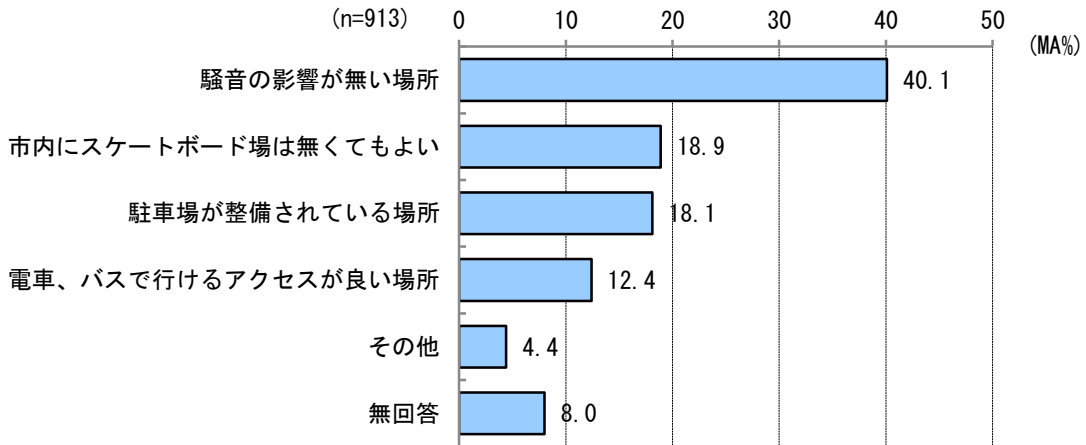
【図Ⅱ3-16-2 年齢別 スケートボード場の利用意向】



(17) スケートボード場の設置条件

問24. 市スケートボード場が市内のどのような場所にあればよいと思いますか。  
最も優先すべき事項を選んでください。(〇は一つ)

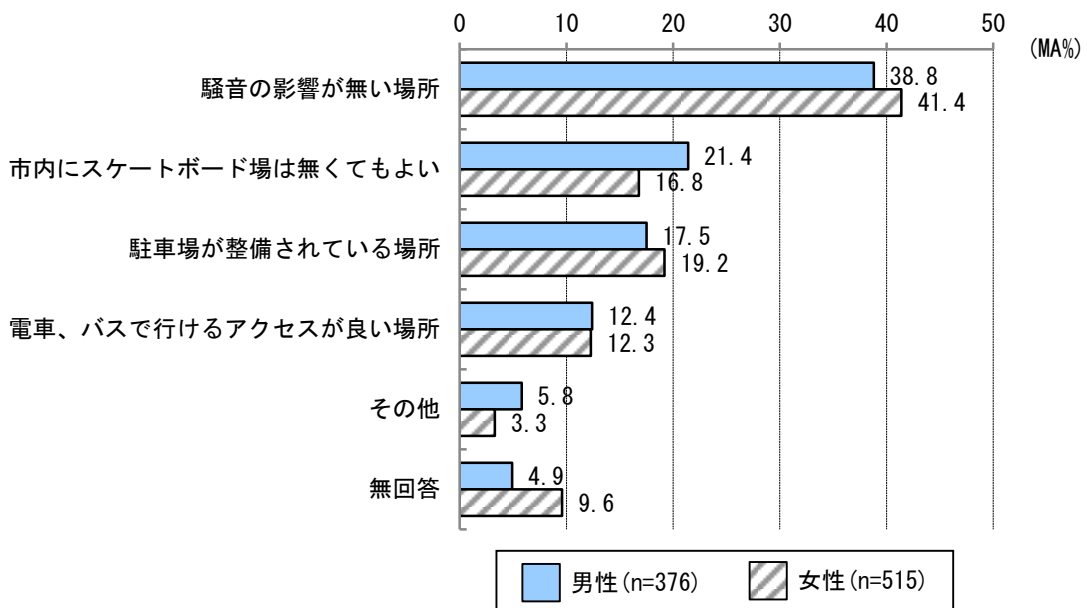
【図Ⅱ3-17 スケートボード場の設置条件】



スケートボード場の設置条件については、「騒音の影響が無い場所」が40.1%で最も多く、次いで「市内にスケートボード場は無くてもよい」が18.9%、「駐車場が整備されている場所」が18.1%となっている。(図Ⅱ3-17)

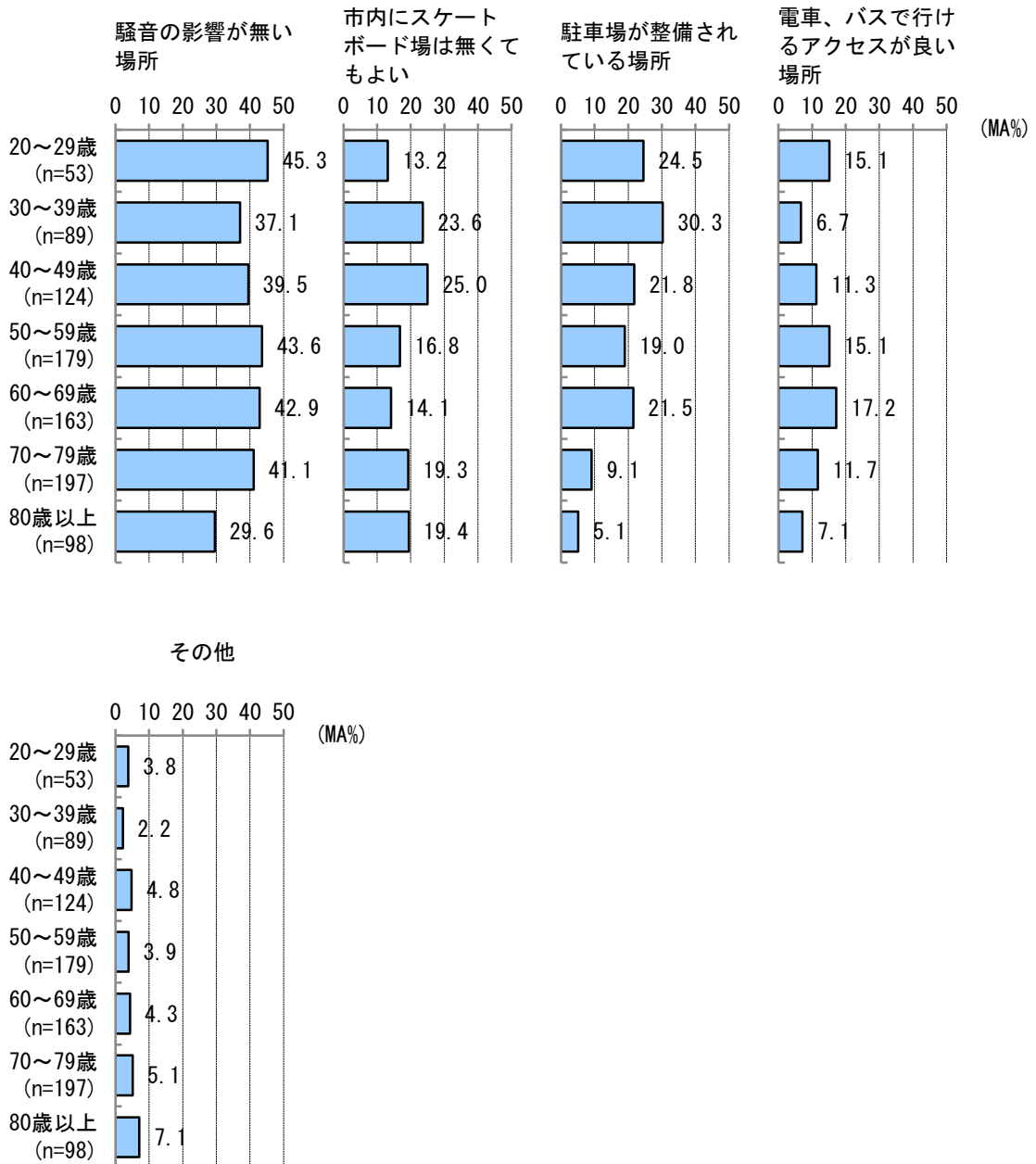
性別でみると、「市内にスケートボード場は無くてもよい」は女性(16.8%)より男性(21.4%)のほうが4.6ポイント高くなっている。(図Ⅱ3-17-1)

【図Ⅱ3-17-1 性別 スケートボード場の設置条件】



年齢別で見ると、「市内にスケートボード場は無くてもよい」は30～49歳の年代で20%を超えている。「駐車場が整備されている場所」は30～39歳（30.3%）で最も高く、「電車、バスで行けるアクセスが良い場所」は60～69歳（17.2%）で最も高くなっている。（図Ⅱ3-17-2）

【図Ⅱ3-17-2 年齢別 スケートボード場の設置条件】

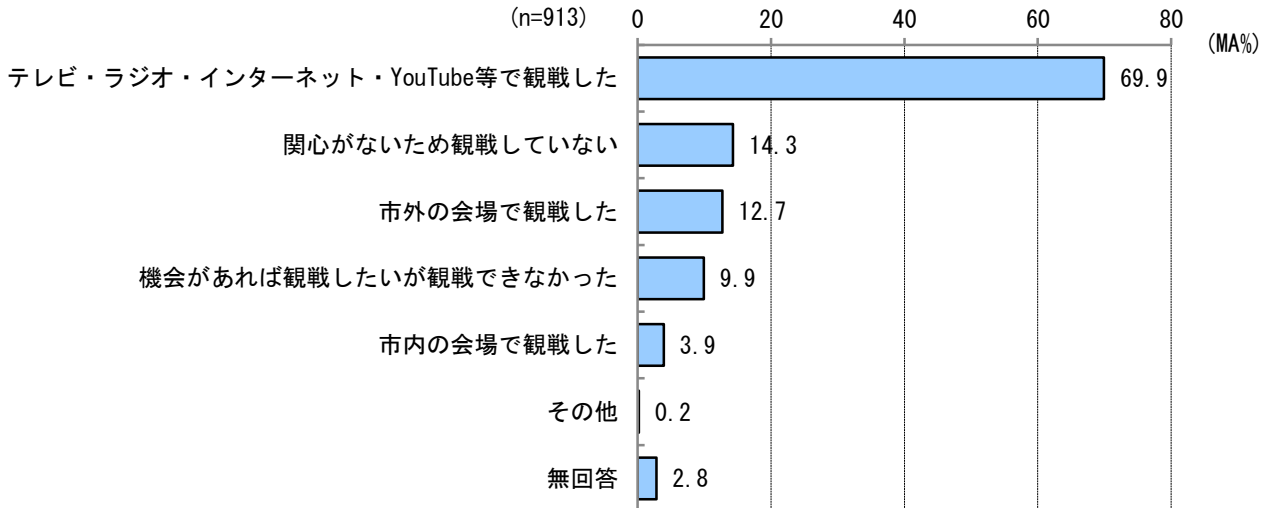


## 4 スポーツの観戦状況

### (1) 1年間のスポーツ観戦状況

問25. この1年間でスポーツを何らかの形で観る機会がありましたか。(〇はいくつでも)

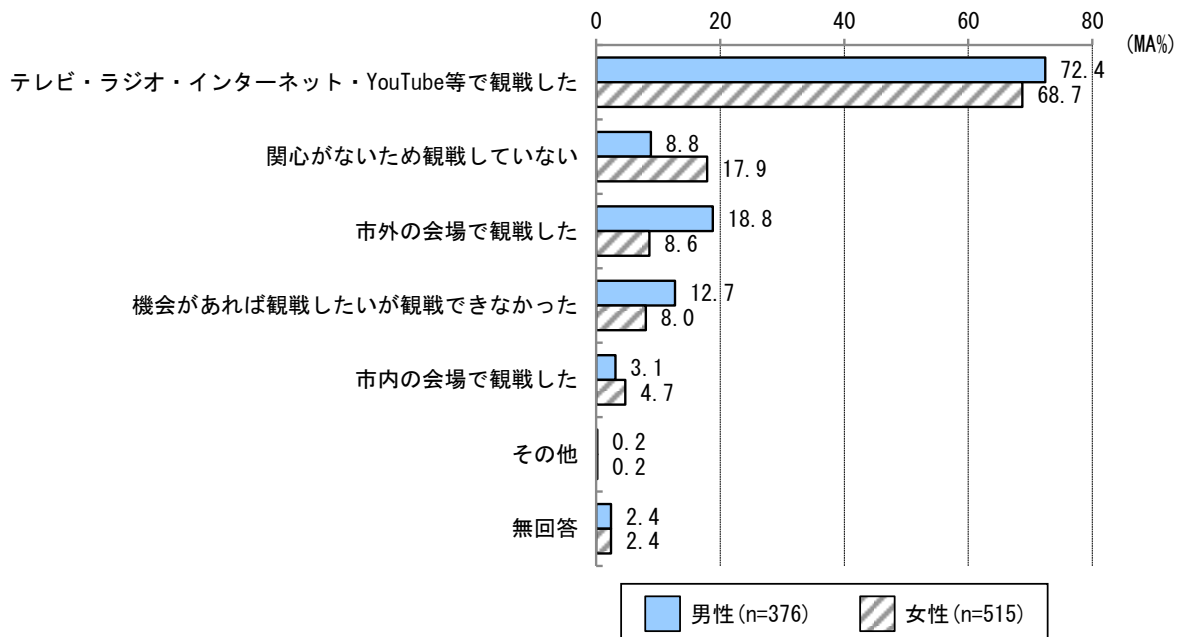
【図Ⅱ4-1 1年間のスポーツ観戦状況】



この1年間のスポーツの観戦状況については、「テレビ・ラジオ・インターネット・YouTube等で観戦した」が69.9%で最も多く、次いで「関心がないため観戦していない」が14.3%、「市外の会場で観戦した」が12.7%となっている。(図Ⅱ4-1)

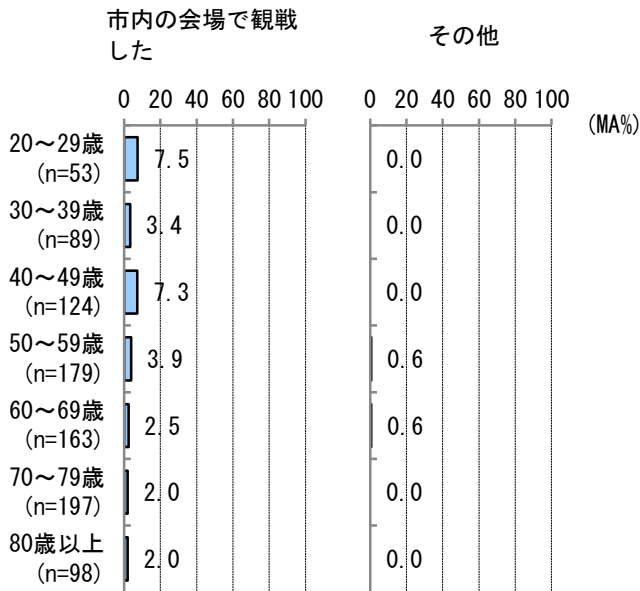
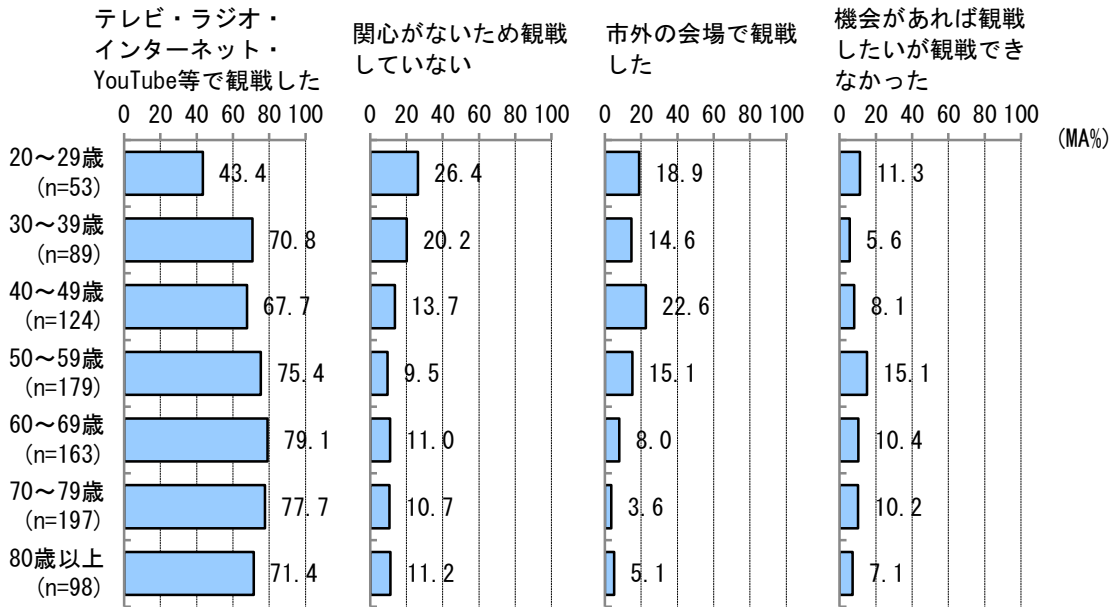
性別でみると、「市外の会場で観戦した」は女性(8.6%)より男性(18.8%)のほうが10.2ポイント高いが、「関心がないため観戦していない」は男性(8.8%)より女性(17.9%)のほうが9.1ポイント高くなっている。(図Ⅱ4-1-1)

【図Ⅱ4-1-1 性別 1年間のスポーツ観戦状況】



年齢別で見ると、「テレビ・ラジオ・インターネット・YouTube等で観戦した」は30歳以上の年代で70%前後を占めているが、20～29歳は43.4%と他の年代に比べて低くなっている。「関心がないため観戦していない」は20～29歳（26.4%）で最も高くなっている。（図II 4-1-2）

【図II 4-1-2 年齢別 1年間のスポーツ観戦状況】

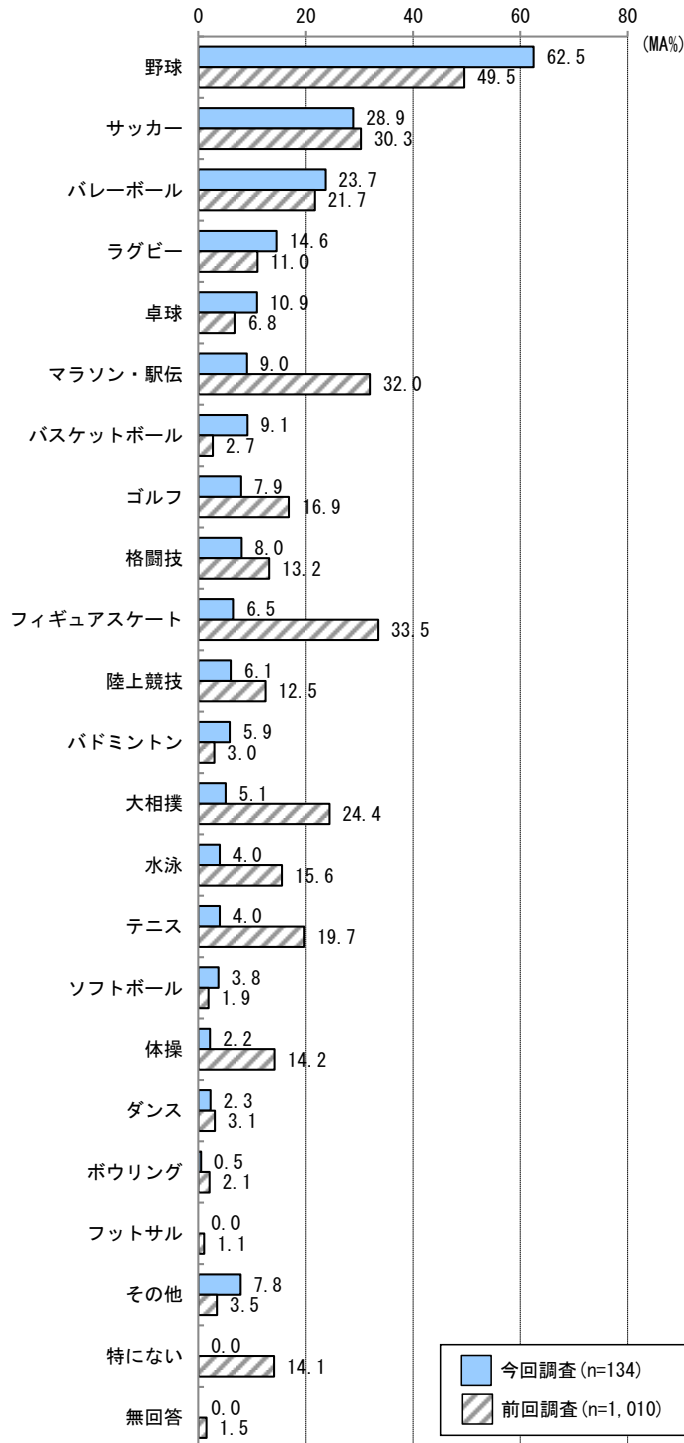


(2) 直接会場で観戦したスポーツ

【問25. で「1. 市内の会場で観戦した」または「2. 市外の会場で観戦した」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問26. 観戦したスポーツをあてはまるものを全て教えてください。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ4-2 直接会場で観戦したスポーツ】



直接会場で観戦したスポーツについては、「野球」が62.5%で最も多く、次いで「サッカー」が28.9%、「バレーボール」が23.7%となっている。

前回調査と比較すると、「フィギュアスケート」(6.5%)は27.0ポイント、「マラソン・駅伝」(9.0%)は23.0ポイント、「大相撲」(5.1%)は19.3ポイント、それぞれ前回より低くなっている。(図II4-2)

性別で見ると、男女とも「野球」が最も多く、女性(57.0%)より男性(66.4%)のほうが9.4ポイント高くなっている。次いで男性は「サッカー」(33.8%)、女性は「バレーボール」(32.6%)が続いている。(表II4-2-1)

【表II4-2-1 性別 直接会場で観戦したスポーツ(上位5項目)】

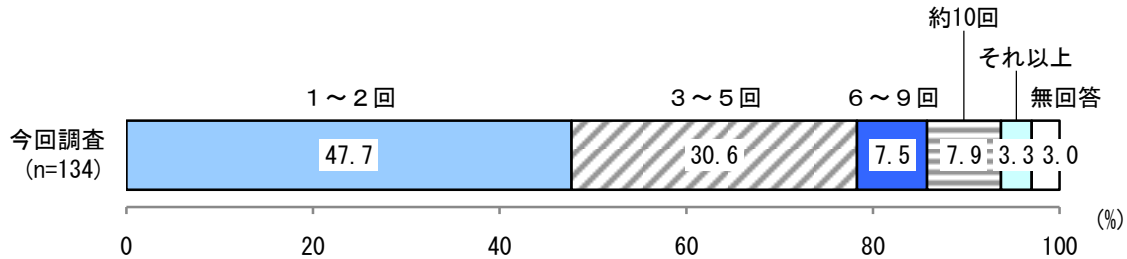
(単位:MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=74)	野球 66.4	サッカー 33.8	ラグビー 19.4	バレーボール 17.0	格闘技 12.3
女性 (n=59)	野球 57.0	バレーボール 32.6	サッカー 23.3	バスケットボール 17.0	フィギュアスケート 11.0

### (3) 1年間で直接観戦した回数

【問26で「1.」～「21.」のいずれかのスポーツを回答した方にうかがいます。】  
 問26-1. 観戦に行った回数はこの1年間でどのくらいですか。(〇は1つ)

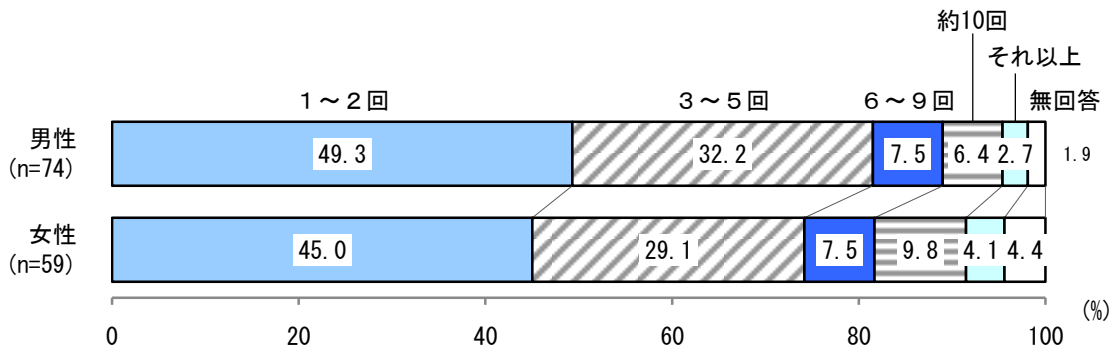
【図II 4-3 1年間で直接観戦した回数】



この1年間で直接観戦した回数については、「1～2回」が47.7%で最も多く、次いで「3～5回」が30.6%、「約10回」が7.9%となっている。(図II 4-3)

性別でみると、「1～2回」は女性(45.0%)より男性(49.3%)のほうが4.3ポイント高くなっている。(図II 4-3-1)

【図II 4-3-1 性別 1年間で直接観戦した回数】

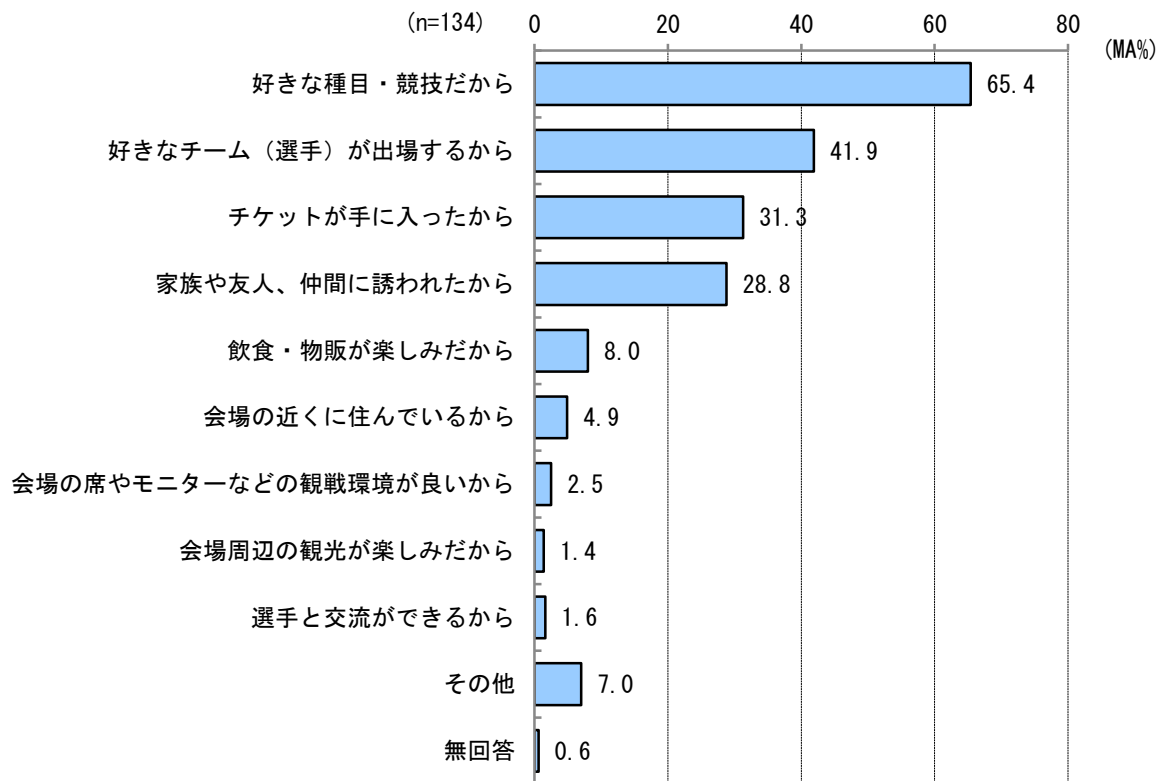




(4) 観戦に行った理由

問26-2. 観戦に行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

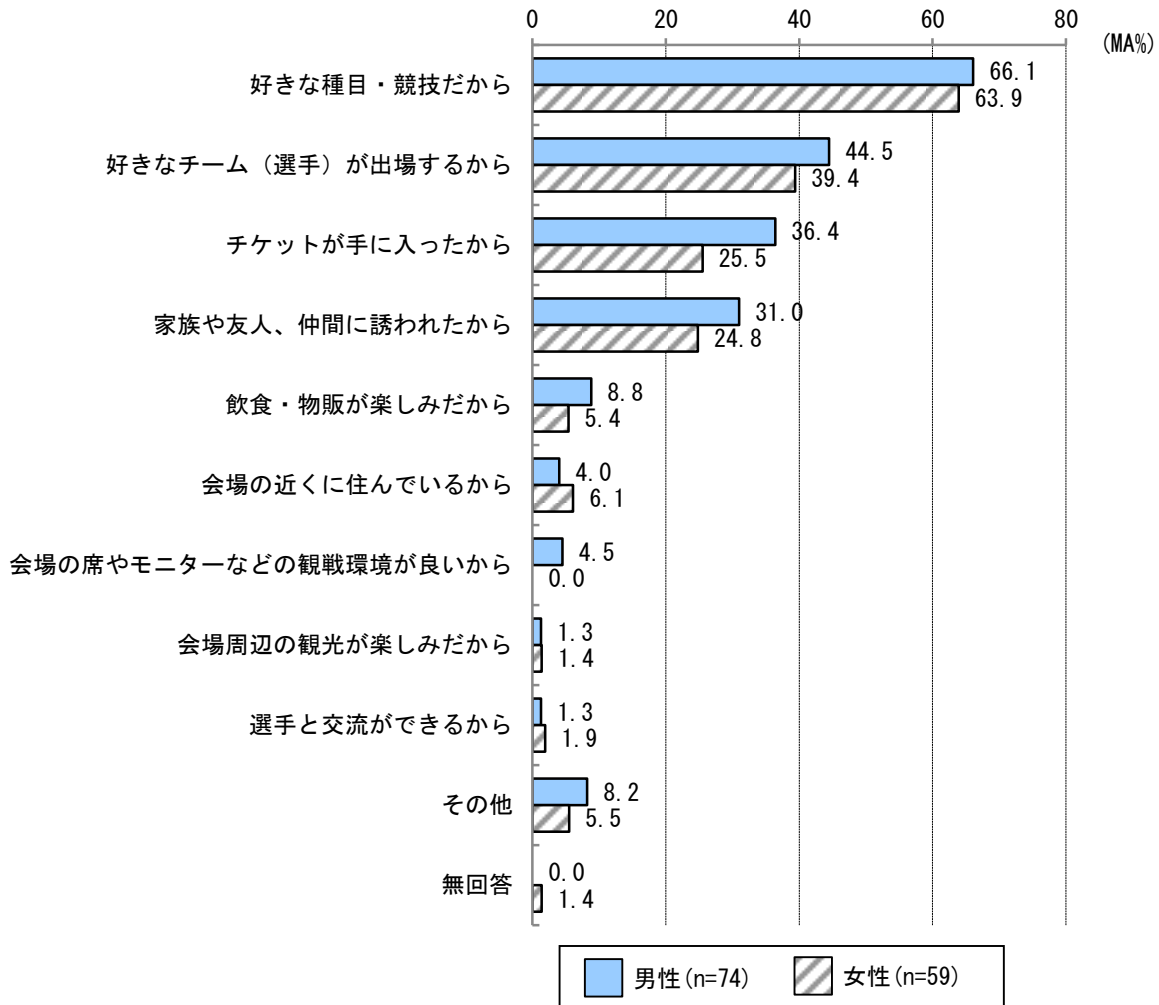
【図Ⅱ4-4 観戦に行った理由】



観戦に行った理由については、「好きな種目・競技だから」が65.4%で最も多く、次いで「好きなチーム(選手)が出場するから」が41.9%、「チケットが手に入ったから」が31.3%となっている。(図Ⅱ4-4)

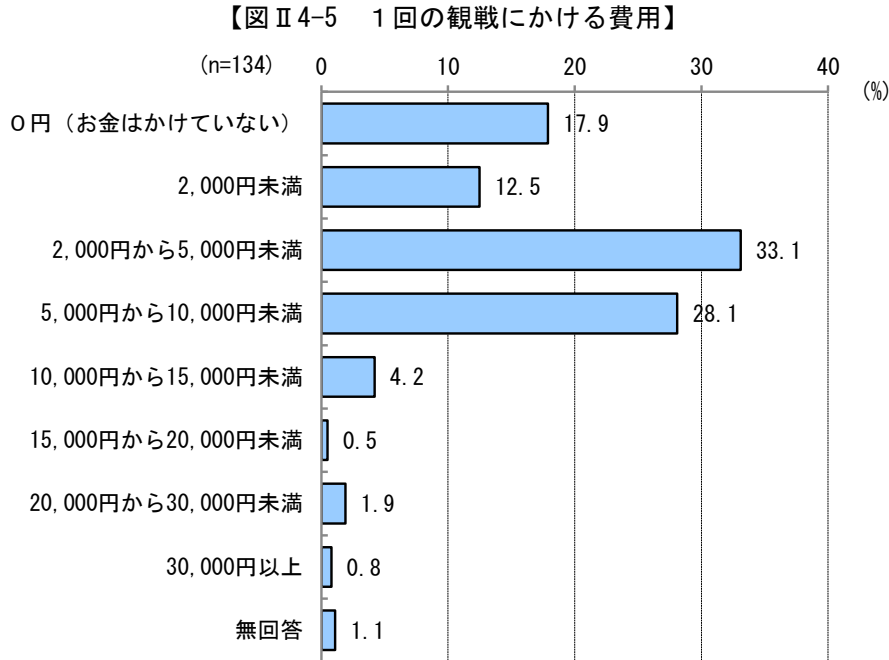
性別でみると、「チケットが手に入ったから」女性（25.5%）より男性（36.4%）のほうが10.9ポイント高くなっている。（図Ⅱ4-4-1）

【図Ⅱ4-4-1 性別 観戦に行った理由】



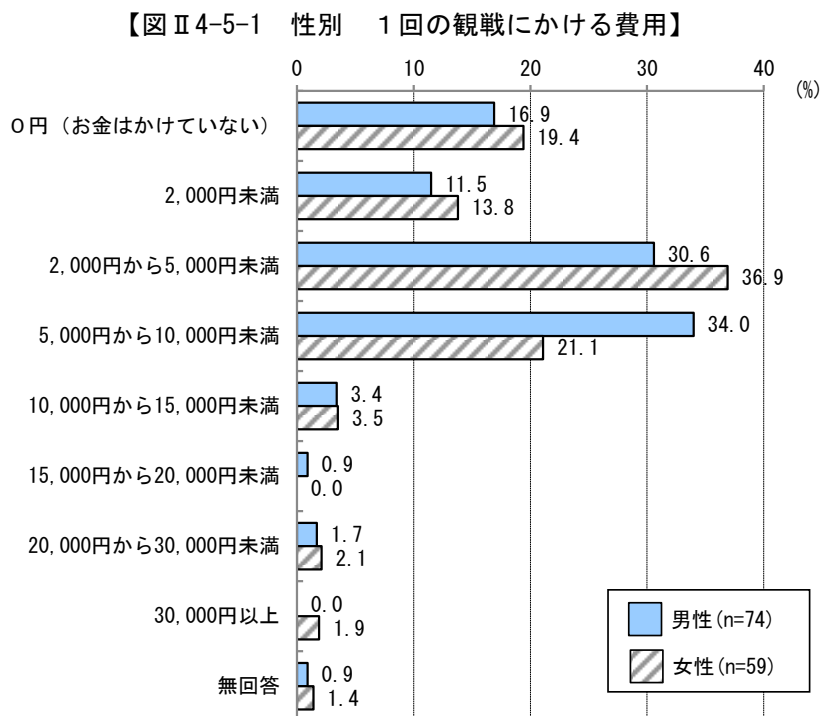
(5) 1回の観戦にかかる費用

問26-3. 1回の観戦にかかる費用はいくらくらいですか。(チケット代、観戦グッズ購入費等。交通費は除く。) (○は1つ)



観戦にかかる1回あたりの費用は、「2,000円から5,000円未満」が33.1%で最も多く、次いで「5,000円から10,000円未満」が28.1%、「0円 (お金はかけていない)」が17.9%となっている。(図Ⅱ4-5)

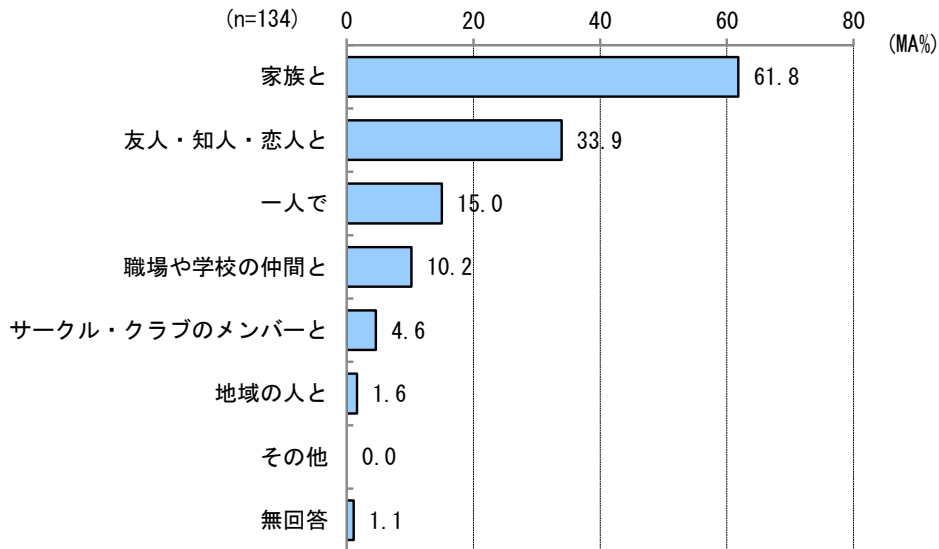
性別で見ると、「5,000円から10,000円未満」は女性(21.1%)より男性(34.0%)のほうが12.9ポイント高くなっている。(図Ⅱ4-5-1)



(6) 観戦と一緒にいく相手

問26-4. 観戦には、誰と行くことが多かったですか。(〇はいくつでも)

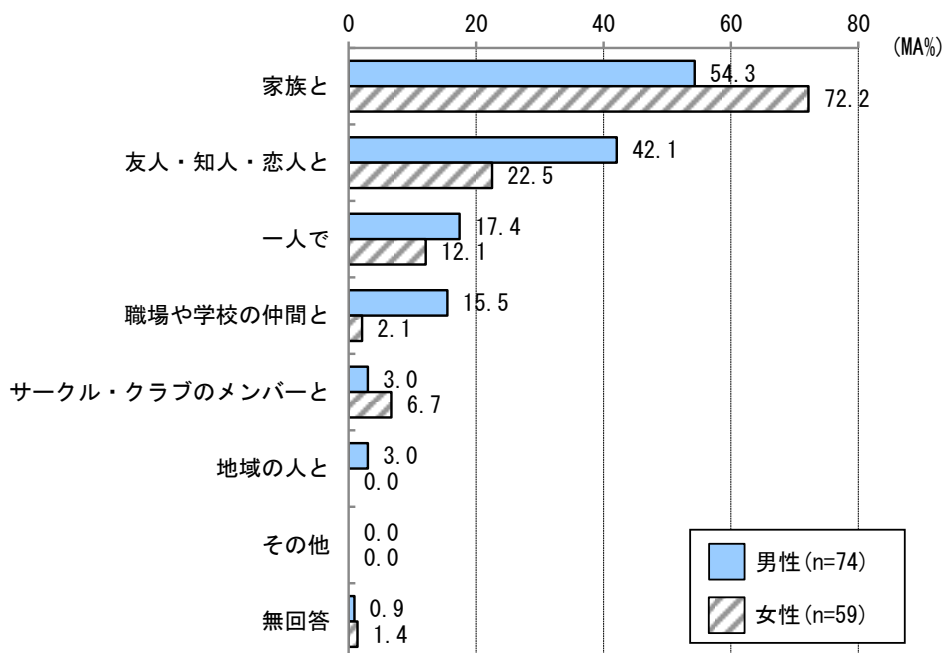
【図Ⅱ4-6 観戦と一緒にいく相手】



観戦と一緒にいく主な相手は、「家族と」が61.8%で最も多く、次いで「友人・知人・恋人と」が33.9%、「一人で」が15.0%となっている。(図Ⅱ4-6)

性別で見ると、「家族と」は男性(54.3%)より女性(72.2%)のほうが17.9ポイント高いが、「友人・知人・恋人と」は女性(22.5%)より男性(42.1%)のほうが19.6ポイント、「職場や学校の仲間と」も女性(2.1%)より男性(15.5%)のほうが13.4ポイント、それぞれ高くなっている。(図Ⅱ4-6-1)

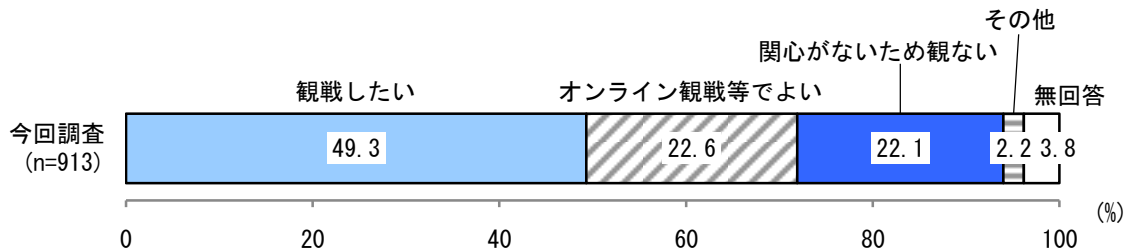
【図Ⅱ4-6-1 性別 観戦と一緒にいく相手】



(7) 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向

問27. 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたら、プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツについて、開催会場や間近で直接観戦したいですか。(○は1つ)

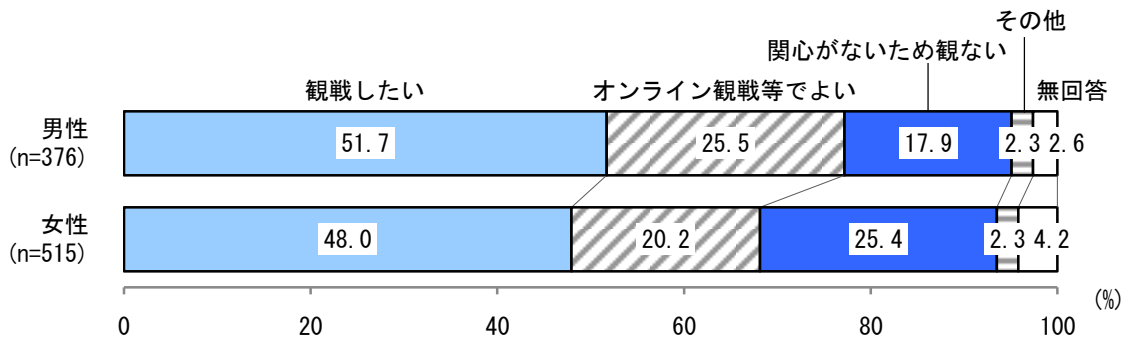
【図Ⅱ4-7 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向】



新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向については、「観戦したい」が49.3%で最も多く、次いで「オンライン観戦等でよい」が22.6%、「関心がないため観ない」が22.1%となっている。(図Ⅱ4-7)

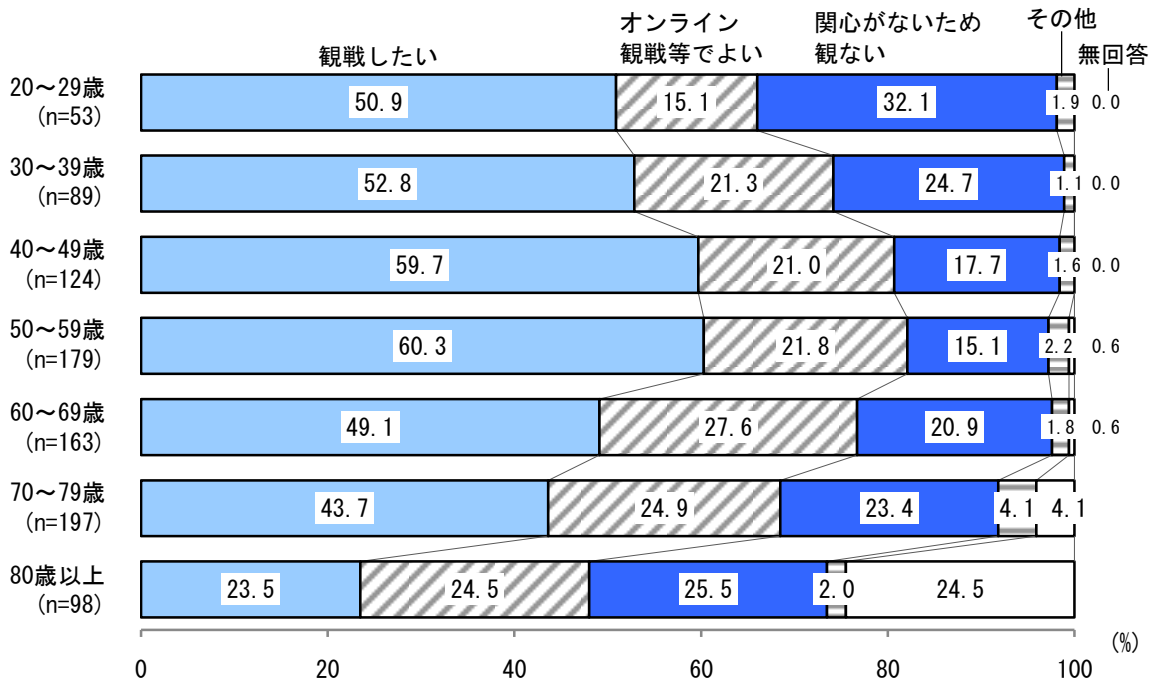
性別でみると、「関心がないため観ない」は男性(17.9%)より女性(25.4%)のほうが7.5ポイント高くなっている。(図Ⅱ4-7-1)

【図Ⅱ4-7-1 性別 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向】



年齢別で見ると、「観戦したい」は50～59歳（60.3%）が最も高く、次いで40～49歳（59.7%）となっている。一方、「関心がないため観ない」は20～29歳（32.1%）で最も高くなっている。（図Ⅱ4-7-2）

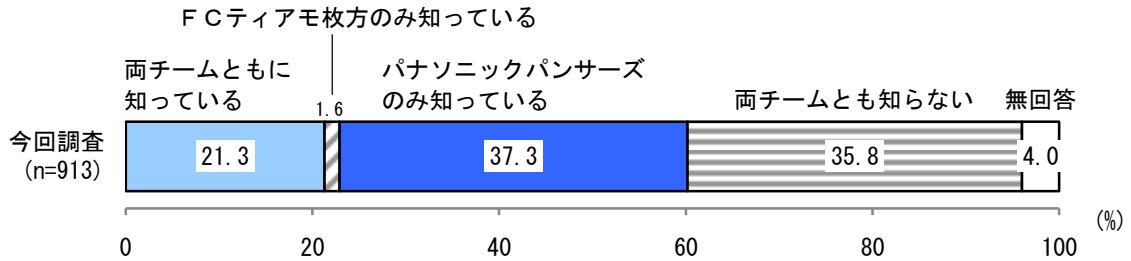
【図Ⅱ4-7-2 年齢別 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向】



(8) 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度

問28. 枚方市をホームタウンとして活動している、「FCティアモ枚方」(サッカー)、「パナソニックパンサーズ」(バレーボール)を知っていますか。(○は1つ)

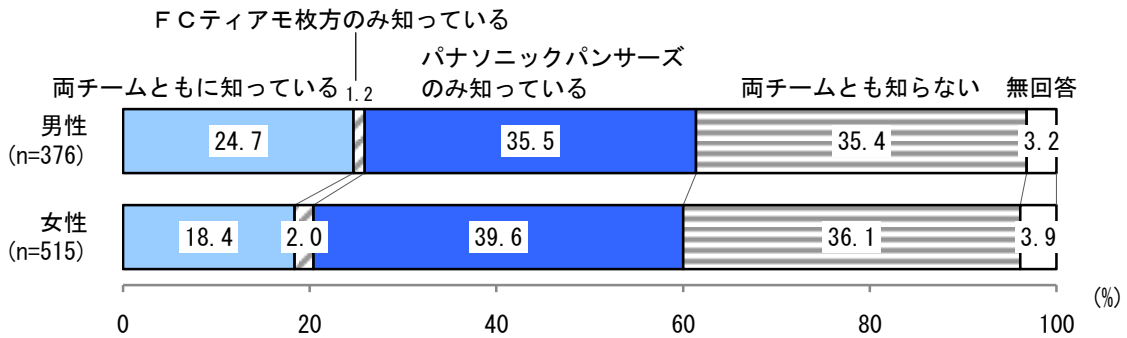
【図Ⅱ4-8 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度】



枚方市をホームタウンに活動している「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度については、「パナソニックパンサーズのみ知っている」が37.3%で最も多く、次いで「両チームとも知らない」が35.8%、「両チームともに知っている」が21.3%となっている。(図Ⅱ4-8)

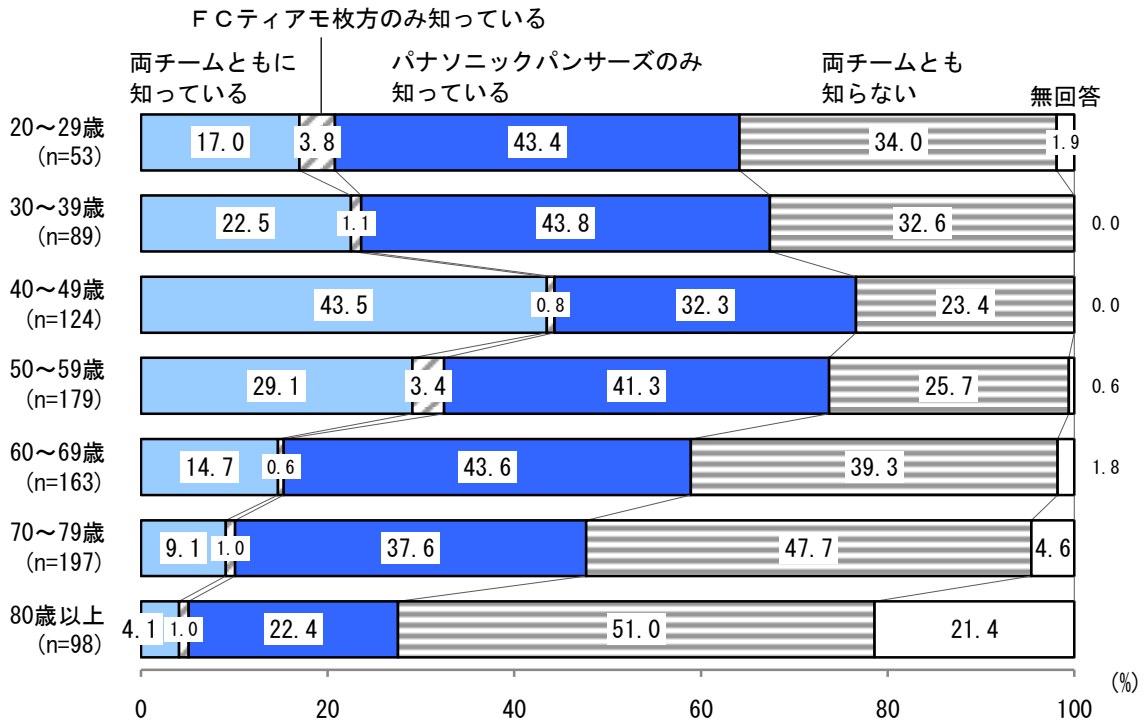
性別でみると、「両チームともに知っている」は女性(18.4%)より男性(24.7%)のほうが6.3ポイント高くなっている。(図Ⅱ4-8-1)

【図Ⅱ4-8-1 性別 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度】



年齢別で見ると、「両チームとも知っている」は40～49歳（43.5%）が最も高いが、「両チームとも知らない」は80歳以上（51.0%）が半数を占め最も高くなっている。（図Ⅱ4-8-2）

【図Ⅱ4-8-2 年齢別 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度】

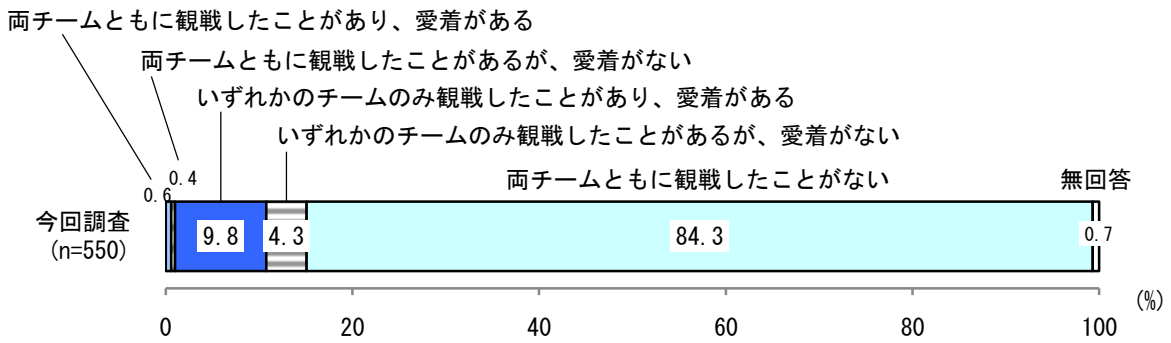




(9) 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験と愛着度

【問28で「1.」～「3.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】  
 問28-1. 「FCティアモ枚方」又は「パナソニックパンサーズ」の試合を観戦したことがありますか。また、観戦したチームを応援し、愛着がありますか。(○は1つ)

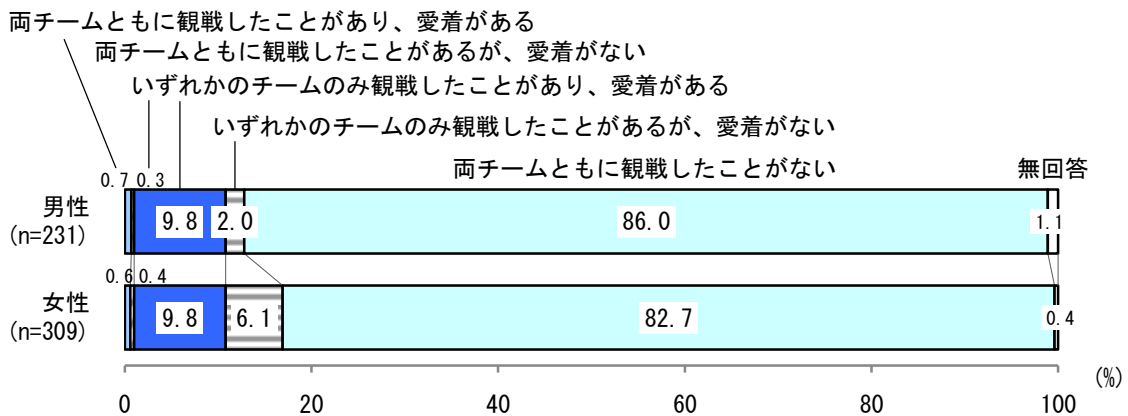
【図Ⅱ4-9 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験及び愛着度】



「FCティアモ枚方」や「パナソニックパンサーズ」を知っていると回答した人に、試合観戦経験及び愛着度をたずねると、「両チームともに観戦したことがない」が84.3%で最も多く、次いで「いずれかのチームのみ観戦したことがあり、愛着がある」が9.8%、「いずれかのチームのみ観戦したことがあるが、愛着がない」が4.3%となっている。『観戦したことがある』（「両チームともに観戦したことがあり、愛着がある」と「両チームともに観戦したことがあるが、愛着がない」、「いずれかのチームのみ観戦したことがあり、愛着がある」、「いずれかのチームのみ観戦したことがあるが、愛着がない」をあわせた割合）は15.1%で、一方、『愛着がある』（「両チームともに観戦したことがあり、愛着がある」と「いずれかのチームのみ観戦したことがあり、愛着がある」をあわせた割合）は10.4%となっている。(図Ⅱ4-9)

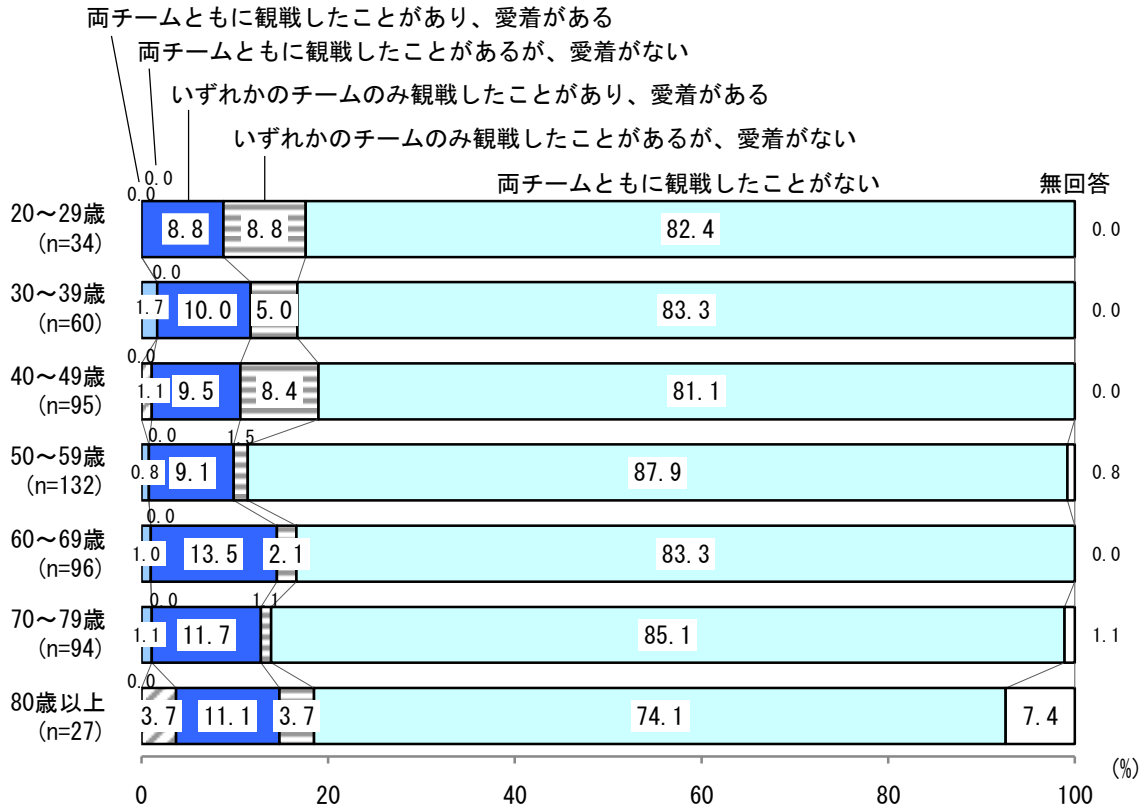
性別でみると、『観戦したことがある』は男性(12.8%)より女性(16.9%)のほうが4.1ポイント高くなっている。(図Ⅱ4-9-1)

【図Ⅱ4-9-1 性別 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験及び愛着度】



年齢別でみると、『観戦したことがある』は40～49歳（19.0%）が最も高く、『愛着がある』は60～69歳（14.5%）が最も高くなっている。（図Ⅱ4-9-2）

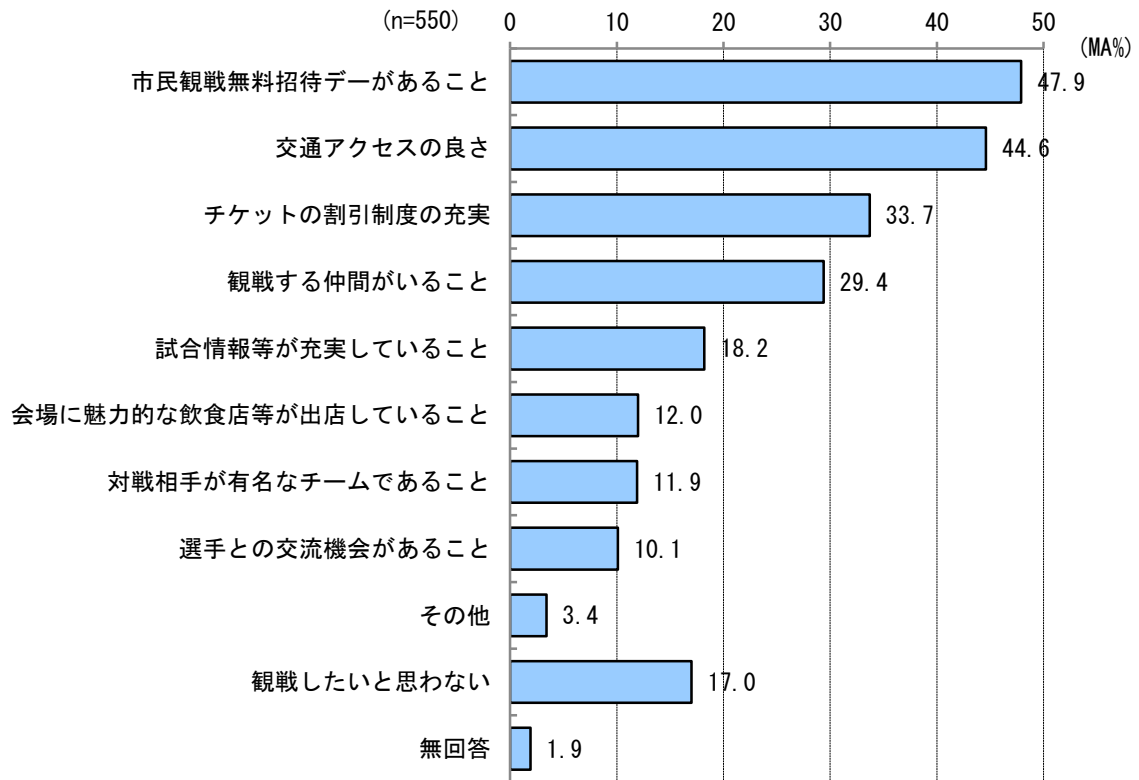
【図Ⅱ4-9-2 年齢別 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験及び愛着度】



(10) ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件

問28-2. どういった環境や機会が整えば、ホームタウンチームの試合を観戦したいと思いますか。(〇はいくつでも)

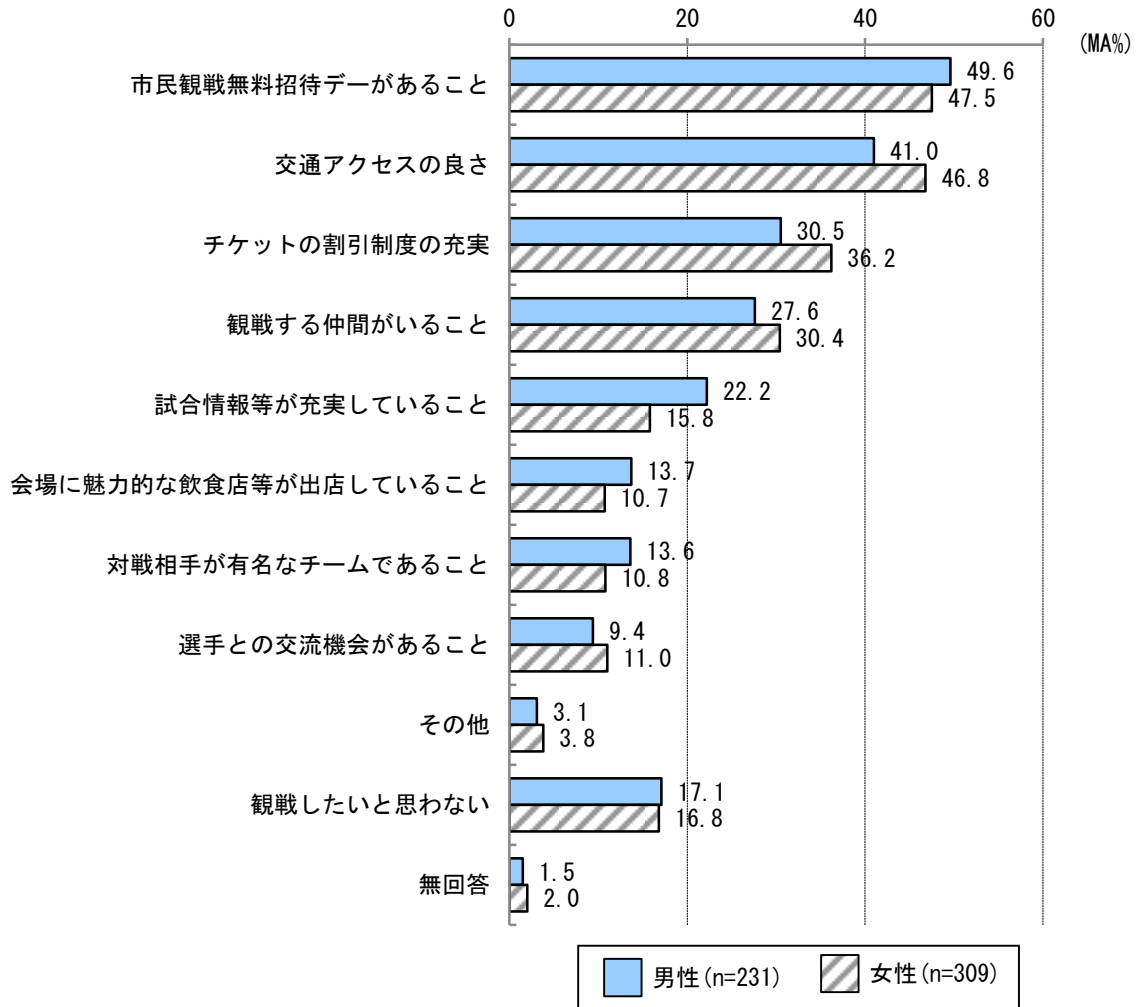
【図Ⅱ4-10 ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件】



ホームタウンチームの試合を観戦したいと思える条件については、「市民観戦無料招待デーがあること」が47.9%で最も多く、次いで「交通アクセスの良さ」が44.6%、「チケットの割引制度の充実」が33.7%となっている。(図Ⅱ4-10)

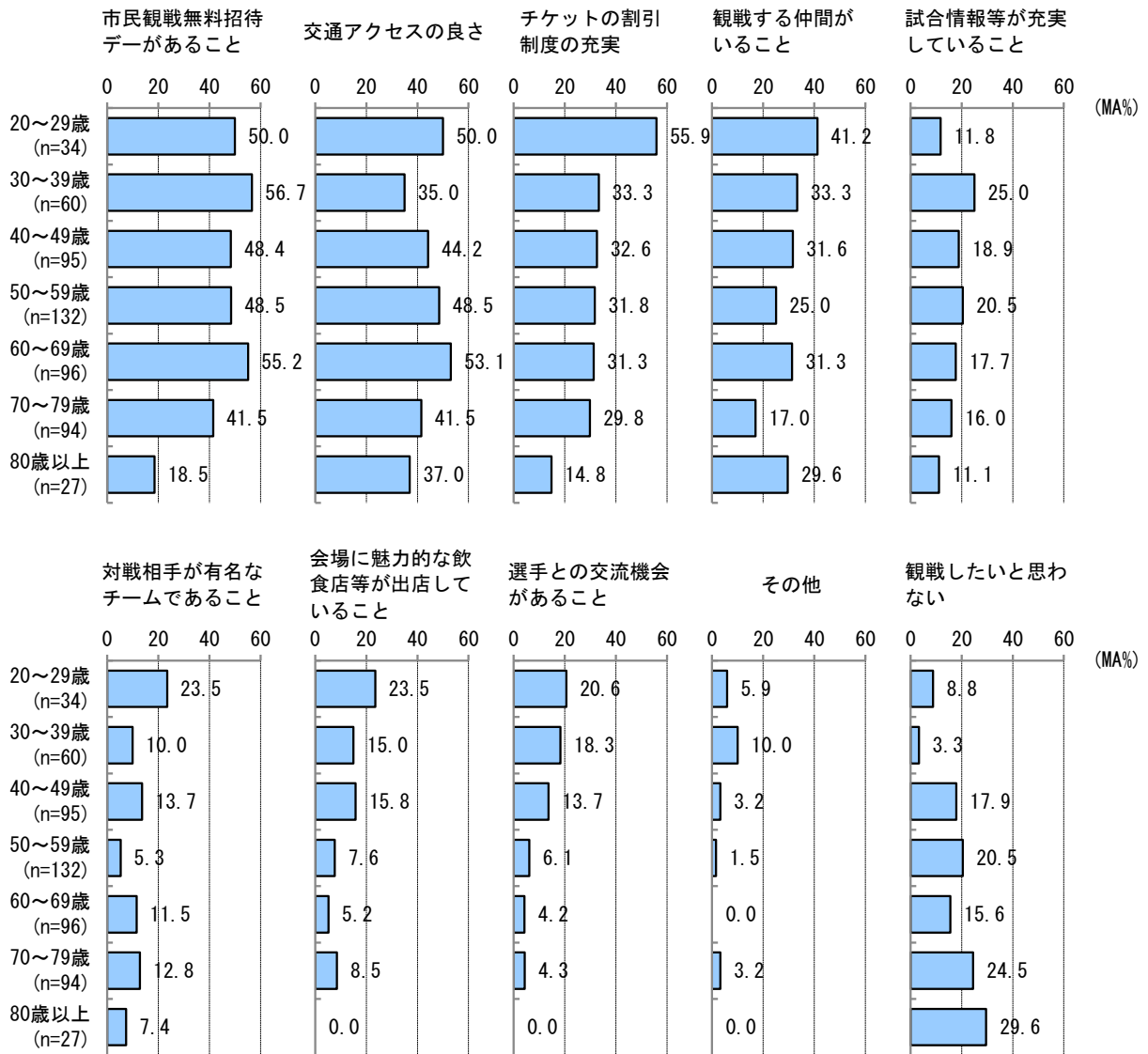
性別でみると、「試合情報等が充実していること」は女性（15.8%）より男性（22.2%）のほうが6.4ポイント高くなっている。（図Ⅱ4-10-1）

【図Ⅱ4-10-1 性別 ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件】



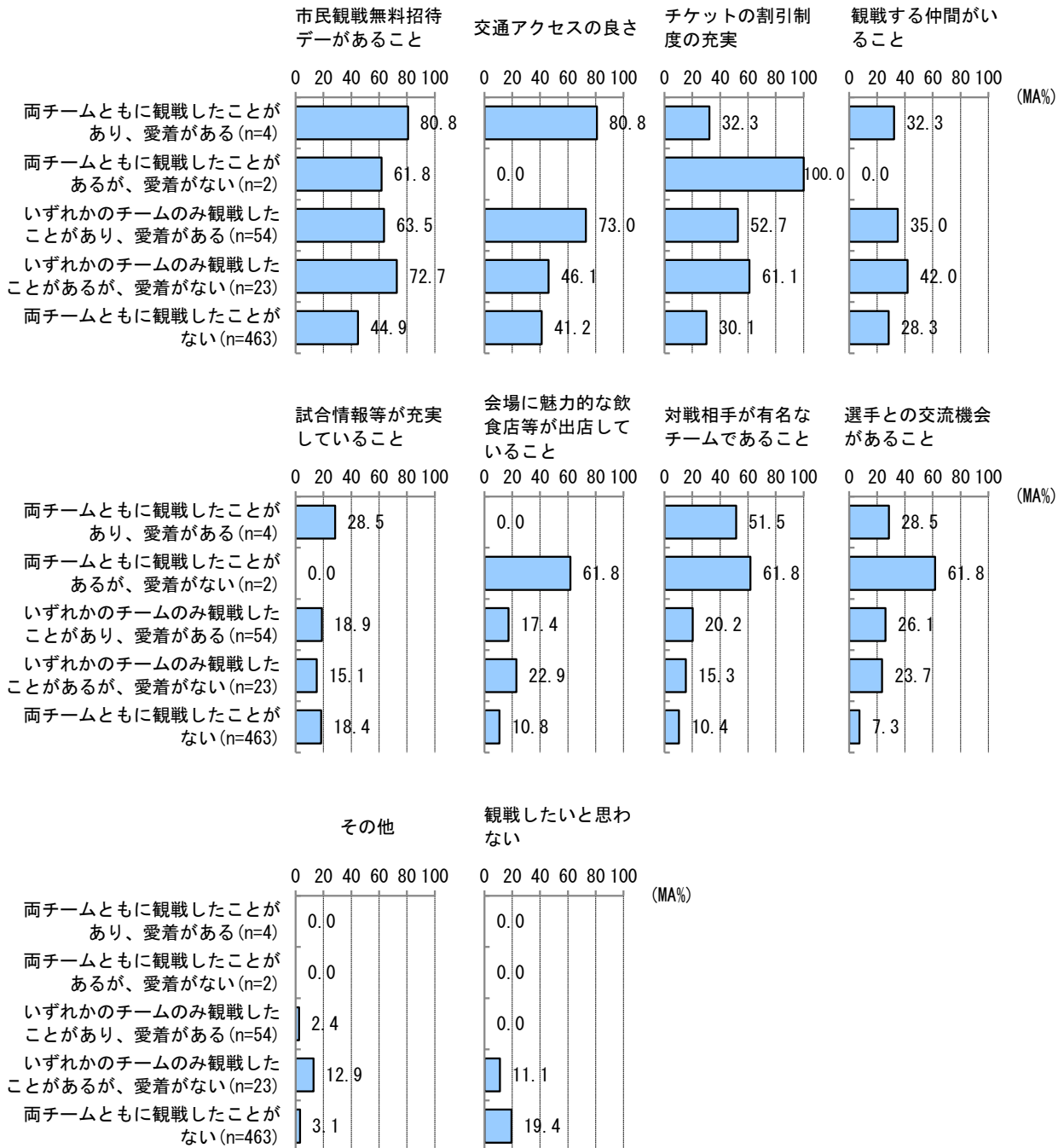
年齢別で見ると、「チケットの割引制度の充実」や「観戦する仲間がいること」、「対戦相手が有名なチームであること」、「会場に魅力的な飲食店等が出店していること」、「選手との交流機会があること」についてはいずれも20～29歳が最も高い割合となっている。(図Ⅱ4-10-2)

【図Ⅱ4-10-2 年齢別 ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件】



「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験及び愛着度別でみると、両チームともに観戦したことがない人では「市民観戦無料招待デーがあること」(44.9%)が最も多く、次いで「交通アクセスの良さ」(41.2%)が続いている。(図II4-10-3)

【図II4-10-3 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験及び愛着度別  
ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件】

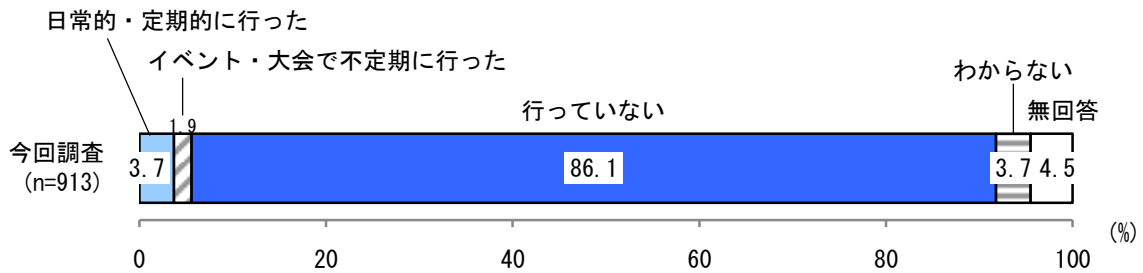


## 5 スポーツ活動への支援

### (1) スポーツボランティア活動の参加有無

問29. この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、あなた自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。（○は1つ）

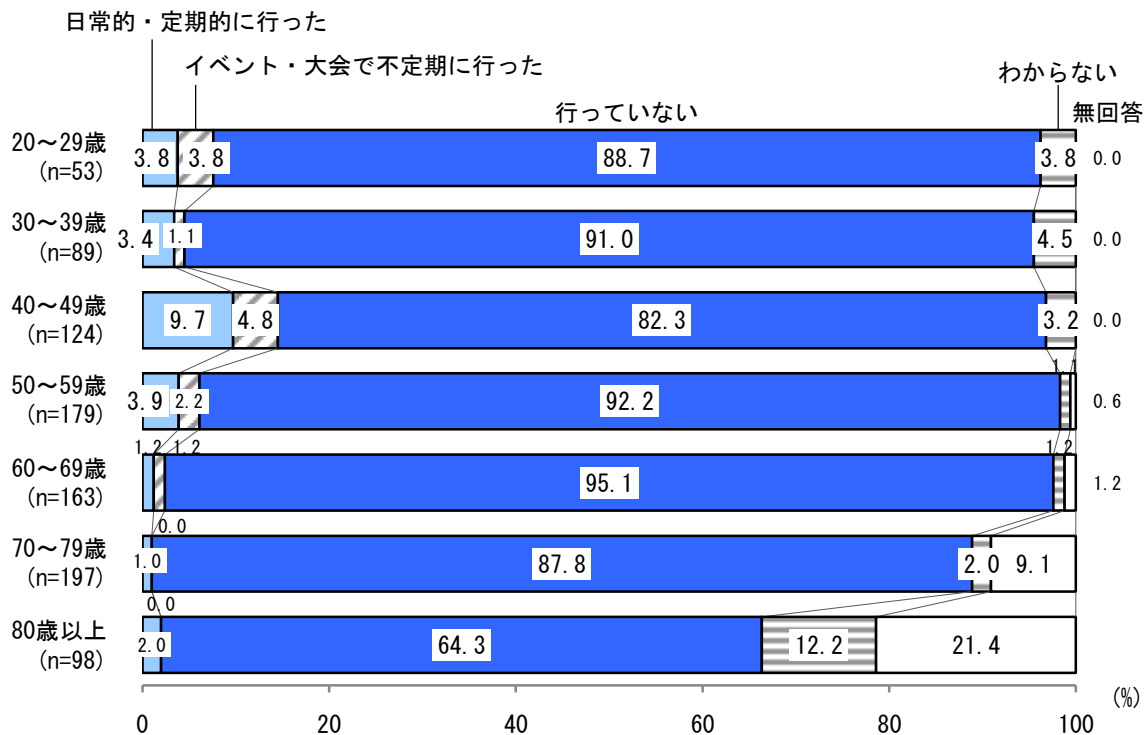
【図Ⅱ5-1 スポーツボランティア活動の参加有無】



この1年間のスポーツボランティア活動の参加有無については、「行っていない」が86.1%で最も多く、次いで「日常的・定期的に行った」が3.7%、「イベント・大会で不定期に行った」が1.9%となっている。（図Ⅱ5-1）

年齢別でみると、「日常的・定期的に行った」は40～49歳（9.7%）で最も高く、「イベント・大会で不定期に行った」も40～49歳（4.8%）が最も高くなっている。（図Ⅱ5-1-1）

【図Ⅱ5-1-1 年齢別 スポーツボランティア活動の参加有無】

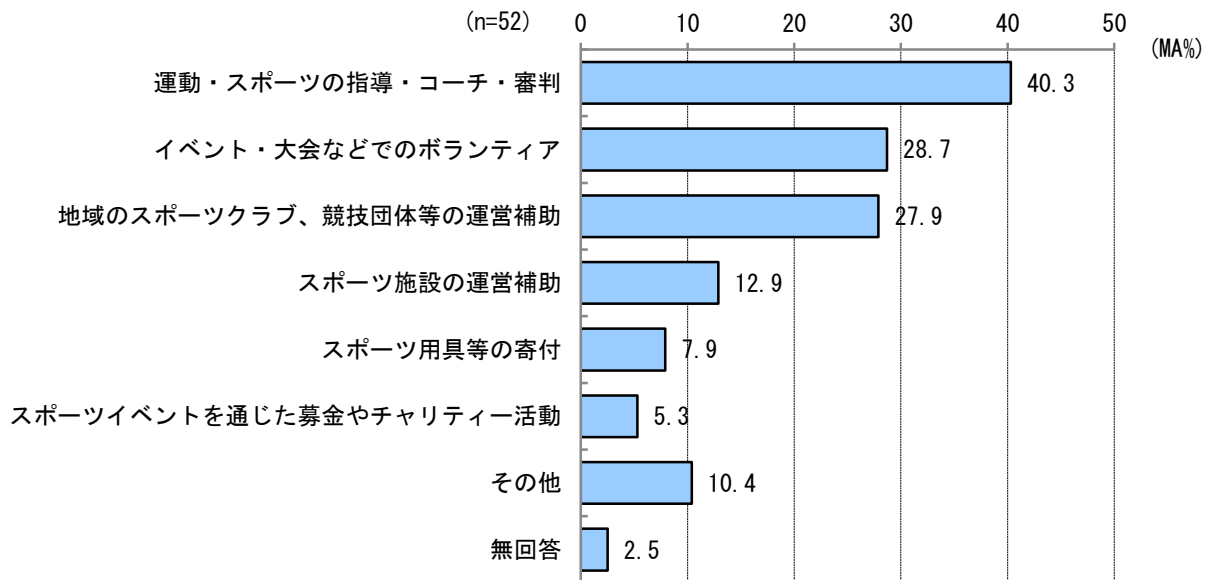


## (2) スポーツボランティア活動の内容

【問29で「1. 日常的・定期的に行った」または「2. イベント・大会で不定期に行った」を回答した方にうかがいます。】

問29-1. そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ5-2 スポーツボランティア活動の内容】



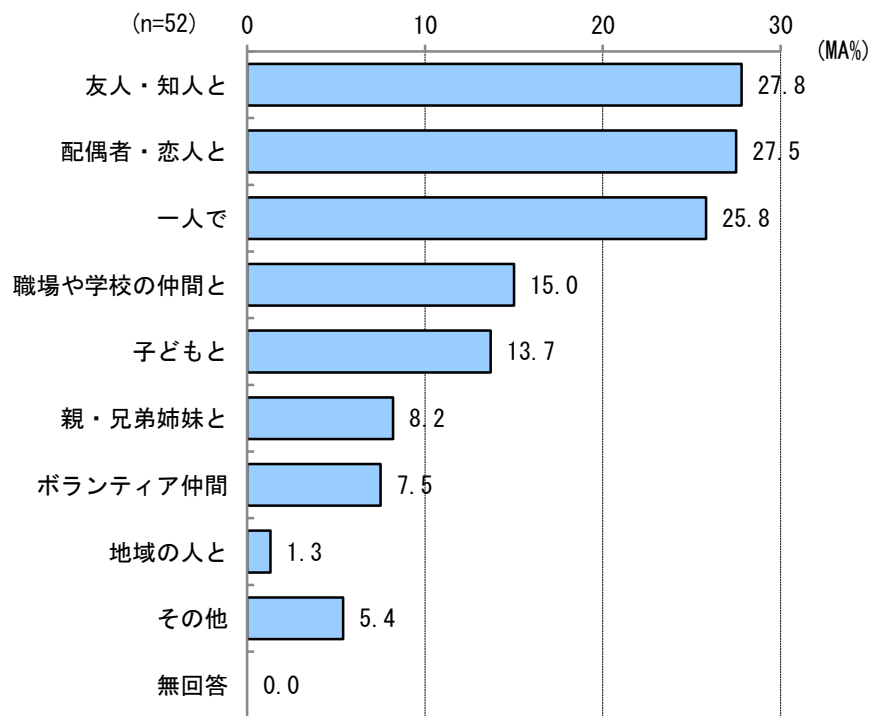
スポーツボランティア活動を行ったと回答した人に、その内容についてたずねると、「運動・スポーツの指導・コーチ・審判」が40.3%で最も多く、次いで「イベント・大会などでのボランティア」が28.7%、「地域のスポーツクラブ、競技団体等の運営補助」が27.9%となっている。(図Ⅱ5-2)



(3) スポーツボランティア活動と一緒に参加した相手

問29-2. そのボランティア活動には誰と参加しましたか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ5-3 スポーツボランティア活動と一緒に参加した相手】

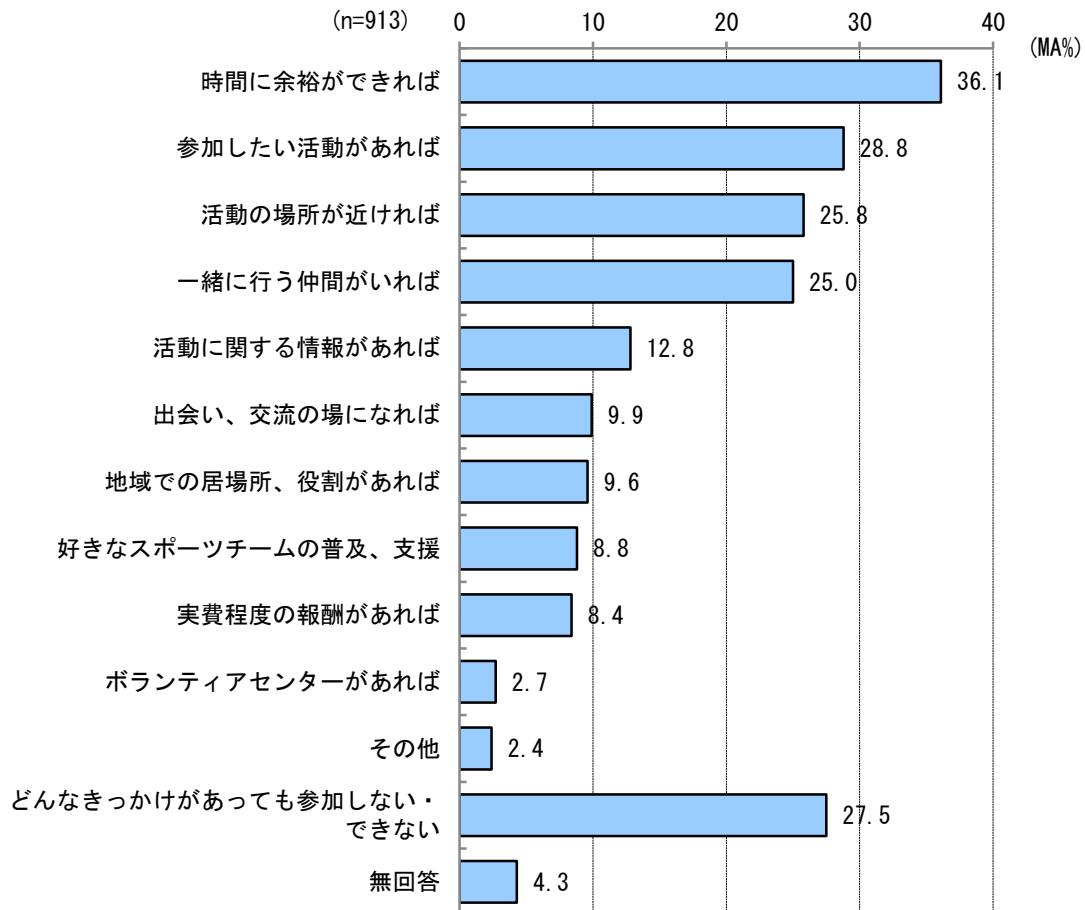


スポーツボランティア活動と一緒に参加した相手については、「友人・知人と」が27.8%で最も多く、次いで「配偶者・恋人と」が27.5%、「一人で」が25.8%となっている。(図Ⅱ5-3)

(4) スポーツボランティア活動に参加・継続のためのきっかけや動機づけ

問30. どのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツボランティア活動に参加したり続けたりすると思いますか。（〇はいくつでも）

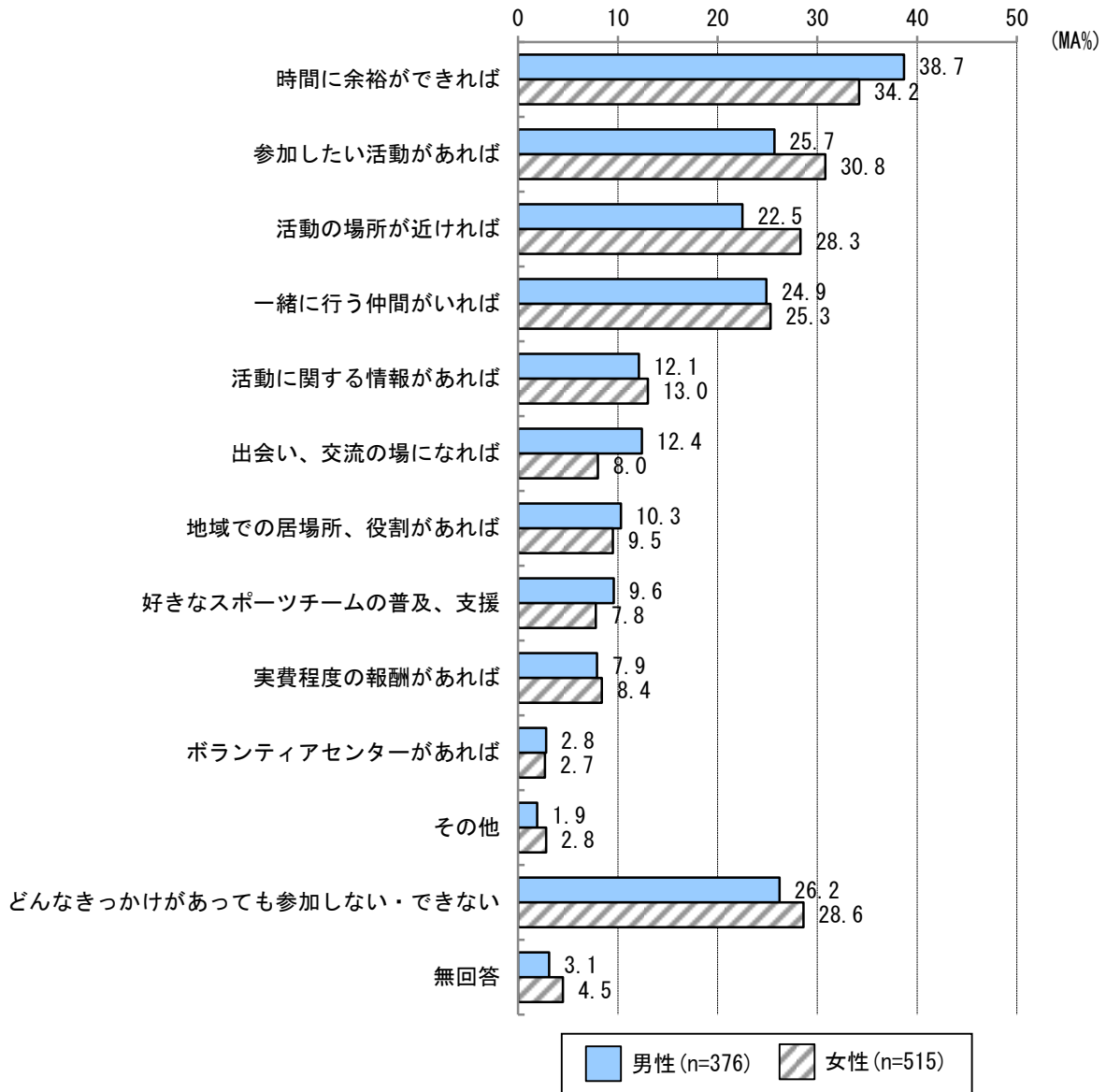
【図Ⅱ5-4 スポーツボランティア活動に参加・継続のためのきっかけや動機づけ】



スポーツボランティア活動に参加したり続けたりするためのきっかけや動機づけについては、「時間に余裕ができれば」が36.1%で最も多く、次いで「参加したい活動があれば」が28.8%、「活動の場所が近ければ」が25.8%となっている。（図Ⅱ5-4）

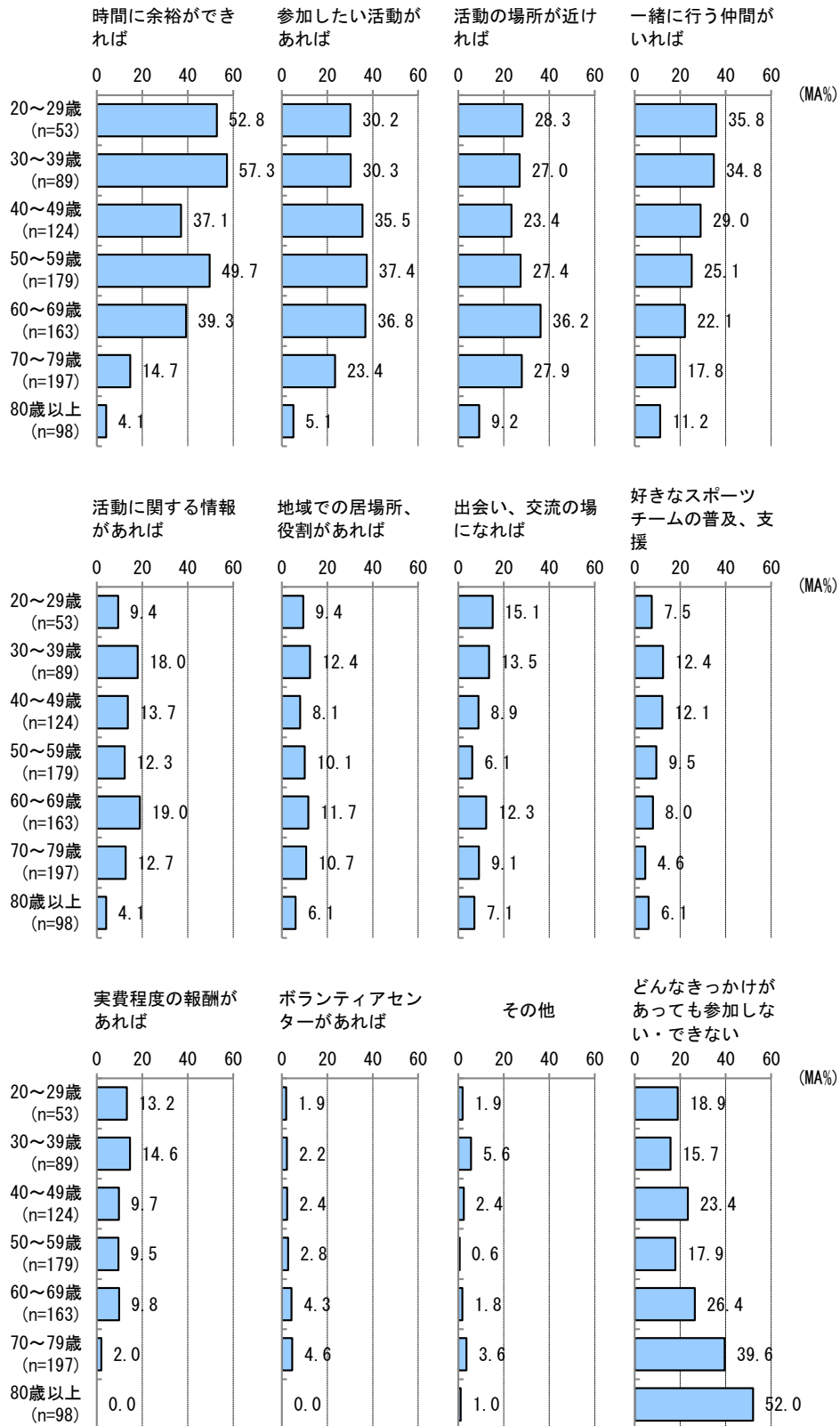
性別で見ると、「活動の場所が近ければ」は男性（22.5%）より女性（28.3%）のほうが5.8ポイント、「参加したい活動があれば」は男性（25.7%）より女性（30.8%）のほうが5.1ポイント、それぞれ高くなっている。（図Ⅱ5-4-1）

【図Ⅱ5-4-1 性別 スポーツボランティア活動に参加・継続のためのきっかけや動機づけ】



年齢別でみると、「時間に余裕ができれば」は30～39歳（57.3%）で最も高く、「参加したい活動があれば」は50～59歳（37.4%）で最も高くなっている。また、「一緒に行く仲間がいれば」は若い年代ほど割合が高くなっている。（図Ⅱ5-4-2）

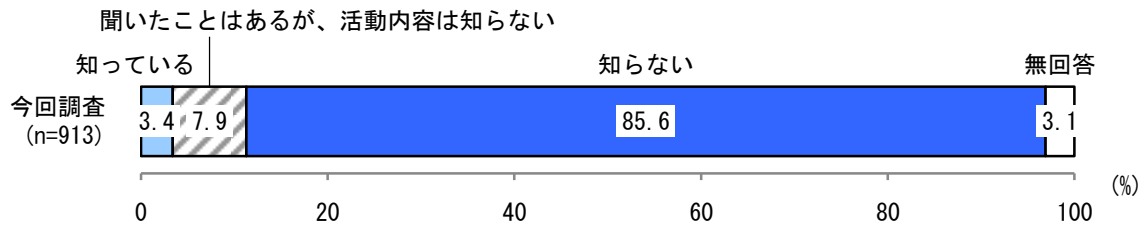
【図Ⅱ5-4-2 年齢別 スポーツボランティア活動に参加・継続のためのきっかけや動機づけ】



(5) スポーツ推進委員の認知度

問31. 地域スポーツの充実のために活動するスポーツ推進委員を知っていますか。(○は1つ)

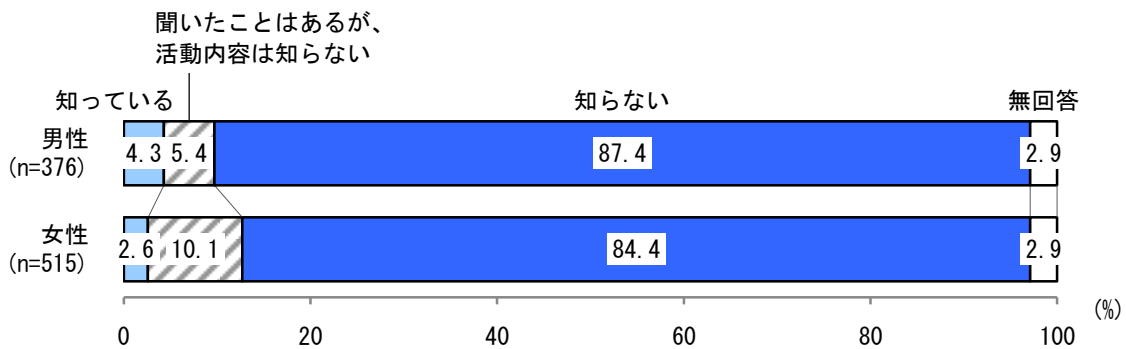
【図Ⅱ5-5 スポーツ推進委員の認知度】



スポーツ推進委員の認知度については、「知らない」が85.6%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」が7.9%、「知っている」が3.4%となっている。(図Ⅱ5-5)

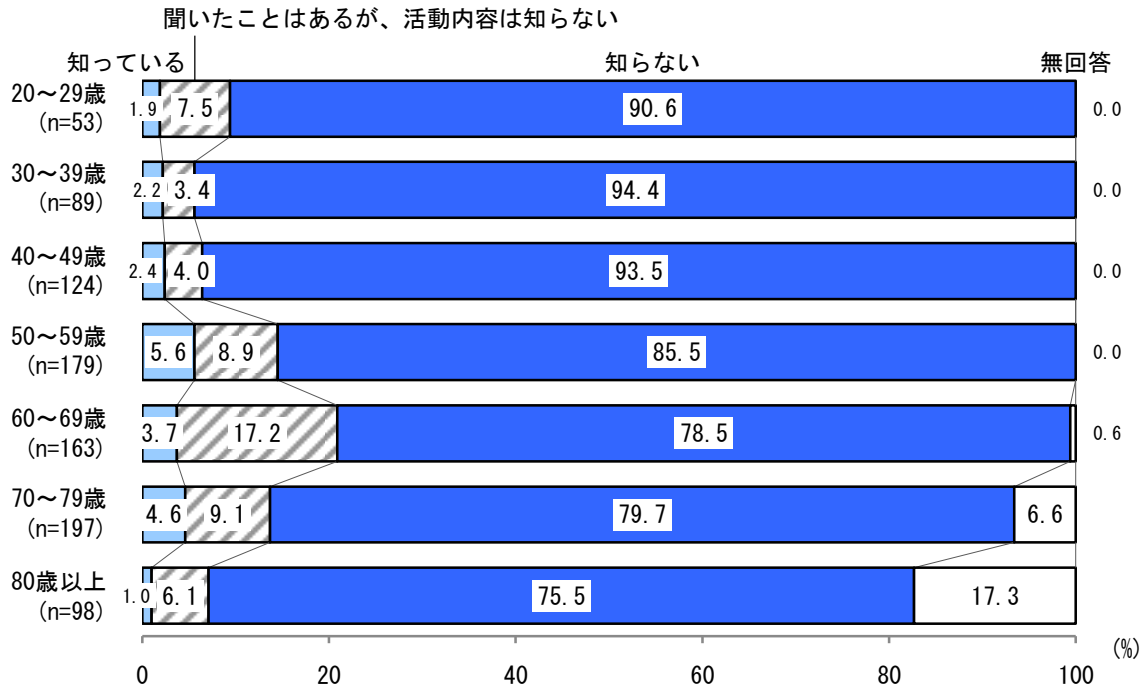
性別で見ると、「知っている」は女性(2.6%)より男性(4.3%)のほうがやや高いが、「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」は男性(5.4%)より女性(10.1%)のほうが4.7ポイント高くなっている。(図Ⅱ5-5-1)

【図Ⅱ5-5-1 性別 スポーツ推進委員の認知度】



年齢別で見ると、「知っている」は50～59歳（5.6%）が最も高く、「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」は60～69歳（17.2%）が最も高くなっている。（図Ⅱ5-5-2）

【図Ⅱ5-5-2 年齢別 スポーツ推進委員の認知度】

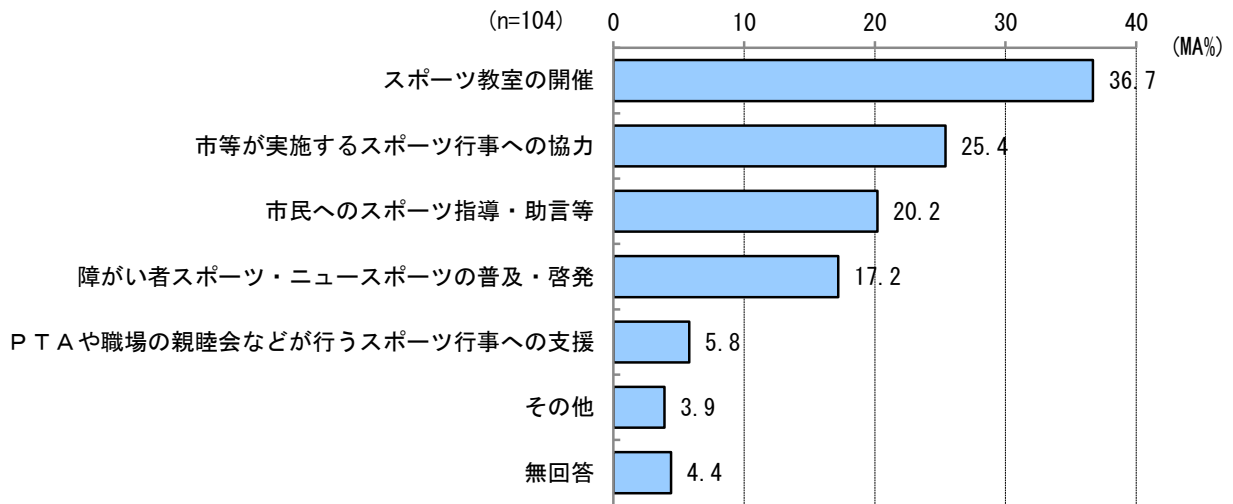


(6) 期待するスポーツ推進委員が担う活動

【問31で「1.知っている」～「2.聞いたことはあるが、活動内容は知らない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問31-1. スポーツ推進委員が担う次の活動のうち、あなたが最も期待する活動は何でしょうか。(〇は1つ)

【図Ⅱ5-6 期待するスポーツ推進委員が担う活動】



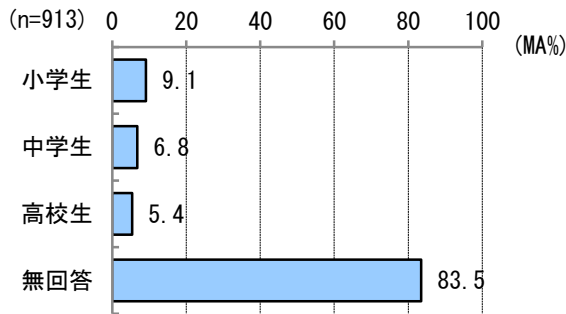
スポーツ推進委員を知っている又は聞いたことがあると回答した人に、最も期待するスポーツ推進委員が担う活動についてたずねると、「スポーツ教室の開催」が36.7%で最も多く、次いで「市等が実施するスポーツ行事への協力」が25.4%、「市民へのスポーツ指導・助言等」が20.2%となっている。(図Ⅱ5-6)

(7) 子どもが所属している部活動以外のクラブの状況

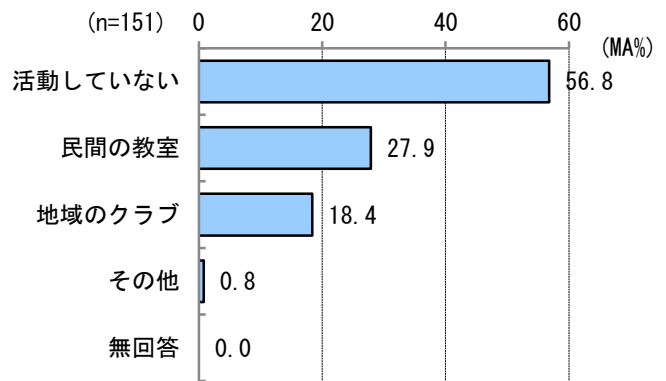
【お子さんがいる方にうかがいます。】

問32. あなたのお子様は、学校部活動以外のクラブ等に所属し、活動していますか。

【図Ⅱ5-7-1 子どもの年齢区分】



【図Ⅱ5-7-2 子どもが所属しているクラブ】



子どもが所属している部活動以外のクラブの状況についてたずねた。

子どもの年齢区分は、「小学生」が9.1%で最も多く、次いで「中学生」が6.8%、「高校生」が5.4%となっている。(図Ⅱ5-7-1)

子どもの平均人数は、小学生が1.4人、中学生が1.1人、高校生が1.1人となっている。

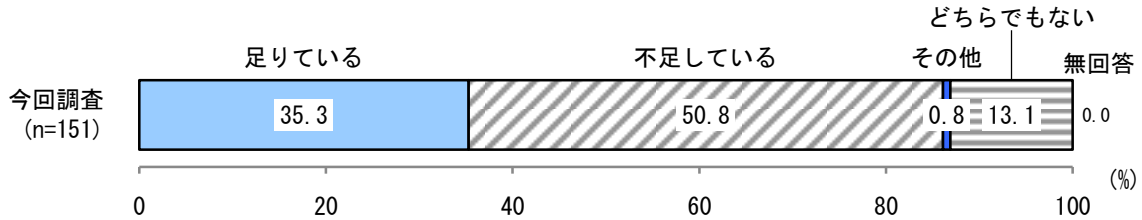
子どもが所属しているクラブについては、「活動していない」が56.8%で最も多く、次いで「民間の教室」が27.9%、「地域のクラブ」が18.4%となっている。(図Ⅱ5-7-2)



### (8) 子どものスポーツ環境の充足度

問33. お子様のスポーツをする環境は足りていると思いますか。

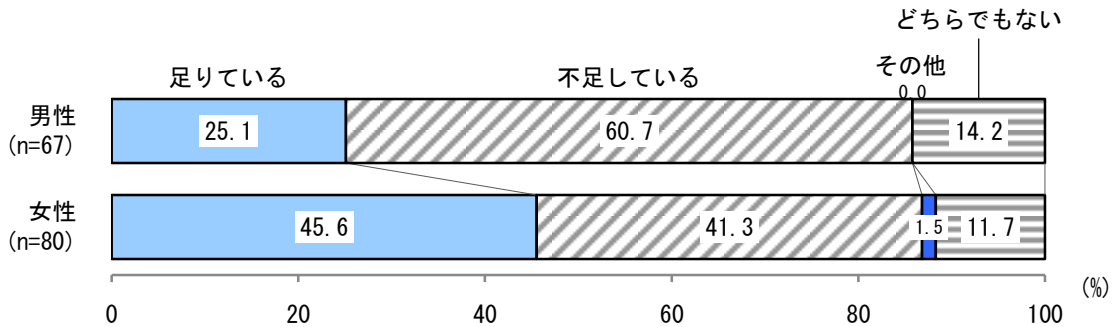
【図Ⅱ5-8 子どものスポーツ環境の充足度】



子どものスポーツ環境の充足度については、「不足している」が50.8%で最も多く、次いで「足りている」が35.3%、「どちらでもない」が13.1%となっている。(図Ⅱ5-8)

性別で見ると、「足りている」は男性(25.1%)より女性(45.6%)のほうが20.5ポイント高く、「不足している」は女性(41.3%)より男性(60.7%)のほうが19.4ポイント高くなっている。(図Ⅱ5-8-1)

【図Ⅱ5-8-1 性別 子どものスポーツ環境の充足度】

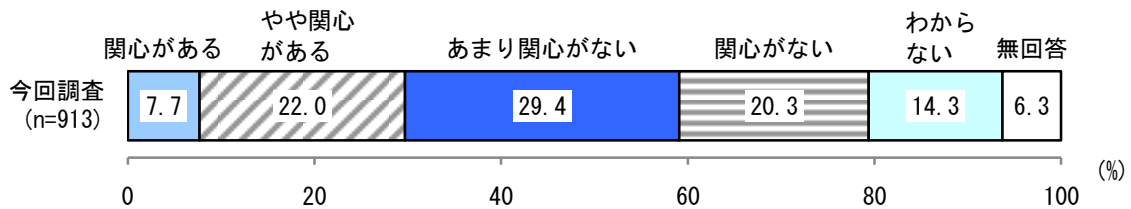


## 6 障がい者スポーツとのかかわり

### (1) 障がい者スポーツへの関心度

問34. 障がい者スポーツに関心がありますか。(障がい者スポーツとは、車椅子バスケットボール、ボッチャ等) (○は1つ)

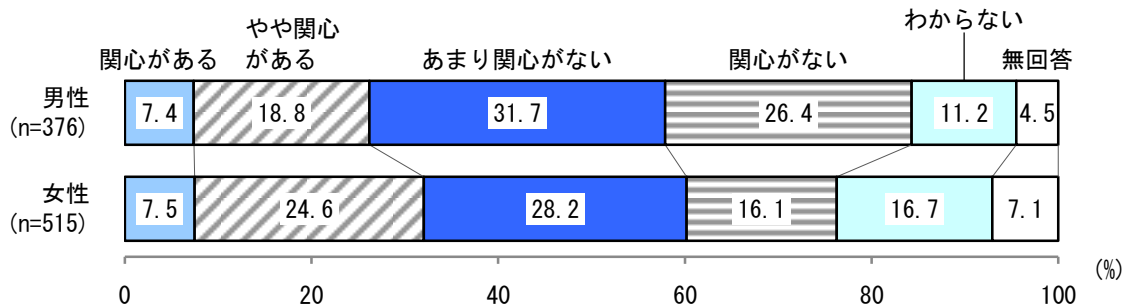
【図Ⅱ6-1 障がい者スポーツへの関心度】



障がい者スポーツへの関心度は、「あまり関心がない」が29.4%で最も多く、次いで「やや関心がある」が22.0%、「関心がない」が20.3%で、「関心がある」(7.7%)と「やや関心がある」をあわせた『関心がある』は29.7%となっている。(図Ⅱ6-1)

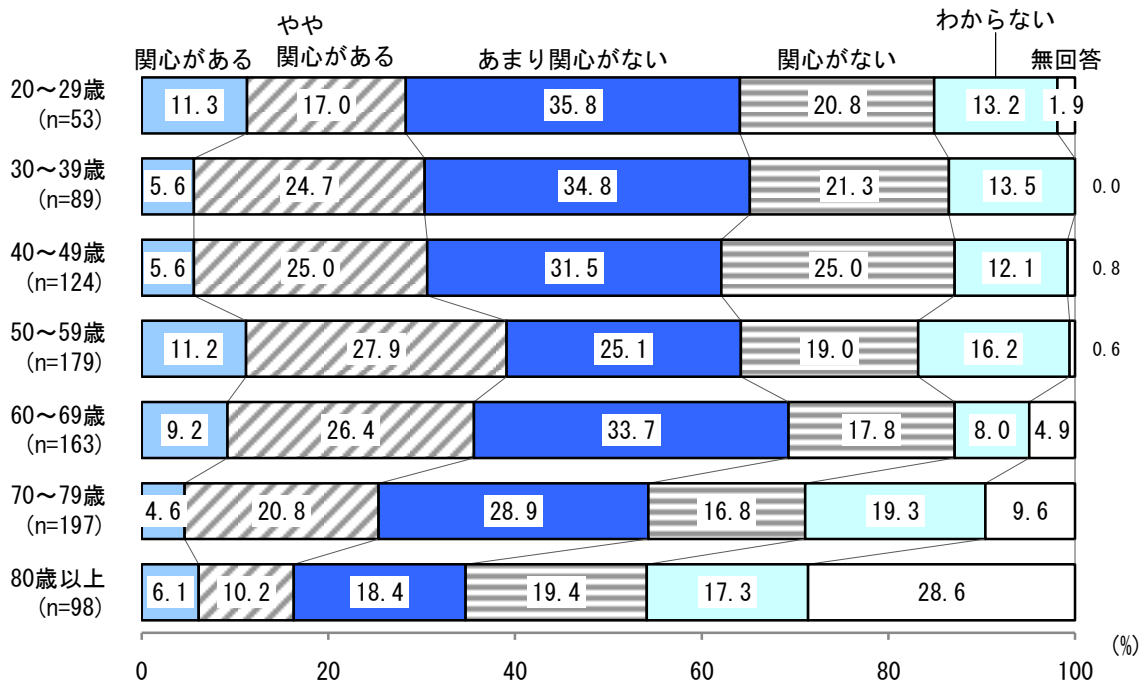
性別でみると、『関心がある』は男性(26.2%)より女性(32.1%)のほうが5.9ポイント高くなっている。(図Ⅱ6-1-1)

【図Ⅱ6-1-1 性別 障がい者スポーツへの関心度】



年齢別で見ると、『関心がある』は50～59歳（39.1%）が最も高くなっている。（図Ⅱ6-1-1）

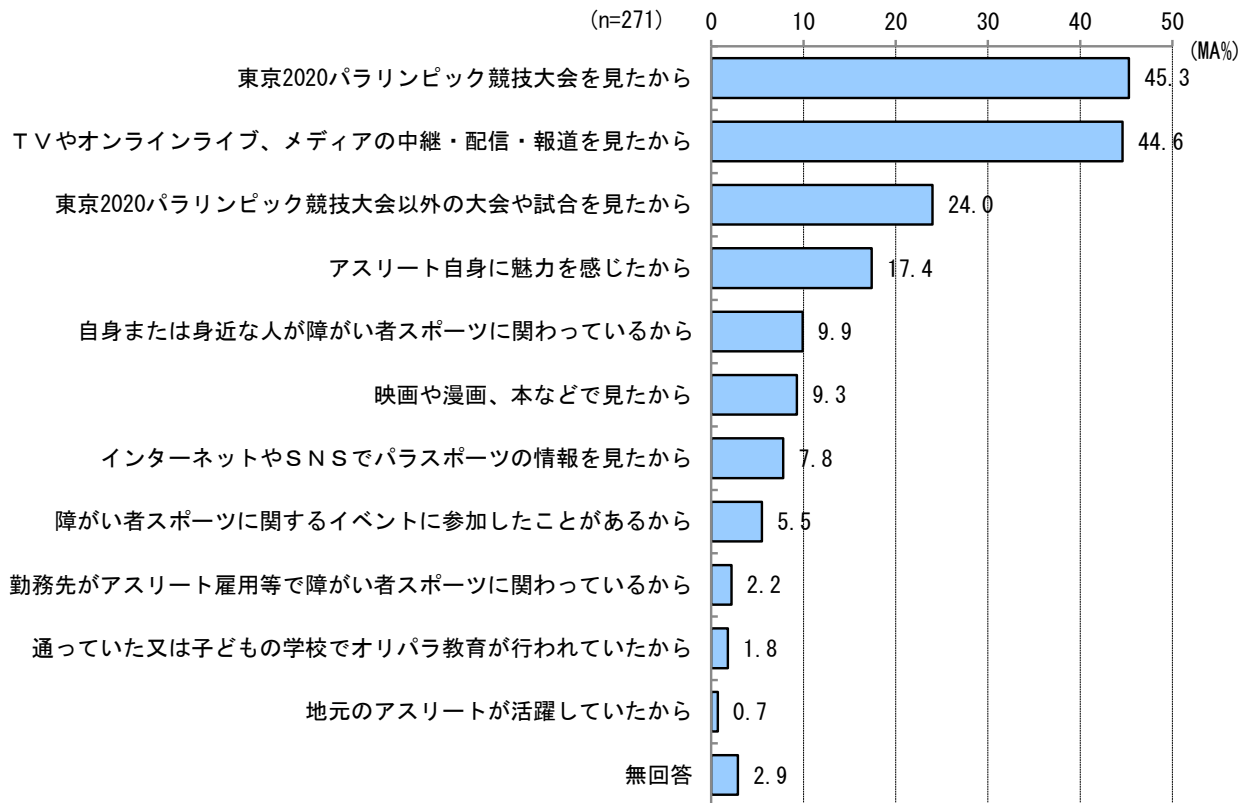
【図Ⅱ6-1-2 年齢別 障がい者スポーツへの関心度】



## (2) 障がい者スポーツに関心を持ったきっかけ

【問34. で「1. 関心がある」または「2. やや関心がある」を回答した方にうかがいます。】  
 問34-1. あなたが障がい者スポーツに関心を持ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

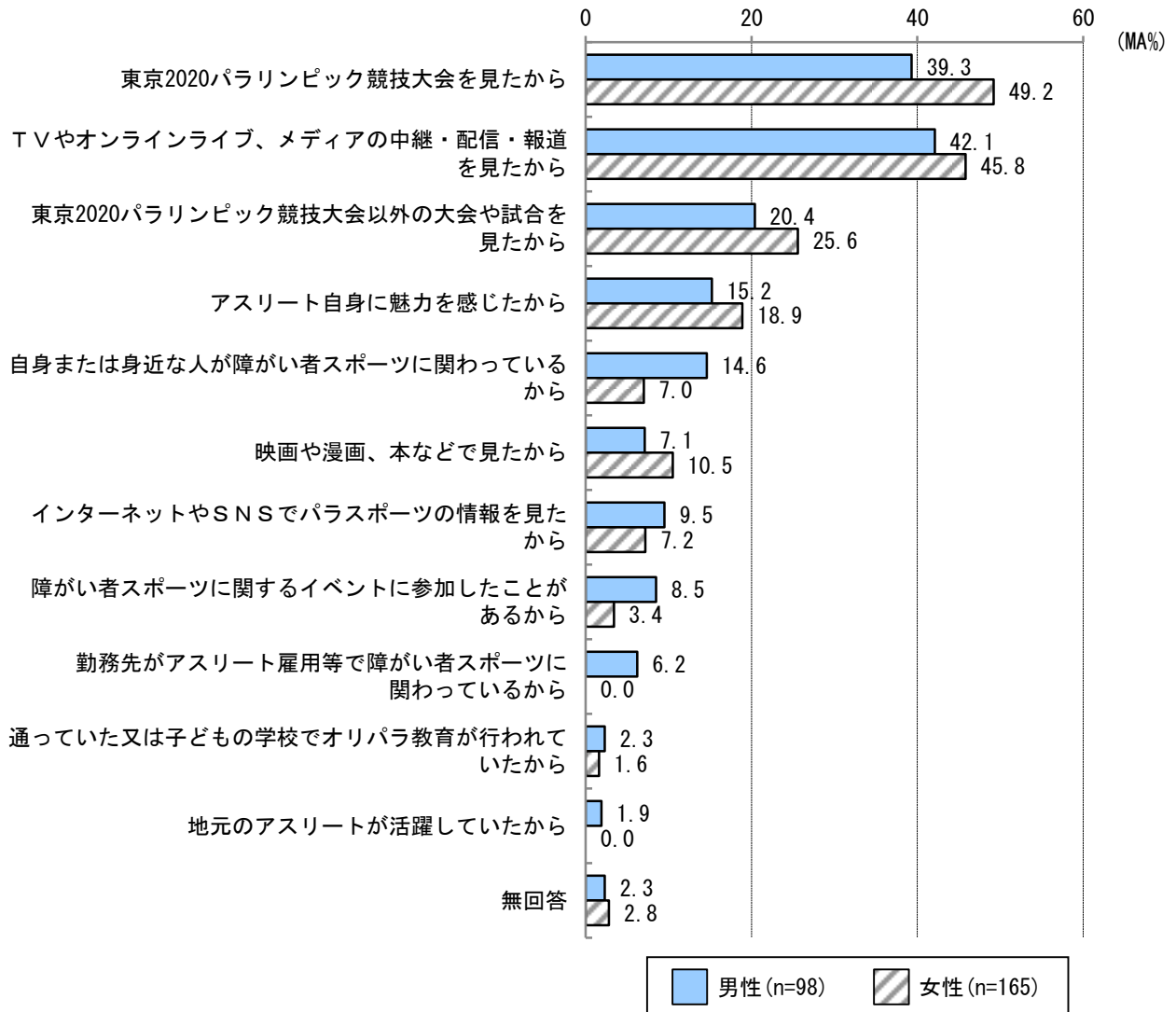
【図II 6-2 障がい者スポーツに関心を持ったきっかけ】



障がい者スポーツに関心があると回答した人に、関心を持ったきっかけについてたずねると、「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」が45.3%で最も多く、次いで「TVやオンラインライブ、メディアの中継・配信・報道を見たから」が44.6%、「東京2020パラリンピック競技大会以外の大会や試合を見たから」が24.0%となっている。(図II 6-2)

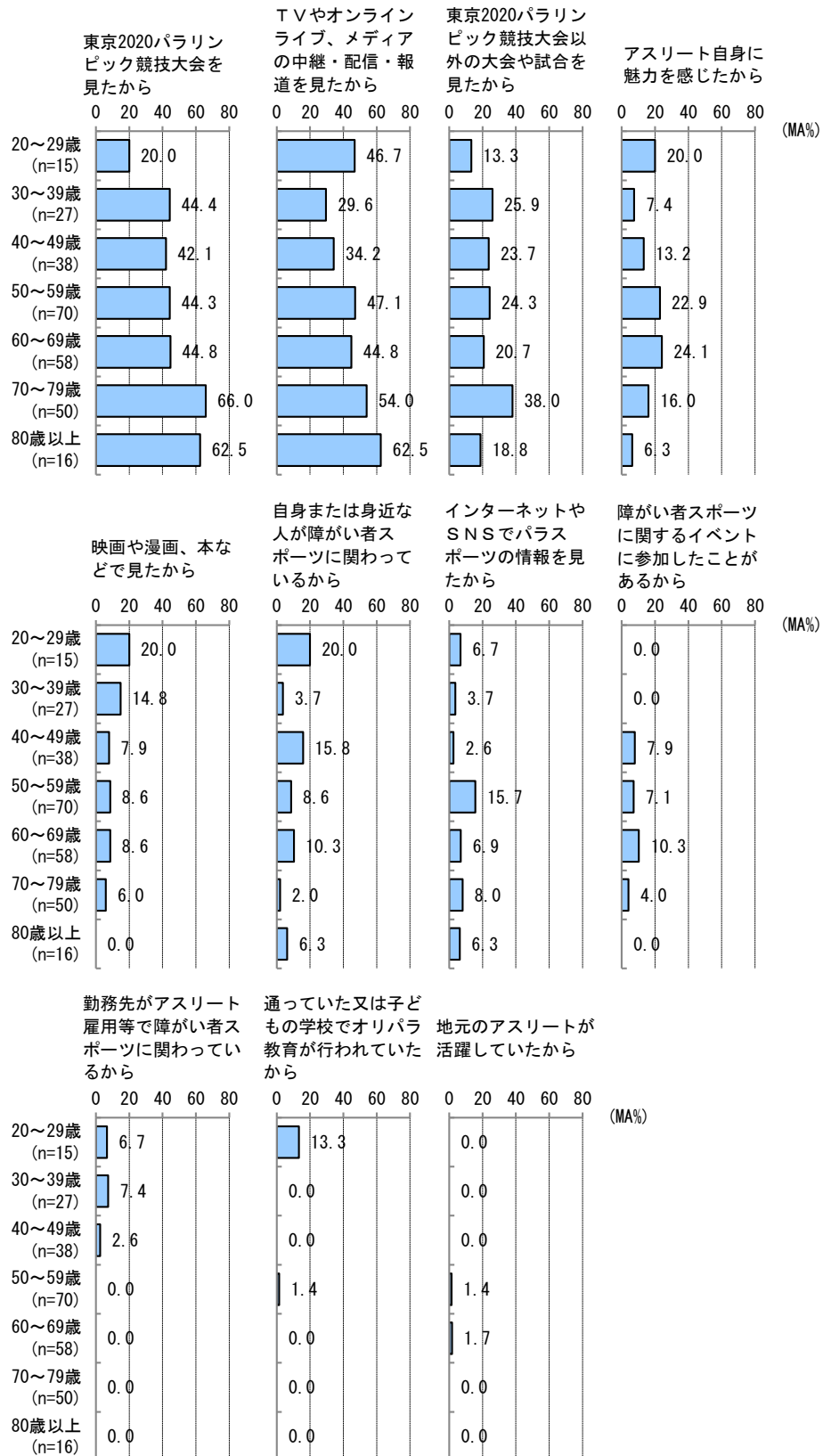
性別でみると、「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」は男性（39.3%）より女性（49.2%）のほうが9.9ポイント高いが、「自身または身近な人が障がい者スポーツに関わっているから」は女性（7.0%）より男性（14.6%）のほうが7.6ポイント高くなっている。（図Ⅱ6-2-1）

【図Ⅱ6-2-1 性別 障がい者スポーツに関心を持ったきっかけ】



年齢別で見ると、「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」は70歳以上の年代で60%を超えて高くなっており、「TVやオンラインライブ、メディアの中継・配信・報道を見たから」も80歳以上（62.5%）で60%を超え最も高くなっている。（図II 6-2-2）

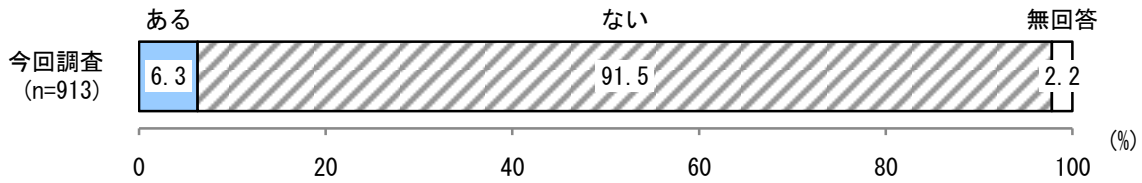
【図II 6-2-2 年齢別 障がい者スポーツに関心を持ったきっかけ】



### (3) 障がい者スポーツを体験したことの有無

問35. あなたは、これまで過去に一度でも障がい者スポーツを体験したことがありますか。  
(○は1つ)

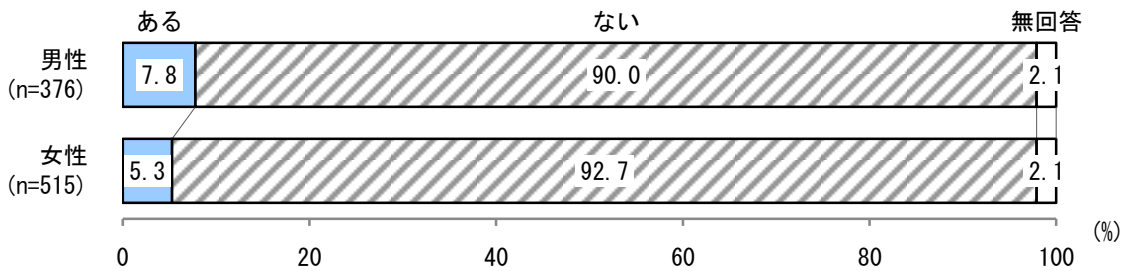
【図Ⅱ6-3 障がい者スポーツを体験したことの有無】



障がい者スポーツを体験したことの有無については、「ない」が91.5%で大半を占め、「ある」は6.3%となっている。(図Ⅱ6-3)

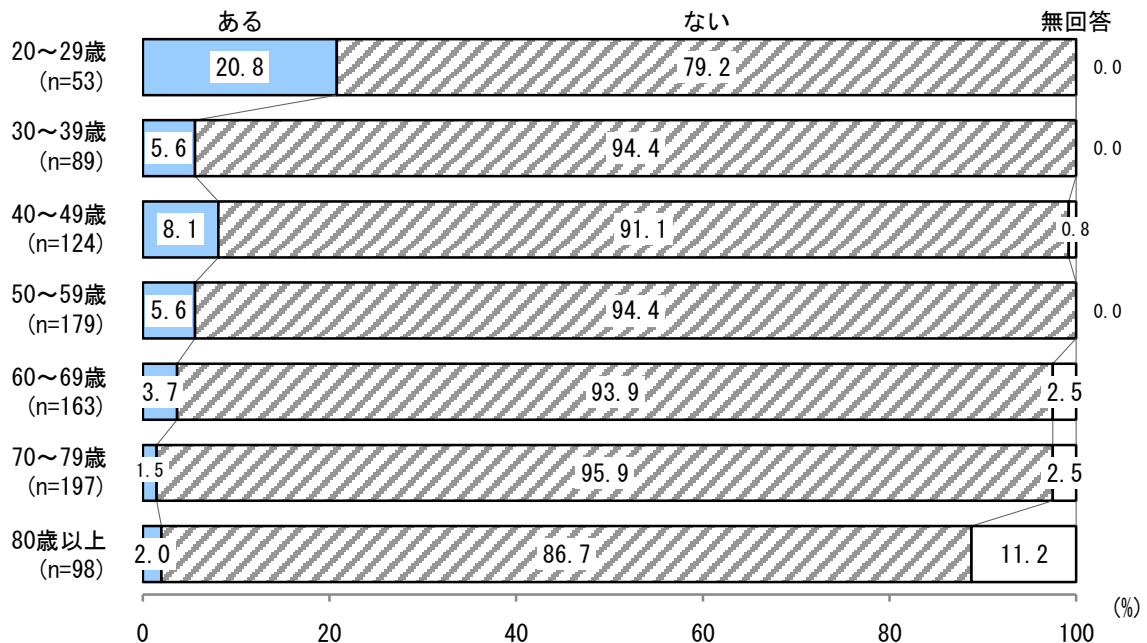
性別でみると、「ある」は女性(5.3%)より男性(7.8%)のほうがやや高くなっている。(図Ⅱ6-3-1)

【図Ⅱ6-3-1 性別 障がい者スポーツを体験したことの有無】



年齢別でみると、「ある」は20~29歳(20.8%)で最も高くなっている。(図Ⅱ6-3-2)

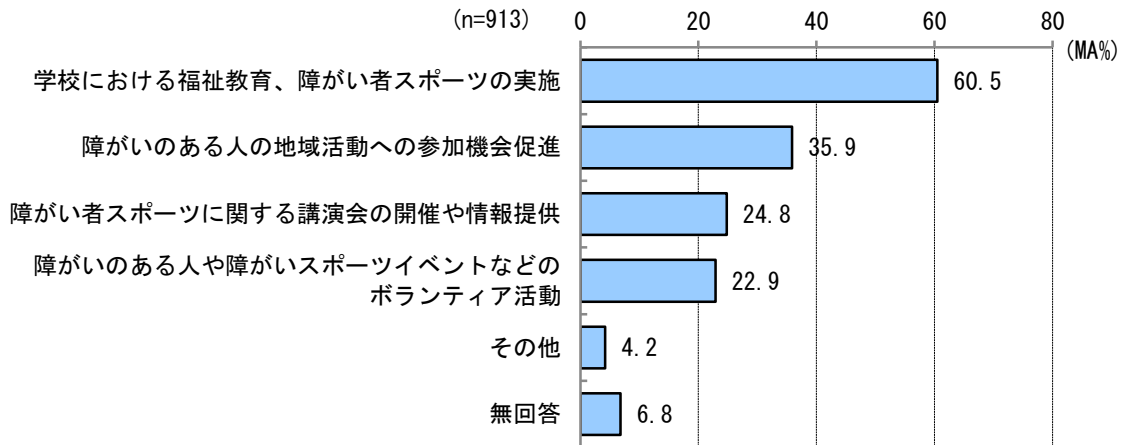
【図Ⅱ6-3-2 年齢別 障がい者スポーツを体験したことの有無】



(4) 障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なこと

問36. 市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なことは何だと思えますか。  
(○はいくつでも)

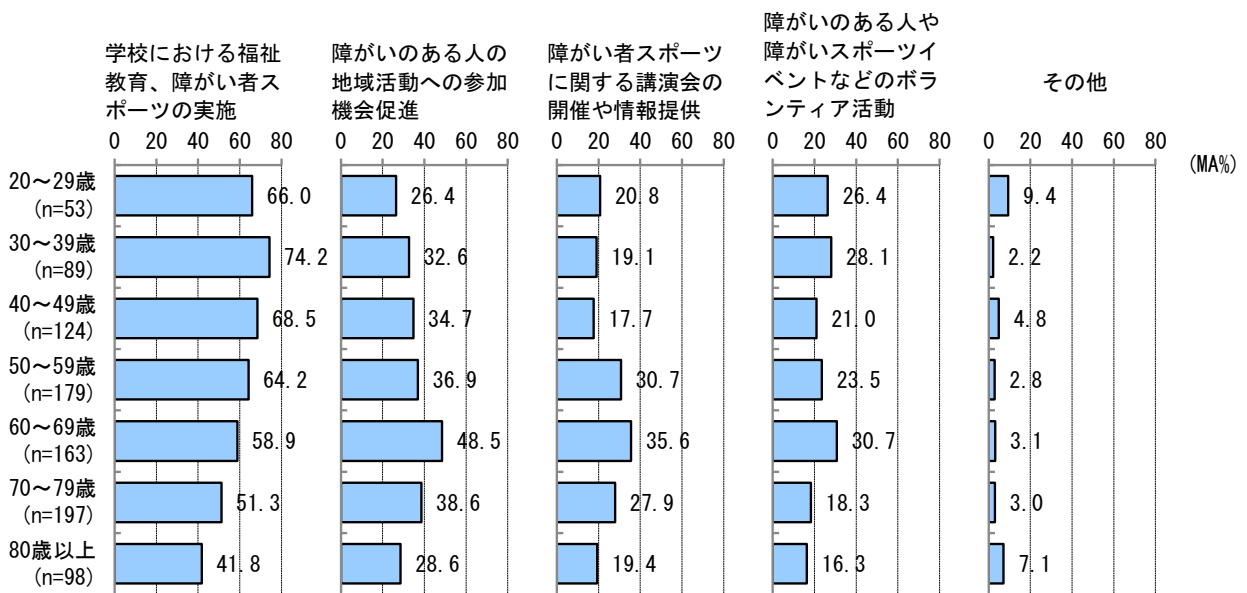
【図Ⅱ6-4 障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なこと】



障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なことについては、「学校における福祉教育、障がい者スポーツの実施」が60.5%で最も多く、次いで「障がいのある人の地域活動への参加機会促進」が35.9%、「障がい者スポーツに関する講演会の開催や情報提供」が24.8%となっている。(図Ⅱ6-4)

年齢別でみると、「学校における福祉教育、障がい者スポーツの実施」は30～39歳(74.2%)が最も高いが、それ以外の項目はいずれもは60～69歳が最も高くなっている。(図Ⅱ6-4-1)

【図Ⅱ6-4-1 年齢別 障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なこと】



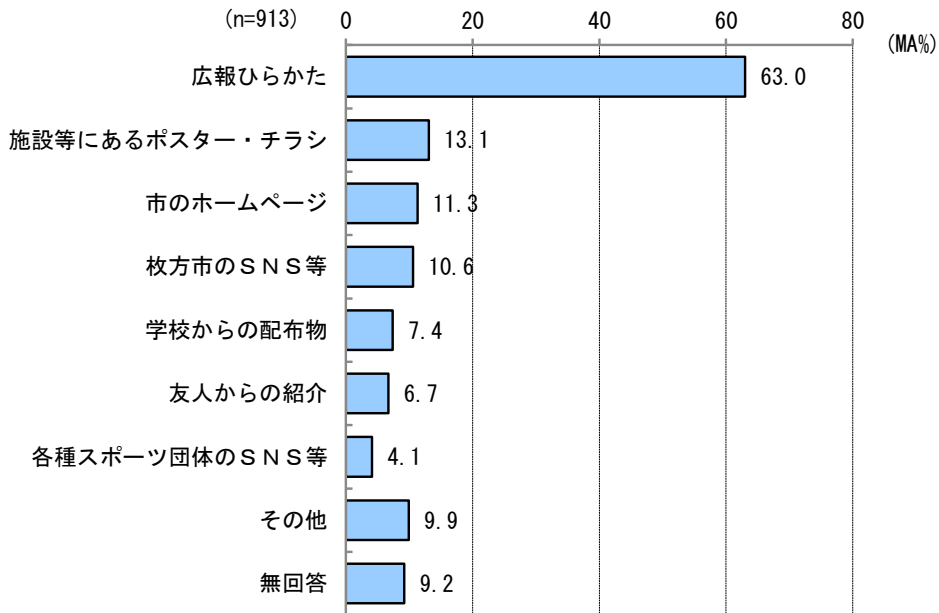


## 7 スポーツに関する情報の入手方法

### (1) 枚方市のスポーツ情報の入手先

問37. 枚方市のスポーツ情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

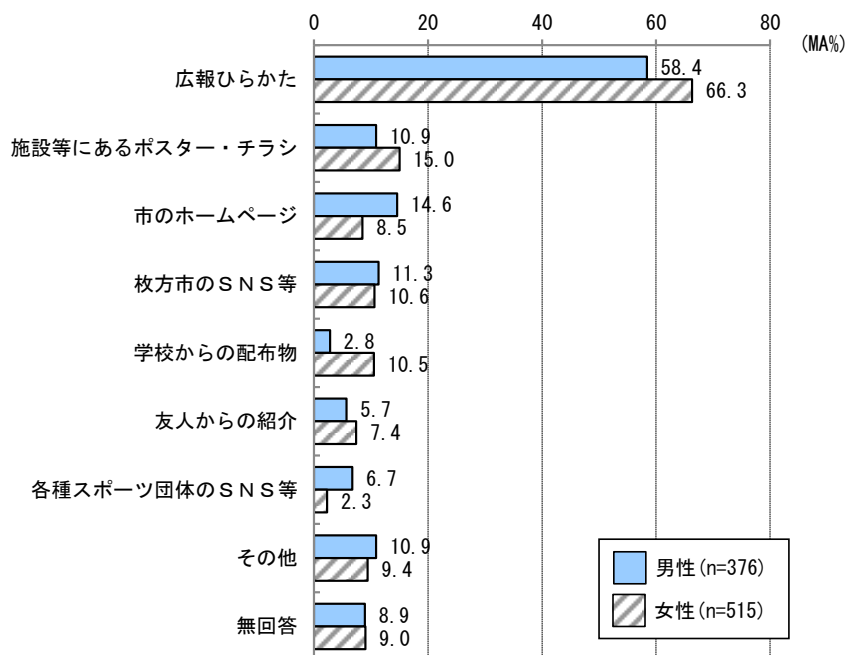
【図Ⅱ7-1 枚方市のスポーツ情報の入手先】



枚方市のスポーツ情報の入手先については、「広報ひらかた」が63.0%で最も多く、次いで「施設等にあるポスター・チラシ」が13.1%、「市のホームページ」が11.3%となっている。(図Ⅱ7-1)

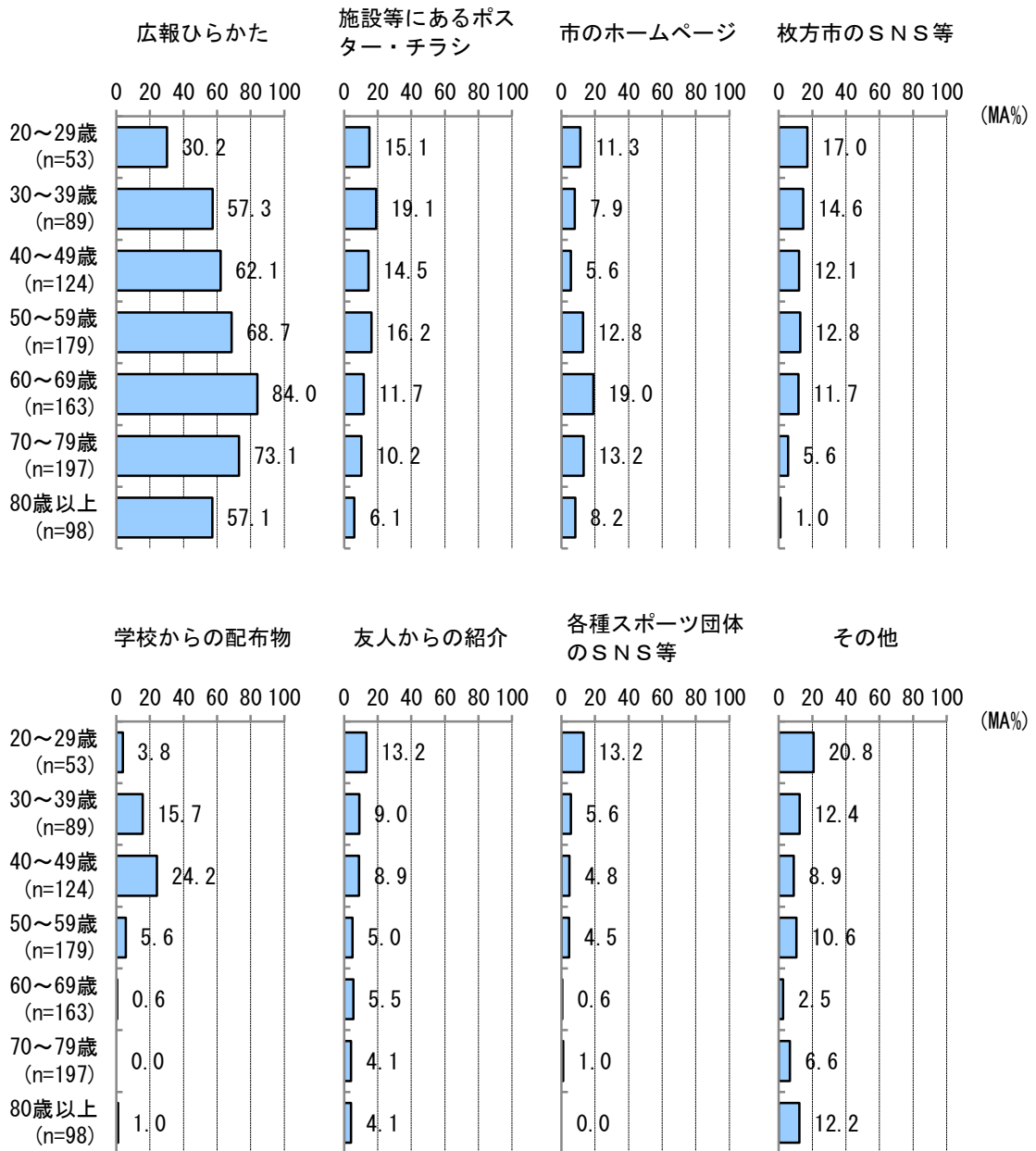
性別で見ると、「広報ひらかた」は男性(58.4%)より女性(66.3%)のほうが7.9ポイント高くなっている。(図Ⅱ7-1-1)

【図Ⅱ7-1-1 性別 枚方市のスポーツ情報の入手先】



年齢別でみると、「広報ひらかた」は60～69歳(84.0%)が最も高く、次いで70～79歳(73.1%)となっている。(図Ⅱ7-1-2)

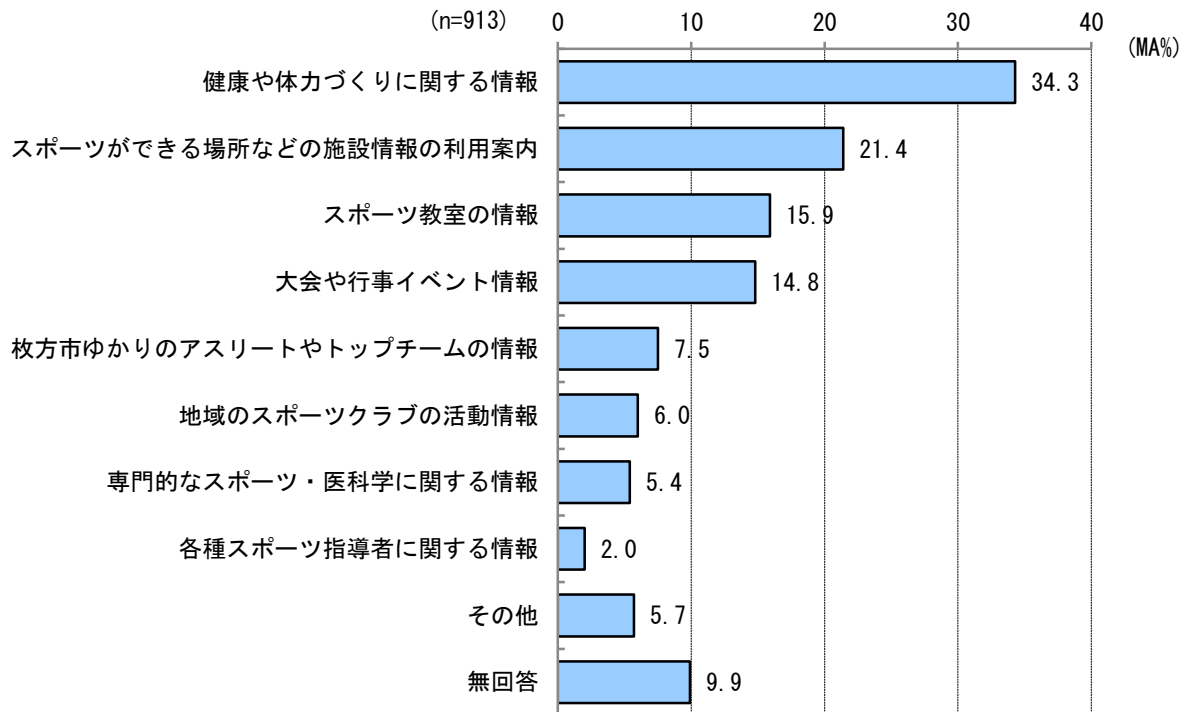
【図Ⅱ7-1-2 年齢別 枚方市のスポーツ情報の入手先】



(2) 枚方市のスポーツ情報で知りたい情報

問38. 枚方市のスポーツ情報について、どのような情報を知りたいですか。(○は1つ)

【図Ⅱ7-2 枚方市のスポーツ情報で知りたい情報】

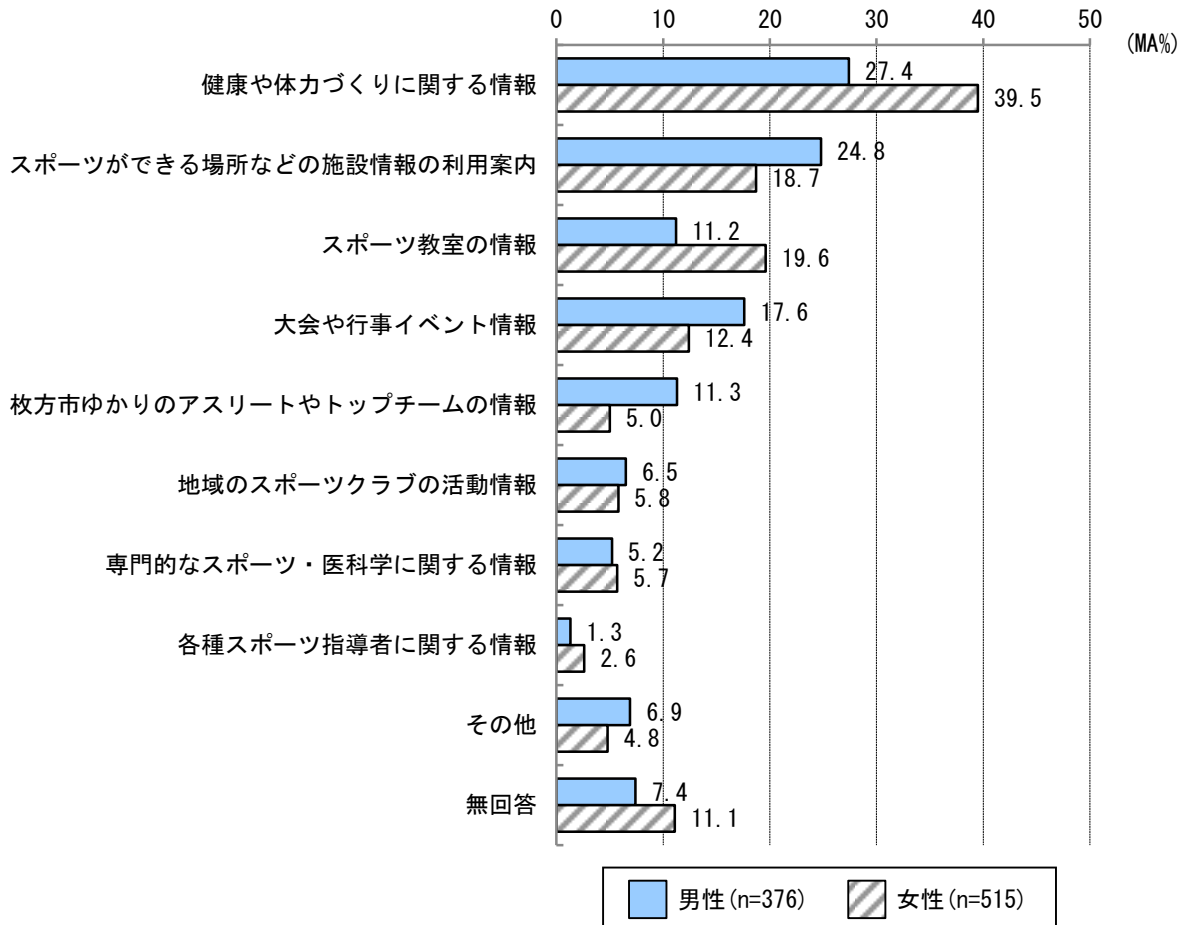


※複数回答として集計した。

枚方市のスポーツ情報で知りたい情報については、「健康や体力づくりに関する情報」が34.3%で最も多く、次いで「スポーツができる場所などの施設情報の利用案内」が21.4%、「スポーツ教室の情報」が15.9%となっている。(図Ⅱ7-2)

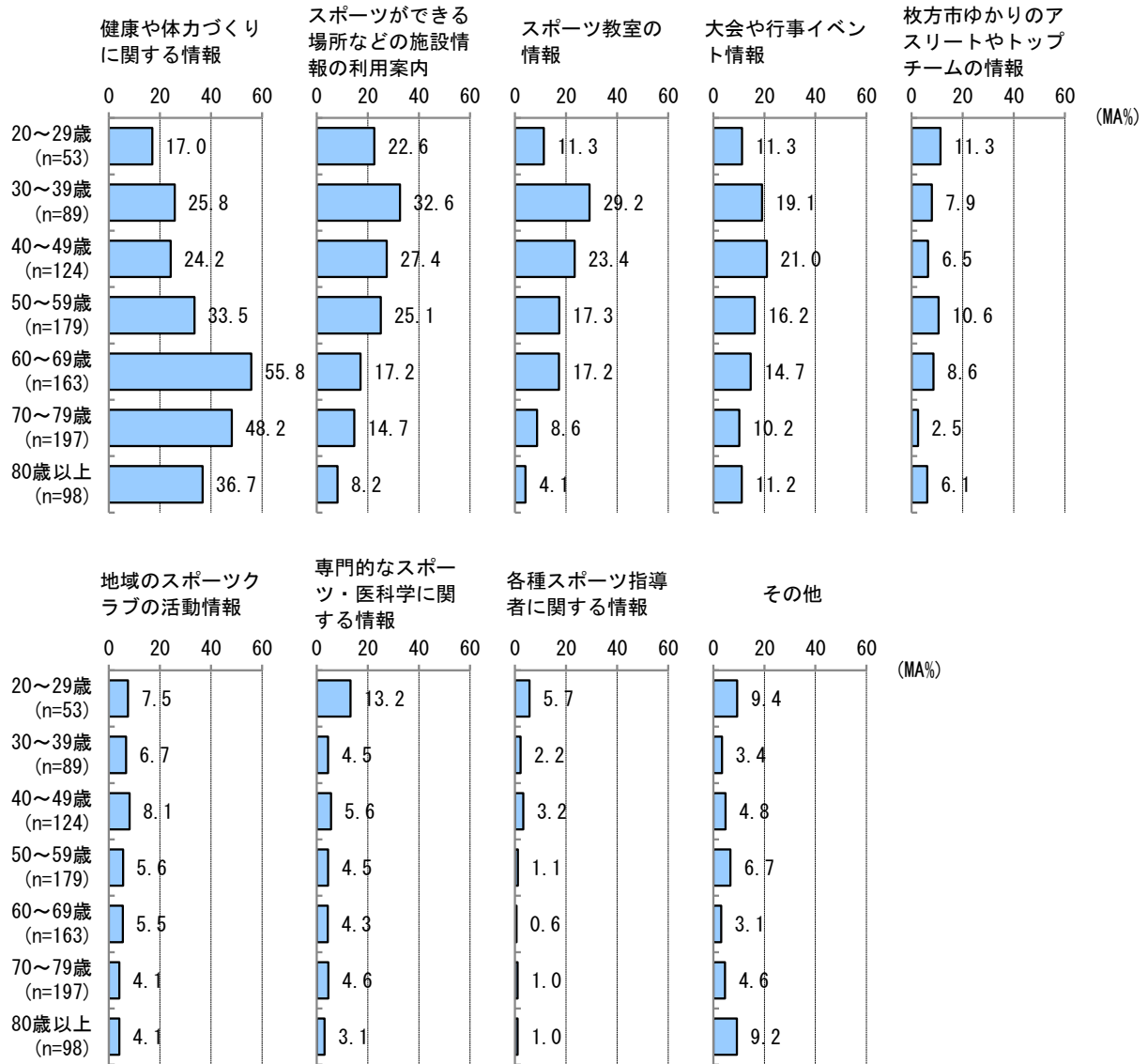
性別で見ると、「健康や体カづくりに関する情報」は男性（27.4%）より女性（39.5%）のほうが12.1ポイント、「スポーツ教室の情報」は男性（11.2%）より女性（19.6%）のほうが8.4ポイント、それぞれ高くなっている。（図Ⅱ7-2-1）

【図Ⅱ7-2-1 性別 枚方市のスポーツ情報で知りたい情報】



年齢別で見ると、「健康や体づくりに関する情報」は60～69歳（55.8%）が最も高く、「スポーツができる場所などの施設情報の利用案内」では30～39歳（32.6%）が最も高くなっている。（図Ⅱ7-2-2）

【図Ⅱ7-2-2 年齢別 枚方市のスポーツ情報で知りたい情報】

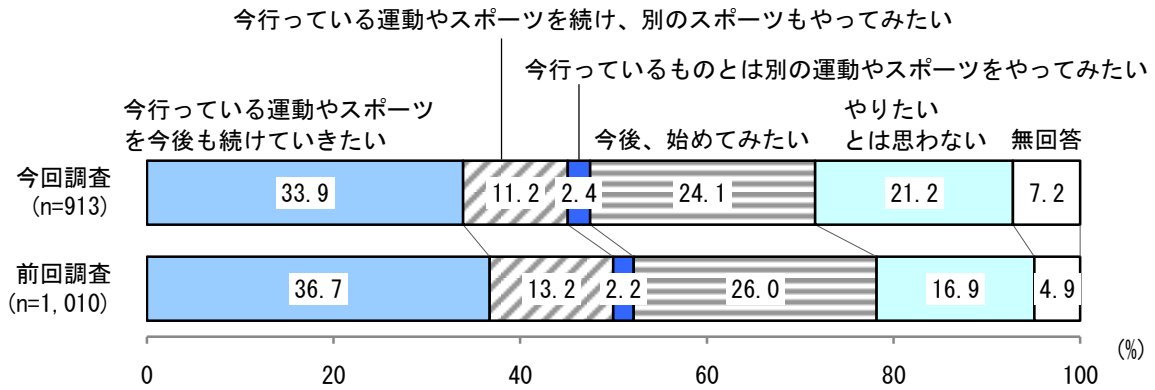


## 8 今後の運動やスポーツへの意向

### (1) 運動やスポーツの実施意向

問39. 今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と思いますか。（○は1つ）

【図Ⅱ8-1 運動やスポーツの実施意向】



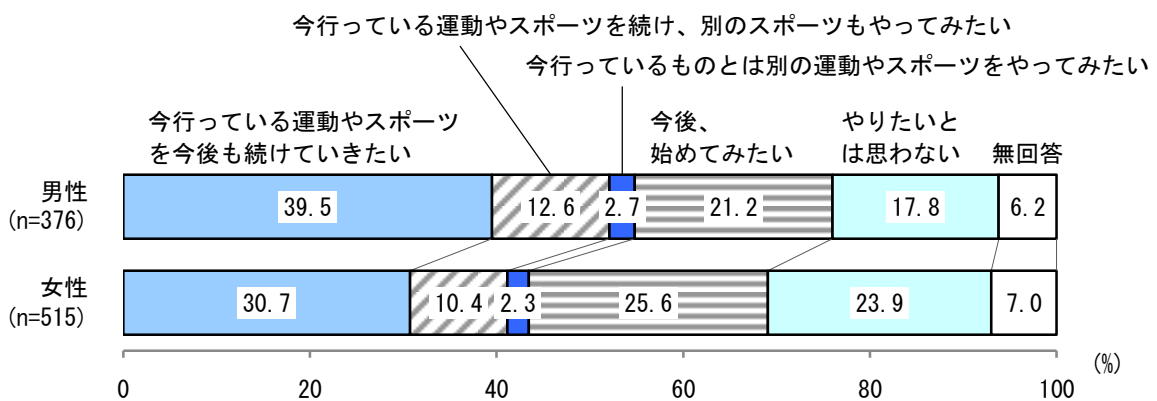
今後の運動やスポーツの実施意向については、「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が33.9%で最も多く、次いで「今後、始めてみたい」が24.1%、「やりたいとは思わない」が21.2%となっている。

前回調査と比較すると、「やりたいとは思わない」が前回より4.3ポイント高くなっている。

(図Ⅱ8-1)

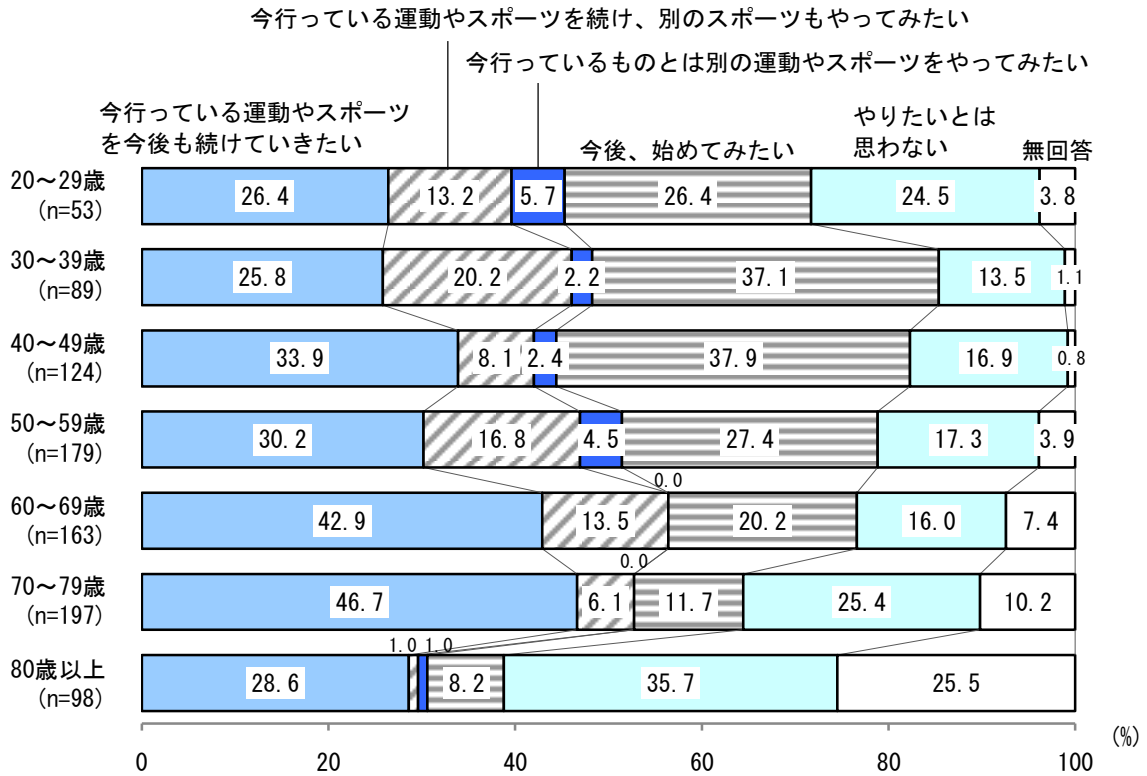
性別で見ると、「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」は女性（30.7%）より男性（39.5%）のほうが8.8ポイント高くなっている。(図Ⅱ8-1-1)

【図Ⅱ8-1-1 性別 運動やスポーツの実施意向】



年齢別で見ると、「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」は70～79歳（46.7%）で最も高く、「今後、始めてみたい」は40～49歳（37.9%）で最も高くなっている。（図Ⅱ8-1-2）

【図Ⅱ8-1-2 年齢別 運動やスポーツの実施意向】

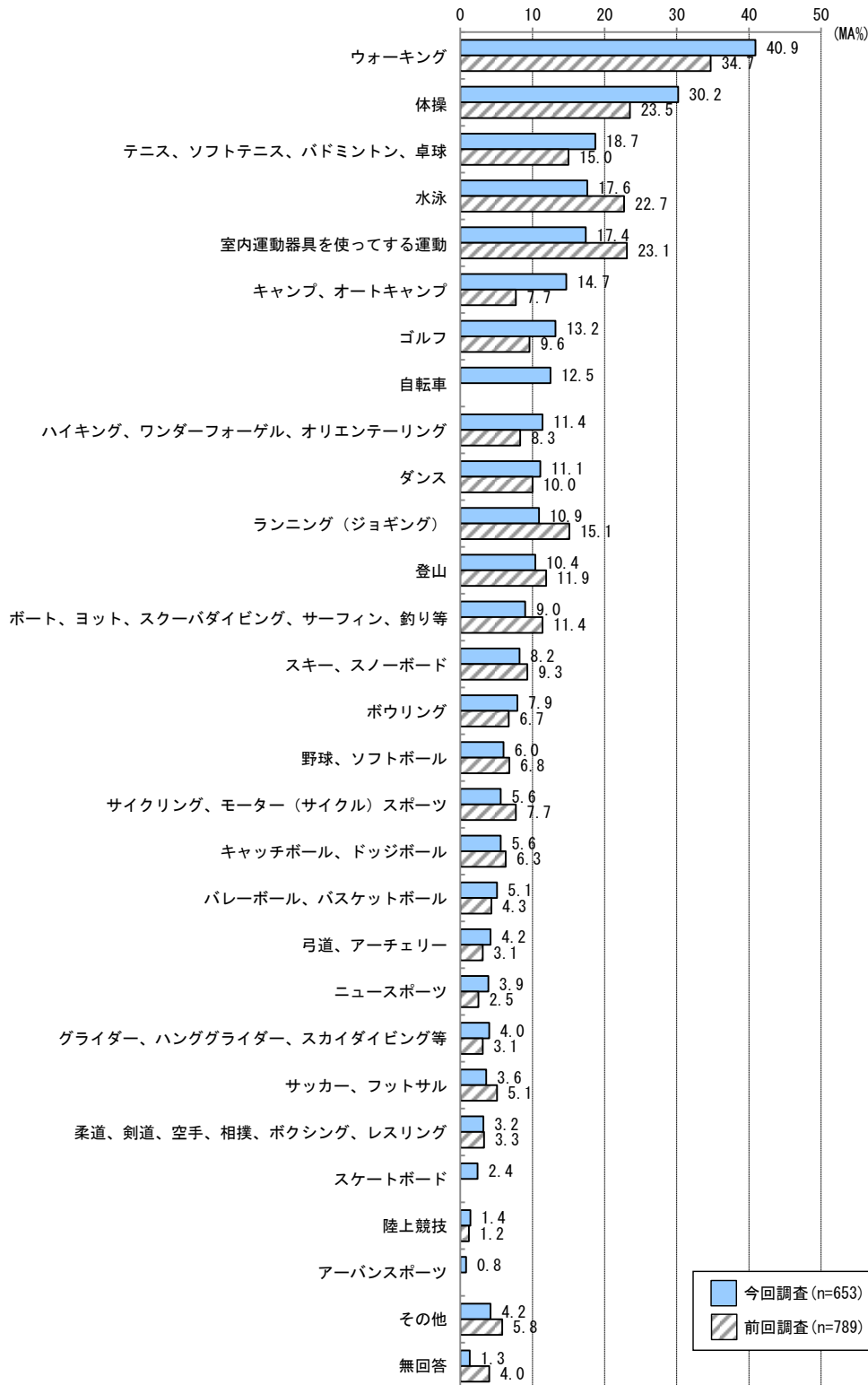


## (2) 今後やってみたい運動やスポーツの種目

【問39で「1.」～「4.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問39-1. 今後、やってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

【図 II 8-2 今後やってみたい運動やスポーツの種目】



※「自転車」「スケートボード」「ダンス」は今回調査のみ



今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と回答した人に、今後、やってみたい運動やスポーツをたずねると、「ウォーキング」が40.9%で最も多く、次いで「体操」が30.2%、「テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球」が18.7%となっている。

前回調査と比較すると、「キャンプ、オートキャンプ」（14.7%）は7.0ポイント、「体操」は6.7ポイント、「ウォーキング」は6.2ポイント、前回より高くなっている。（図Ⅱ8-2）

性別でみると、男女とも「ウォーキング」が最も多く、男性（31.6%）より女性（48.2%）のほうが16.6ポイント高くなっている。次いで男性は「キャンプ、オートキャンプ」（19.7%）、女性は「体操」（45.5%）が続いている。（表Ⅱ8-2-1）

【表Ⅱ8-2-1 性別 今後やってみたい運動やスポーツの種目（上位5項目）】

(単位：MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=286)	ウォーキング 31.6	キャンプ、オート キャンプ 19.7	ゴルフ 19.1	自転車 18.1	テニス、ソフトテ ニス、バドミント ン、卓球 15.4
女性 (n=356)	ウォーキング 48.2	体操 45.5	室内運動器具を 使ってする運動 20.6	テニス、ソフトテ ニス、バドミント ン、卓球 20.5	水泳 19.9

年齢別でみると、いずれの年代も「ウォーキング」が最も多く、70～79歳（55.9%）で最も高くなっている。（表Ⅱ8-2-2）

【表Ⅱ8-2-2 年齢別 今後やってみたい運動やスポーツの種目（上位5項目）】

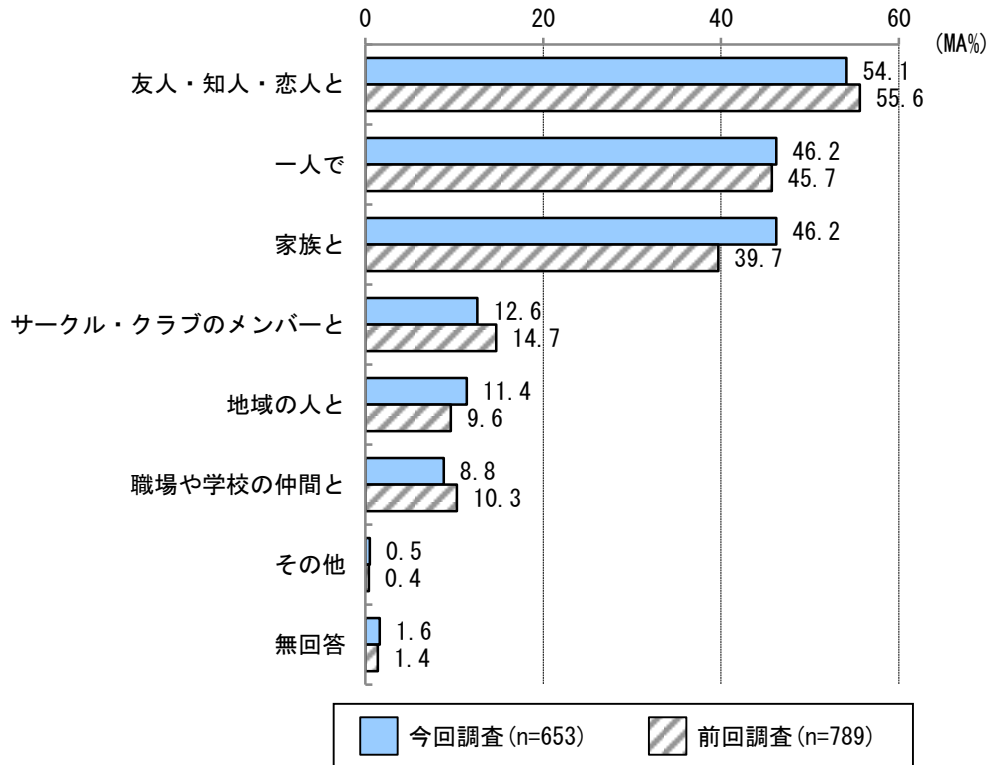
(単位：MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (n=38)	ウォーキング 26.3	体操 21.1	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球／水泳／室内運動器具を使ってする運動／キャンプ、オートキャンプ／自転車／ダンス		18.4
30～39歳 (n=76)	ウォーキング 31.6	体操 31.6	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球 23.7	室内運動器具を使ってする運動 22.4	登山 21.1
40～49歳 (n=102)	ウォーキング 41.2	体操 28.4	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球 26.5	キャンプ、オートキャンプ 19.6	水泳 17.6
50～59歳 (n=141)	ウォーキング 37.6	体操 29.1	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球／水泳	19.9	室内運動器具を使ってする運動 18.4
60～69歳 (n=125)	ウォーキング 49.6	体操 39.2	室内運動器具を使ってする運動 24.8	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球 20.8	水泳 18.4
70～79歳 (n=127)	ウォーキング 55.9	体操 35.4	ゴルフ 17.3	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング 15.7	水泳 15.0
80歳以上 (n=38)	ウォーキング 55.3	体操 26.3	水泳／室内運動器具を使ってする運動	15.8	ゴルフ／自転車／ランニング（ジョギング）／ダンス 10.5

### (3) 運動やスポーツを一緒に行いたい相手

問39-2. 主に誰と運動やスポーツを行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ8-3 運動やスポーツを一緒に行いたい相手】

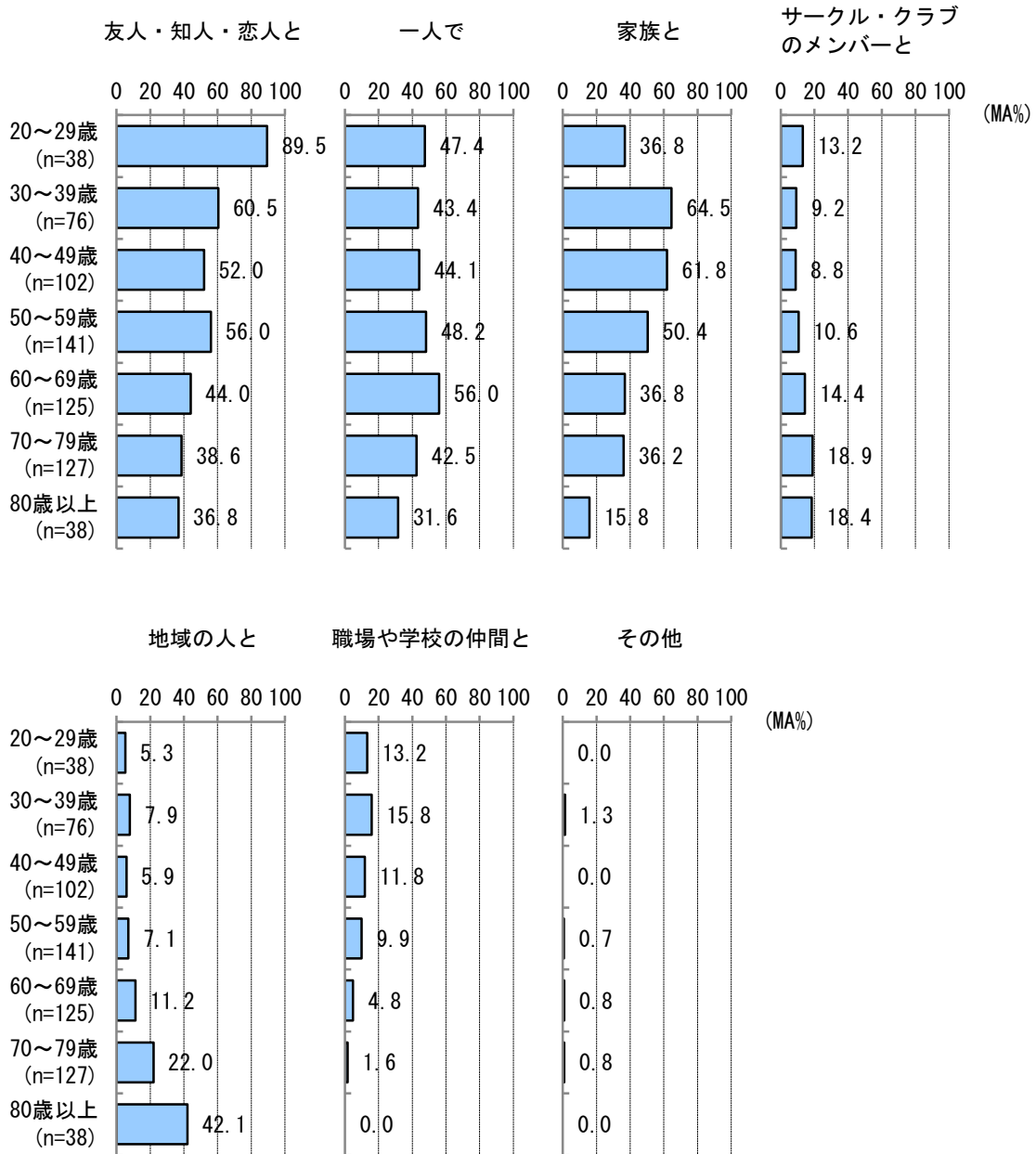


運動やスポーツを一緒に行いたい相手については、「友人・知人・恋人と」が54.1%で最も多く、次いで「一人で」、「家族と」がそれぞれ46.2%、「サークル・クラブのメンバーと」が12.6%となっている。

前回調査と比較すると、「家族と」は前回より6.5ポイント高くなっている。(図Ⅱ8-3)

年齢別で見ると、「友人・知人・恋人と」は20～29歳（89.5%）が最も高く、若い年代ほど高い割合となっている。（図Ⅱ8-3-1）

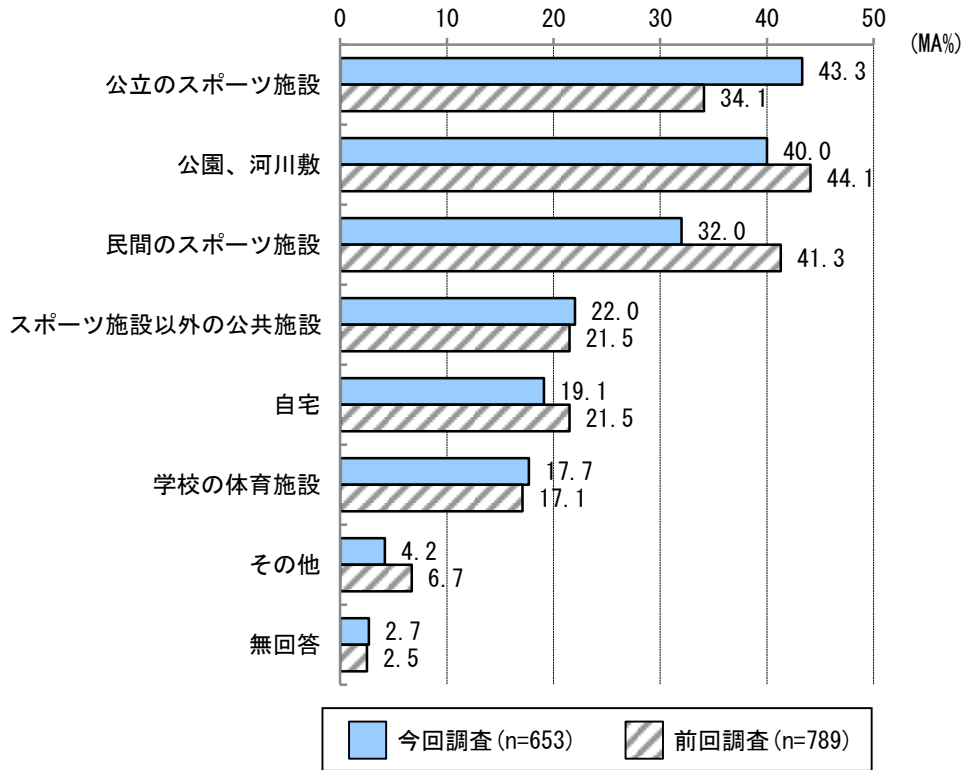
【図Ⅱ8-3-1 年齢別 運動やスポーツを一緒に行いたい相手】



(4) 運動やスポーツを行いたい場所

問39-3. どこで運動やスポーツを行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ8-4 運動やスポーツを行いたい場所】

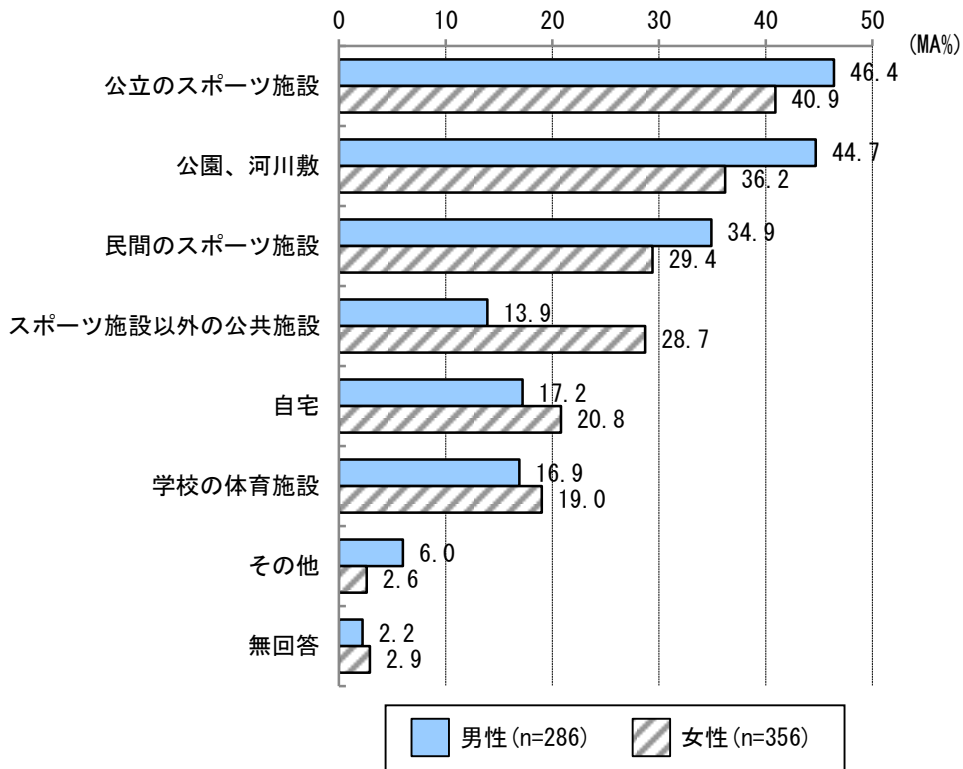


運動やスポーツを行いたい場所については、「公立のスポーツ施設」が43.3%で最も多く、次いで「公園、河川敷」が40.0%、「民間のスポーツ施設」が32.0%となっている。

前回調査と比較すると、「公立のスポーツ施設」は前回より9.2ポイント高いが、「民間のスポーツ施設」は前回より9.3ポイント低くなっている。(図Ⅱ8-4)

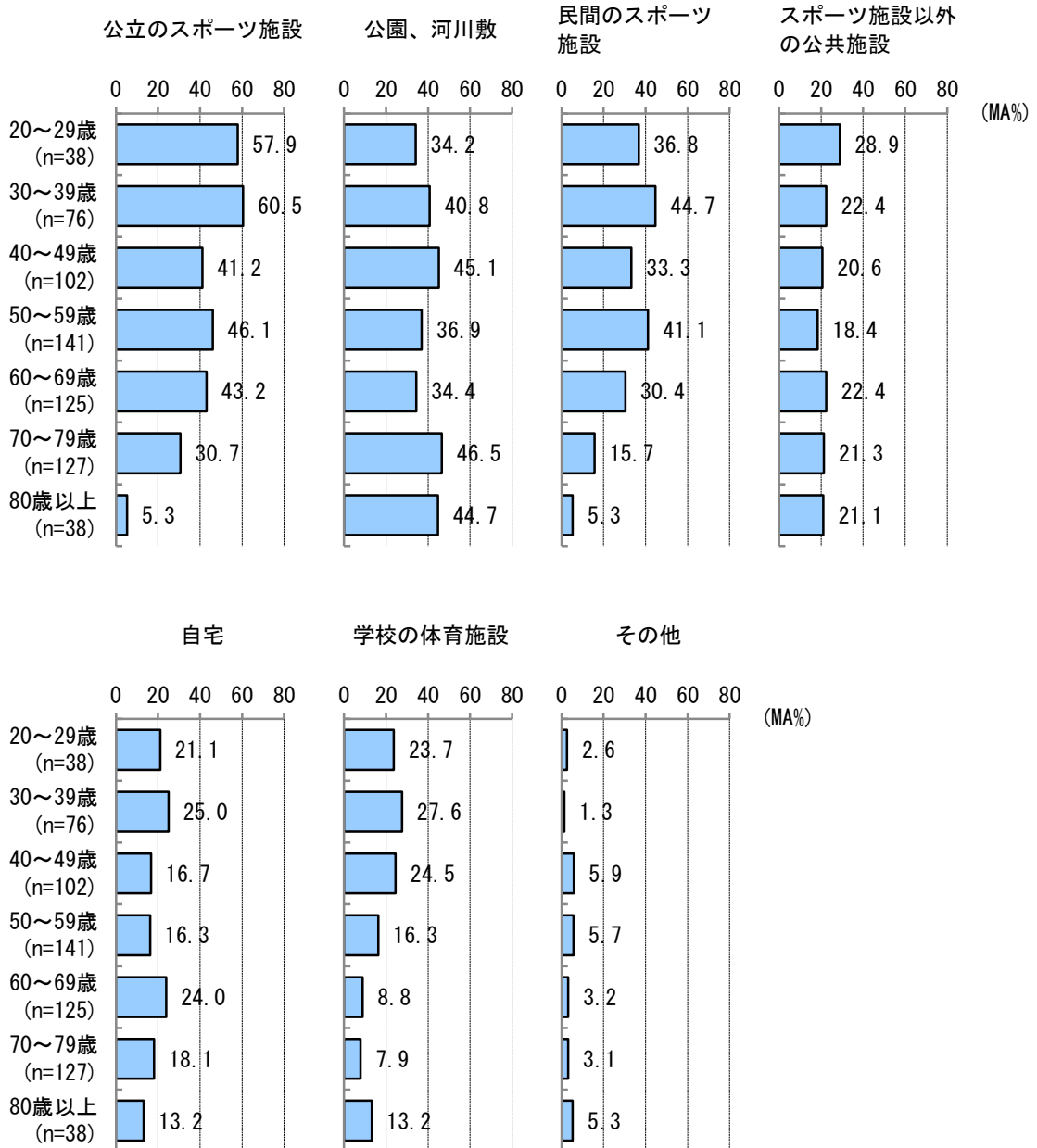
性別で見ると、「スポーツ施設以外の公共施設」は男性（13.9%）より女性（28.7%）のほうが14.8ポイント高く、「公園、河川敷」は女性（36.2%）より男性（44.7%）のほうが8.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ8-4-1）

【図Ⅱ8-4-1 性別 運動やスポーツを行いたい場所】



年齢別で見ると、「公立のスポーツ施設」は30～39歳（60.5%）が最も高く、次いで20～29歳（57.9%）となっている。（図II 8-4-2）

【図II 8-4-2 年齢別 運動やスポーツを行いたい場所】

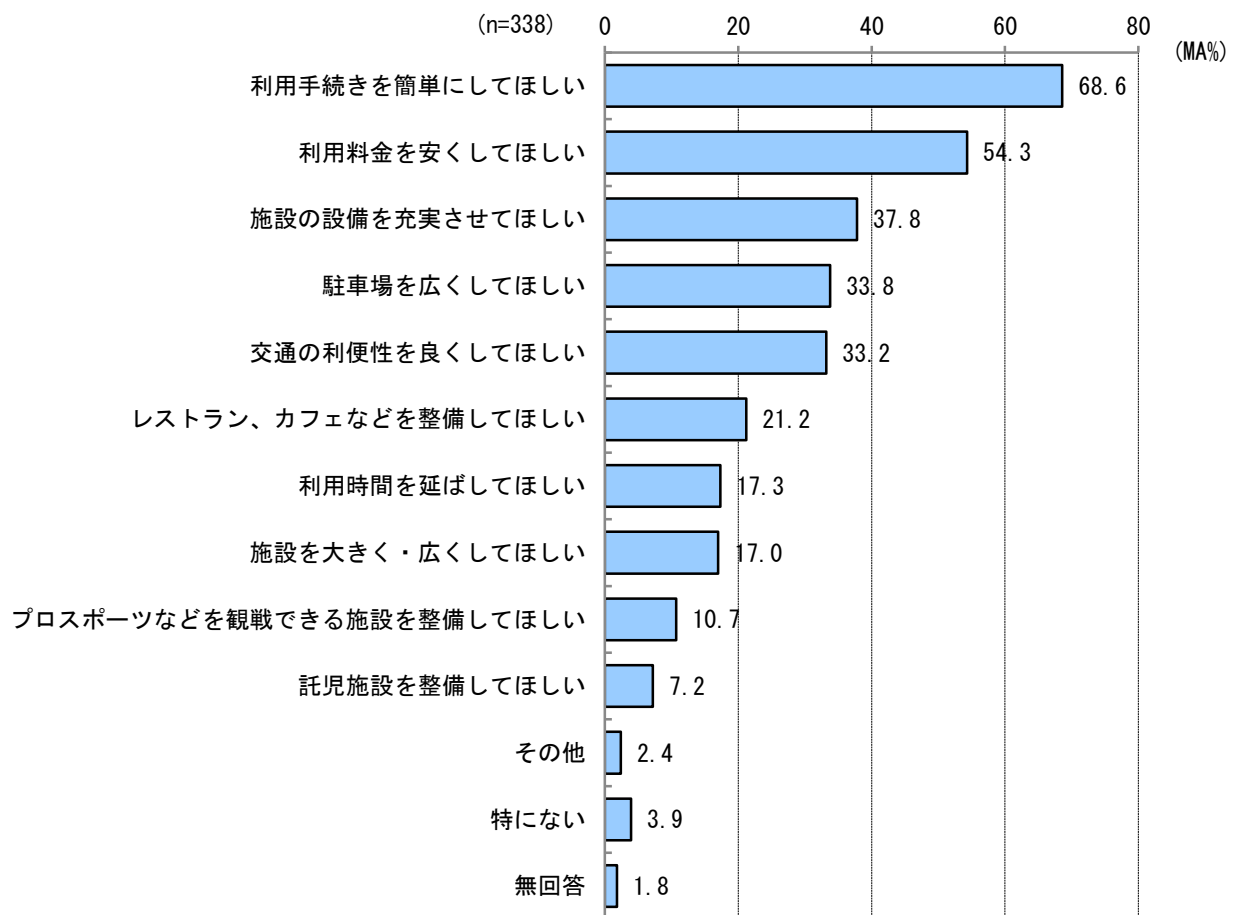


### (5) 公共スポーツ施設への要望

【問39-3で「2. 公立のスポーツ施設」または「3. スポーツ施設以外の公共施設」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問39-4. 公共スポーツ施設を利用する上で、特に要望することは何ですか。(〇はいくつでも)

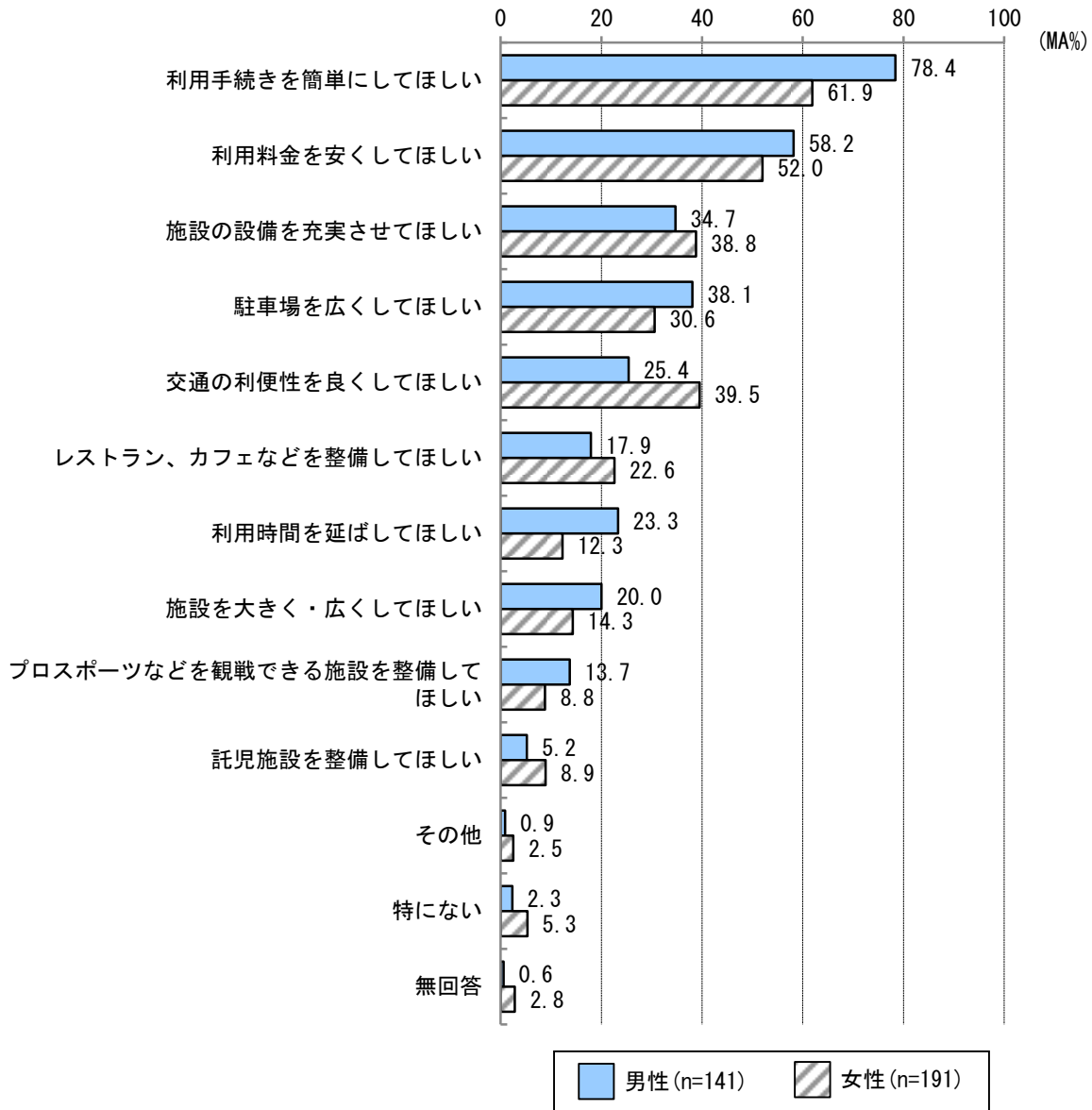
【図Ⅱ8-5 公共スポーツ施設への要望】



公共スポーツ施設を利用する上で特に要望することについては、「利用手続きを簡単にしてほしい」が68.6%で最も多く、次いで「利用料金を安くしてほしい」が54.3%、「施設の設備を充実させてほしい」が37.8%となっている。(図Ⅱ8-5)

性別でみると、「利用手続きを簡単にしてほしい」は女性（61.9%）より男性（78.4%）のほうが16.5ポイント高くなっている。（図Ⅱ8-5-1）

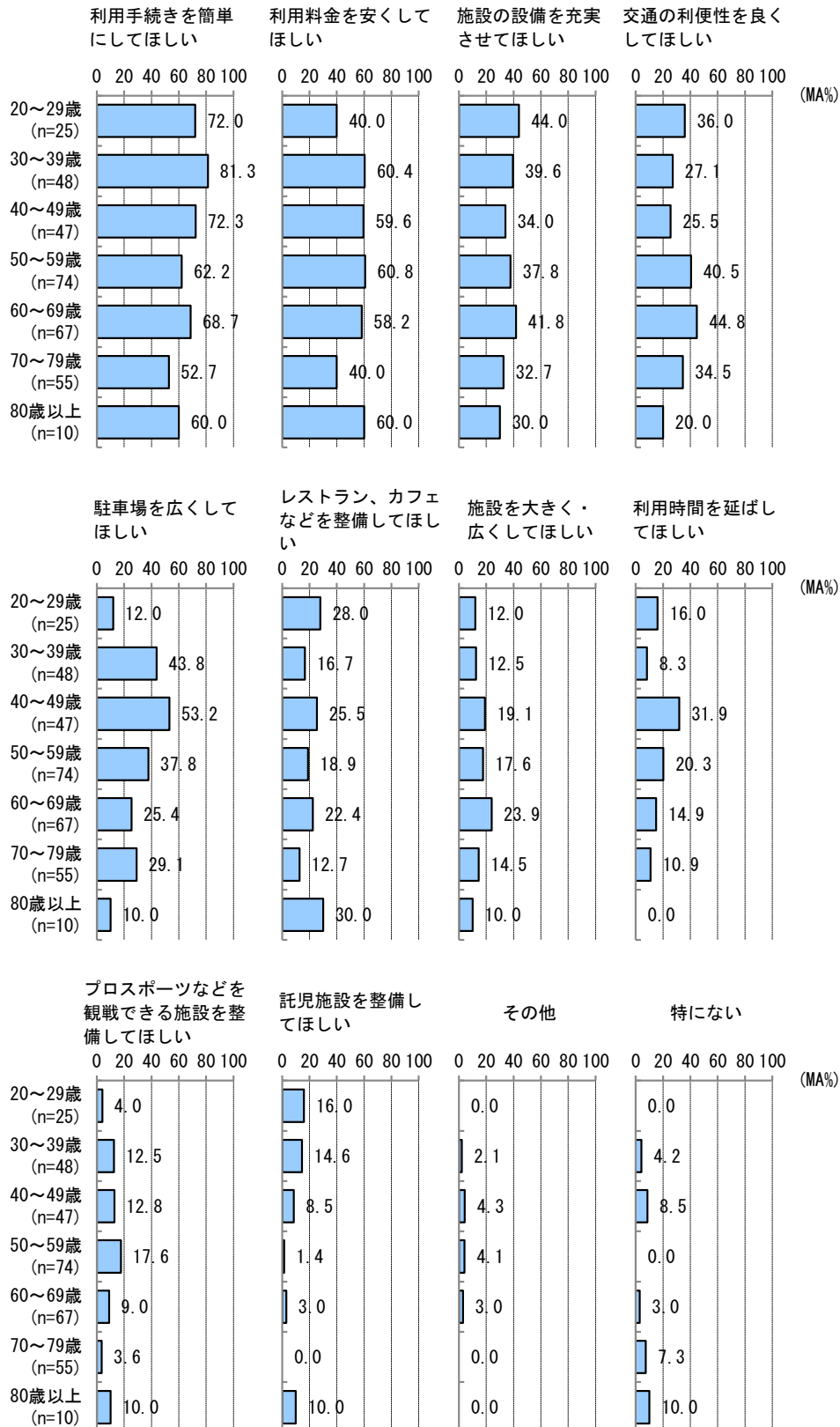
【図Ⅱ8-5-1 性別 公共スポーツ施設への要望】





年齢別で見ると、「利用手続きを簡単にしてほしい」は30～39歳（81.3%）が最も高く、20～49歳までの年代で70%を超えている。「施設の設備を充実させてほしい」では20～29歳（44.0%）が最も高くなっている。（図Ⅱ8-5-2）

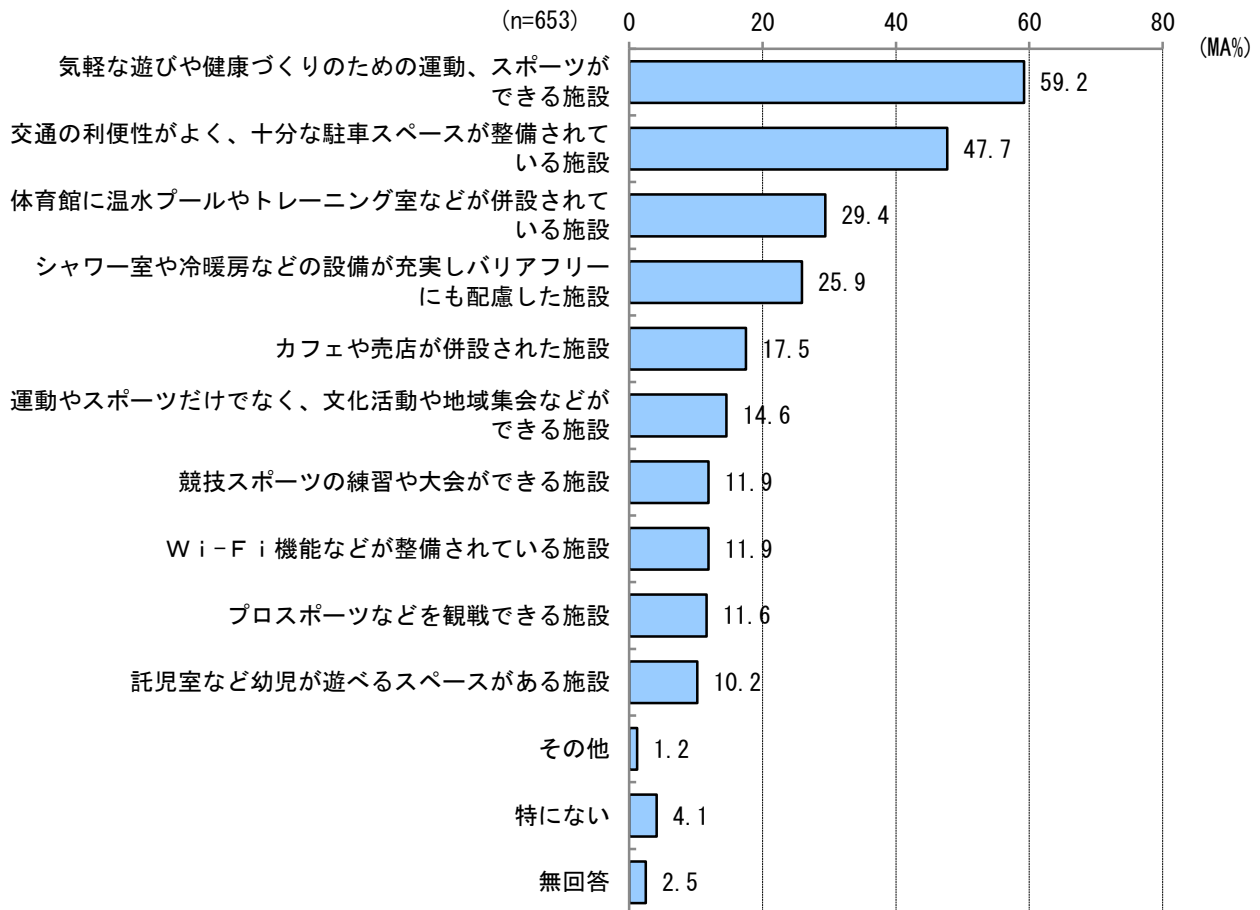
【図Ⅱ8-5-2 年齢別 公共スポーツ施設への要望】



(6) 身近なスポーツ施設に希望する機能

問39-5. 身近なスポーツ施設をつくるとしたら、あなたはどのような機能をもった施設を望みますか。(〇は3つまで)

【図Ⅱ8-6 身近なスポーツ施設に希望する機能】



身近なスポーツ施設に希望する機能については、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」が59.2%で最も多く、次いで「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」が47.7%、「体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設」が29.4%、「シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設」が25.9%となっている。(図Ⅱ8-6)

年齢別で見ると、50～59歳は「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」(59.6%)が最も多いが、それ以外の年代では「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」が最も多くなっている。(表Ⅱ8-6-1)

【表Ⅱ8-6-1 年齢別 身近なスポーツ施設に希望する機能(上位5項目)】

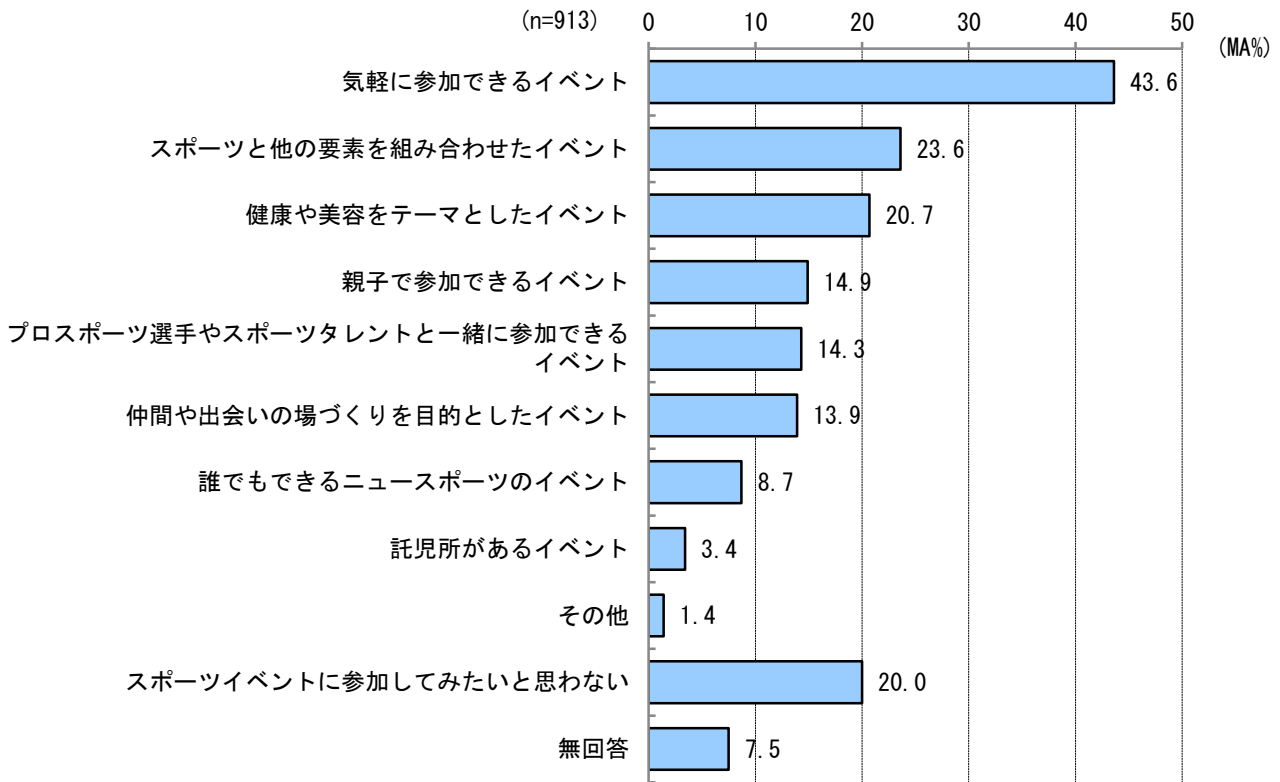
(単位: MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (n=38)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 52.6	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設／体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 44.7	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 34.2	Wi-Fi機能などが整備されている施設 21.1	
30～39歳 (n=76)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 65.8	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 43.4	体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 36.8	託児室など幼児が遊べるスペースがある施設 28.9	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 23.7
40～49歳 (n=102)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 52.9	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 51.0	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 28.4	体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 26.5	カフェや売店が併設された施設 21.6
50～59歳 (n=141)	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 59.6	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 56.7	体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 30.5	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 27.7	カフェや売店が併設された施設 18.4
60～69歳 (n=125)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 61.6	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 54.4	体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 34.4	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 33.6	運動やスポーツだけでなく、文化活動や地域集会などができる施設 20.0
70～79歳 (n=127)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 63.8	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 37.8	運動やスポーツだけでなく、文化活動や地域集会などができる施設 20.5	カフェや売店が併設された施設 18.1	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設 15.7
80歳以上 (n=38)	気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設 65.8	交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設 23.7	運動やスポーツだけでなく、文化活動や地域集会などができる施設 21.1	体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設 18.4	シャワー室や冷暖房などの設備が充実しバリアフリーにも配慮した施設／カフェや売店が併設された施設 10.5

(7) 参加してみたいスポーツイベント

問40. あなたは、どのようなスポーツイベントであれば、参加してみたいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

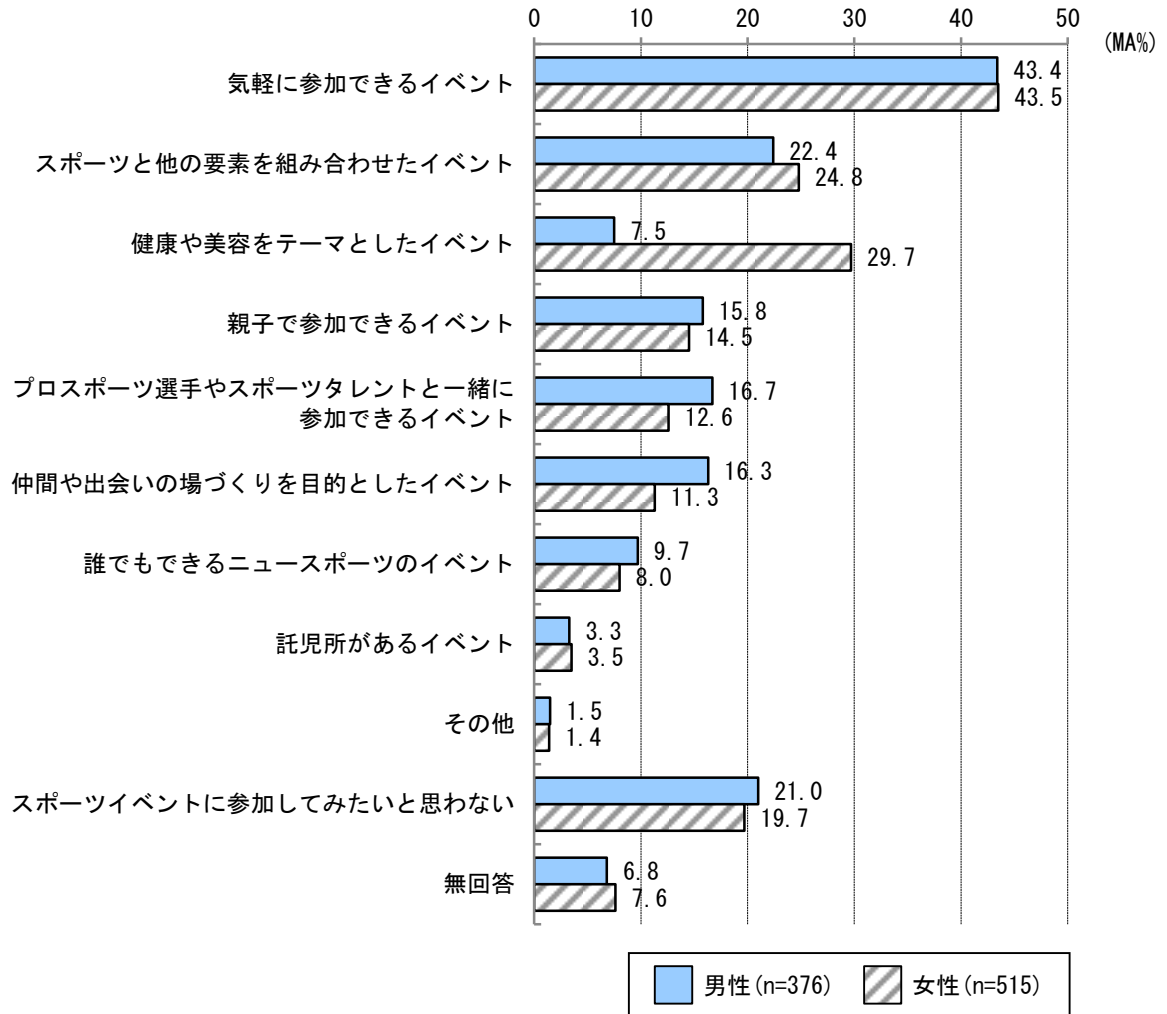
【図 II 8-7 参加してみたいスポーツイベント】



参加してみたいスポーツイベントについては、「気軽に参加できるイベント」が43.6%で最も多く、次いで「スポーツと他の要素を組み合わせたイベント」が23.6%、「健康や美容をテーマとしたイベント」が20.7%となっている。一方で「スポーツイベントに参加してみたいと思わない」は20.0%となっている。(図 II 8-7)

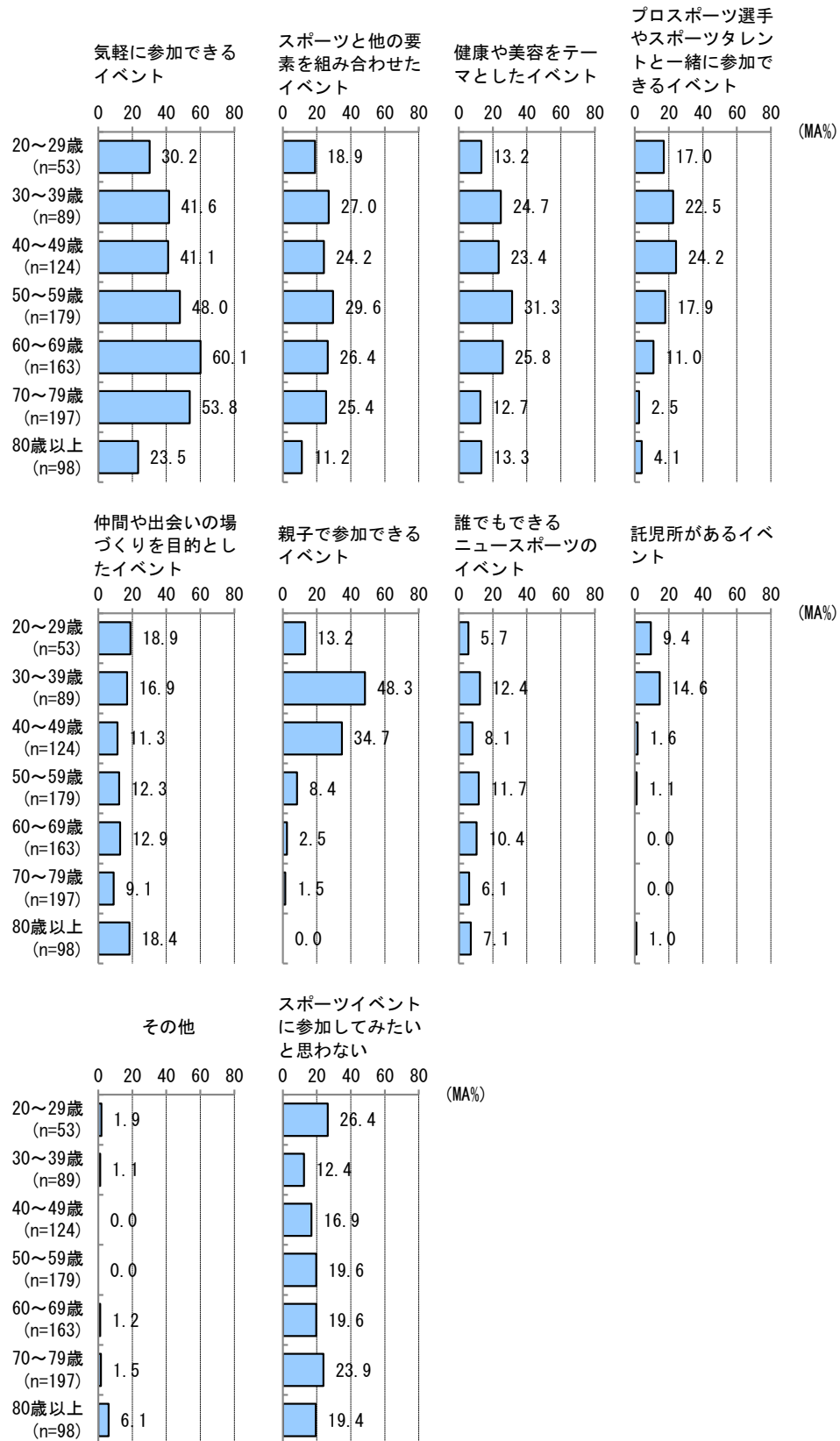
性別で見ると、「健康や美容をテーマとしたイベント」は男性（7.5%）より女性（29.7%）のほうが22.2ポイント高くなっている。（図Ⅱ8-7-1）

【図Ⅱ8-7-1 性別 参加してみたいスポーツイベント】



年齢別でみると、「気軽に参加できるイベント」は60～69歳（60.1%）が最も高い。「親子で参加できるイベント」では30～39歳（48.3%）が最も高く、次いで40～49歳（34.7%）となっている。（図Ⅱ8-7-2）

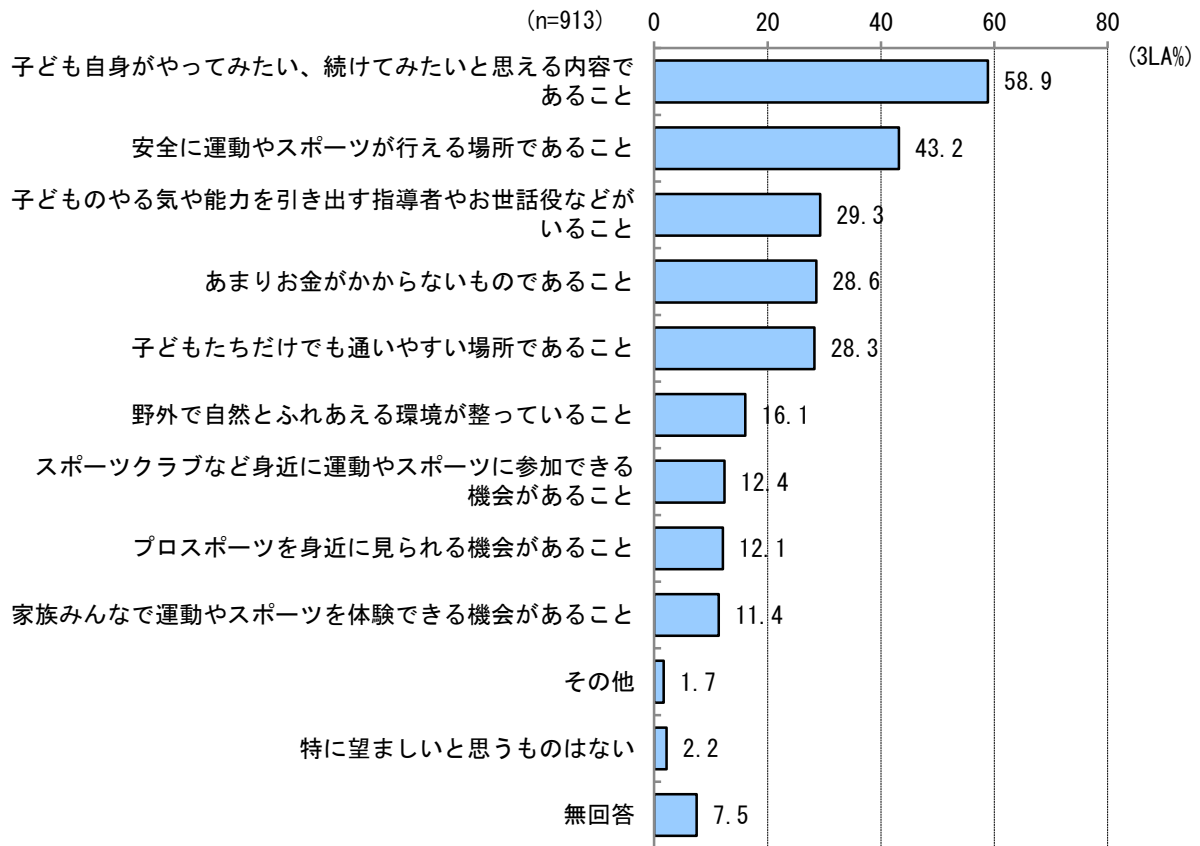
【図Ⅱ8-7-2 年齢別 参加してみたいスポーツイベント】



(8) 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件・環境

問41. 子どもの運動やスポーツを促進するためにどのような条件や環境が望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

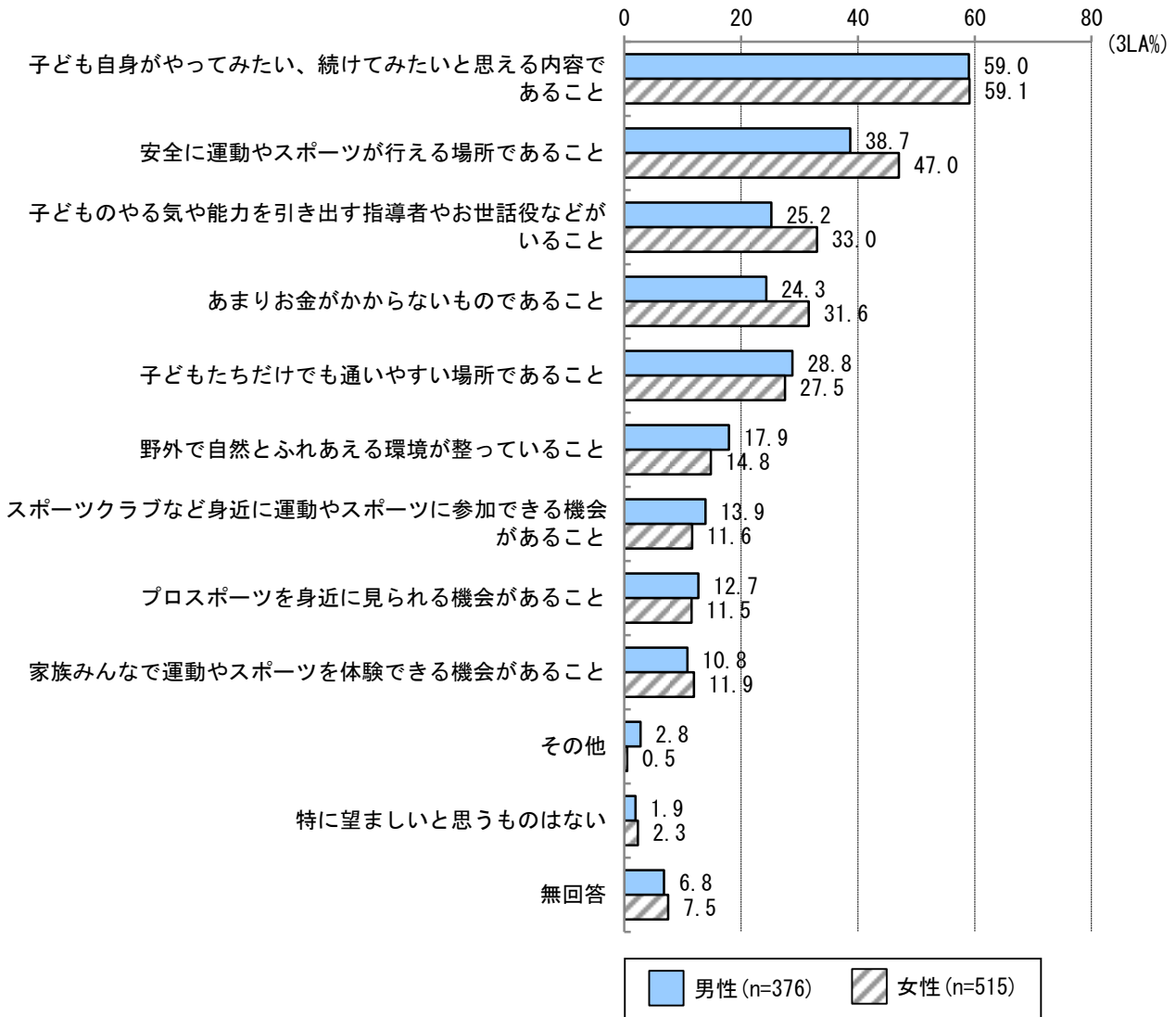
【図Ⅱ8-8 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件・環境】



子どもの運動・スポーツ促進に望ましい条件や環境については、「子ども自身がやりたい、続けてみたいと思える内容であること」が58.9%で最も多く、次いで「安全に運動やスポーツが行える場所であること」が43.2%、「子どものやる気や能力を引き出す指導者やお世話役などがあること」が29.3%となっている。(図Ⅱ8-8)

性別でみると、「安全に運動やスポーツが行える場所であること」は男性（38.7%）より女性（47.0%）のほうが8.3ポイント高く、「子どものやる気や能力を引き出す指導者やお世話役などがあること」は男性（25.2%）より女性（33.0%）のほうが7.8ポイント、それぞれ高くなっている。（図Ⅱ8-8-1）

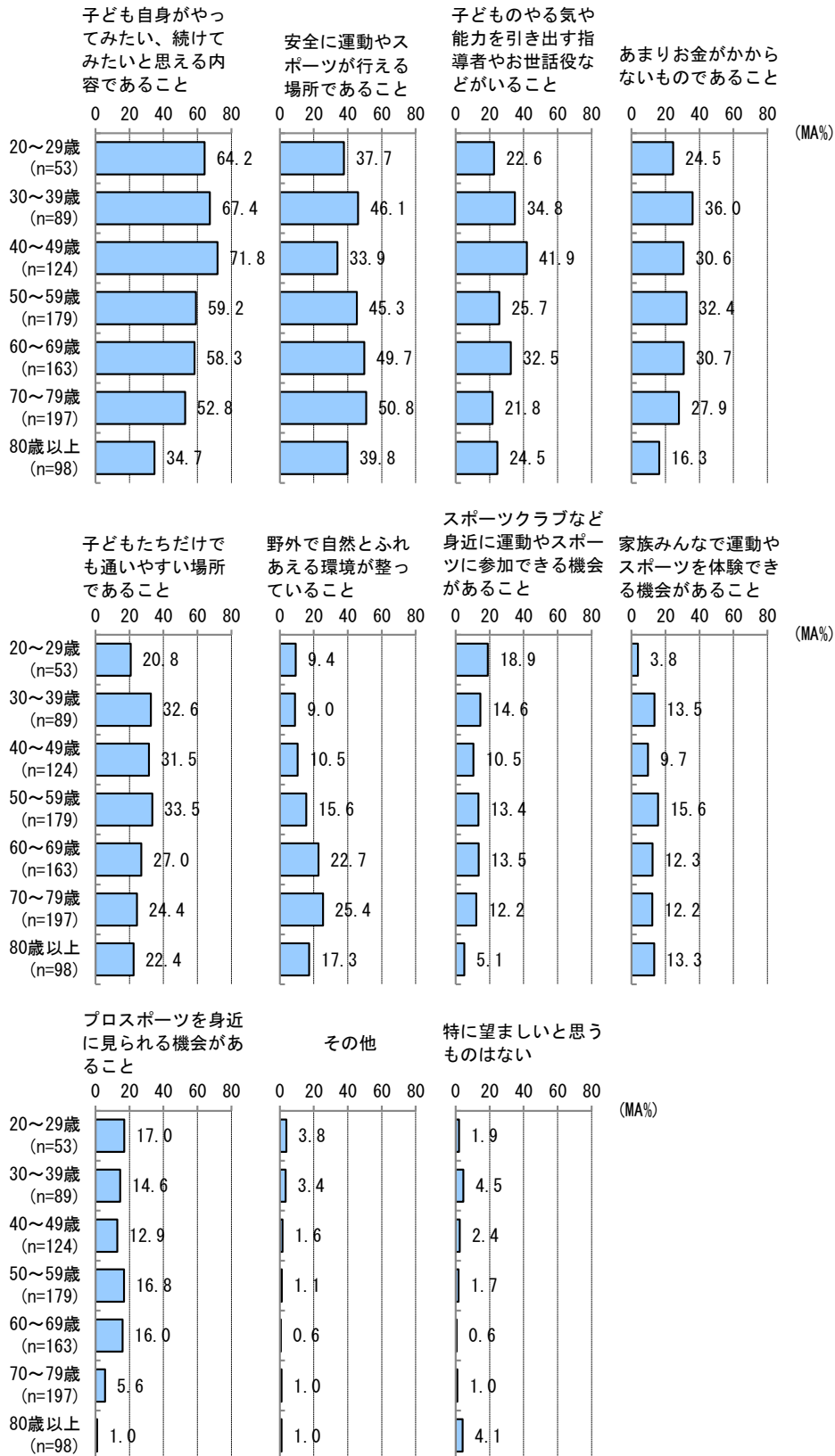
【図Ⅱ8-8-1 性別 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件・環境】





年齢別でみると、「子ども自身がやってみたい、続けてみたいと思える内容であること」は40～49歳（71.8%）が最も高く、「安全に運動やスポーツが行える場所であること」は70～79歳（50.8%）が最も高くなっている。（図Ⅱ8-8-2）

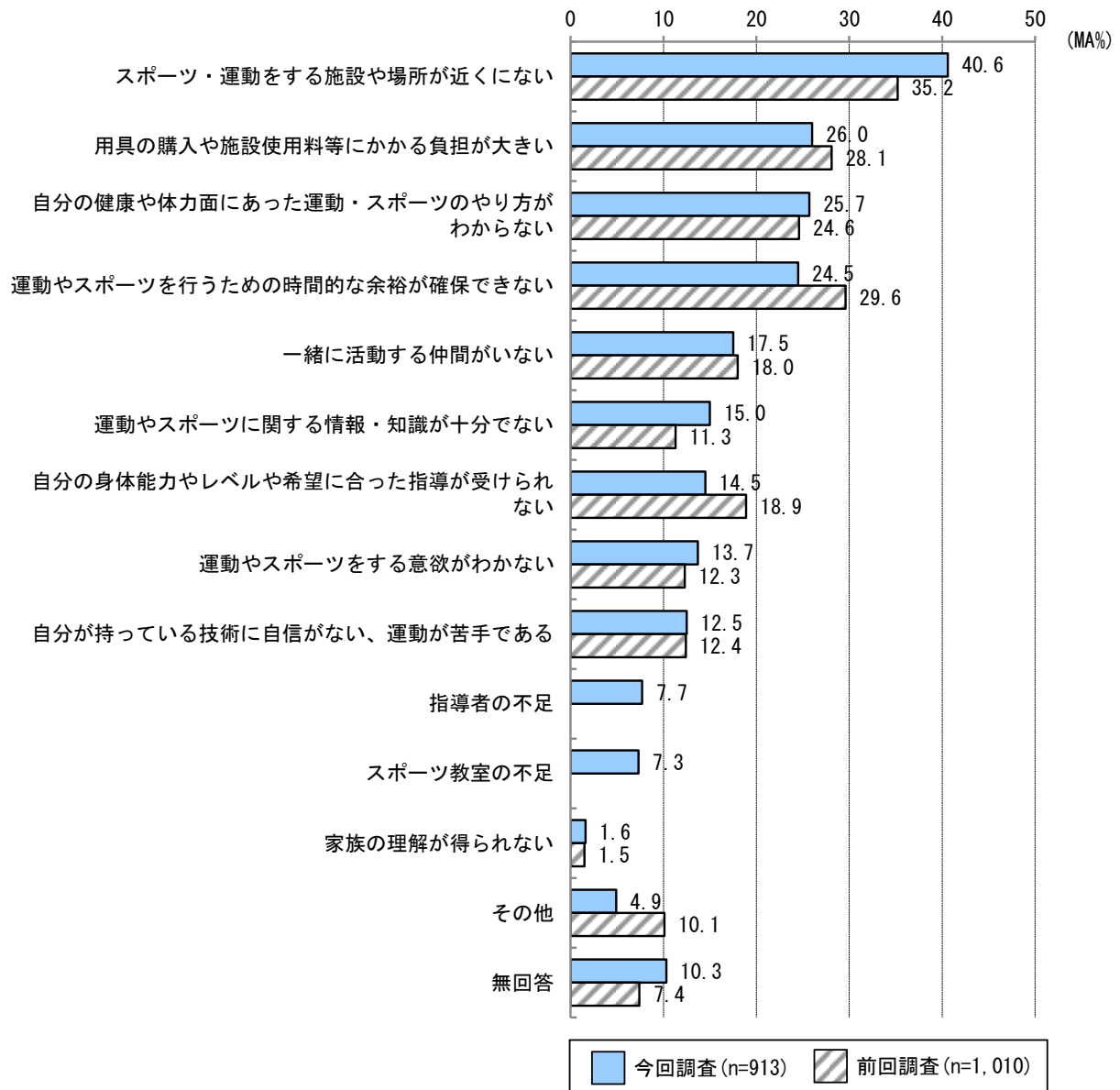
【図Ⅱ8-8-2 年齢別 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件・環境】



(9) 今後、運動やスポーツを行う場合に考えられる問題

問42. 今後、運動やスポーツを行う場合、問題になると考えられることは何ですか。(〇はいくつでも)

【図 II 8-9 今後、運動やスポーツを行う場合に考えられる問題】

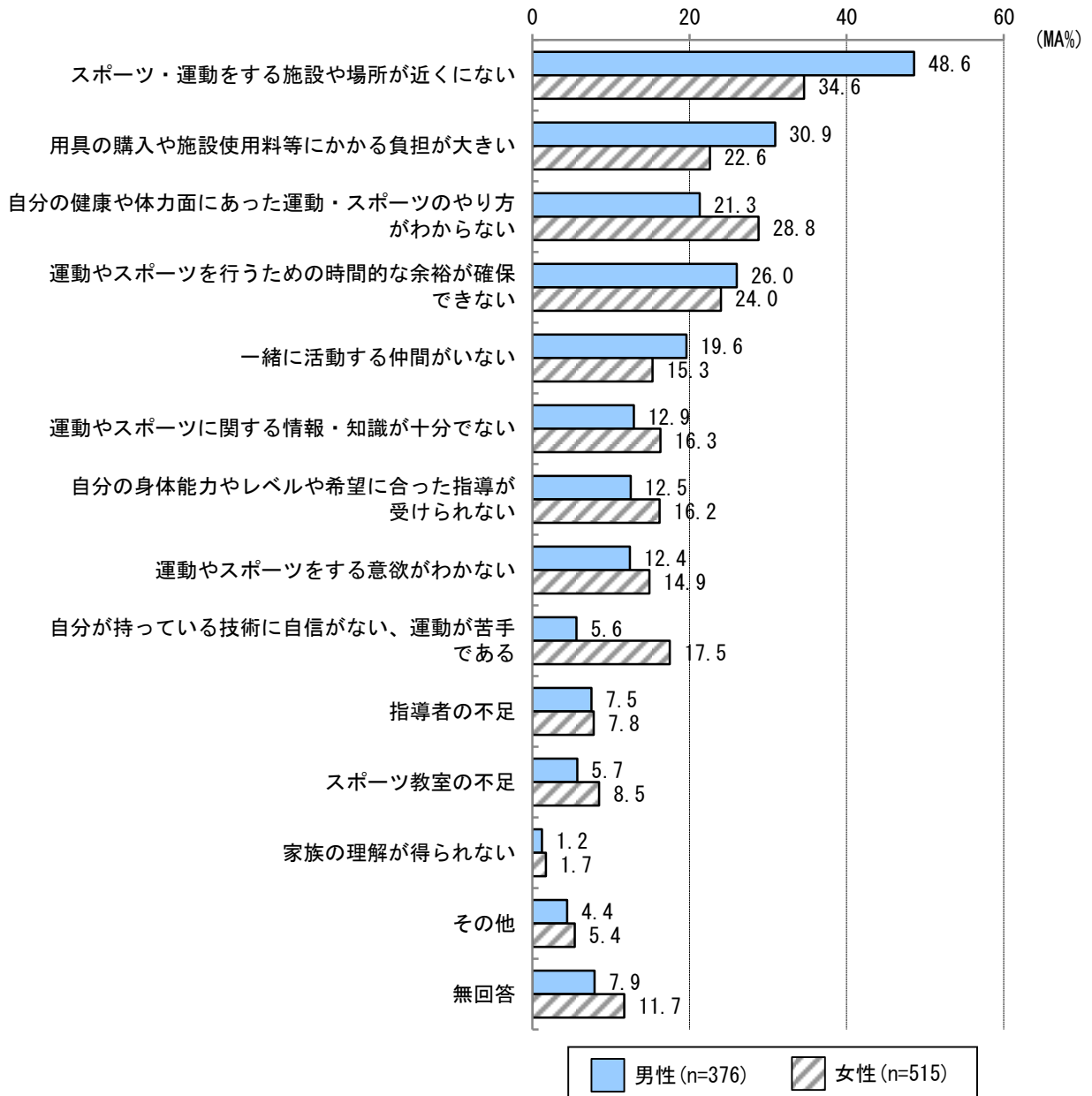


今後の運動やスポーツを行う場合に考えられる問題については、「スポーツ・運動をする施設や場所が近くにない」が40.6%で最も多く、次いで「用具の購入や施設使用料等にかかる負担が大きい」が26.0%、「自分の健康や体力面にあった運動・スポーツのやり方がわからない」が25.7%となっている。

前回調査と比較すると、「スポーツ・運動をする施設や場所が近くにない」は前回より5.4ポイント高くなっている。(図 II 8-9)

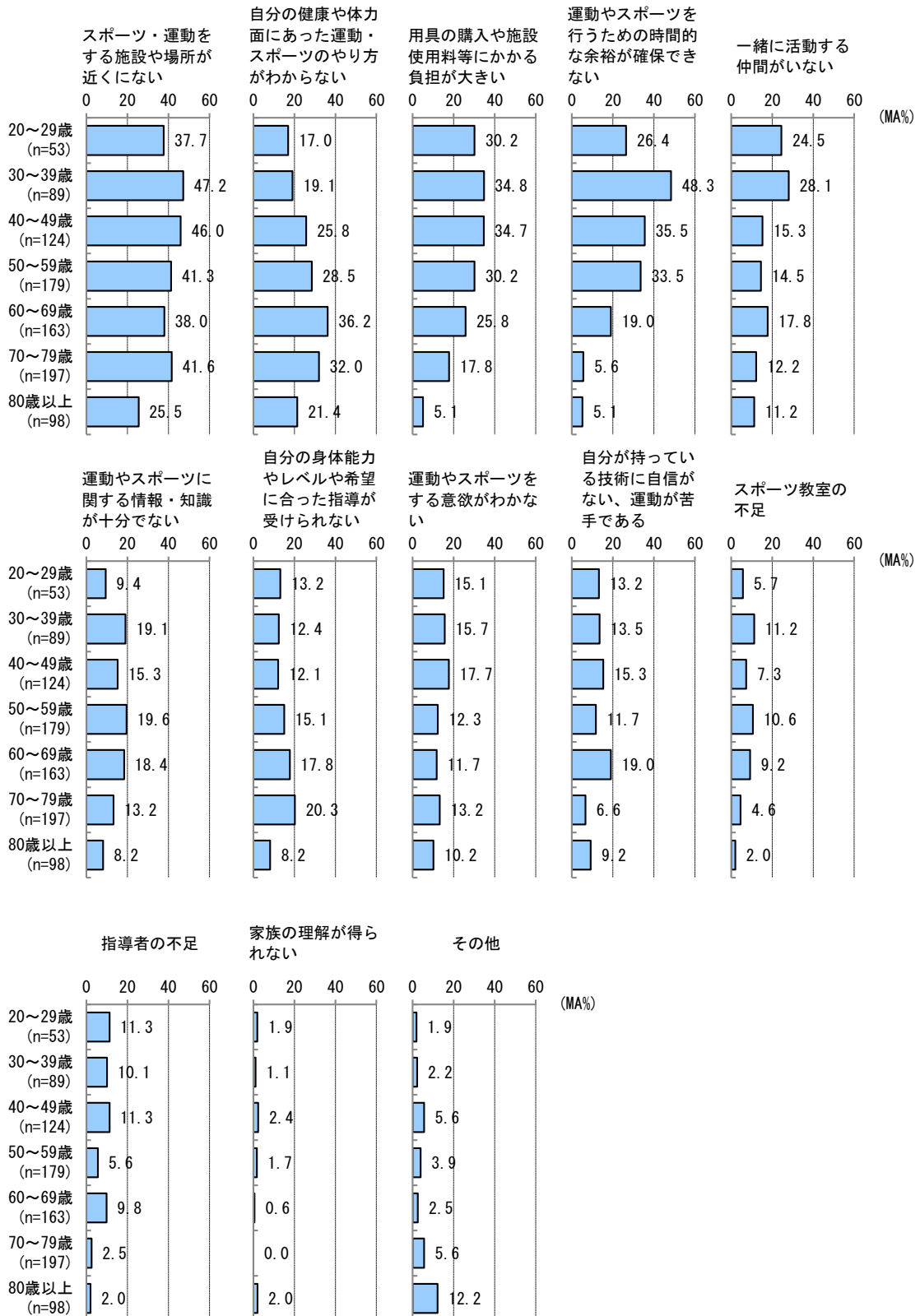
性別で見ると、「スポーツ・運動をする施設や場所が近くにない」は女性（34.6%）より男性（48.6%）のほうが14.0ポイント高くなっている。（図Ⅱ8-9-1）

【図Ⅱ8-9-1 性別 今後、運動やスポーツを行う場合に考えられる問題】



年齢別でみると、「スポーツ・運動をする施設や場所が近くにない」と「用具の購入や施設使用料等にかかる負担が大きい」、「運動やスポーツを行うための時間的な余裕が確保できない」、「一緒に活動する仲間がいない」、「スポーツ教室の不足」はいずれも30～39歳の割合が最も高くなっている。(図Ⅱ8-9-2)

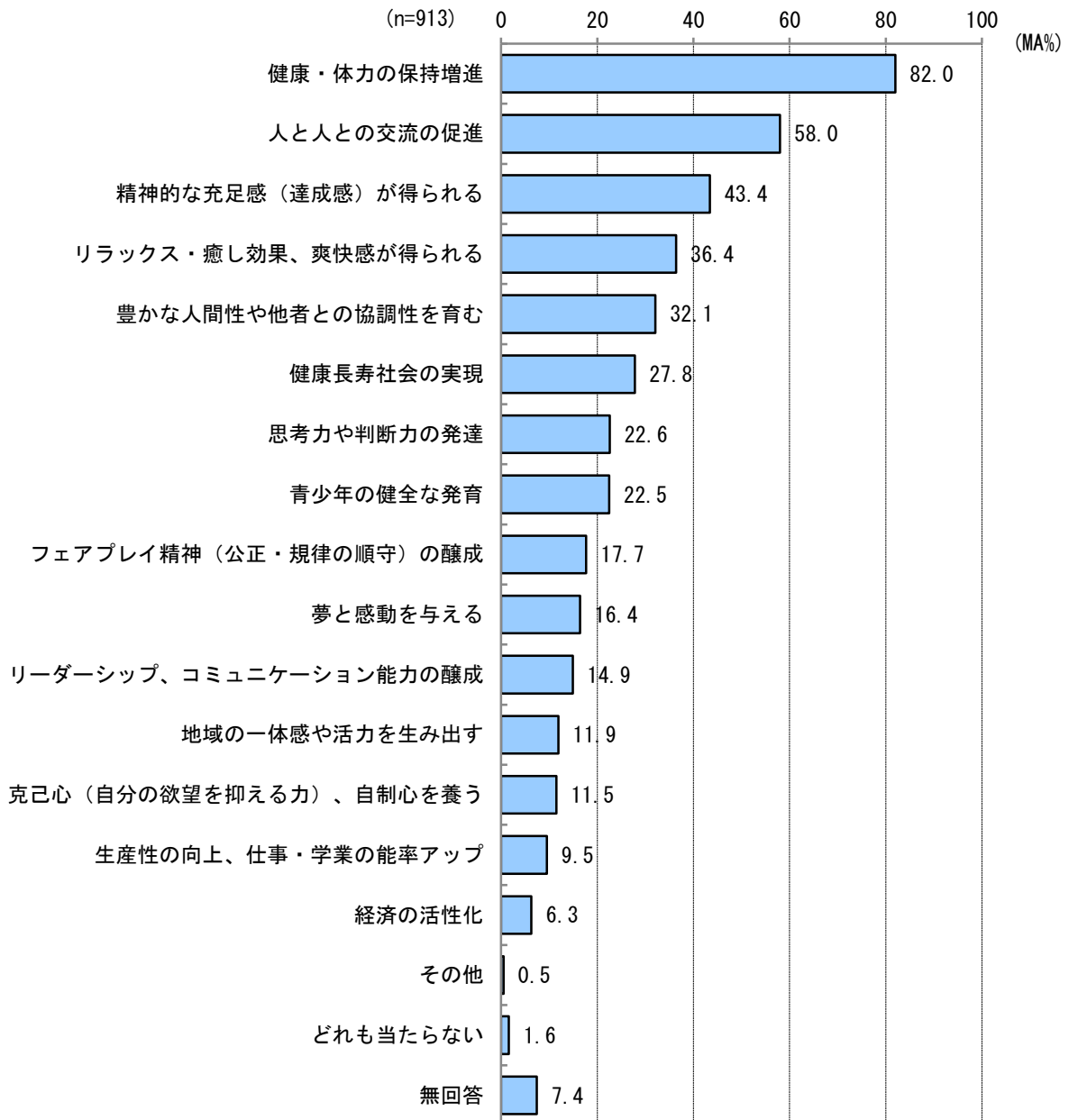
【図Ⅱ8-9-2 年齢別 今後、運動やスポーツを行う場合に考えられる問題】



(10) 運動やスポーツが個人や社会にもたらす効果

問43. 運動・スポーツが個人や社会にもたらす効果についてあてはまると思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

【図Ⅱ8-10 運動やスポーツが個人や社会にもたらす効果】



運動・スポーツが個人や社会にもたらす効果については、「健康・体力の保持増進」が82.0%で最も多く、次いで「人と人との交流の促進」が58.0%、「精神的な充足感（達成感）が得られる」が43.4%となっている。（図Ⅱ8-10）

性別でみると、男女とも「健康・体力の保持増進」が最も多く、男性（79.9%）より女性（83.3%）のほうが3.4ポイント高くなっている。（表Ⅱ8-10-1）

【表Ⅱ8-10-1 性別 運動やスポーツが個人や社会にもたらす効果（上位5項目）】

(単位：MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=376)	健康・体力の保持増進 79.9	人と人との交流の促進 58.9	精神的な充足感（達成感）が得られる 43.5	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 36.6	豊かな人間性や他者との協調性を育む 35.1
女性 (n=515)	健康・体力の保持増進 83.3	人と人との交流の促進 57.7	精神的な充足感（達成感）が得られる 43.6	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 36.8	健康長寿社会の実現 30.4

年齢別でみると、いずれの年代も「健康・体力の保持増進」が最も多く、なかでも40～49歳（88.7%）が最も高くなっている。（表Ⅱ8-10-2）

【表Ⅱ8-10-2 年齢別 運動やスポーツが個人や社会にもたらす効果（上位5項目）】

(単位：MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (n=53)	健康・体力の保持増進 81.1	人と人との交流の促進 67.9	精神的な充足感（達成感）が得られる 35.8	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる／豊かな人間性や他者との協調性を育む 28.3	
30～39歳 (n=89)	健康・体力の保持増進 86.5	精神的な充足感（達成感）が得られる 61.8	人と人との交流の促進 59.6	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 43.8	豊かな人間性や他者との協調性を育む 36.0
40～49歳 (n=124)	健康・体力の保持増進 88.7	人と人との交流の促進 53.2	精神的な充足感（達成感）が得られる 50.0	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 33.1	豊かな人間性や他者との協調性を育む 28.2
50～59歳 (n=179)	健康・体力の保持増進 85.5	人と人との交流の促進 59.2	精神的な充足感（達成感）が得られる 46.9	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 38.0	豊かな人間性や他者との協調性を育む 28.5
60～69歳 (n=163)	健康・体力の保持増進 84.0	人と人との交流の促進 57.1	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 44.8	精神的な充足感（達成感）が得られる 41.1	健康長寿社会の実現 36.2
70～79歳 (n=197)	健康・体力の保持増進 83.2	人と人との交流の促進 58.4	健康長寿社会の実現 42.1	リラックス・癒し効果、爽快感が得られる 41.6	豊かな人間性や他者との協調性を育む 36.0
80歳以上 (n=98)	健康・体力の保持増進 61.2	人と人との交流の促進 53.1	健康長寿社会の実現 39.8	豊かな人間性や他者との協調性を育む 37.8	精神的な充足感（達成感）が得られる 31.6

## 9 自由意見

問44. スポーツに関してその他ご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

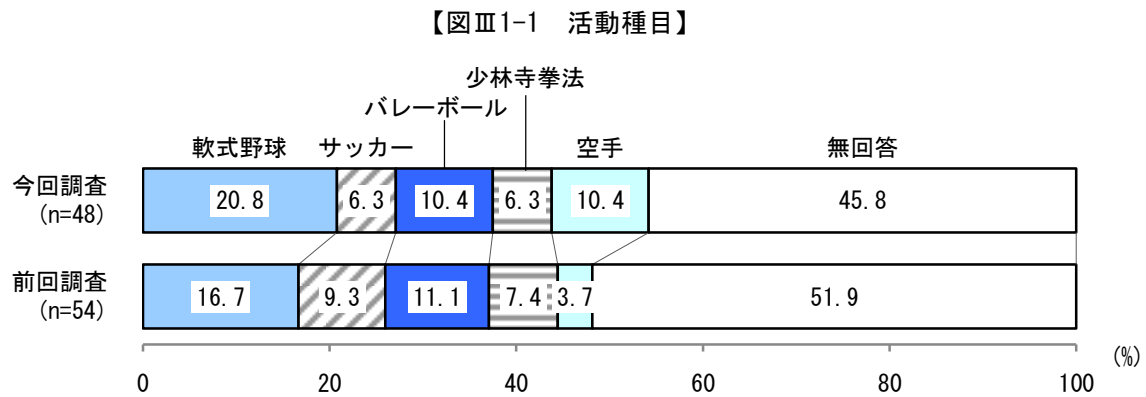
スポーツに関してご意見やご提案について、自由記述形式でたずねたところ、177人から延べ201件の意見が挙げられた。意見を分類した結果は以下のとおりである。

意 見	件 数
自身の健康状態・スポーツの状況	32
スポーツ施策・イベントに関する提案	23
新たなスポーツ施設・教室の新設	21
アンケートについて	18
気軽にスポーツできる環境づくり	15
公園内の整備	13
スポーツ施設の立地・送迎・利便性	10
スポーツ施設・コース等の整備・改善	9
スポーツに関する情報提供	9
子どものためのスポーツ環境の充実	8
人材の育成・活用	7
スポーツ施設等の料金が高い	5
高齢者のためのスポーツ環境の充実	5
自身の取り組みについて	4
ホームタウンチームについて	4
ニュースポーツの普及	3
障がい者のスポーツについて	3
スポーツ施設の予約	2
スポーツ施設の利用時間について	2
その他	8
合計	201

### Ⅲ 関係団体調査の結果

#### 1 団体の属性

##### (1) 活動種目



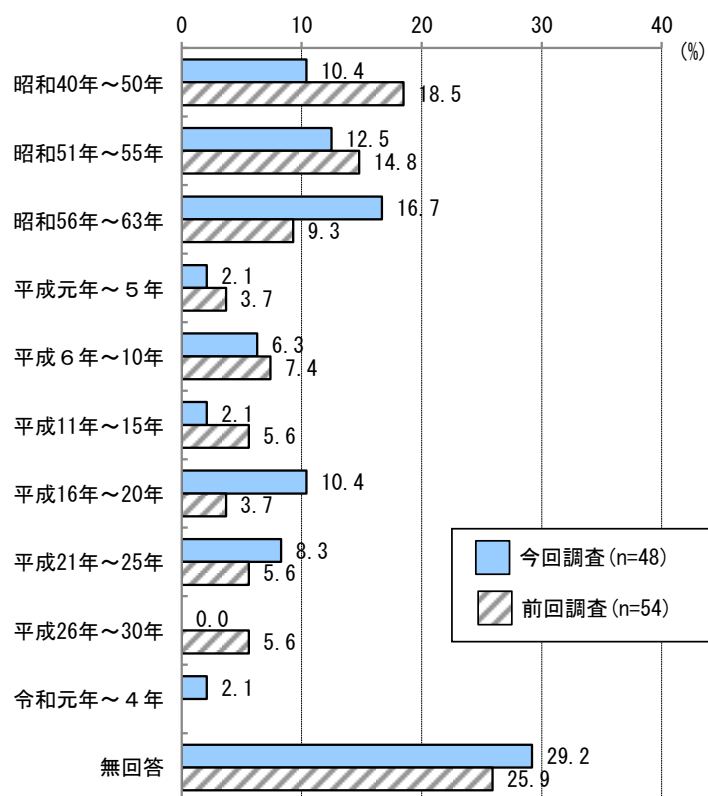
団体の活動種目は、「軟式野球」が20.8%で最も多く、次いで「バレーボール」、「空手」がそれぞれ10.4%、「サッカー」、「少林寺拳法」がそれぞれ6.3%となっている。

前回調査と比較すると、「軟式野球」は前回より4.1ポイント、「空手」は前回より6.7ポイントそれぞれ高くなっている。(図Ⅲ1-1)



## (2) 活動開始時期

【図Ⅲ1-2-1 活動開始時期】

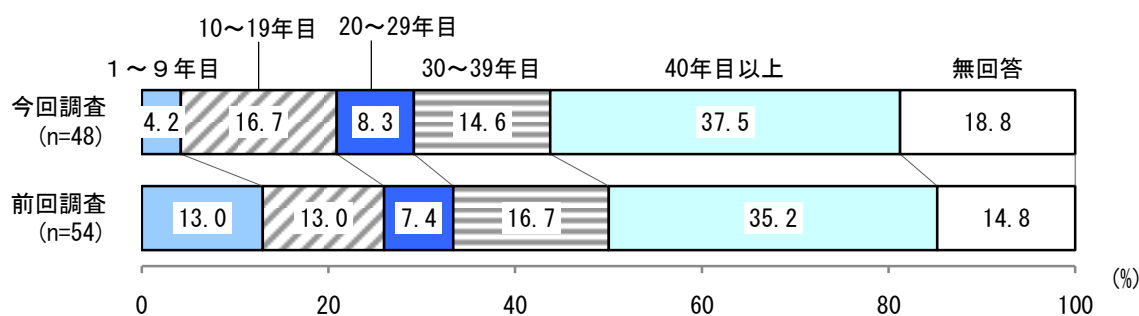


※「平成26年～30年」は、前回調査では「平成26年～28年」

団体の活動開始時期については、「昭和56年～63年」が16.7%で最も多く、次いで「昭和51年～55年」が12.5%、「昭和40年～50年」、「平成16年～20年」がそれぞれ10.4%となっている。

前回調査と比較すると、「昭和56年～63年」は前回より7.4ポイント高くなっている。(図Ⅲ1-2-1)

【図Ⅲ1-2-2 活動期間】

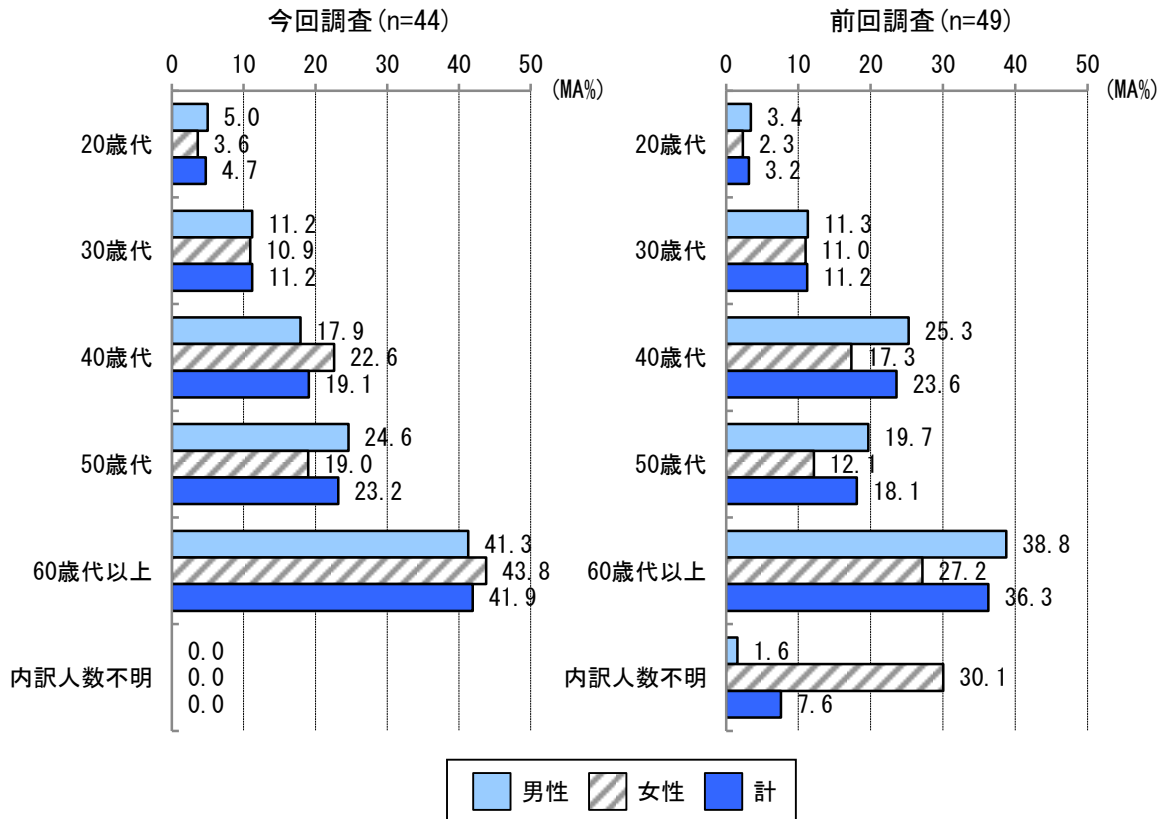


団体の活動期間については、「40年目以上」が37.5%で最も多く、次いで「10～19年目」が16.7%、「30～39年目」が14.6%となっている。

前回調査と比較すると、「1～9年目」(4.2%)は前回より8.8ポイント低くなっている。(図Ⅲ1-2-2)

### (3) 運営スタッフ人数

【図Ⅲ1-3 運営スタッフ人数】



※無回答は除く

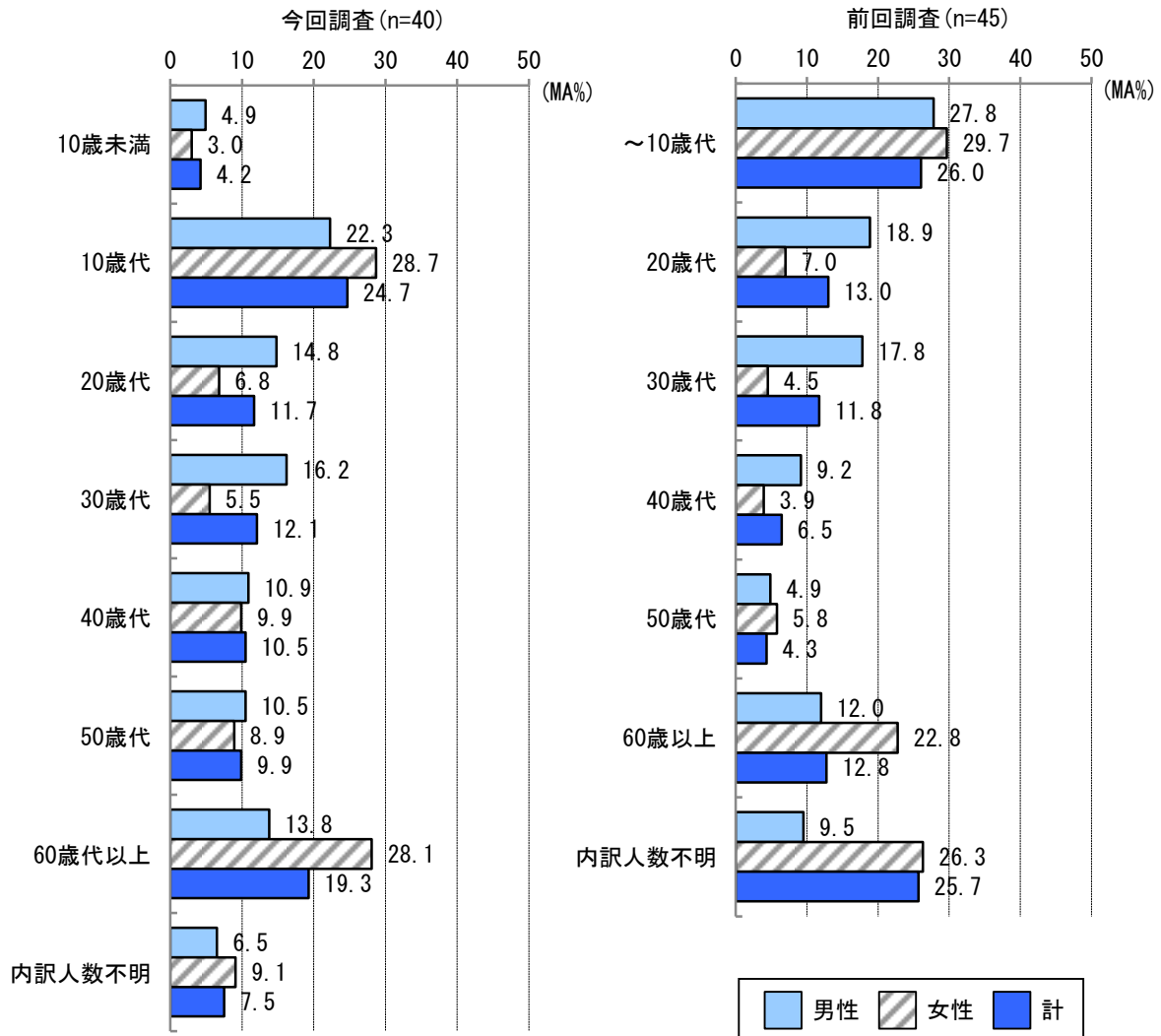
運営スタッフ人数は、男女計では「60歳代以上」が41.9%で最も多く、次いで「50歳代」が23.2%、「40歳代」が19.1%となっている。

性別では、男女とも「60歳代以上」（男性41.3%、女性43.8%）が最も多く、次いで男性は「50歳代」が24.6%、女性は「40歳代」が22.6%となっている。

前回調査と比較すると、「20歳代」、「50歳代」、「60歳代以上」は男女とも前回より高い割合となっている。（図Ⅲ1-3）

(4) 登録者数

【図Ⅲ1-4 登録者数】



※無回答は除く

団体の登録者数は、男女計では「10歳代」が24.7%で最も多く、次いで「60歳代以上」が19.3%、「30歳代」が12.1%となっている。

性別で見ると、男女とも「10歳代」（男性22.3%、女性28.7%）が最も多く、次いで男性は「30歳代」が16.2%、女性は「60歳代以上」が28.1%となっている。

前回調査と比較すると、「20歳代」及び「40歳代」以上の男女は、前回より高い割合となっている。（図Ⅲ1-4）

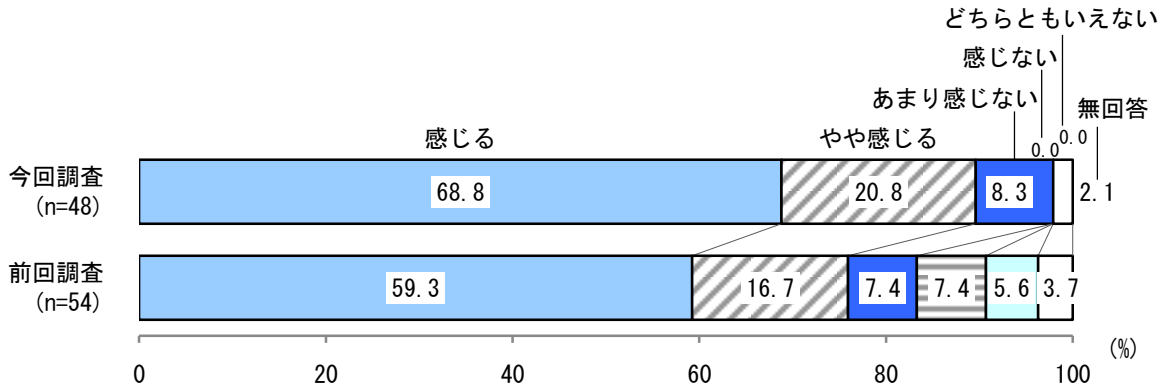
## 2 活動状況

### (1) 活動を通して感じていること

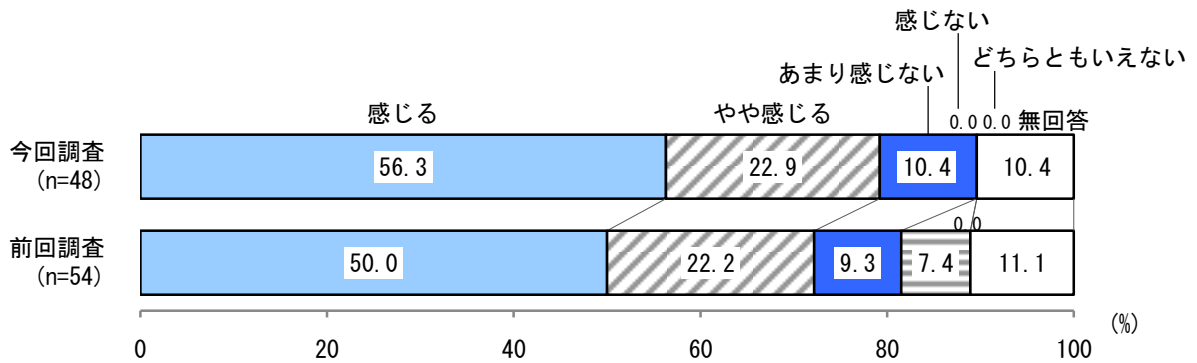
問2. 貴団体では、ふだんの活動を通して、次にあげる事柄についてどのように感じていますか。(それぞれの項目ごとに○印は1つ)

【図Ⅲ2-1-1 活動を通して感じていること〔スポーツ競技人口について〕①】

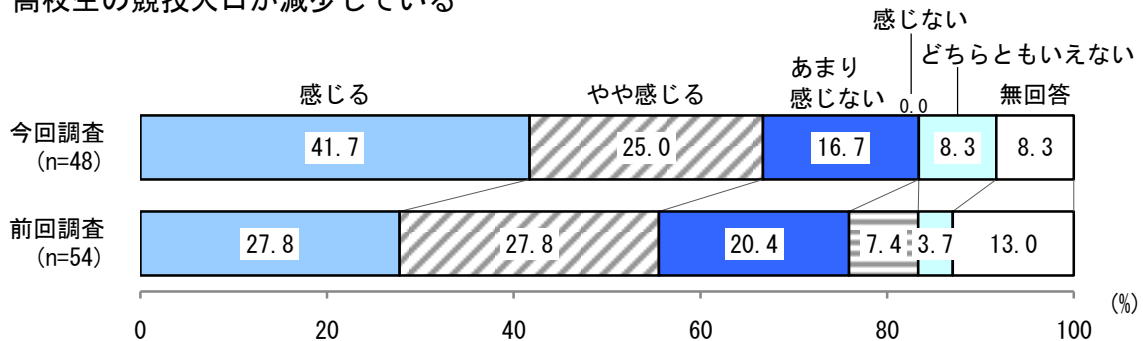
#### ① 競技人口全体が減少している



#### ② 小・中学生の競技人口が減少している

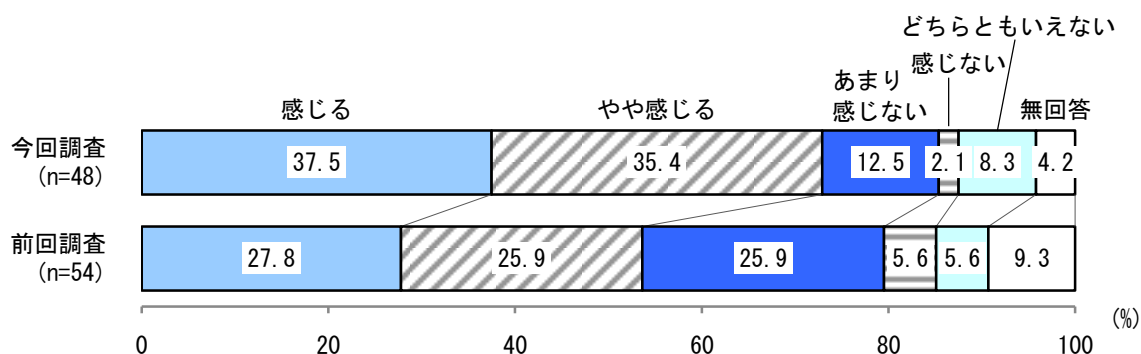


#### ③ 高校生の競技人口が減少している

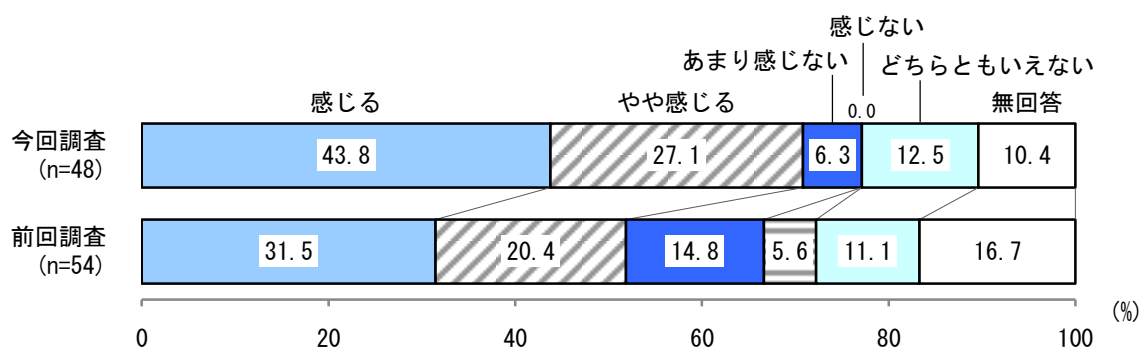


【図Ⅲ2-1-1 活動を通して感じていること〔スポーツ競技人口について〕②】

④ 一般の競技人口が減少している



⑤ 企業（実業団）の競技人口が減少している



ふだんの活動を通して、スポーツ競技人口について感じていることをたずねた。

“①競技人口全体が減少している”については、「感じる」が68.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が20.8%で、両者をあわせた『感じる』は89.6%となっており、前回調査より13.6ポイント高くなっている。

“②小・中学生の競技人口が減少している”については、「感じる」が56.3%で最も多く、次いで「やや感じる」が22.9%で、『感じる』は79.2%となっており、前回調査より7.0ポイント高くなっている。

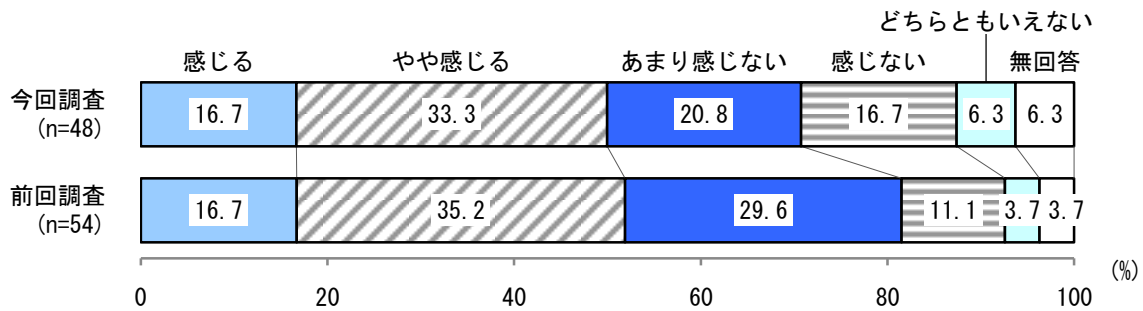
“③高校生の競技人口が減少している”については、「感じる」が41.7%で最も多く、次いで「やや感じる」が25.0%で、『感じる』は66.7%となっており、前回調査より11.1ポイント高くなっている。

“④一般の競技人口が減少している”については、「感じる」が37.5%で最も多く、次いで「やや感じる」が35.4%で、『感じる』は72.9%となっており、前回調査より19.2ポイント高くなっている。

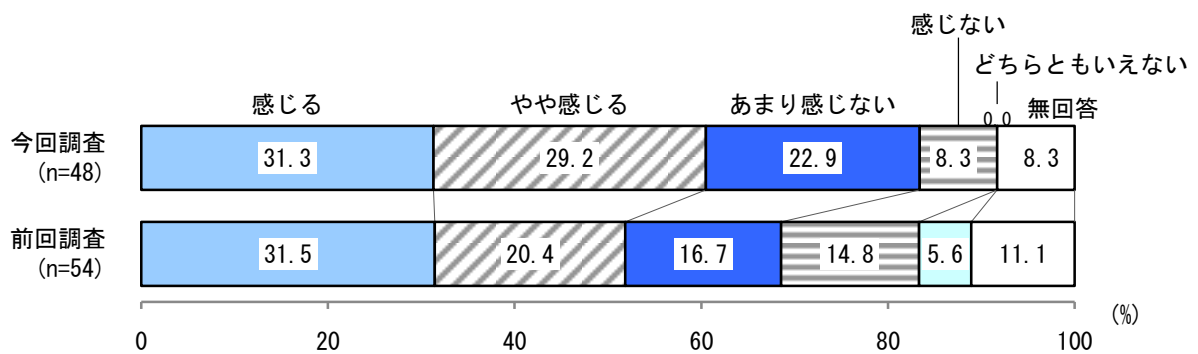
“⑤企業（実業団）の競技人口が減少している”については、「感じる」が43.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が27.1%で、『感じる』は70.9%となっており、前回調査より19.0ポイント高くなっている。（図Ⅲ2-1-1）

【図Ⅲ2-1-2 活動を通して感じていること〔競技力について〕】

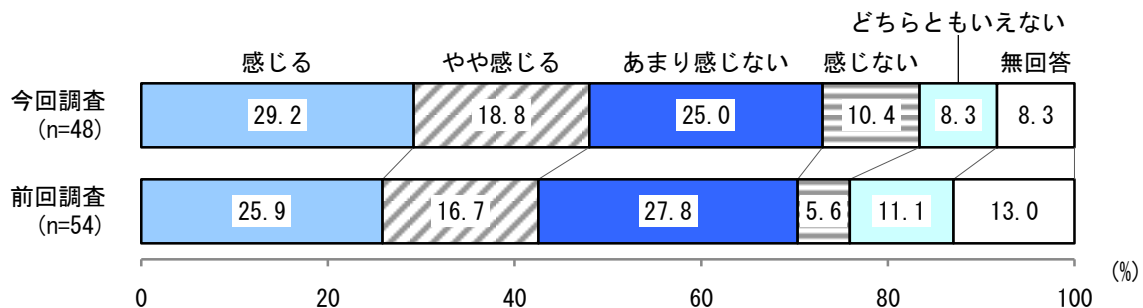
① 大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）



② 選手強化を定期的に行える施設が少ない



③ 選手強化費が少ない



ふだんの活動を通して、競技力について感じていることをたずねた。

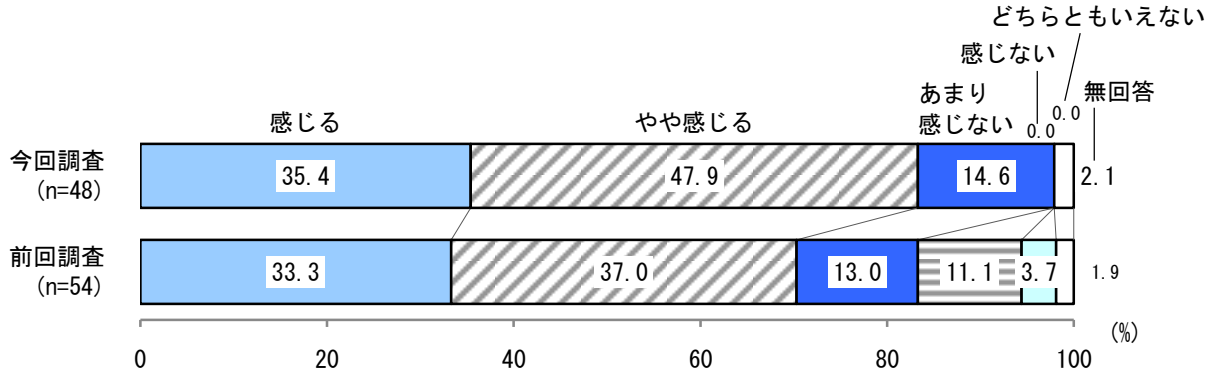
“①大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）”については、「やや感じる」が33.3%で最も多く、次いで「あまり感じない」が20.8%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は50.0%となっており、前回調査と比べても大きな差はみられない。

“②選手強化を定期的に行える施設が少ない”については、「感じる」が31.3%で最も多く、次いで「やや感じる」が29.2%で、『感じる』は60.5%となっており、前回調査より8.6ポイント高くなっている。

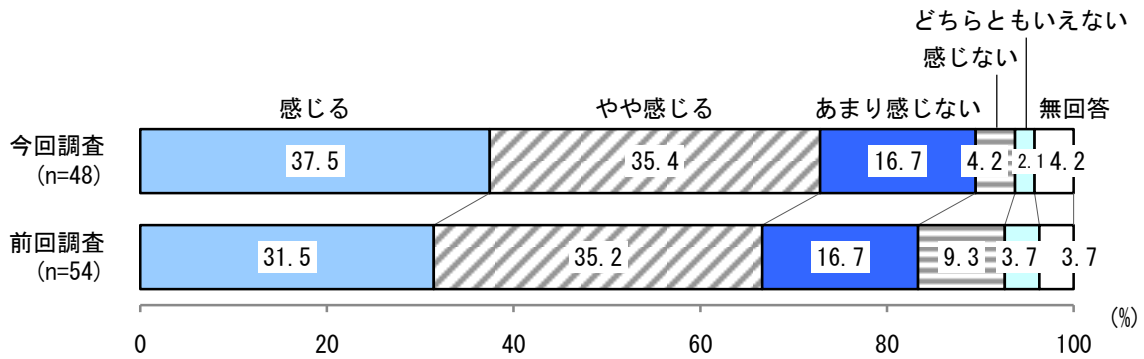
“③選手強化費が少ない”については、「感じる」が29.2%で最も多く、次いで「あまり感じない」が25.0%で、『感じる』は48.0%となっており、前回調査より5.4ポイント高くなっている。（図Ⅲ2-1-2）

【図Ⅲ2-1-3 活動を通して感じていること〔指導者等について〕①】

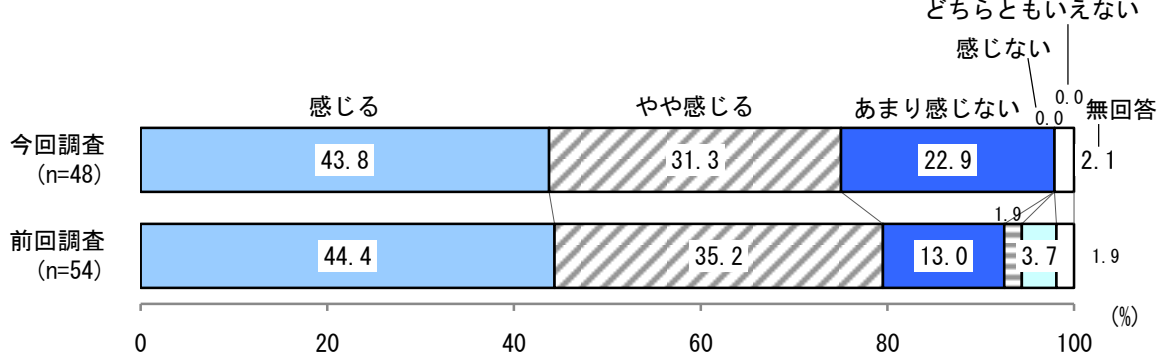
① 指導者そのものが少ない



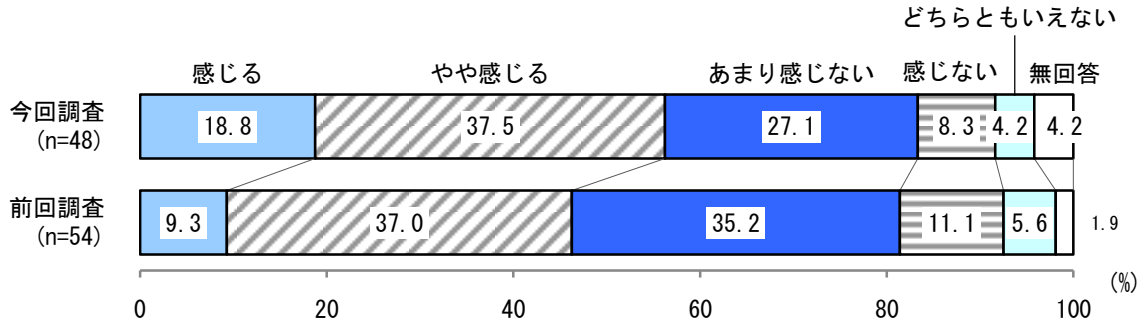
② トップレベルの指導ができる指導者が少ない



③ 指導者が高齢化している

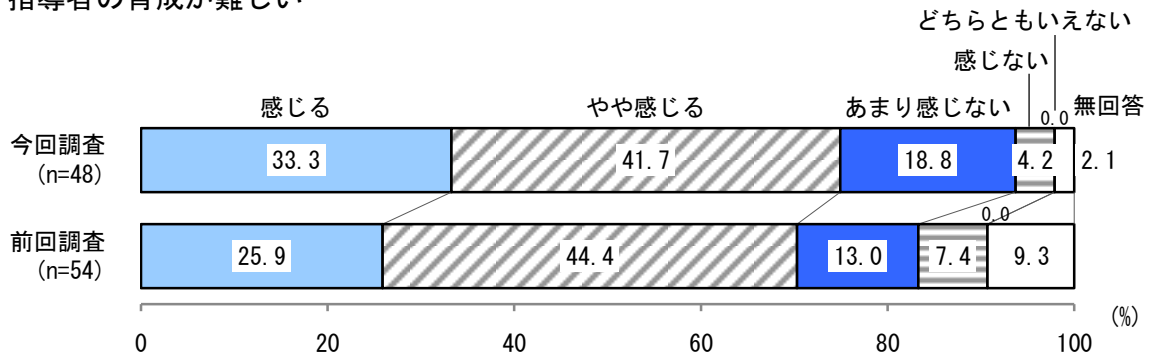


④ 指導者がうまく活用されていない

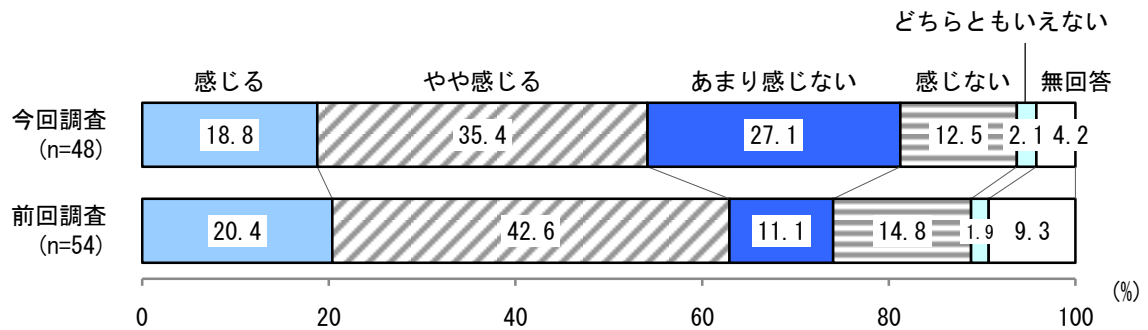


【図Ⅲ2-1-3 活動を通して感じていること〔指導者等について〕②】

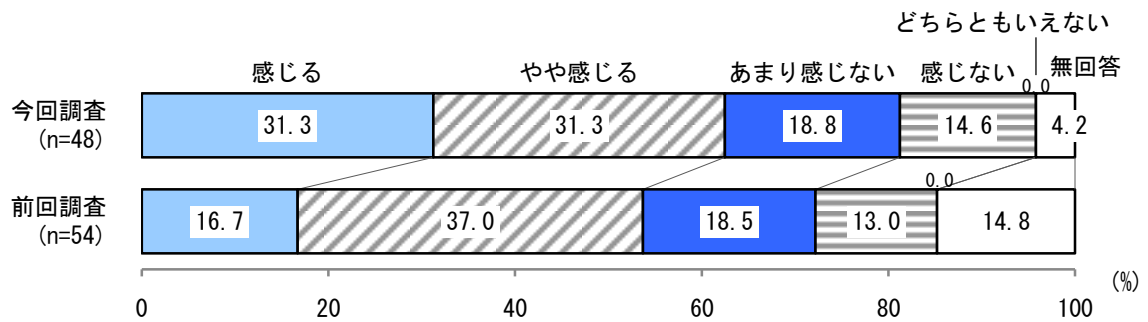
⑤ 指導者の育成が難しい



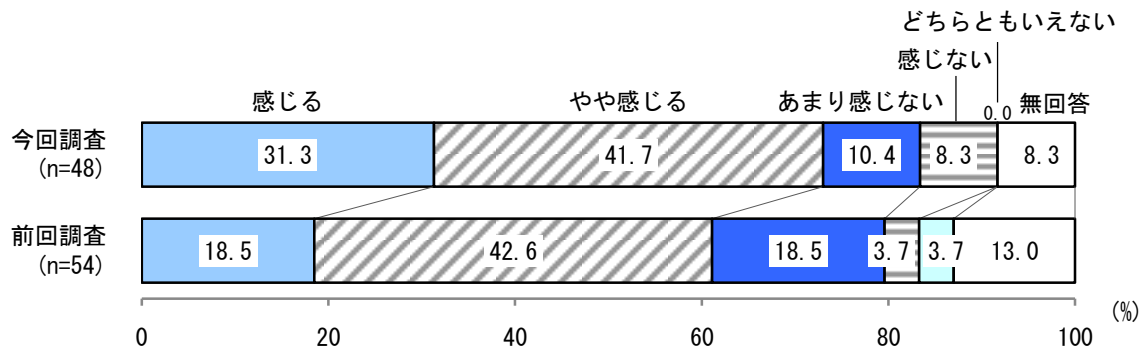
⑥ 一貫した指導が行われていない



⑦ ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない



⑧ 審判員が少ない





ふだんの活動を通して、指導者等について感じていることをたずねた。

“①指導者そのものが少ない”については、「やや感じる」が47.9%で最も多く、次いで「感じる」が35.4%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は83.3%となっており、前回調査より13.0ポイント高くなっている。

“②トップレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「感じる」が37.5%で最も多く、次いで「やや感じる」が35.4%で、『感じる』は72.9%となっており、前回調査より6.2ポイント高くなっている。

“③指導者が高齢化している”については、「感じる」が43.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が31.3%で、『感じる』は75.1%となっており、前回調査より4.5ポイント低くなっている。

“④指導者がうまく活用されていない”については、「やや感じる」が37.5%で最も多く、次いで「あまり感じない」が27.1%で、『感じる』は56.3%となっており、前回調査より10.0ポイント高くなっている。

“⑤指導者の育成が難しい”については、「やや感じる」が41.7%で最も多く、次いで「感じる」が33.3%で、『感じる』は75.0%となっており、前回調査より4.7ポイント高くなっている。

“⑥一貫した指導が行われていない”については、「やや感じる」が35.4%で最も多く、次いで「あまり感じない」が27.1%で、『感じる』は54.2%となっており、前回調査より8.8ポイント低くなっている。

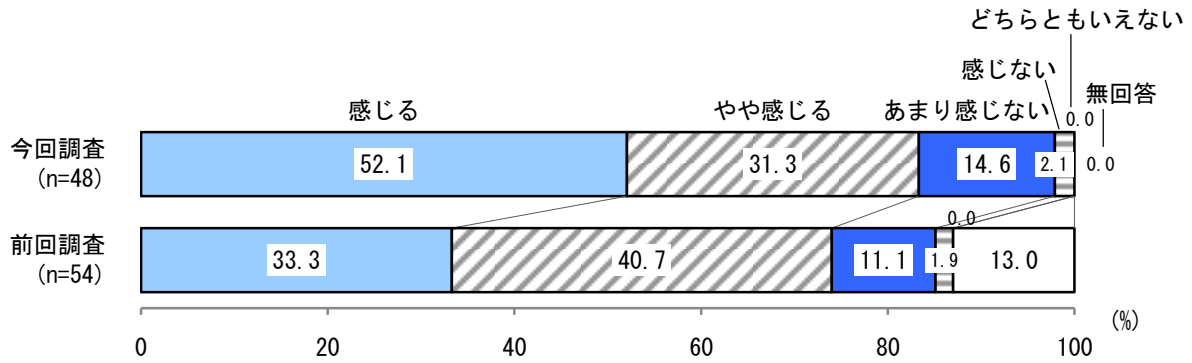
“⑦ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「感じる」と「やや感じる」がそれぞれ31.3%で最も多く、『感じる』は62.6%となっており、前回調査より8.9ポイント高くなっている。

“⑧審判員が少ない”については、「やや感じる」が41.7%で最も多く、次いで「感じる」が31.3%で、『感じる』は73.0%となっており、前回調査より11.9ポイント高くなっている。

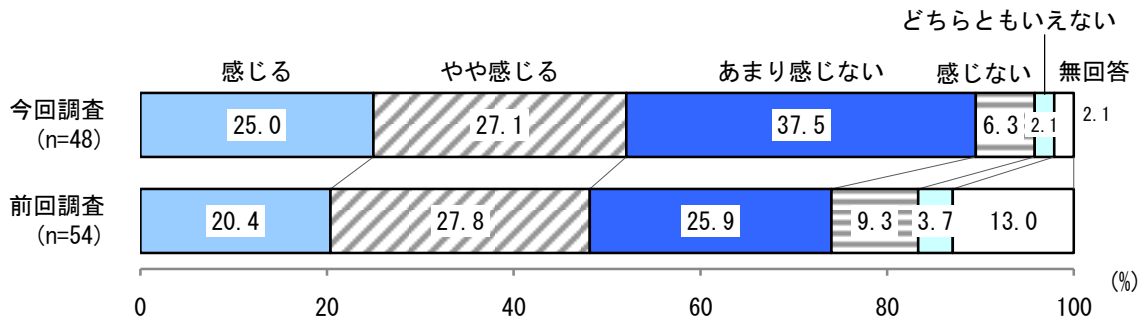
（図Ⅲ2-1-3）

【図Ⅲ2-1-4 活動を通して感じていること〔団体の運営について〕①】

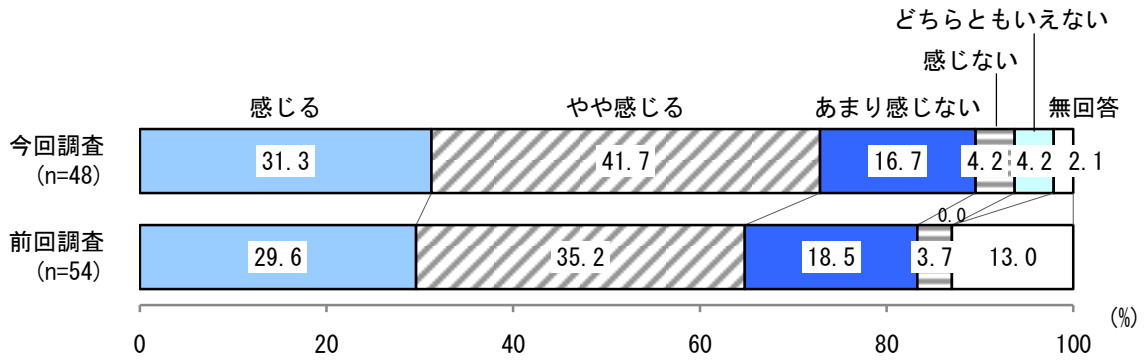
① 登録者数・会員数が増えない（減少している）



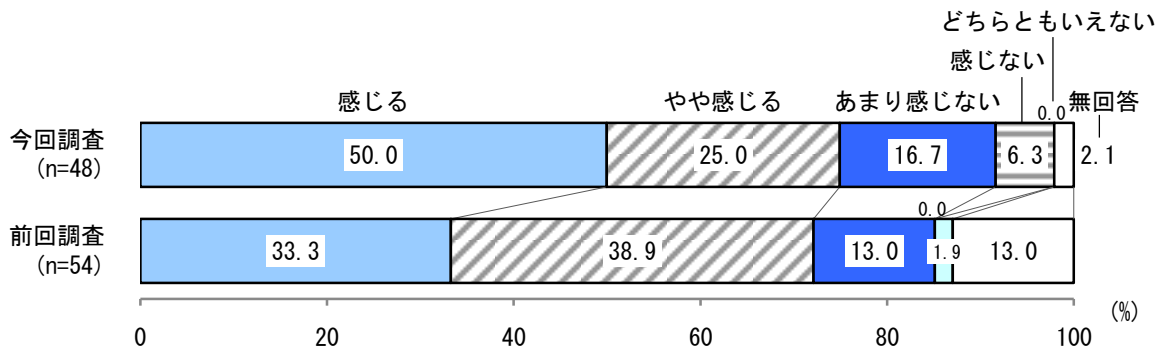
② 団体の運営費が少ない



③ 団体運営を行う人材が少ない

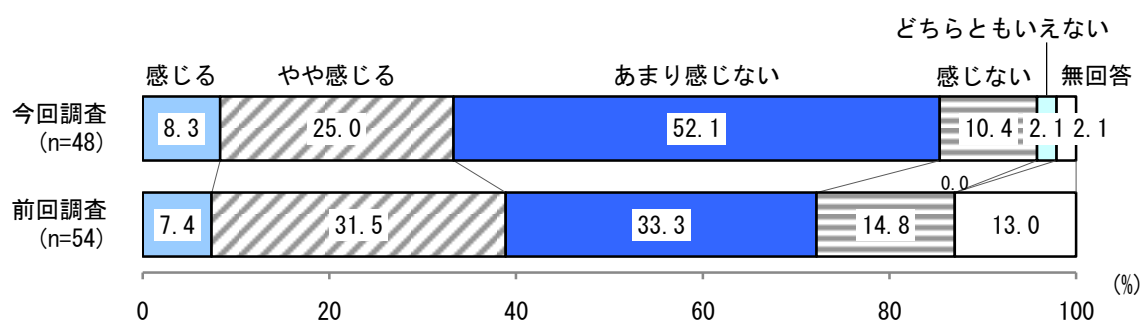


④ 団体運営を行う者が高齢化している

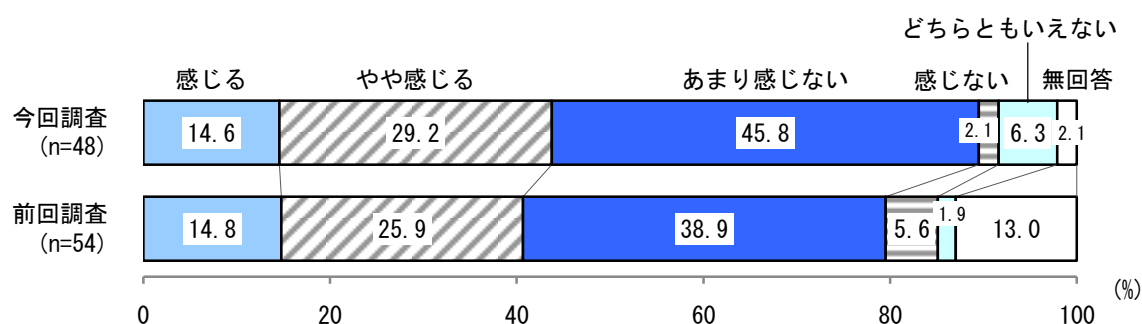


【図Ⅲ2-1-4 活動を通して感じていること〔団体の運営について〕②】

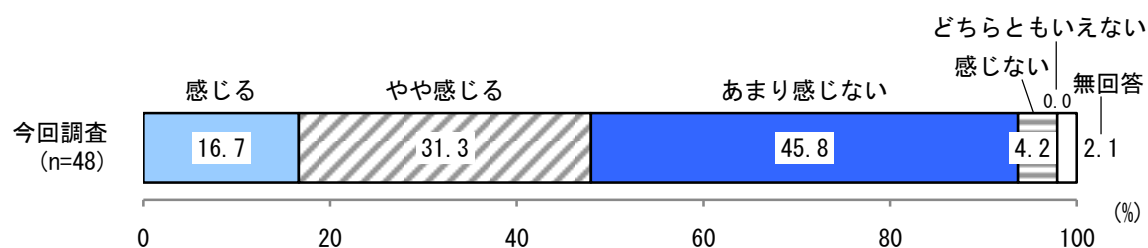
⑤ 団体内の連携が弱くなってきている



⑥ 他のスポーツ関係団体との連携が弱くなってきている



⑦ 団体の認知度が上がらない



ふだんの活動を通して、団体の運営について感じていることをたずねた。

“①登録者数・会員数が増えない（減少している）”については、「感じる」が52.1%で最も多く、次いで「やや感じる」が31.3%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は83.4%となっており、前回調査より9.4ポイント高くなっている。

“②団体の運営費が少ない”については、「あまり感じない」が37.5%で最も多く、次いで「やや感じる」が27.1%で、『感じる』は52.1%となっており、前回調査より3.9ポイント高くなっている。

“③団体運営を行う人材が少ない”については、「やや感じる」が41.7%で最も多く、次いで「感じる」が31.3%で、『感じる』は73.0%となっており、前回調査より8.2ポイント高くなっている。

“④団体運営を行う者が高齢化している”については、「感じる」が50.0%で最も多く、次いで「やや感じる」が25.0%で、『感じる』は75.0%となっており、前回調査より2.8ポイント

### Ⅲ 調査結果〔関係団体〕

高くなっている。

“⑤団体内の連携が弱くなってきている”については、「あまり感じない」が52.1%で最も多く、次いで「やや感じる」が25.0%で、『感じる』は33.3%となっており、前回調査より5.6ポイント低くなっている。

“⑥他のスポーツ関係団体との連携が弱くなってきている”については、「あまり感じない」が45.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が29.2%で、『感じる』は43.8%となっており、前回調査より3.1ポイント高くなっている。

“⑦団体の認知度が上がらない”については、「あまり感じない」が45.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が31.3%で、『感じる』は48.0%となっている。(図Ⅲ2-1-4)

団体が抱えている問題点や課題（自由記述）
活動(練習・試合など)場所の確保が難しい。小学校のグラウンド使用が思うようにできない。
指導者はいるが、仕事などでコンスタントに指導にまわれない。
学校等の施設開放を積極的に行い、子どもたちのスポーツを行える環境を整える必要がある。場所の確保は大きな課題である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場に体育館を使って練習する場所がない。</li> <li>・他市の施設に借りるか、外での練習しかないので登録者から要望が多い。</li> <li>・中学・高校・大学などの状況があまりつかめてないので、連携のつながりがほしい。</li> </ul>
現在、当連盟では個人登録費（年間）を取っていません。大会参加費のみでの連盟運営を行っています。そのため、運営費が少なく苦慮しています。今後について、個人登録費の支払いを求めるかを検討しています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数、チーム数は10年前に比べて減少しているが、その分きめ細かな運営ができる（大会で全チーム最低2試合行うなど）規模だとは考えている（もう少し増やしたいが）</li> <li>・団体運営を積極的に行うスタッフ（役員）が少なく、負荷が特定の人（高齢者）に集中している状態。今後の団体運営を継続できる体制を作っていくのが大きな課題。</li> </ul>
市民のスポーツ、レクリエーションの関心度は、一定高いと思うが、実践できる機会が少ないように感じる。以前であれば、行政が主催するハイキングやサイクリング教室など盛んに実施されていたが、現在ではほぼない。個人やグループが行政主導で開催するイベントに参加できるよう切に希望する。
理事役員を受けてくれる方が少ないので、現役役員の高齢化が一番の課題です。
冬期の練習場所の確保に苦勞する。
市の春季大会、秋季大会を中心に活動していますが、登録料が徴収できなくなったあたりから、団体の運営費が少なくなっていました。大会の参加者（チームから）の試合参加料のみで運営を行なっています。運営スタッフにはボランティアで参加してもらっていますが、会場に移動するには車が中心になり、その駐車場代も必要になりました。団体の運営費が少ないために、運営スタッフの交通費、駐車場代、昼食代 etc、切り詰めながらやっています。
小学校で活動しているが、活動しているのをほとんどの保護者が知らない事
協会発足から約35年経ち、生涯スポーツとして広げてまいりましたが、シニア世代が中心となっているので、減少となってきています。若い世代も少しずつ増えていますが、大会は高校生以上となっているので、広まりにくいかも知れません。HKSCのジュニアスポーツ教室で、小学生に教える時がありますが、インディアカはまだまだ難しいのかも？遊びとしては楽しんでもらえるみたいですが・・・？インディアカ人口を増やすのが課題です。
体育館の大きさの割に人数が多すぎて困っています。学校施設で車の利用ができないのは非常に困る。小中学生に何かあったら大変で、保護者の送迎が必須だからです。

## (2) 主に活動している場所

問3. 貴団体が主に活動している場所はどこですか。(○は主な場所に1つだけ)

【図Ⅲ2-2 主に活動している場所】



主な活動場所については、「市内小学校」が37.5%で最も多く、次いで「総合体育館 (KTM河本工業総合体育館)」が12.5%、「渚市民体育館」、「伊加賀スポーツセンター運動広場」、「淀川河川敷グラウンド」がそれぞれ2.1%となっている。

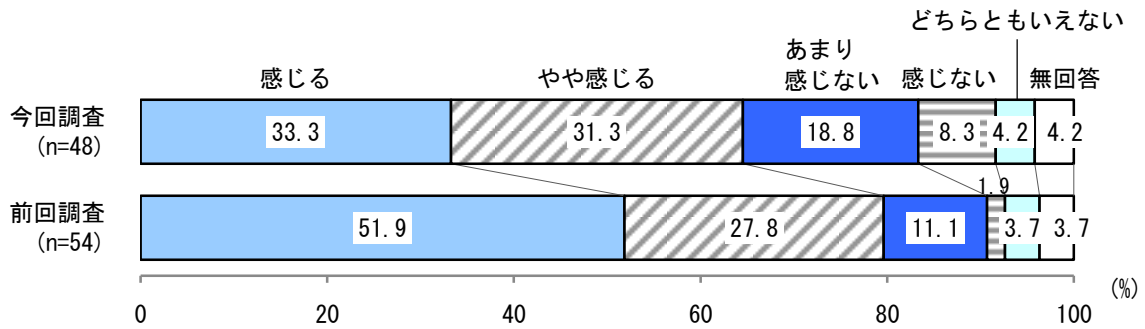
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図Ⅲ2-2)

### (3) 枚方市内のスポーツ施設について感じること

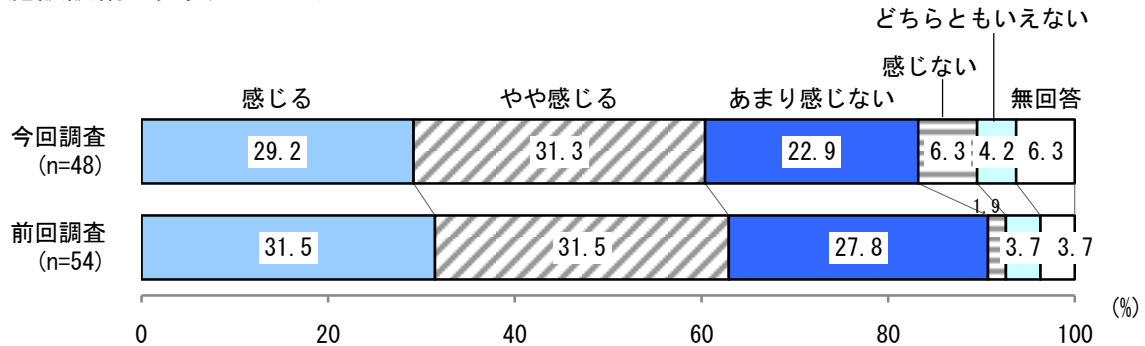
問4. 貴団体では、枚方市内のスポーツ施設についてどのように感じていますか。(それぞれの項目ごとに○印は1つ)

【図Ⅲ2-3 枚方市内のスポーツ施設について感じること】

① 日常的に利用できる施設が少ない



② 施設設備が充実していない



枚方市内のスポーツ施設についてどう感じているかをたずねた。

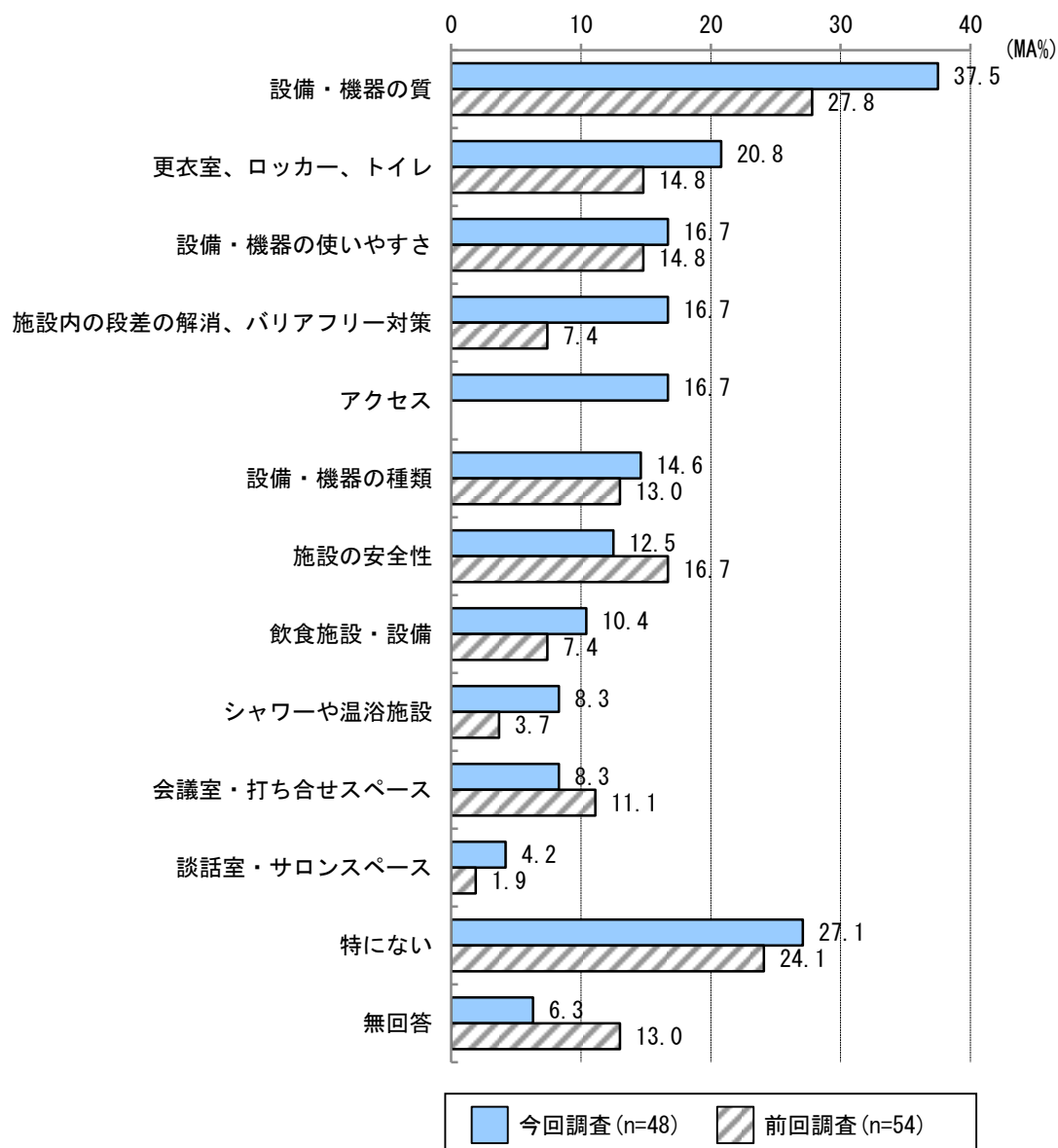
“①日常的に利用できる施設が少ない”については、「感じる」が33.3%で最も多く、次いで「やや感じる」が31.3%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は64.6%となっており、前回調査より15.1ポイント低くなっている。

“②施設設備が充実していない”については、「やや感じる」が31.3%で最も多く、次いで「感じる」が29.2%で、『感じる』は60.5%となっており、前回調査より2.5ポイント低くなっている。（図Ⅲ2-3）

(4) 活動場所で改善してほしい点

問5. 主に活動している場所の施設や設備などで改善してほしい点がありますか。  
(〇はいくつでも)

【図Ⅲ2-4 活動場所で改善してほしい点】



※「アクセス」は今回新規

主な活動場所の施設や設備などで改善してほしい点については、「設備・機器の質」が37.5%で最も多く、次いで「更衣室、ロッカー、トイレ」が20.8%、「設備・機器の使いやすさ」と「施設内の段差の解消、バリアフリー対策」、「アクセス」がそれぞれ16.7%となっている。前回調査と比較すると、「設備・機器の質」は前回より9.7ポイント、「施設内の段差の解消、バリアフリー対策」は前回より9.3ポイント、それぞれ高くなっている。(図Ⅲ2-4)

### Ⅲ 調査結果〔関係団体〕

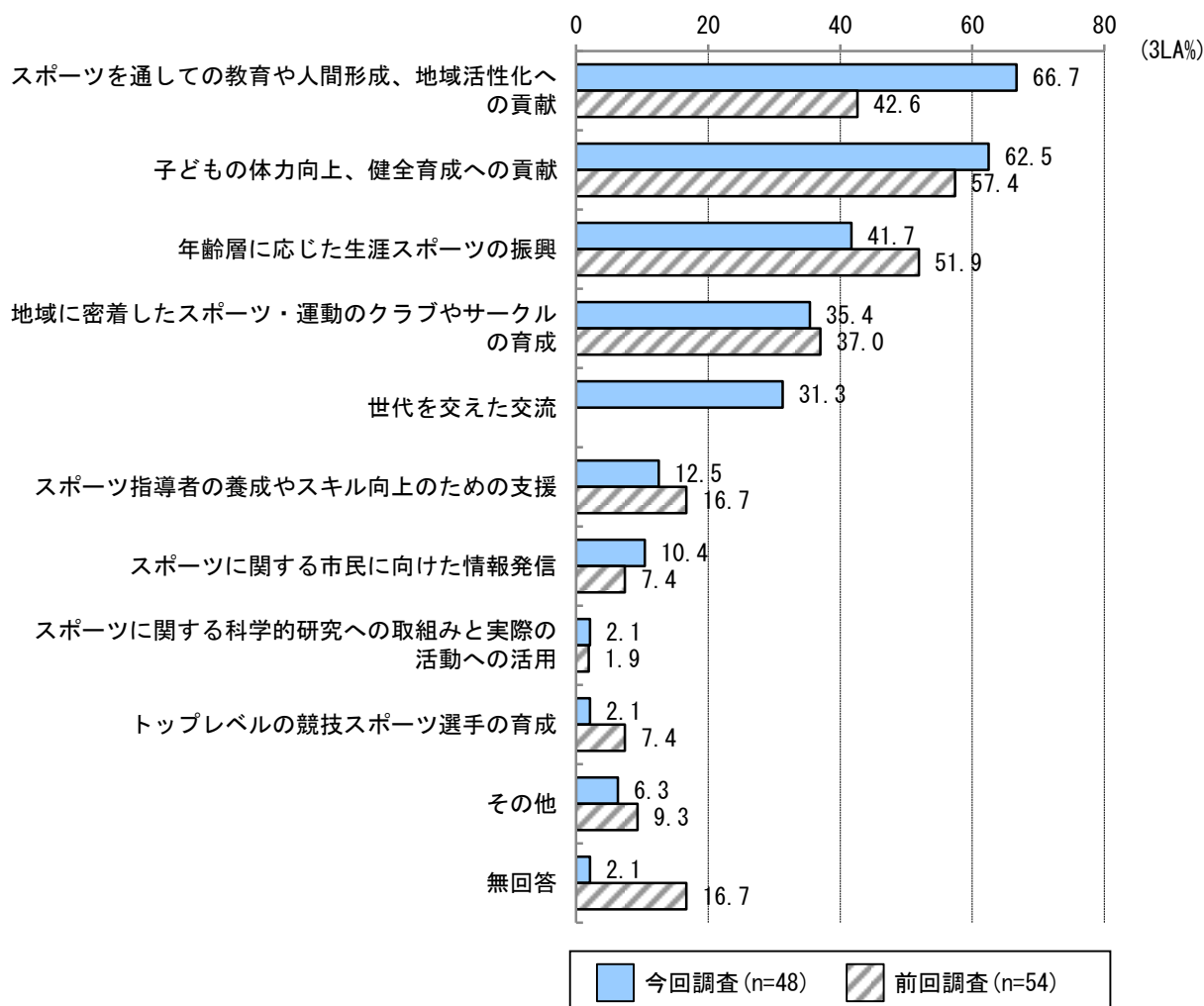
市内のスポーツ施設を含むスポーツをするための環境についての意見や提案など（自由記述）
グラウンド整備に注力してほしい。草刈りの回数を増やしたり、水上りの際に必要なグラウンド整備用の土・砂を入れてほしい。
スポーツ施設内の駐車場を無料化する。
駐車場料金をなくしてほしい。
各運動施設に移動するには車で移動します。東部スタジアム、中ノ池公園 etc、駐車場が少なく大会を開催するにあたり、チームの車台数を5台までに制限しています。それでも不足し、よく困ります。
枚方には弓道のできる施設は渚体育館だけで28mの近場射場しかありません。国体競技でもある60mの遠的のできる射場を作ってほしいです。アーチェリーとの供用のため練習時間が短くなるので新施設を作っては・・・。
談話室を拡げていただきたい。
設備・機器が故障したり壊れたりした場合、早急に直してもらいたい。
春日コート土の管理が悪い。土が多くて段差ができており登録者のケガが多い。
総合体育館メインアリーナの床板の改修（すべり改善）
グラウンドが少ない。
・使いたい人の数に対して、スポーツ施設の数が少ない ・抽選のやり方にも改善が必要。
近隣の各市と比較してもスポーツ施設が少ない。
市内どの施設もアクセスが悪い。特に総合体育館はバスの本数が減され（送り迎え）、高齢者や若年者の施設までの交通の便が悪いため、自家用車でないと行けない。また、車で行くと駐車場が有料である。バスについては、京阪バスに増便の働きかけが必要不可欠と言える。
人口の割にスポーツ施設が少ない。又、総合体育館も古くなり、より大きな体育館が必要と感ずます。閉鎖している大学の施設の買い上げ等の検討願います。
[王仁公園相撲場について] 土俵上にあがったり、サッカーをしたりする為、それを何とか防ぎたい。
圧倒的に数が少ない。球場、広場など有料でもかまわないので、数を増やしてもらい、借りやすい状況を作ってほしい。
駐車場のスペースが少ない（各グラウンド）。
臨時的に艇庫を借りていますが、恒久的に借りることと、随時出入出来る様にして戴きたい。
学校内駐車は、ぜったいに認めなければいけないこと。備品についても早急に修繕して使えるようにしてほしい。
スポーツをする場所（ハード面）が少なすぎて困っています。ナイター設備もないため、使用できない季節があります。人工芝のグラウンドもないのは考えていただきたいです。



### (5) 今後のスポーツ推進における団体の役割

問6. 枚方市の今後のスポーツ推進における貴団体の役割は何だと思えますか。  
 (〇は重要と思うものを上位3つまで)

【図Ⅲ2-5 今後のスポーツ推進における団体の役割】



※「世代を交えた交流」は今回新規

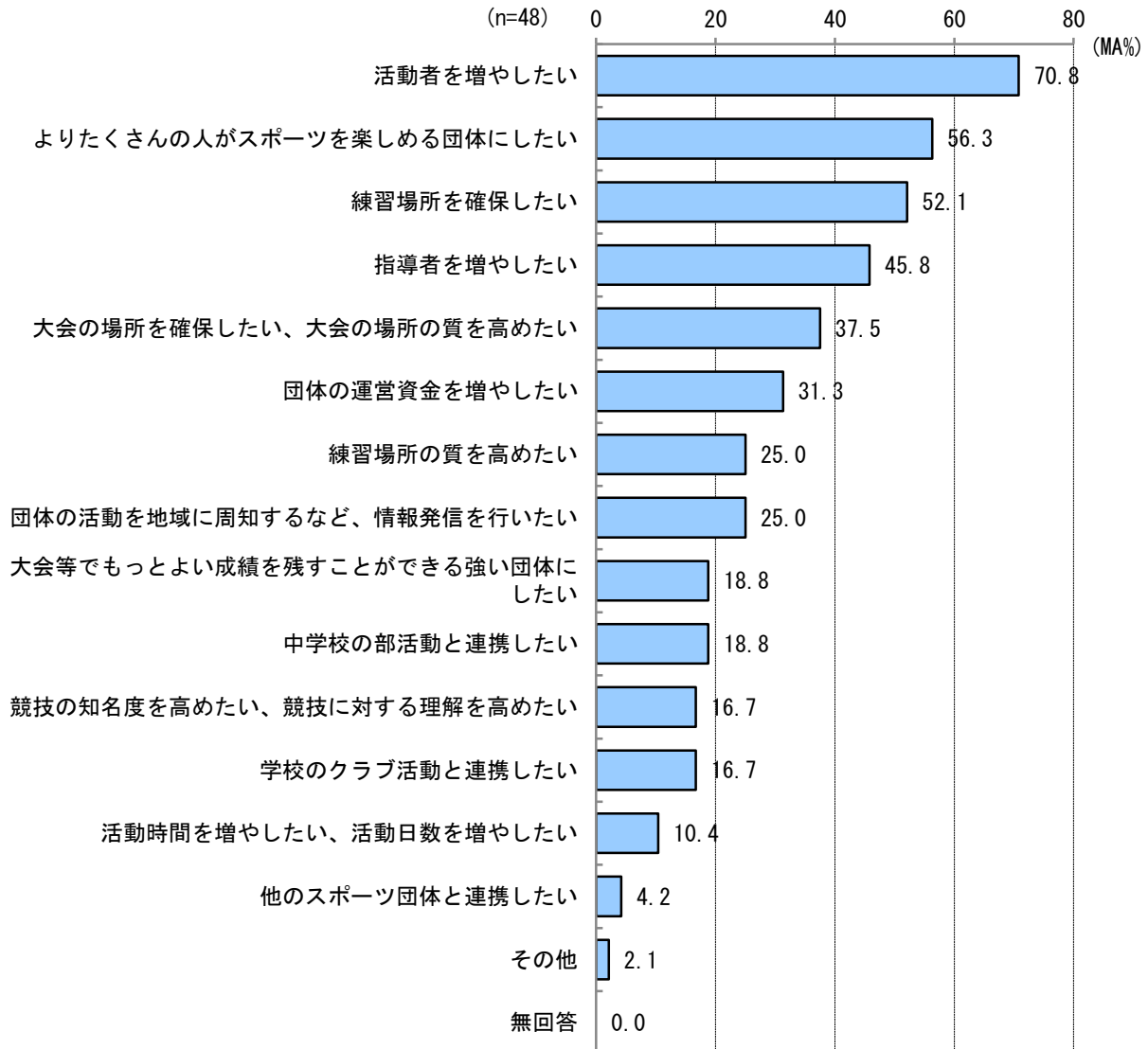
枚方市の今後のスポーツ推進における団体の役割については、「スポーツを通しての教育や人間形成、地域活性化への貢献」が66.7%で最も多く、次いで「子どもの体力向上、健全育成への貢献」が62.5%、「年齢層に応じた生涯スポーツの振興」が41.7%となっている。

前回調査と比較すると、「スポーツを通しての教育や人間形成、地域活性化への貢献」は前回より24.1ポイント高くなっている。(図Ⅲ2-5)

(6) 団体の運営・活動意向

問7. 貴団体の運営・活動について、今後どのようにしていきたいと思いませんか。(〇はいくつでも)

【図Ⅲ2-6 団体の運営・活動意向】



今後の運営・活動の意向については、「活動者を増やしたい」が70.8%で最も多く、次いで「よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい」が56.3%、「練習場所を確保したい」が52.1%となっている。(図Ⅲ2-6)

(7) 今後の目標に対する現在及び今後の取り組み

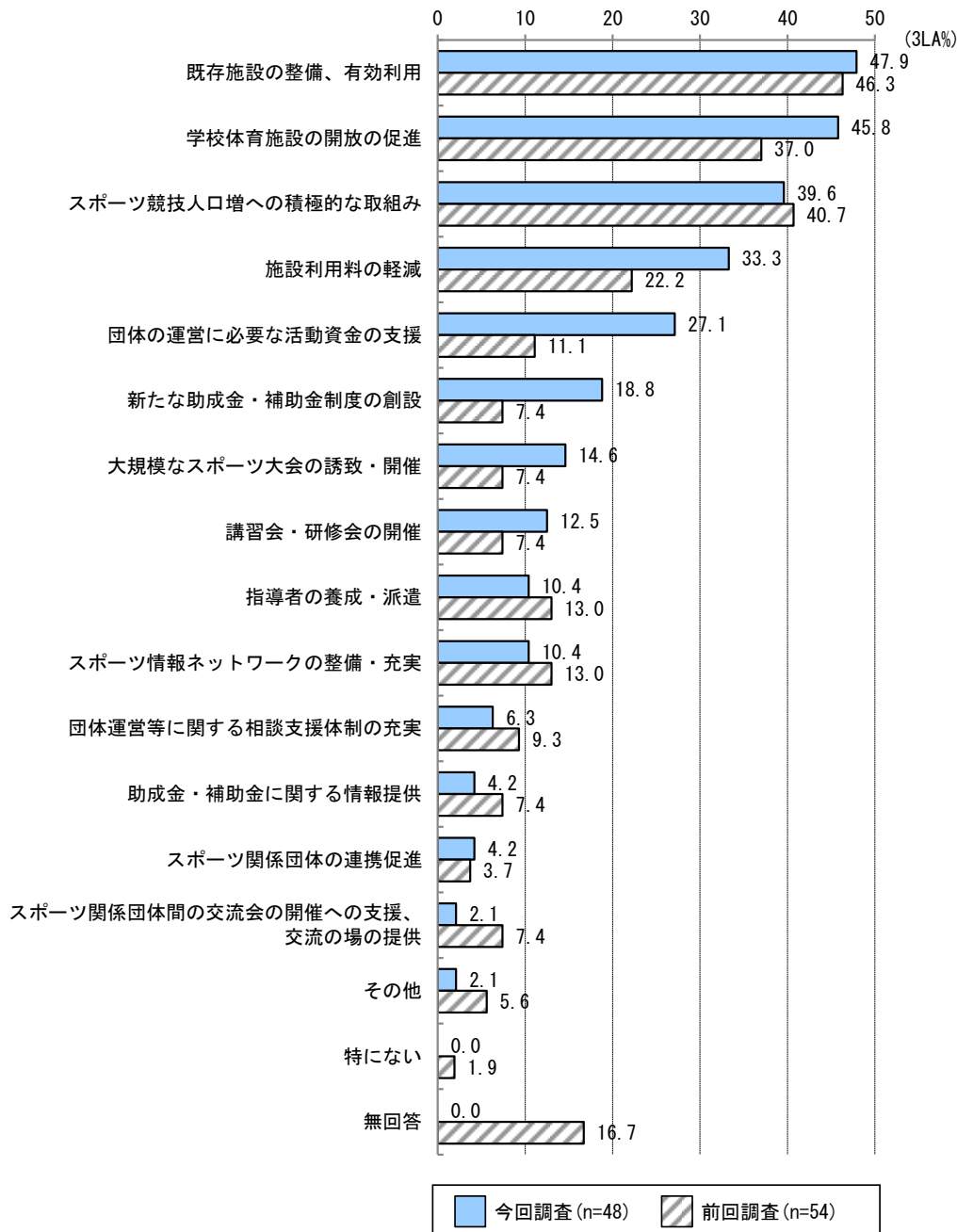
問8. 問7で回答いただいたような今後の目標に向けて、現在どのような取り組みをしていますか。また、今後どのような取り組みをしようと思いませんか。下記に具体的にご記入ください。

今後の目標に向けた取り組み（自由記述）
学校主催の体験会を月に一度行っている。
・ホームページを通じて団員増の呼びかけ ・交流試合を通じてお互いのレベルアップ。
団員の募集については、ホームページの充実や新聞の折り込みチラシ・店舗での案内掲示他を実施している。
他団体との交流(合同練習)講習会の設定。
枚方市以外のスポーツ施設の確保(有料)、インスタ等による活動内容の周知を行い活動者の増加を目指す。
練習場所の質を高めるために、年に1~2回安土という的をつける場所の整備を行っています。安土を全部崩しておがくずなどを混ぜ合わせ、安土を作り直し、正しい射場に近づけるよう努力しています(作業人数は10~20人で約半日はかかる作業です)。
部員の増し。
・かつて進学や就職などで団体を離れた先輩後輩に声をかけ、後進育成のために指導員として復帰してもらっている。 ・他団体との合同練習や練習試合の機会を増やしている。 ・部活動などでの指導依頼があれば引き受けたい。
・定期的な指導者の会合。 ・昇級試験などを合同で開催。
毎水曜日、春日コートにおいて初級者、中級者教室を開催しています。中級者も減少しているので、その人数をふやしていき地域としての強化も進めていきたい。
・若い人たちも働いている方が多いので日曜日に活動できる場所を作りたい。
人格形成に努めること。
1. 連盟の安定 ・役員の増員と育成、 ・運営費の確保
部員を増やしたいです。
会員の高齢化、会員減少について、PR活動、情報発信をしたい。
・参加するチームのレベルは保ちつつ、門戸を広げるような取組は行っている。
・団体運営内容の見直し、手続のマニュアル化に取組始めたところ。それにより役員の負荷分散を行いながら、持続可能な組織にしていきたいと考えている。
検討中
本市のスポーツ活動は、主に競技スポーツが大半で、余暇の充実や健康増進に関するものが少ないと思う。一定、保健センターや保健所が実施しているが、まだまだ市民が満足していないのではないかと。当協会は、野外（ハイキング、ウォーキング、サイクリング）での活動を中心に実施している。今後も引き続き取り組んでいきたい。
・日々の活動を大切にすること ・外部指導員として、中学校の部活動に関わっていること
・子供の体力向上、仲間作り ・高齢者の生きがいづくり、体力作り、健康寿命を伸ばす。
プレイヤーの高齢化に伴い、皆さんが楽しめる大会にするよう、種目及び内容の検討をし変更させている。
ドッジボール教室の開催
・ホームページ（北河内相撲連盟内）やfacebook等を利用しての広報活動を実施 ・行政への施設整備の陳情
オフィシャルルールを見直し、実状に合わせたローカルルールを当協会独自で決めて、多くの人がソフトボールを楽しめるようにしている。
活動人数が少ないので、地域の人に呼びかけしています。
インディアカを生涯スポーツとして広めて頂いた時は、教育委員会や体育指導員の方々の各校区で、指導、普及に努めて下さいました。私もその時、初めてインディアカに出会い、楽しく誰とでもできるスポーツで、現在まで続いています。段々ルールが難しい事もあり、競技性も求める声もあり、初期の頃の楽しさはシニア世代には難しいかも知れません。遊技性を広める事も大切かと考えております。
活動者を増やすため、保護者同志の声かけ、参観日、入学式等でのビラ配り、地域店舗へのビラ広告のお願い
50才代、60才代も活動できるような組織にしたいと思っています。
カヌーは、水がなければ体験出来ないスポーツであり、陸上競走を異なっているもので、簡単に触れることが出来ないスポーツです。今、一部の小学校でプールを利用し、体験教室を行なっています。これをもっと増やし、低年齢からカヌーを体験して貰い、カヌー人口を増やして行きたいと考えてます。毎年10月に枚方市長杯カヌーマラソン大会を実施していますが、毎年参加者が増加しています。近畿全域からの参加者で、枚方市の知名度アップになっている。
体験教室の開催。
学校部活動は知らない。クラブチームに任せるべき、その為の受け入れ準備をしている。

(8) 活動活性化にあたって行政に期待すること

問9. 貴団体の活動の活性化にあたって行政に期待することは何ですか。  
 (〇は期待したいと思うこと上位3つまで)

【図Ⅲ2-8 活動活性化にあたって行政に期待すること】



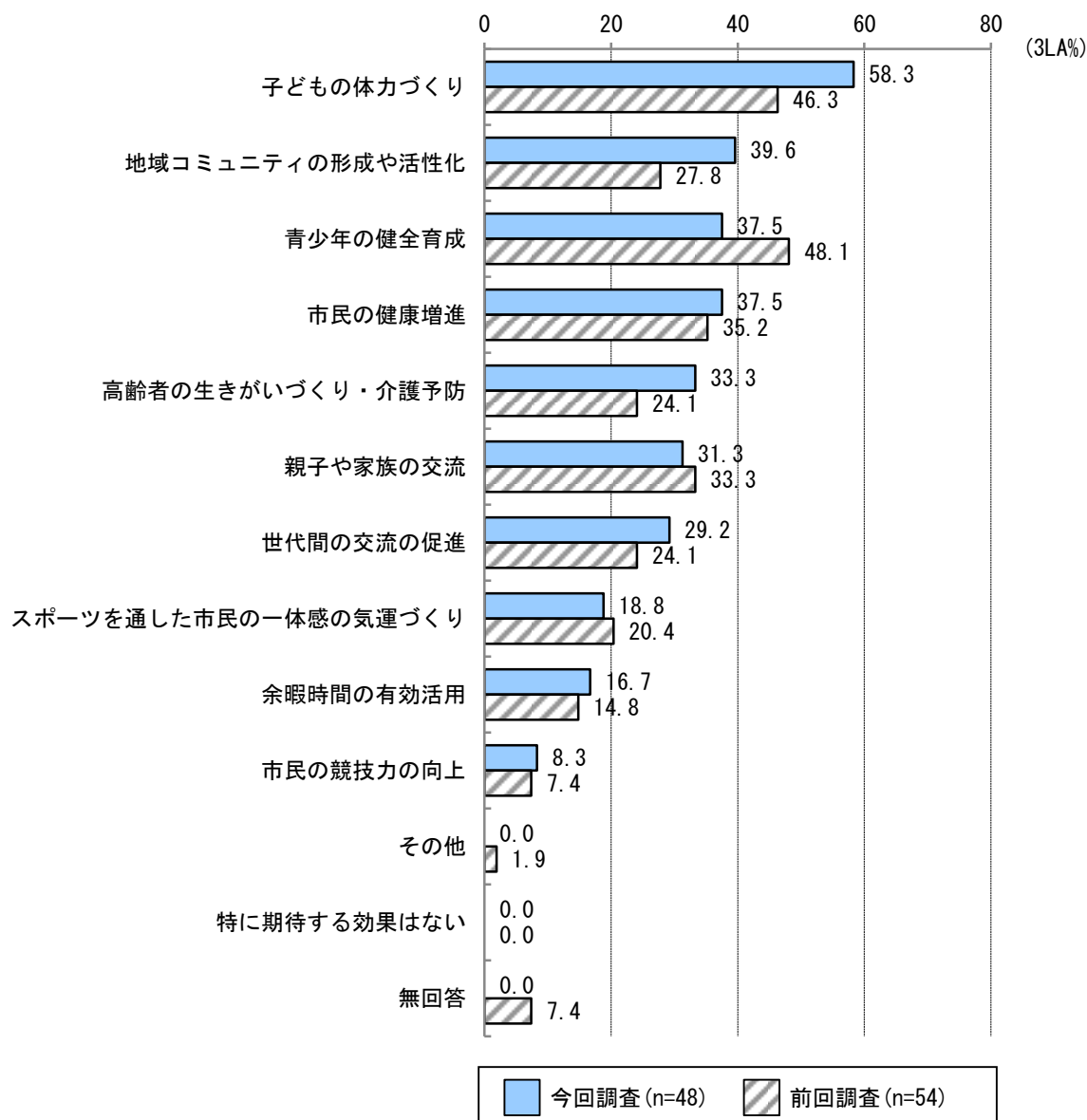
活動の活性化にあたり行政に期待することについては、「既存施設の整備、有効利用」が47.9%で最も多く、次いで「学校体育施設の開放の促進」が45.8%、「スポーツ競技人口増への積極的な取組み」が39.6%となっている。

前回調査と比較すると、「団体の運営に必要な活動資金の支援」(27.1%)は前回より16.0ポイント、「新たな助成金・補助金制度の創設」(18.8%)は前回より11.4ポイント、「施設利用料の軽減」(33.3%)は前回より11.1ポイント、それぞれ高くなっている。(図Ⅲ2-5)

### (9) 市のスポーツ推進を通じて期待する効果

問10. 枚方市がスポーツを推進することを通じて、どのような効果を期待しますか。  
 (〇は期待したいと思うこと上位3つまで)

【図Ⅲ2-9 市のスポーツ推進を通じて期待する効果】



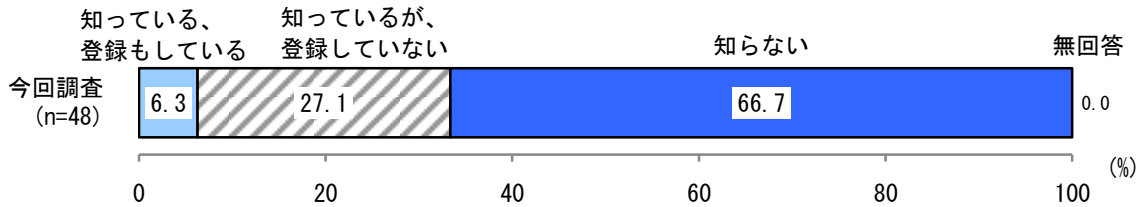
市のスポーツ推進を通じて期待する効果については、「子どもの体力づくり」が58.3%で最も多く、次いで「地域コミュニティの形成や活性化」が39.6%、「青少年の健全育成」、「市民の健康増進」がそれぞれ37.5%となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの体力づくり」は前回より12.0ポイント、「地域コミュニティの形成や活性化」は前回より11.8ポイント、それぞれ高くなっている。(図Ⅲ2-9)

(10) 「スポーツサポーターズバンク」の認知度

問11. あなたは、「スポーツサポーターズバンク」を知っていますか（○は1つ）

【図Ⅲ2-10 「スポーツサポーターズバンク」の認知度】

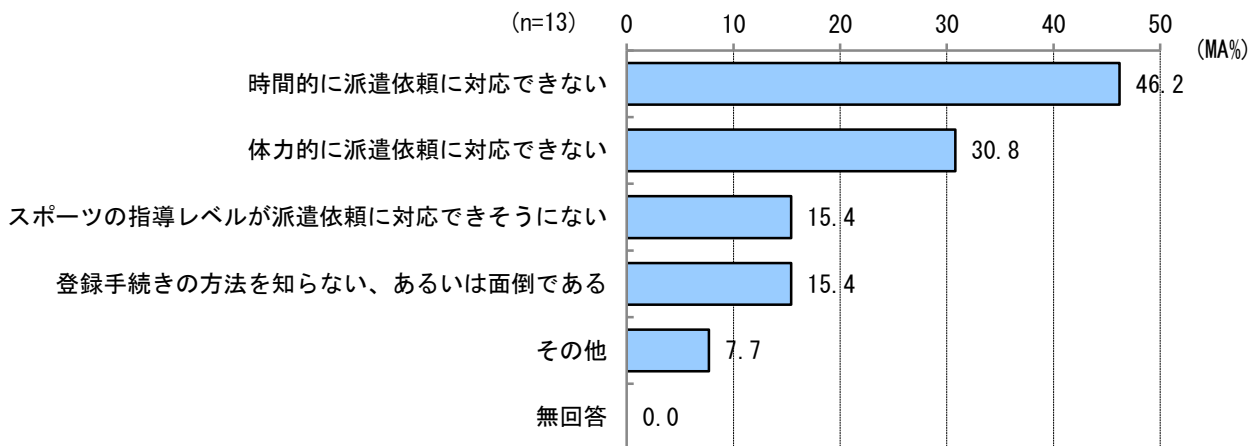


スポーツサポーターズバンクの認知度については、「知らない」が66.7%で最も多く、次いで「知っているが、登録していない」が27.1%、「知っている、登録もしている」が6.3%となっている。（図Ⅲ2-10）

(11) 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由

【問11. で「2. 知っているが、登録していない」と回答した方におうかがいします】  
 問11-2. スポーツサポーターズバンクに登録しない理由についてお答えください。（○はいくつでも）

【図Ⅲ2-11 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由】

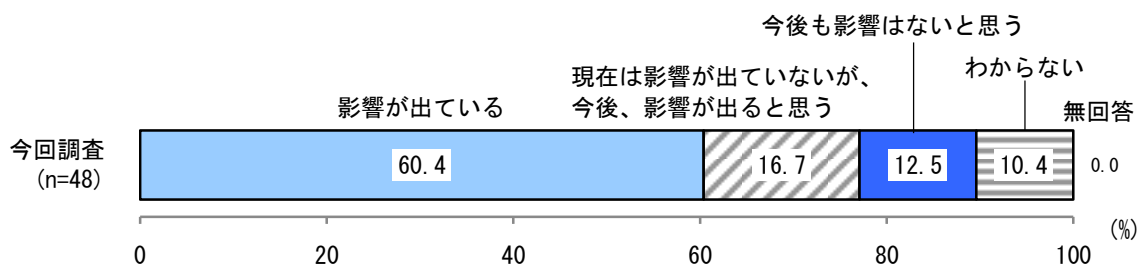


スポーツサポーターズバンクを知っているが登録していないと回答した人に、登録しない理由をたずねると、「時間的に派遣依頼に対応できない」が46.2%で最も多く、次いで「体力的に派遣依頼に対応できない」が30.8%となっている。（図Ⅲ2-11）

(12) 新型コロナウイルス感染症の流行が団体の活動に及ぼした影響の有無

問12. 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。  
 (○は1つ)

【図Ⅲ2-12 新型コロナウイルス感染症の流行が団体の活動に及ぼした影響の有無】



新型コロナウイルス感染症の流行が団体の活動に及ぼした影響の有無については、「影響が出ている」が60.4%で最も多く、次いで「現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う」が16.7%、「今後も影響はないと思う」が12.5%となっている。(図Ⅲ2-12)

(13) 新型コロナウイルス感染症の流行が団体の活動に及ぼした影響

【問12で「1. 影響が出ている」と回答した方におうかがいします】

問12-1. どのような影響が出ていますか。(自由にご記入ください)

新型コロナウイルス感染症の流行が団体の活動に及ぼした影響（自由記述）
入部しようと思ってくれた子どもがいたが、活動自粛になってタイミングを逃した。試合の中止、棄権など。 ・子どもたちの練習日数が減少し、体力が低下した ・会話のひかえやマスクの着用により声を出しての練習ができない場合が多くあり、子どもに少し元気や活気がなくなった。
施設利用制限された。
団活動を全面的に中止したり、感染者が出た場合は、色々条件付きの対応をしたりと大変苦勞している。
練習回数の減少、大会の減少、練習時間の短縮。
活動範囲の制限。
コロナ対策のため大会(月例会や総体)が縮小され満足に競技ができなくなりました。また、講習会なども縮小され、技術の向上にも影響が出ています。
密になれない、声を出しにくい。
大会の中止。
現在は影響は和らいているが、大会の中止や練習場所の確保が困難だった。それらにより子どもたちのモチベーションの低下や成長を披露する場が失われた。 ・月一回ほどの大会を開催しているが、ここ2年は枚方市からの要請があった時は中止している。 ・要請がなくなっても感染者数によりその都度、協議し開催を決定している。
従来、行っていたリーグ戦が開催できない。その結果、登録チーム数が減少している。 ・大会が開催できない ・大会参加者の感染対策により、満足なプレーができない ・運営費の不足
練習と試合が出来なかったです。
練習日、大会等が減少した。 ・大会への参加チーム数が減った(練習場所や人数が確保できず、練習不足等で参加を見送るチームがある) ・大会自体の中止、延期を余儀なくされた。
現在は出ていない。10/10現在 ・活動日数や場所 ・スポーツを結果的に辞めてしまう。
コロナ禍の外出自粛による体力低下や、体調を崩されている方が多い。
行事参加者の減少。 ・令和2年度は大会全て中止となり、登録料及び参加料収入がなく、大会要項及び総会資料(事業報告、決算等)送付の費用が嵩み、実質赤字となった。 ・令和3年度の行事参加人数(大会中止が65%)減少。
今現在、出ているというわけではなく、この約3年コロナに振り回されてきました。又チーム内、保護者のコロナに対する考え方等、温度差があり難しいチーム運営に直面しました。今後は、コロナがどういう位置付けになるかで変わってくると思う。
公式試合が減っていたが、それも解消された。 ・大会数の減少 ・参加者の減少
会員さんの仕事(特に病院介護)で、試合や練習はコロナが収束するまで控える人が多いので、大会参加又休んでいる期間が長いと、段々離れていくのは仕方ないかと思えます。インディアカの魅力やスポーツの身体を動かし、汗をかく楽しさがある事を思い出して欲しいと思えます。
企業が団体スポーツへの参加をさせてないので、試合消化が遅れる。
行事が開催できない。
練習時間が短くなっているため、以前のようにできていない。マスク着用しているため休憩を多くはさみ、増々練習時間が減る。
大会の減少



(14) 自由意見

問13. 最後に市のスポーツ施策全般についてご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

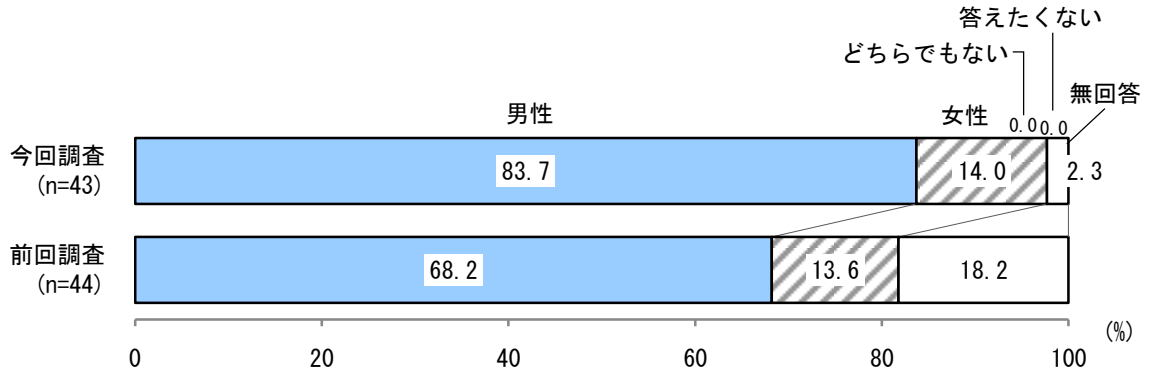
市のスポーツ施策全般についての意見や提案等（自由記述）
子どもの夏休みや冬休みの施設開放で、小、中学生優先の対応がお願いできればと思います。
有料施設については、スポーツ用具、備品を充実してほしい。
枚方市総合体育館で大会を行う場合などの時、希望日(祭日日曜など)がなかなか取れない。
地域スポーツと学校との交流を図り、子どもたちのスポーツ活動を発展するような環境を築きたい。特に効率よく利用できていないスポーツ施設及び学校を有効的に利用できるよう、取り組む必要がある。
・遠的射場(60m)を枚方市に新設してほしい。 ・アーチェリーとの供用をなくし別の施設(アーチェリー用)を作してほしい。
駐車料金を無料にしてほしい。
駐車料金等を一律にしてほしい。
・市のスポーツ施設周辺の駐車場の拡大を希望します。 ・元プロ選手を誘致して各スポーツの座学と実技の指導(例)元プロ野球を誘致して野球教室の実施。主に学童を希望。
・協議の枠を超えて身体能力を向上するための講習会などを開催してほしい。 ・学校の部活や授業でのスポーツ協会の活用(外部指導者)また、競技者数、指導者数の少ない競技における学校の枠を超えた部活動、地域活動、促進のためのルール作りを早急に対応してもらいたい。
いつもお世話になり誠にありがとうございます。
枚方市立総合体育館・渚市民体育館の職員の方々の対応が良く、感謝しています。今後ともよろしく願っています。
屋外のスポーツなので、天候に左右される。全天候型のスポーツ施設を望みます。
・忙しく働いたり、子育てに忙しい現役世代(20代後半、30~50歳くらいの年代)が、気軽にスポーツを楽しめる。あいている時間で何かスポーツができる環境や施策に取り組んでいただければ、うれしく思います。→市が主体で実施するだけでなく、民間のクラブ等の利用に対する補助などもありかと・・・。 ・周辺の市町村と連携したスポーツ振興策等。
1. スポーツ施設が少ないのは元より、スポーツに対する各小学校の協力等、残念ながら得られない。 2. 河川敷の整備(球技の出来るグラウンド等、駐車設備等)
毎年、市主催のチャリティーゴルフを実施させているが、本市にはゴルフ協会(アマチュア)がない。ゴルフ協会を立ち上げ、市内に4カ所あるゴルフ場と提携して、市民のゴルフ使用料の減免または若年者の競技者の育成やゴルファーの人口増加を図り、ゴルフの町枚方市を推進していったらどうか。
・「こども夢基金活用事業」を増やして、各競技に興味を持つ機会を作る。 ・枚方に工場があり、市役所横の公園にネーミングしている日本ペイントに関して、卓球のTリーグに参戦している「日本ペイント、マレッツ」のゲームを開催し、中学生、一般市民にトップレベルの技術を見てもらう。
スポーツの街、枚方をもっと推進したい。その為に協力できることは、どんどん協力していきます。よろしくお願いします。
学校教育の場で行われて来たクラブ活動が、地域を受け皿にした活動に変わっていきませんが、子供の指導者も少なく、我々運営スタッフも人数が少なくなり、高齢化もあり、今後の運営や子供達への指導 etc にとても不安を感じます。また、運営資金にも不安を感じています。指導者や運営スタッフを増やすための市のスポーツ施策を考え、実施して欲しい。各団体が運営しやすくなるように、補助金も増額して欲しい。
アンケートだけで終わらず、しっかり実施してほしい。
・市主催でのスポーツイベント(各種目の大会)増加(目標となる大会になるような)。 ・試合や練習場を増やして活動しやすい環境を作ってもらいたい。 ・各団体への補助金や指導者育成の補助(指導者資格、講習費用の補助など)
今、スポーツ協会加盟団体だけでなく、健康維持向上のため、いろんなサークル活動が盛んになっています。ここで問題なのが場所の確保ですが、地域により場所が確保出来なくて・・・(時間差もあります。特に家庭の主婦などは、午前中希望が圧倒的に多い)混乱しています。遊体施設を見直して、有効活用できないでしょうか?
部活動はなくして、地域のクラブチームに任せるべき。教員は一切の指導から手をひき、子どもたちの教育を最優先に。

## IV スポーツ推進委員調査の結果

### 1 スポーツ推進委員の属性

#### (1) 性別

【図IV1-1 性別】

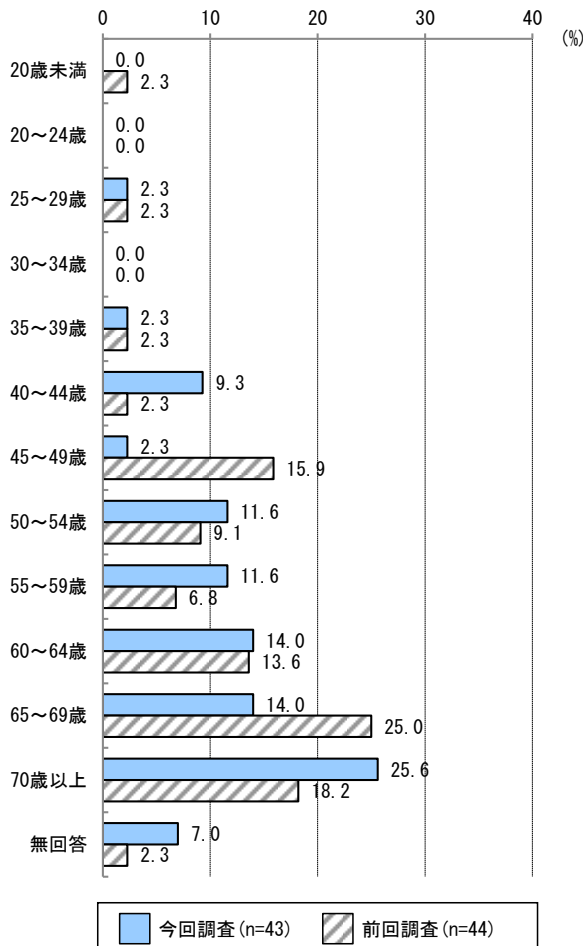


※「どちらでもない」「答えたくない」は今回新規

回答者の性別は、「男性」が83.7%(36人)、「女性」が14.0%(6人)となっている。(図IV1-1)

#### (2) 年齢

【図IV1-2 年齢】

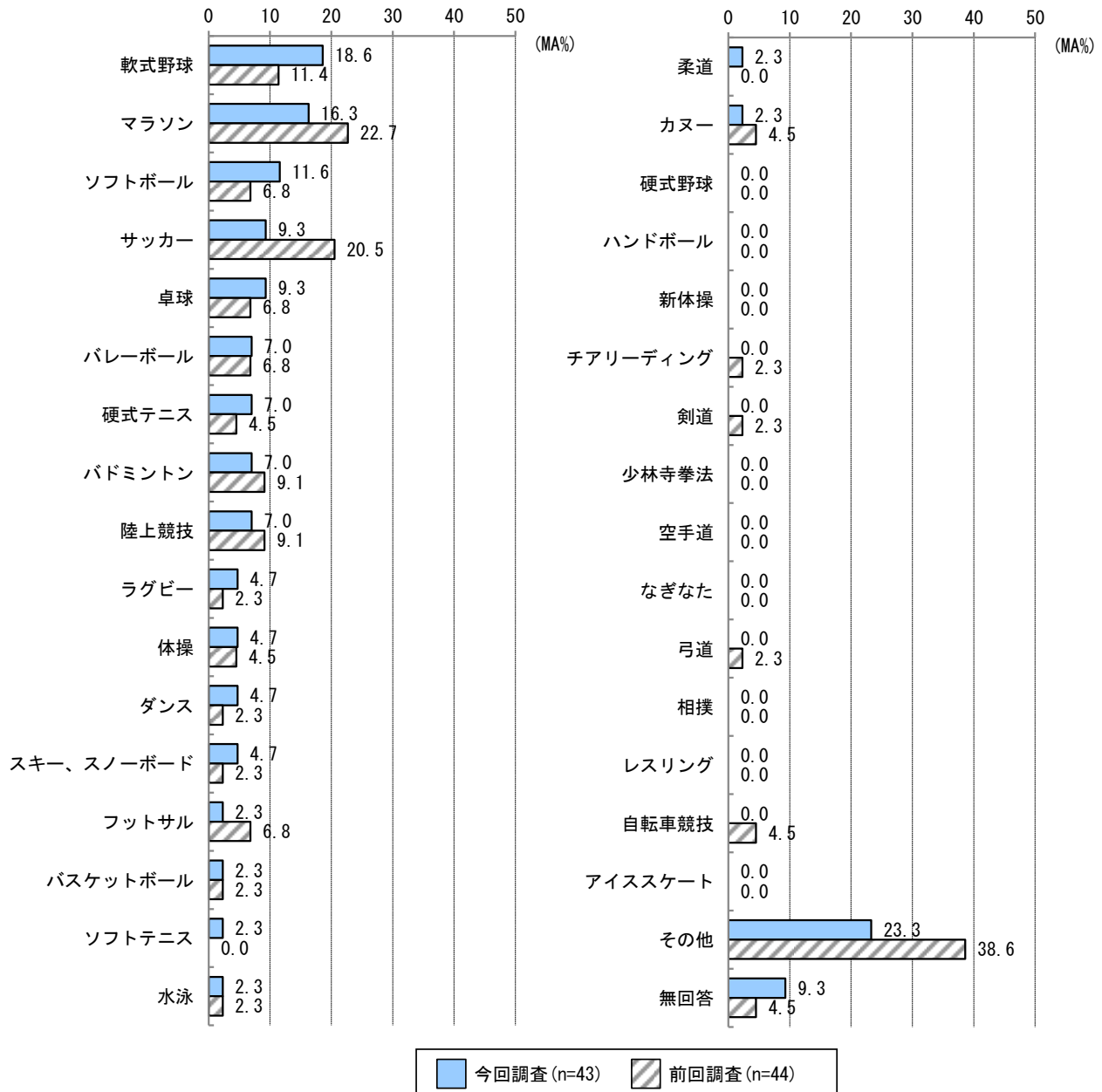


回答者の年齢は、「70歳以上」が25.6%(11人)で最も多く、次いで「60~64歳」、「65~69歳」がそれぞれ14.0%(6人)となっている。(図IV1-2)

### (3) 行っているスポーツ

主にどのようなスポーツを行っていますか。

【図IV1-3 行っているスポーツ】

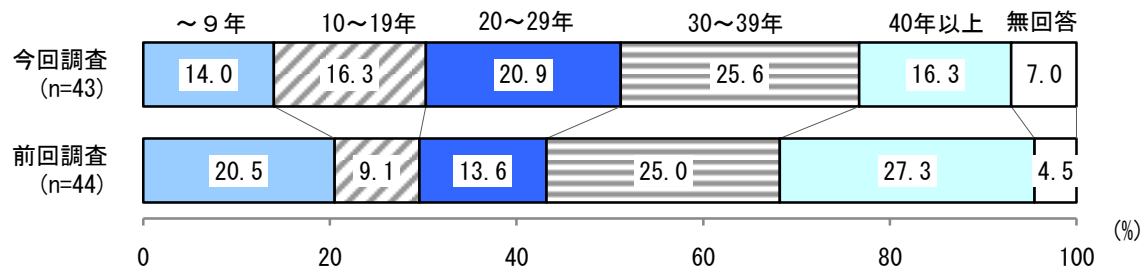


行っているスポーツについては、「軟式野球」が18.6%(8人)で最も多く、次いで「マラソン」が16.3%(7人)、「ソフトボール」が11.6%(5人)となっている。(図IV1-3)

#### (4) スポーツの実践経験年数

スポーツの実践経験の年数は何年ですか。 ※上記で○をした種目

【図IV1-4 スポーツの実践経験年数】



スポーツの実践経験年数については、「30~39年」が25.6%(11人)で最も多く、次いで「20~29年」が20.9%(9人)、「10~19年」、「40年以上」がそれぞれ16.3%(7人)となっている。(図IV1-4)

## 2 活動状況

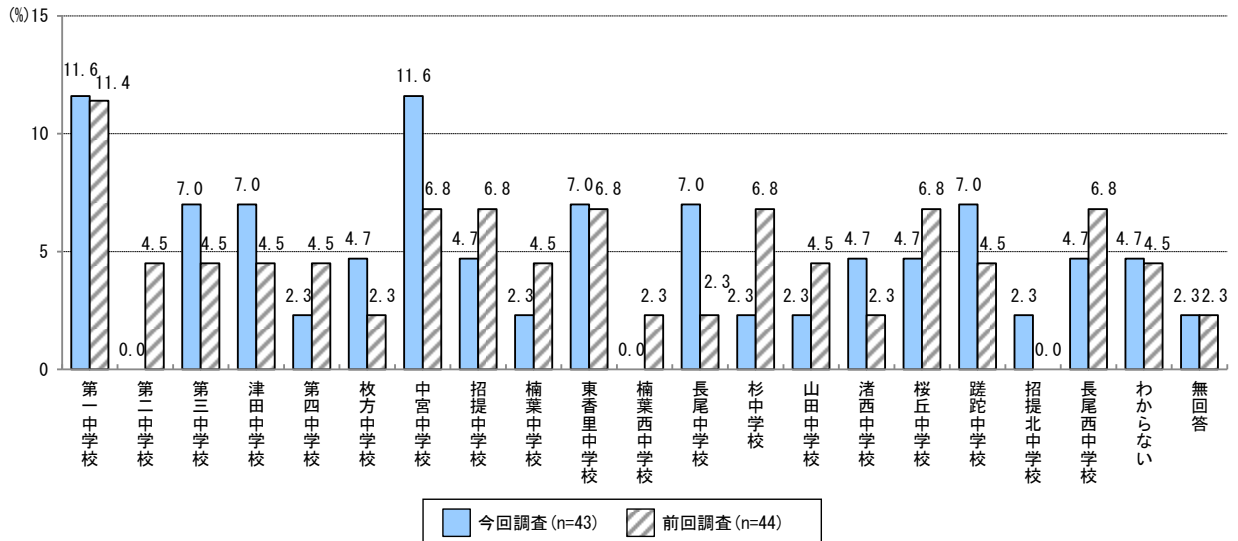
### (1) スポーツ推進委員としての活動状況

#### ① 主な活動地域

問2. あなたのスポーツ推進委員としての活動状況についてお答えください。

(1) 主な活動地域はどちらですか。(○は1つ)

【図IV2-1-1 主な活動地域】

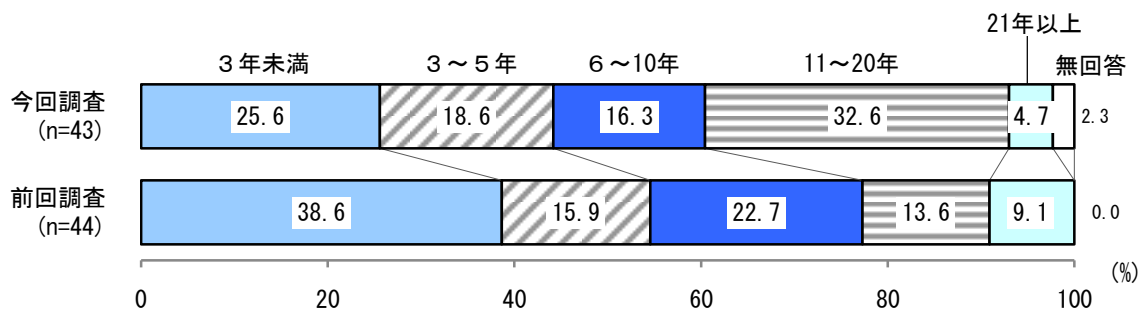


主な活動地域については、「第一中学校」、「中宮中学校」がそれぞれ11.6%(5人)で最も多く、次いで「第三中学校」、「津田中学校」、「東香里中学校」、「長尾中学校」、「蹠跚中学校」がそれぞれ7.0%(3人)となっている。(図IV2-1-1)

#### ② スポーツ推進委員としての活動年数

(2) スポーツ推進委員として活動を始められて何年になりますか。(令和4年9月1日現在)

【図IV2-1-2 スポーツ推進委員としての活動年数】

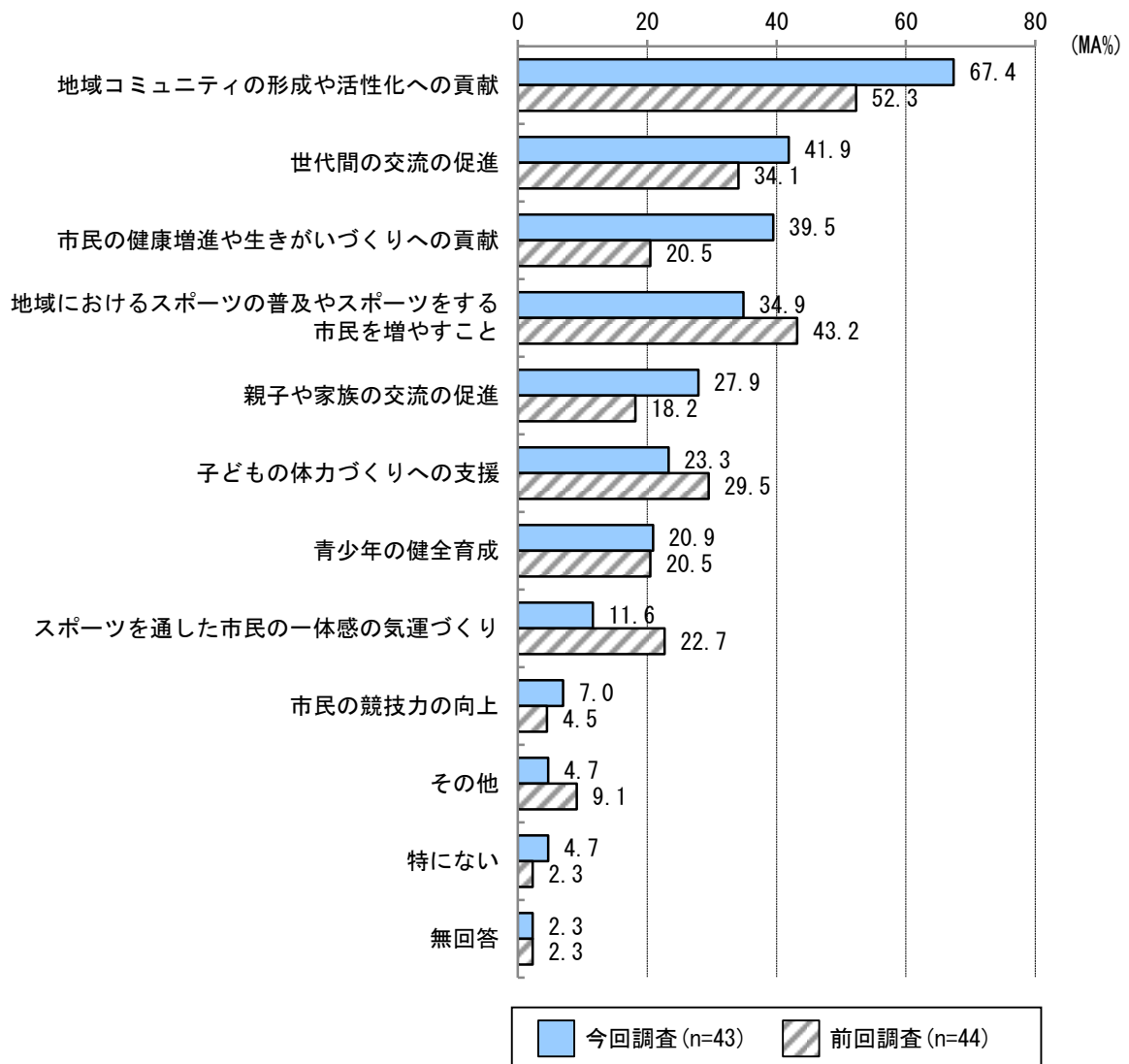


スポーツ推進委員の活動年数については、「11~20年」が32.6%(14人)で最も多く、次いで「3年未満」が25.6%(11人)、「3~5年」が18.6%(8人)となっている。(図IV2-1-2)

(2) スポーツ推進委員としてのやりがい

問3. あなたが、スポーツ推進委員としてやりがいを感じることは、どのようなことですか。  
(〇はいくつでも)

【図IV2-2 スポーツ推進委員としてのやりがい】

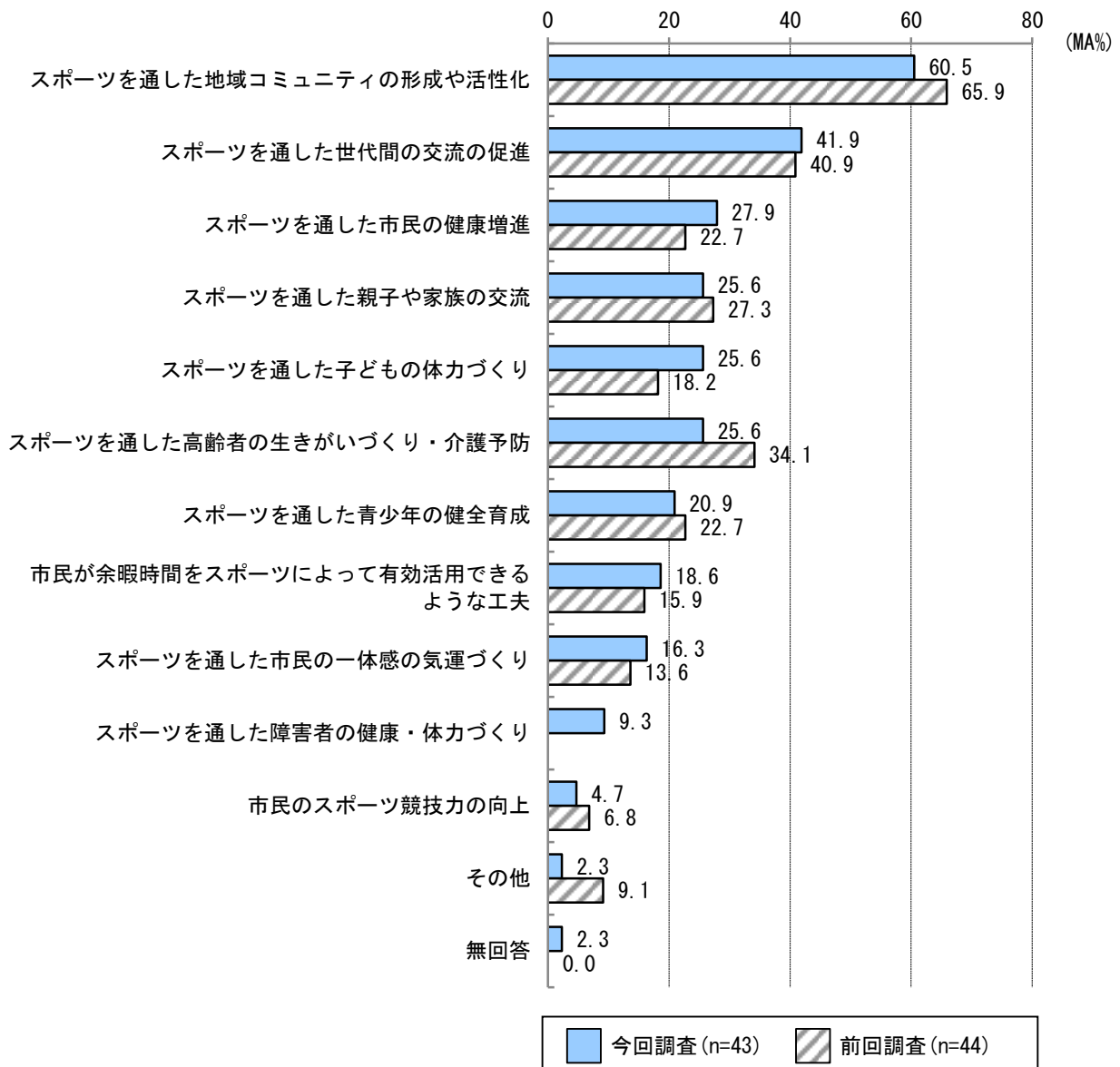


スポーツ推進委員としてのやりがいについては、「地域コミュニティの形成や活性化への貢献」が67.4%(29人)で最も多く、次いで「世代間の交流の促進」が41.9%(18人)、「市民の健康増進や生きがいづくりへの貢献」が39.5%(17人)となっている。(図IV2-2)

### (3) スポーツを普及させるために心がけている活動

問4. あなたは、地域においてスポーツを普及させるために、どのようなことを心がけて活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

【図IV2-3 スポーツを普及させるために心がけている活動】



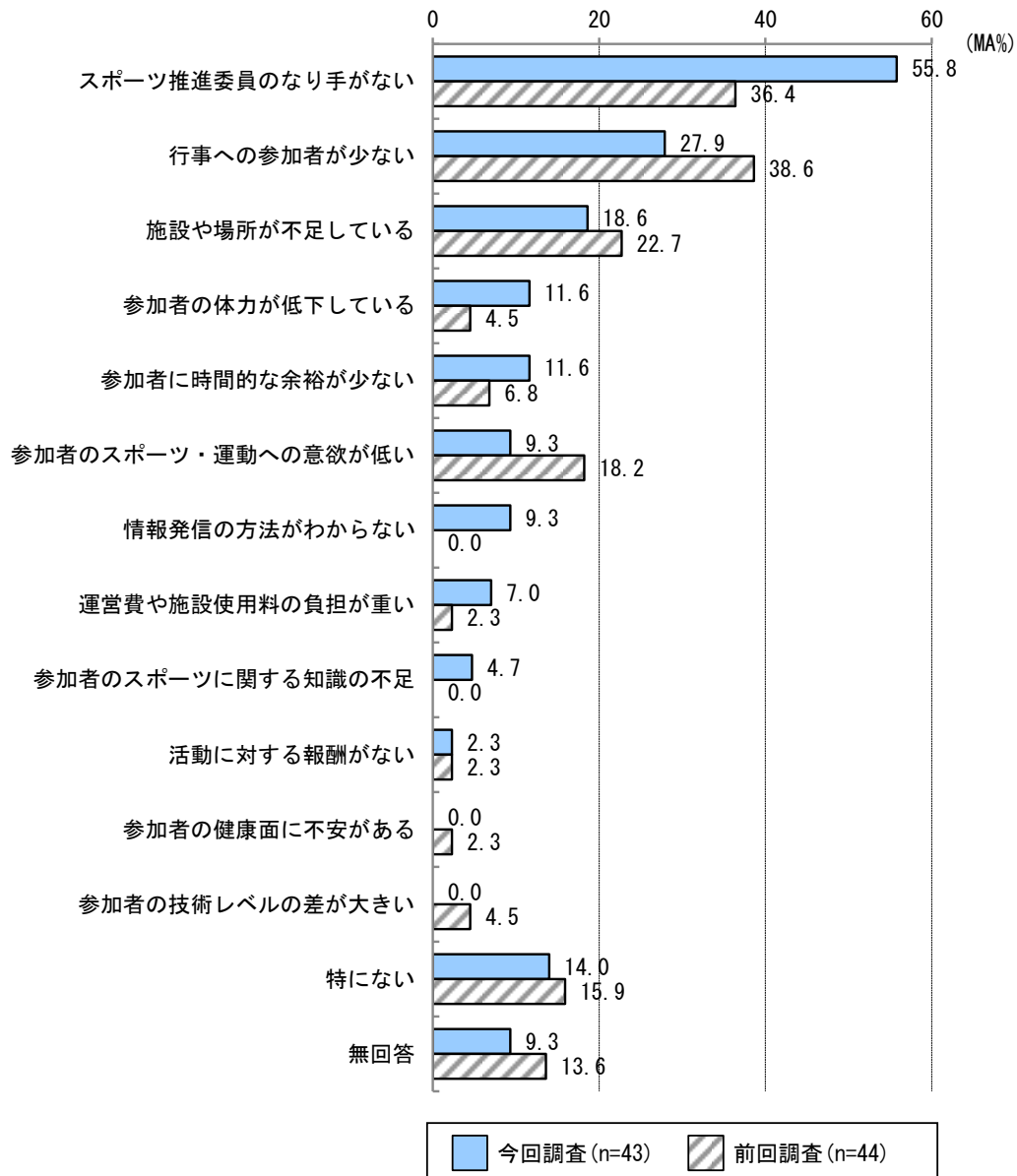
※「スポーツを通じた障害者の健康・体力づくり」は今回新規

地域においてスポーツを普及させるために心がけている活動については、「スポーツを通じた地域コミュニティの形成や活性化」が60.5%(26人)で最も多く、次いで「スポーツを通じた世代間の交流の促進」が41.9%(18人)、「スポーツを通じた市民の健康増進」が27.9%(12人)となっている。(図IV2-3)

(4) スポーツ推進委員としての悩みや課題

問5. あなたは、スポーツ推進委員として活動していて悩みや課題はありますか。  
(〇はいくつでも)

【図IV2-4 スポーツ推進委員としての悩みや課題】



※「情報発信の方法がわからない」は今回新規

スポーツ推進委員としての悩みや課題については、「スポーツ推進委員のなり手がいない」が55.8%(24人)で最も多く、次いで「行事への参加者が少ない」が27.9%(12人)、「施設や場所が不足している」が18.6%(8人)となっている。(図IV2-4)



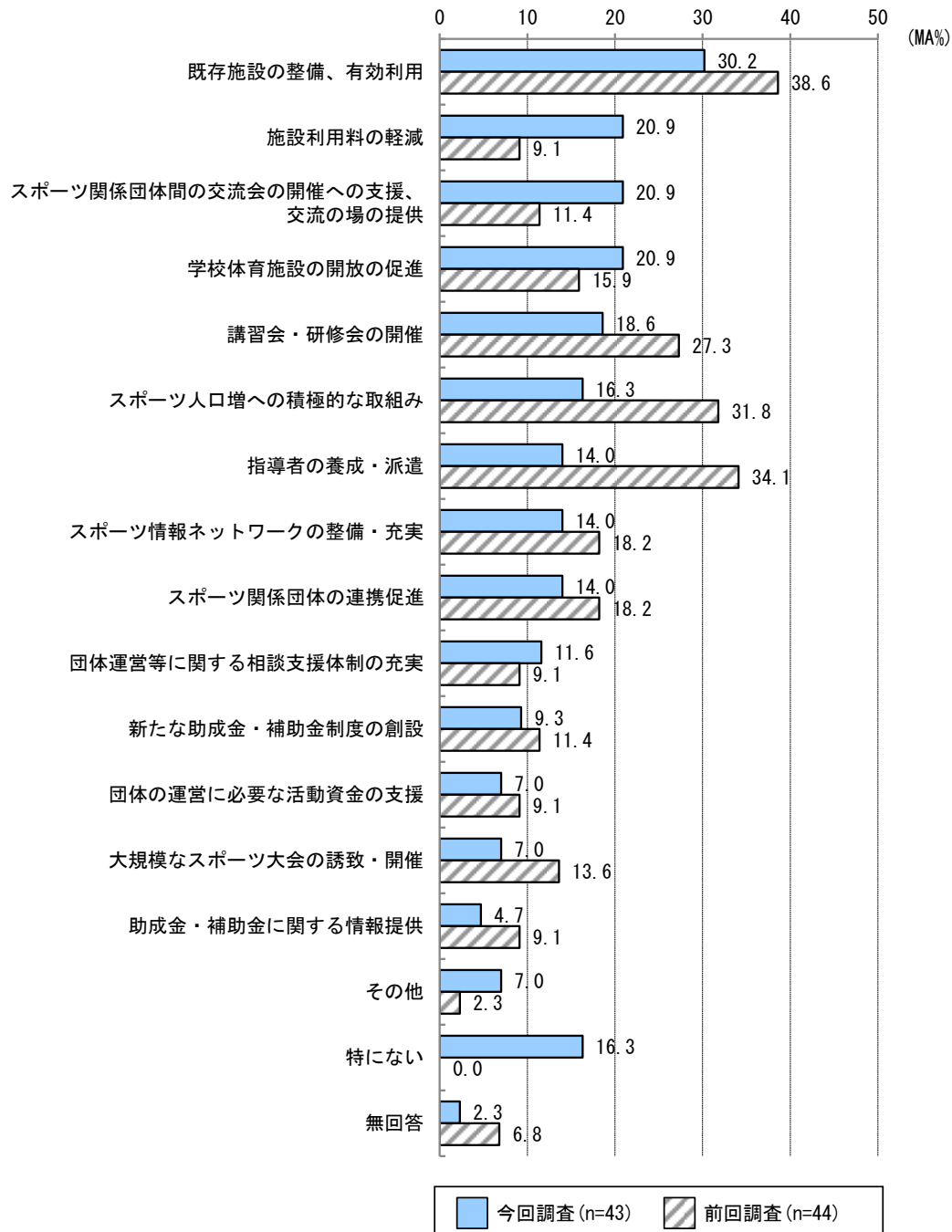
□上記以外のことで、あなたが抱えている悩みや課題があれば、下記に具体的にご記入ください。

あなたが抱えている悩みや課題（自由記述）
コロナに対する考え方の違い、それによつての強要や理解、家族間の家族の中での方向性の違い、そういったことを踏まえての活動について。
参加者の高齢化が進み、体調不良で休む人が増えてきた。
ライフチャレンジザウオーク、ライフグランドゴルフなど場所が遠く参加しにくい。
協議会事業が主とした活動となり、本来の校区での活動が分かりづらい。各校区との情報、課題共有ができればと思う。特にコロナ禍では。
スポーツ推進委員の高齢化
スポーツ推進員それぞれの取り組み方により、悩みや課題が異なっていると考えられる。研修の充実（実技研修以外・学識経験者での研修・意見交換）と、体験交流（活動の交流）などの情報を共有することが大切ではないかと思う。
スポーツ推進員の役割として、地域での活動と枚方市の活動があるため両方参加が難しく市の活動まで協力できない事情があります。また、平日の集会は仕事をしている者としては調整が難しく、週末も他のボランティアや団体活動をしていると、優先順位が難しい状況です。そうしたことからスポーツ推進員として活動できる方の条件は絞られてくるかもしれないと思っています。もちろん人それぞれかもしれません。
校区内の各地域で立ち上げたピンポンクラブも10年を過ぎると、活動を止める地域も出てきた。

(5) 活動の活性化にあたって行政に期待すること

問6. スポーツ推進委員の活動の活性化にあたって行政に期待することは何ですか。(○は期待したいと思うこと上位3つまで)

【図IV2-5 活動の活性化にあたって行政に期待すること】



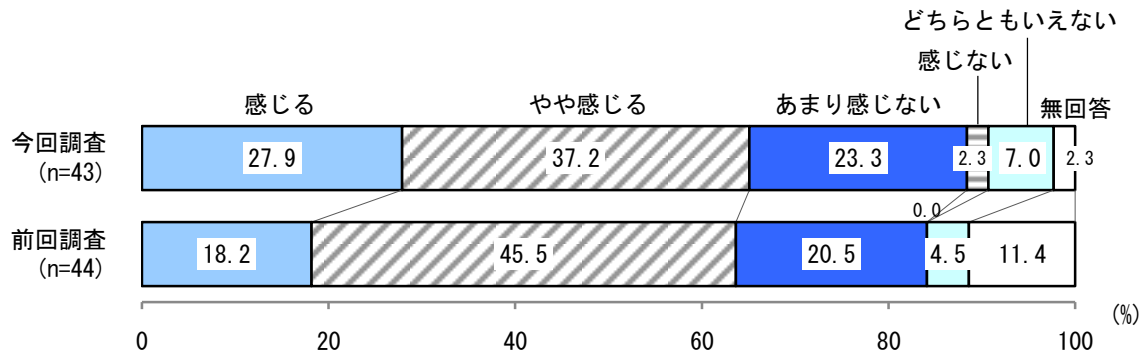
活動の活性化にあたって行政に期待することについては、「既存施設の整備、有効利用」が30.2%(13人)で最も多く、次いで「施設利用料の軽減」、「スポーツ関係団体間の交流会の開催への支援、交流の場の提供」、「学校体育施設の開放の促進」がそれぞれ20.9%(9人)となっている。(図IV2-5)

## (6) 活動を通して感じていること

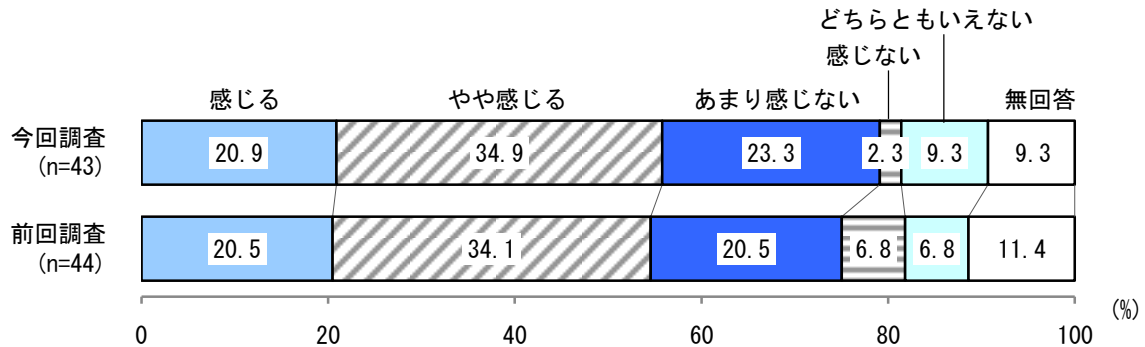
問7. あなたは、ふだんの活動を通して、次にあげる事柄についてどのように感じていますか。(それぞれの項目ごとに○印は1つ)

【図IV2-6-1 活動を通して感じていること〔スポーツ競技人口について〕①】

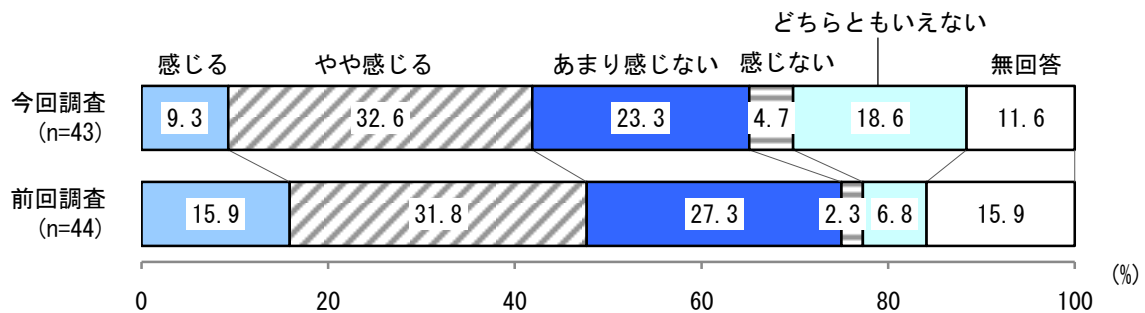
### ① 競技人口全体が減少している



### ② 小・中学生の競技人口が減少している

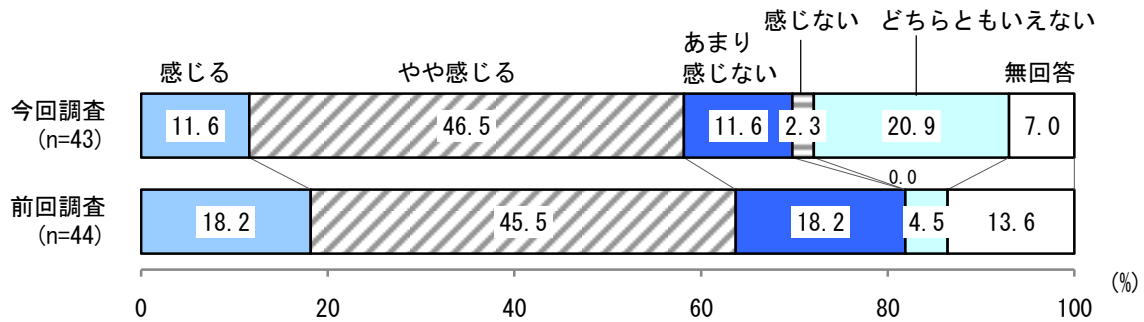


### ③ 高校生の競技人口が減少している

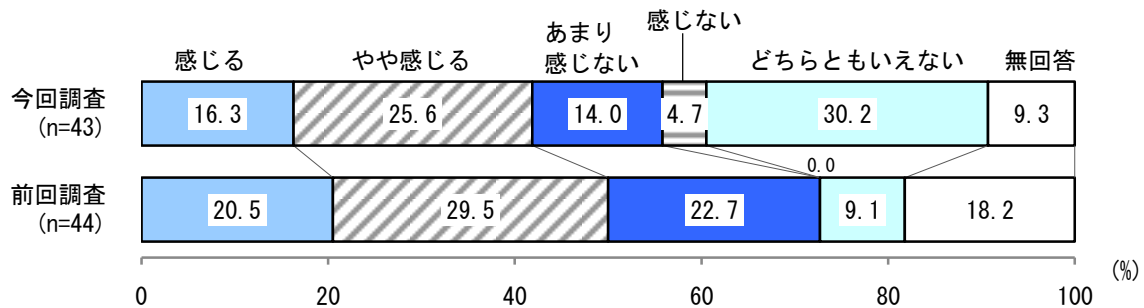


【図IV2-6-1 活動を通して感じていること〔スポーツ競技人口について〕②】

④ 一般の競技人口が減少している



⑤ 企業（実業団）の競技人口が減少している



ふだんの活動を通して、スポーツ競技人口について感じていることをたずねた。

“①競技人口全体が減少している”については、「やや感じる」が37.2%（16人）で最も多く、次いで「感じる」が27.9%（12人）となっており、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合）は65.1%（28人）となっている。

“②小・中学生の競技人口が減少している”については、「やや感じる」が34.9%（15人）で最も多く、次いで「あまり感じない」が23.3%（10人）となっており、『感じる』は55.8%（24人）となっている。

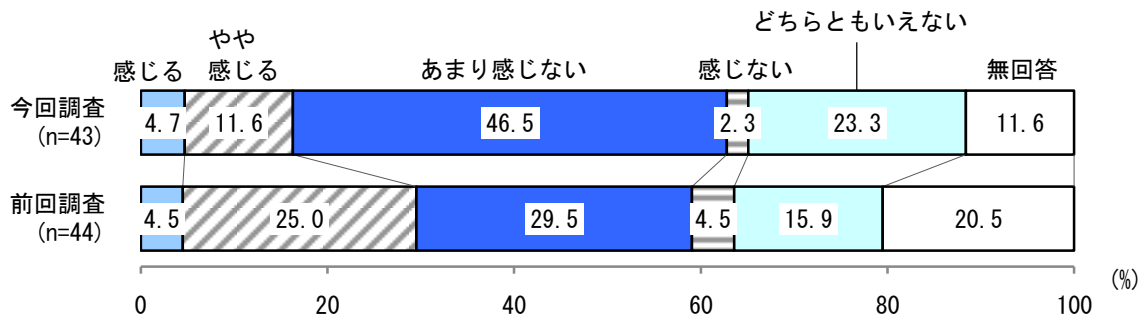
“③高校生の競技人口が減少している”については、「やや感じる」が32.6%（14人）で最も多く、次いで「あまり感じない」が23.3%（10人）となっており、『感じる』は41.9%（18人）となっている。

“④一般の競技人口が減少している”については、「やや感じる」が46.5%（20人）で最も多く、次いで「どちらともいえない」が20.9%（9人）となっており、『感じる』は58.1%（25人）となっている。

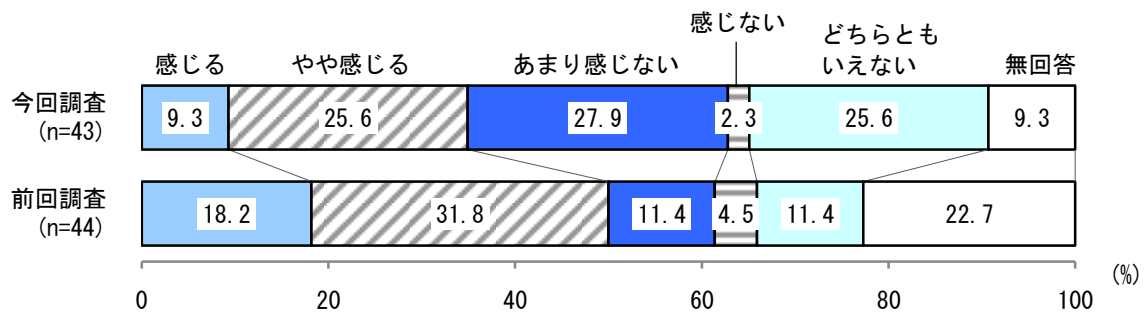
“⑤企業（実業団）の競技人口が減少している”については、「どちらともいえない」が30.2%（13人）で最も多く、次いで「やや感じる」が25.6%（11人）となっており、『感じる』は41.9%（18人）となっている。（図IV2-6-1）

【図IV2-6-2 活動を通して感じていること〔競技力について〕】

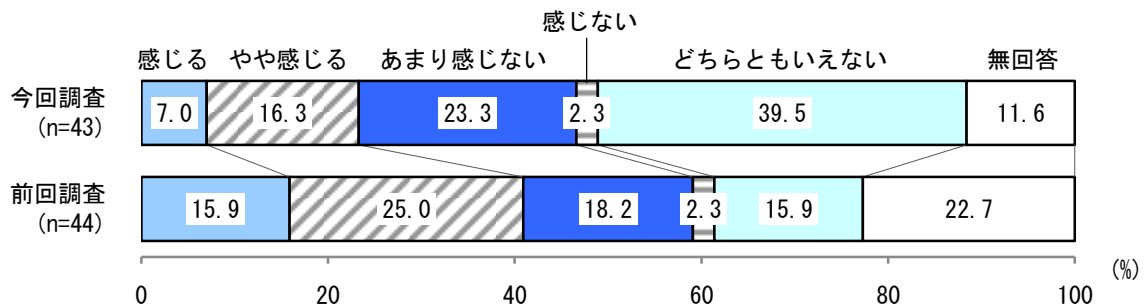
① 大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）



② 選手強化を定期的に行える施設が少ない



③ 選手強化費が少ない



ふだんの活動を通して、競技力について感じていることをたずねた。

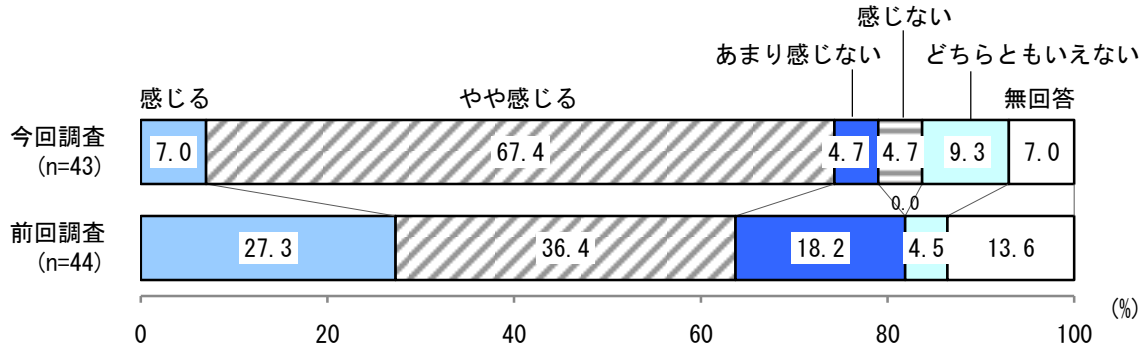
“①大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）”については、「あまり感じない」が46.5%(20人)で最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.3%(10人)となっており、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合）は16.3%(7人)となっている。

“②選手強化を定期的に行える施設が少ない”については、「あまり感じない」が27.9%(12人)で最も多く、次いで「やや感じる」、「どちらともいえない」がそれぞれ25.6%(11人)となっており、『感じる』は34.9%(15人)となっている。

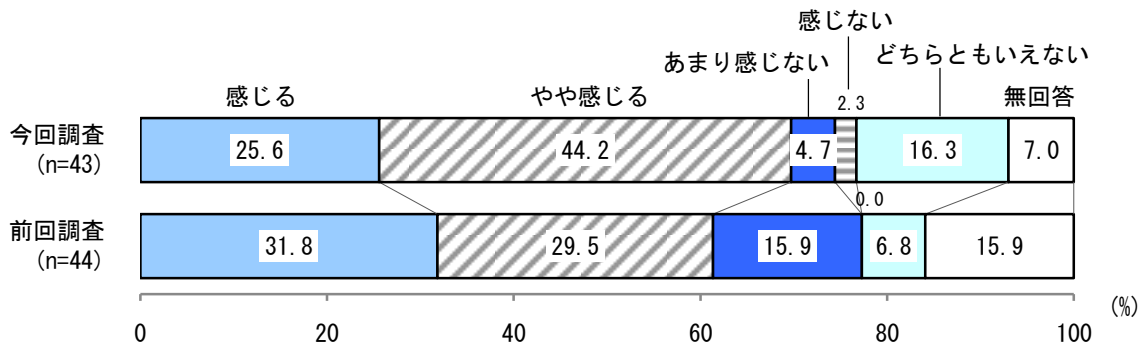
“③選手強化費が少ない”については、「どちらともいえない」が39.5%(17人)で最も多く、次いで「あまり感じない」が23.3%(10人)となっており、『感じる』は23.3%(10人)となっている。（図IV2-6-2）

【図IV2-6-3 活動を通して感じていること〔指導者等について〕①】

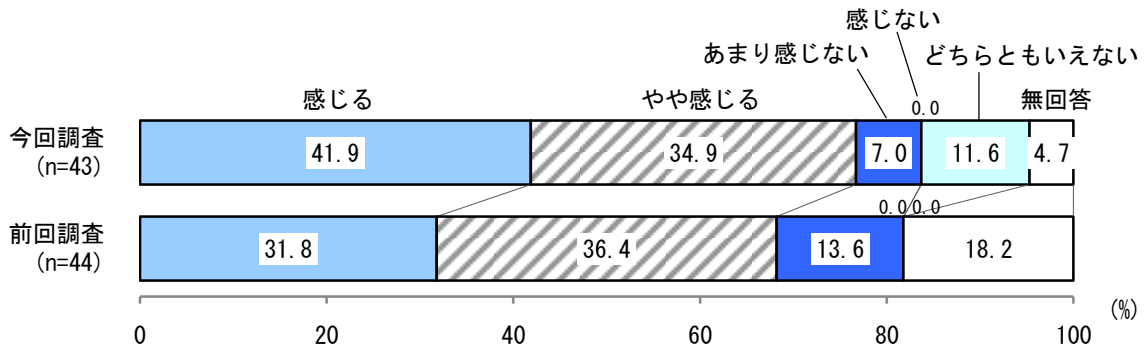
① 指導者そのものが少ない



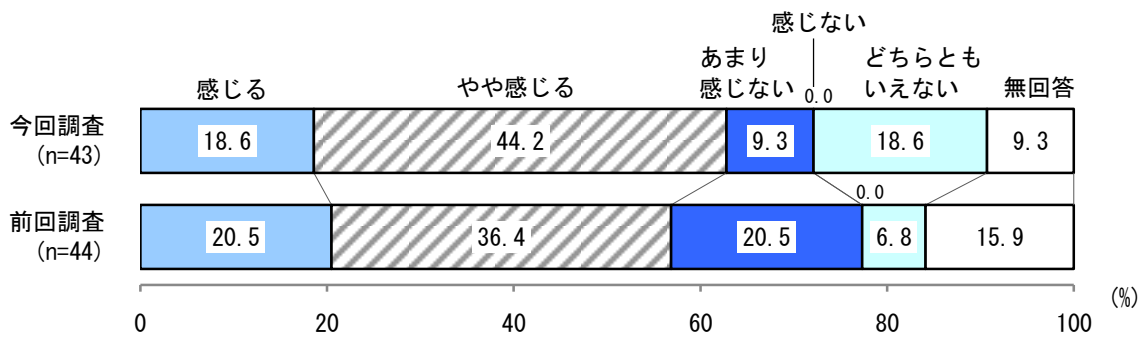
② トップレベルの指導ができる指導者が少ない



③ 指導者が高齢化している

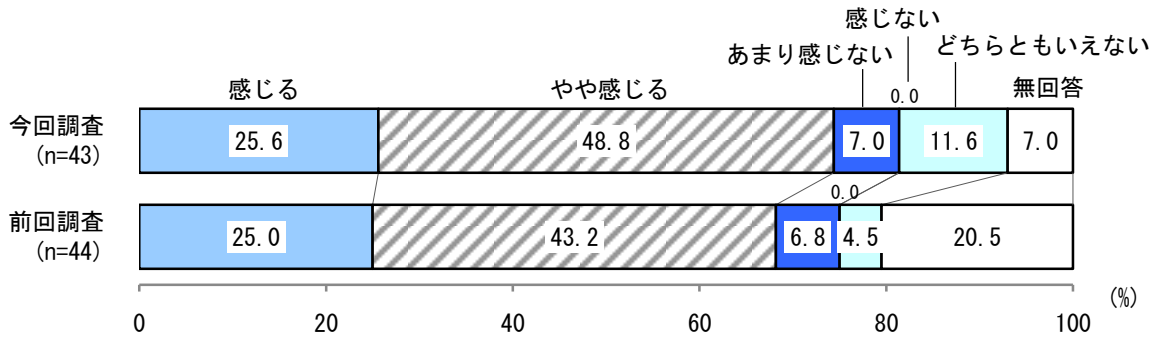


④ 指導者がうまく活用されていない

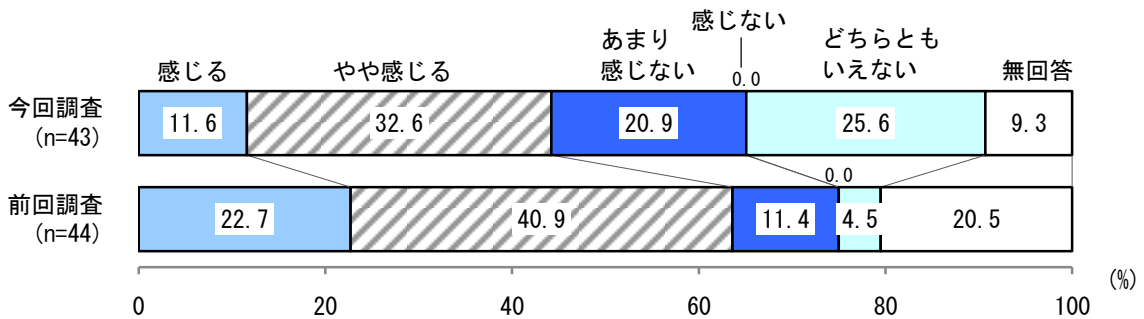


【図IV2-6-3 活動を通して感じていること〔指導者等について〕②】

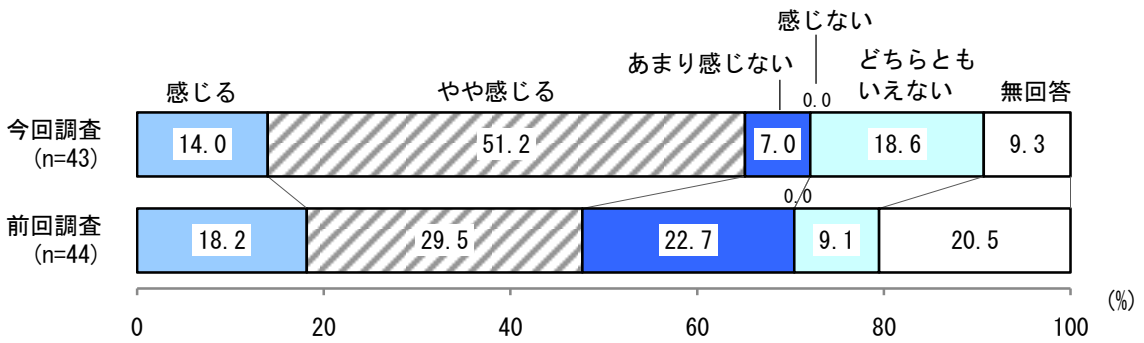
⑤ 指導者の育成が難しい



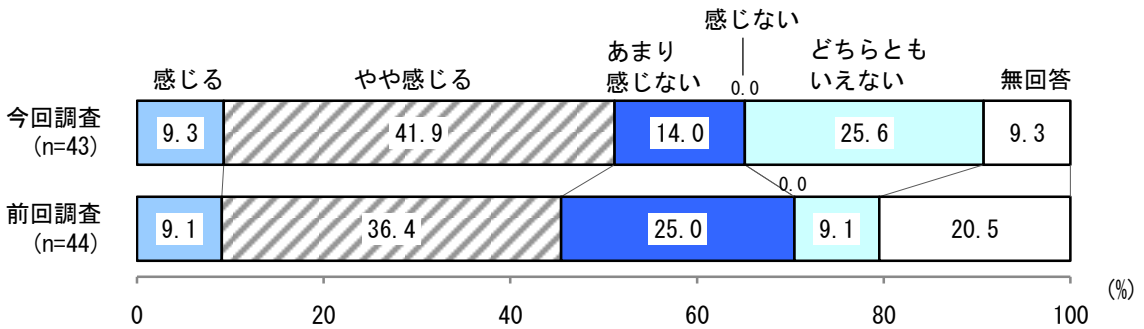
⑥ 一貫した指導が行われていない



⑦ ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない



⑧ 審判員が少ない



ふだんの活動を通して、指導者等について感じていることをたずねた。

“①指導者そのものが少ない”については、「やや感じる」が67.4%(29人)で最も多く、次いで「どちらともいえない」が9.3%(4人)となっており、『感じる』(「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合)は74.4%(32人)となっている。

“②トップレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「やや感じる」が44.2%(19人)で最も多く、次いで「感じる」が25.6%(11人)となっており、『感じる』は69.8%(30人)となっている。

“③指導者が高齢化している”については、「感じる」が41.9%(18人)で最も多く、次いで「やや感じる」が34.9%(15人)となっており、『感じる』は76.8%(33人)となっている。

“④指導者がうまく活用されていない”については、「やや感じる」が44.2%(19人)で最も多く、次いで「感じる」、「どちらともいえない」がそれぞれ18.6%(8人)となっており、『感じる』は62.8%(27人)となっている。

“⑤指導者の育成が難しい”については、「やや感じる」が48.8%(21人)で最も多く、次いで「感じる」が25.6%(11人)となっており、『感じる』は74.4%(32人)となっている。

“⑥一貫した指導が行われていない”については、「やや感じる」が32.6%(14人)で最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.6%(11人)となっており、『感じる』は44.2%(19人)となっている。

“⑦ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「やや感じる」が51.2%(22人)で最も多く、次いで「どちらともいえない」が18.6%(8人)となっており、『感じる』は65.2%(28人)となっている。

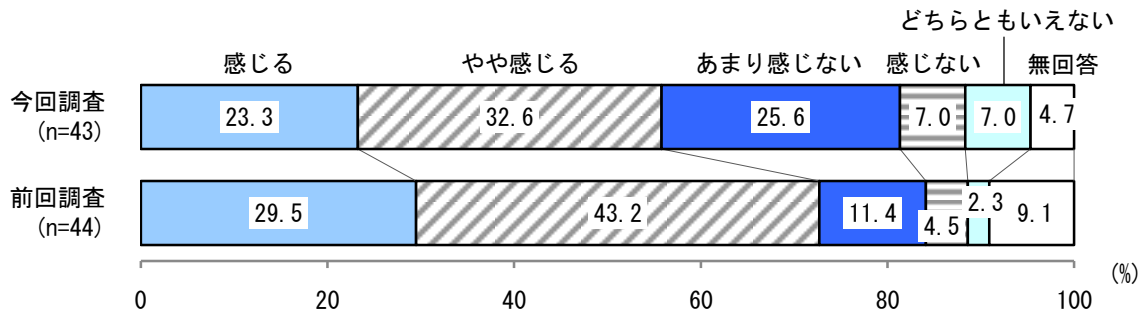
“⑧審判員が少ない”については、「やや感じる」が41.9%(18人)で最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.6%(11人)となっており、『感じる』は51.2%(22人)となっている。

(図IV2-6-3)

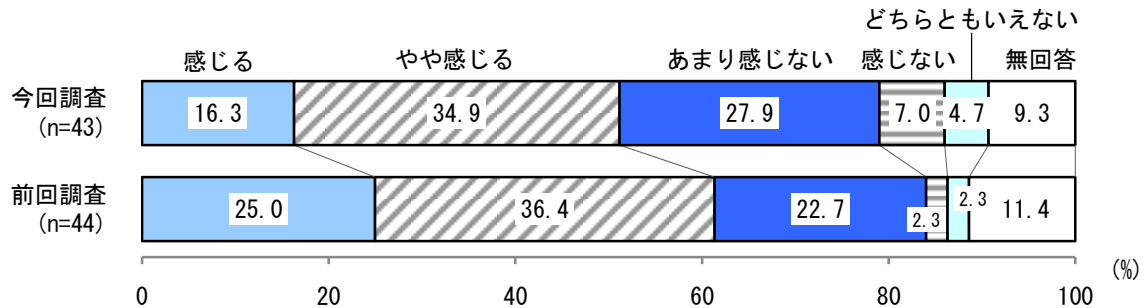


【図IV2-6-4 活動を通して感じていること〔市内のスポーツ施設について〕】

① 日常的に利用できる施設が少ない



② 施設設備が充実していない



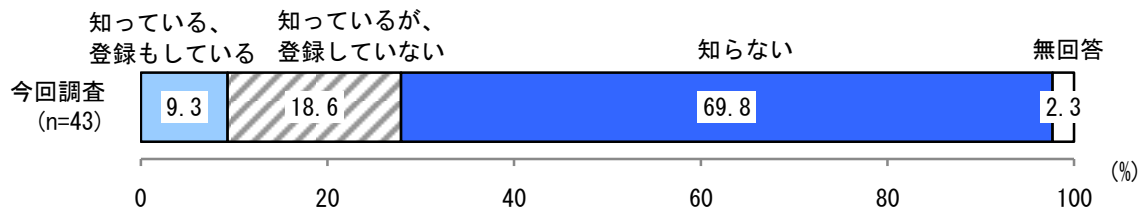
“①日常的に利用できる施設が少ない”については、「やや感じる」が32.6%(14人)で最も多く、次いで「あまり感じない」が25.6%(11人)となっており、『感じる』(「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合)は55.9%(24人)となっている。

“②施設設備が充実していない”については、「やや感じる」が34.9%(15人)で最も多く、次いで「あまり感じない」が27.9%(12人)となっており、『感じる』は51.2%(22人)となっている。(図IV2-6-4)

### (7) 「スポーツサポーターズバンク」の認知度

問8. あなたは、「スポーツサポーターズバンク」を知っていますか（○は1つ）

【図IV2-7 「スポーツサポーターズバンク」の認知度】



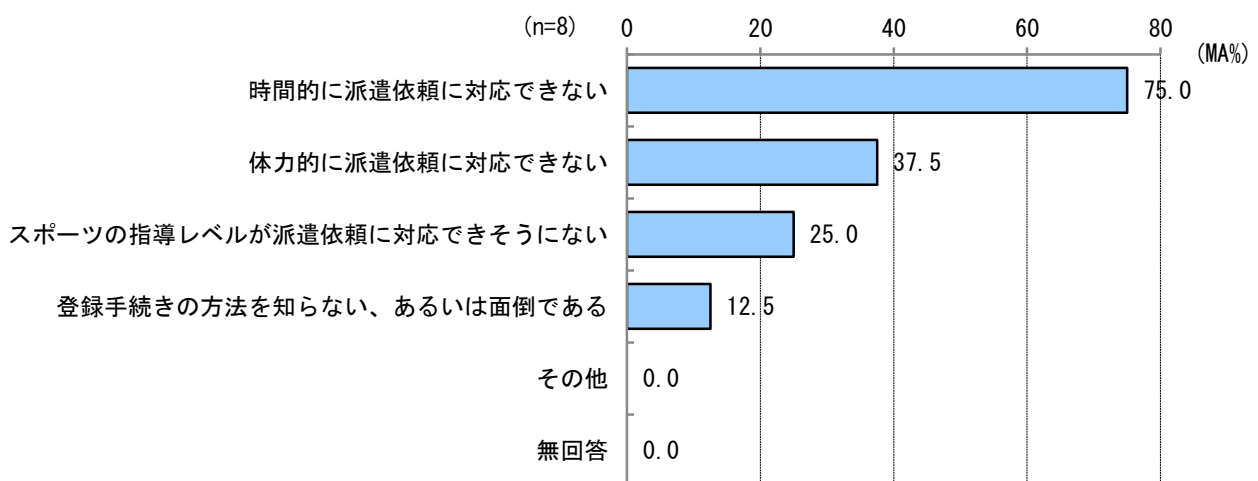
「スポーツサポーターズバンク」の認知度については、「知らない」が69.8%(30人)で最も多く、次いで「知っているが、登録していない」が18.6%(8人)、「知っている、登録もしている」が9.3%(4人)となっており、認知度（「知っている、登録もしている」と「知っているが、登録していない」をあわせた割合）は27.9%(12人)となっている。（図IV2-7）

### (8) 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由

【問8. で「2. 知っているが、登録していない」と回答した方におうかがいします】

問8-2. スポーツサポーターズバンクに登録しない理由についてお答えください。（○はいくつでも）

【図IV2-8 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由】

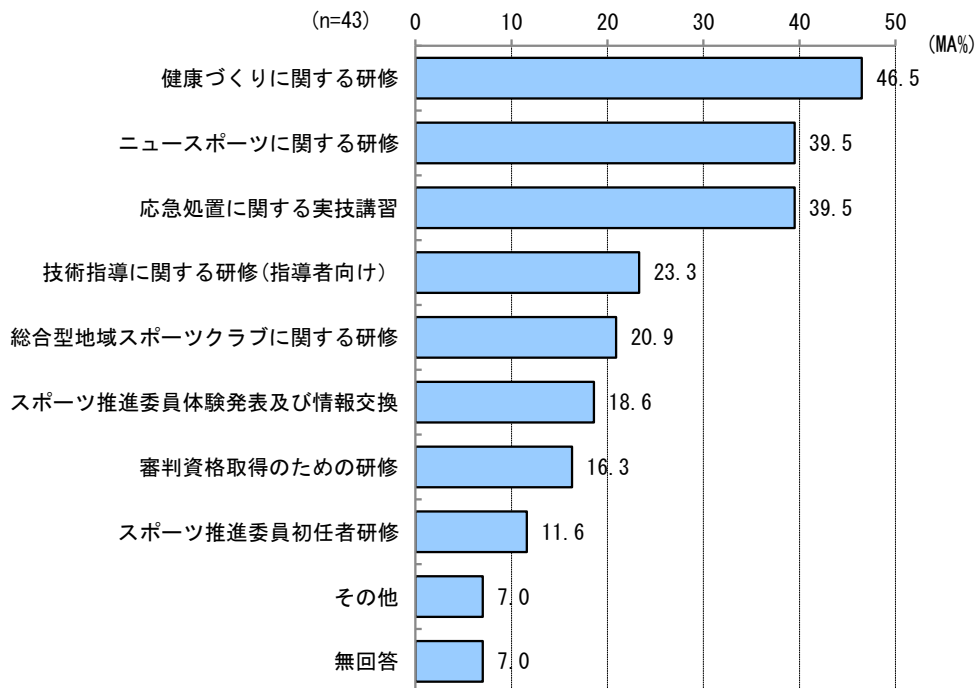


スポーツサポーターズバンクは知っているが登録していないと回答した人(8人)に、登録しない理由をたずねると、「時間的に派遣依頼に対応できない」が75.0%(6人)で最も多く、次いで「体力的に派遣依頼に対応できない」が37.5%(3人)、「スポーツの指導レベルが派遣依頼に対応できそうにない」が25.0%(2人)となっている。（図IV2-8）

### (9) 今後希望するスポーツ推進委員の研修内容

問9 スポーツ推進委員の研修について、今後、どのような研修を望まれますか。(もしくは受けていただけますか。)(〇はいくつでも)

【図IV2-9 今後希望するスポーツ推進委員の研修内容】

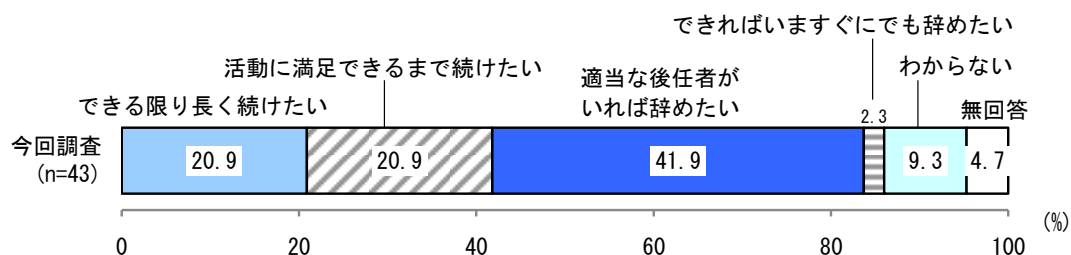


今後希望するスポーツ推進委員の研修内容については、「健康づくりに関する研修」が46.5%(20人)で最も多く、次いで「ニュースポーツに関する研修」、「応急処置に関する実技講習」がそれぞれ39.5%(17人)となっている。(図IV2-9)

### (10) スポーツ推進委員としての活動の継続意向

問10. あなたは、スポーツ推進委員としての活動を、どの程度継続したいと思っていますか。(〇は1つ)

【図IV2-10 スポーツ推進委員としての活動の継続意向】

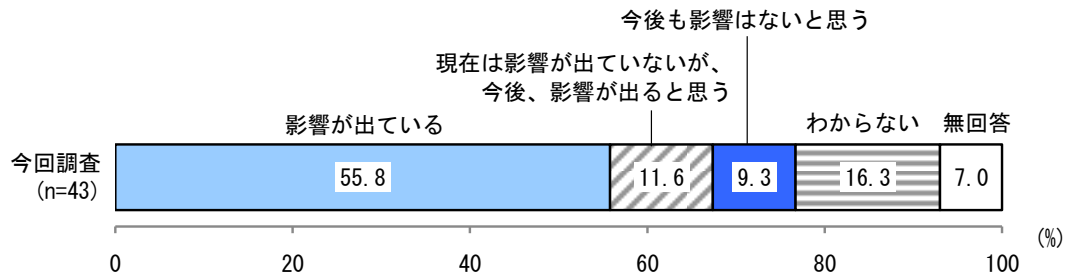


スポーツ推進委員としての活動の継続意向については、「適切な後任者がいれば辞めたい」が41.9%(18人)で最も多く、次いで「できる限り長く続けたい」、「活動に満足できるまで続けたい」がそれぞれ20.9%(9人)となっている。(図IV2-10)

(11) 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無

問11. 新型コロナウイルス感染症の流行は、スポーツ推進委員としての活動に影響を及ぼしていますか。(○は1つ)

【図IV2-11 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無】



新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無については、「影響が出ている」が55.8%(24人)で最も多く、次いで「わからない」が16.3%(7人)、「現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う」が11.6%(5人)となっている。(図IV2-11)

(12) 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響

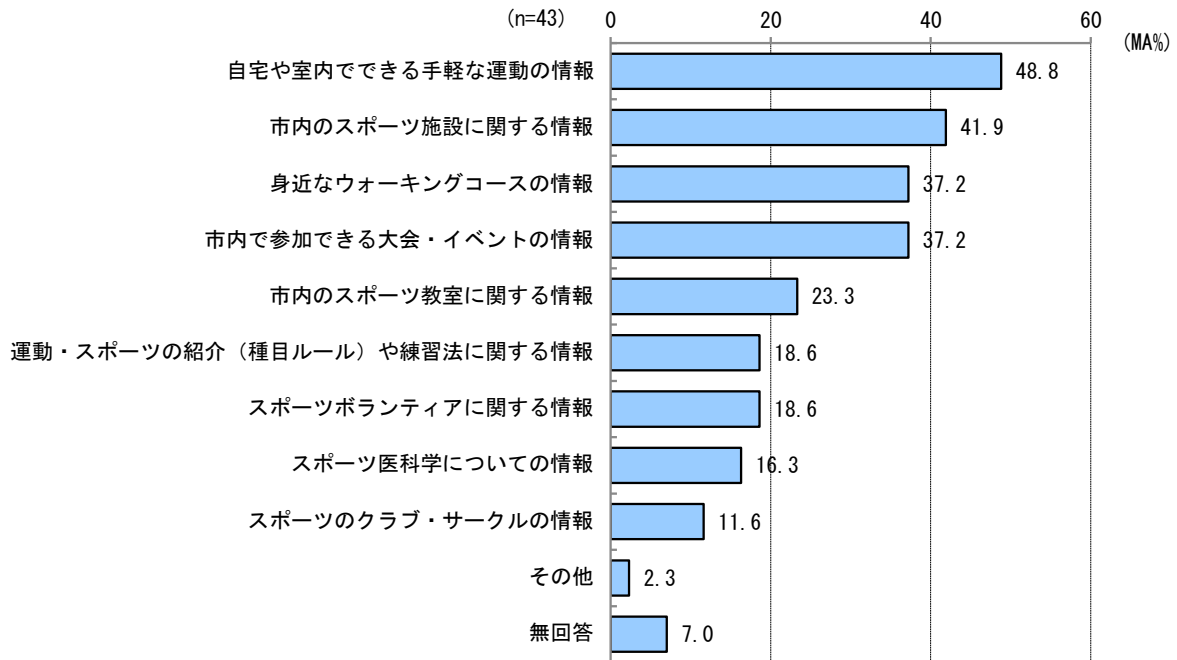
【問11で「1. 影響が出ている」と回答した方におうかがいします】  
問11-2. どのような影響が出ていますか。(自由にご記入ください)

新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響 (自由記述)
・活動の中止 ・人数の減少 ・相手との距離感 ・協議の選択
長期間、定期的に行ってきた卓球ができなくなり、足・腰の不調を訴える人が(メンバー)増えた。
施設開放事業における利用可否の判断
活動ができていない。
高齢者の方々が、多くの方と接するのが怖いとの意見。やむを得ないのですが、自宅に引きこもりがちで、短時間におしゃべりと体をほぐす場があるといいなと思います。足腰が2~3年の間に弱まっていますので、短時間の継続を目標に(手足の骨折が多い)!!
地域の行事、体振行事が中止になっています。
地域における様々な活動(体育祭、歩こう会等々)が出来なくなった。
活動に制約が発生している。
全般に、活動に制限があり、実施できないことが多い(研修、交流、地域活動等)。
地域のイベントが実施できなかったことで、今後継続してイベントが開催できるかどうか不安である(イベントの経験者不足、スタッフ等の引継ぎ不足)。
イベント開催自体の見送り
例年の活動が出来ず、地域の行事などの実施の流れなどがわからなくなってしまいそうになっている。行事や活動自体の変革が少しずつ進んでいる。
大勢の人の集まる場所には参加しづらい(特に高齢者の方は)と感じています。
働きかけに制約があり、うまく活動ができない。
3年間、地域行事が中止(延期)、学校施設が使用できない。体育振興、ゴミ等役員間の交流なし。
地域、コミュニティ主催のイベント(区民体育祭等)の開催ができず、一度中断されるとイベントの再開も難しくなっており、従事する行事が減少している点
予定している活動が実施できなかった。新たな取り組みについても、同様である。5類へコロナ政策が転換されたとしても、やはりコロナ対策及び参加者の意識の関係もあり、以前(コロナ前)のような取組での開催は難しいのではないかと考えている。
ただでさえ、スポーツイベントへの参加者は少ない状況であったのに、“コロナ感染リスク”を理由に、地域役員がイベントを「催行しない」という選択が可能になってしまった。参加者の自己責任で行うべきところであるのに、主催者側がどう責任を取るのか?などと言った筋違いな理屈での反対意見が横行する状態となっている。
活動に大きな制限が生まれているから。
いままでは活動はなかった。5/8からは復活します。
イベントの中止(体育祭など)。イベント時の対策が大変。
イベント中止等

(13) 行政からあれば良いスポーツに関する情報

問12. スポーツに関する情報について、行政からどのような情報があれば良いと思いますか。  
(〇はいくつでも)

【図IV2-13 行政からあれば良いスポーツに関する情報】

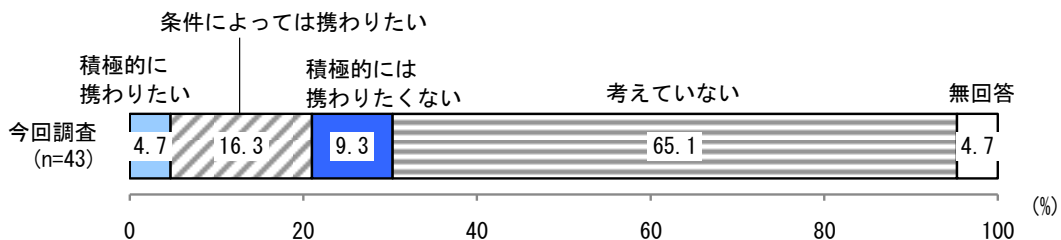


行政からあれば良いスポーツに関する情報については、「自宅や室内でできる手軽な運動の情報」が48.8%(21人)で最も多く、次いで「市内のスポーツ施設に関する情報」が41.9%(18人)、「身近なウォーキングコースの情報」、「市内で参加できる大会・イベントの情報」がそれぞれ37.2%(16人)となっている。(図IV2-13)

(14) 中学部活動の指導者としての指導意向

問13. 中学部活動の地域移行を令和5年度より段階的に進めるにあたって、現在、行政内で協議を行っています。あなたは、中学部活動の指導者として指導に携わりたいと思いますか。(指導者になるためには、JSP0 公認スポーツ指導者資格が必要です)

【図IV2-14 中学部活動の指導者としての指導意向】



中学部活動の指導者としての指導意向は、「考えていない」が65.1%(28人)で最も多く、次いで「条件によっては携わりたい」が16.3%(7人)、「積極的には携わりたくない」が9.3%(4人)となっている。(図IV2-14)

(15) 自由意見

問14. 最後に市のスポーツ施策全般についてご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

市のスポーツ施策全般についての意見や提案等（自由記述）

今、スポーツの活動を直接するというより、僕自身のスポーツ(トレーニング、体力維持など)に対する意識が先行しているように思います。また僕自身のスポーツに対する知識も足りないように思っています。

少し設問とは離れます。設問7の競技人口、競技力、指導者に関する内容は、我々スポーツ推進委員が答えられる内容でしょうか? 「わからない」が本音です。スポーツを通して生甲斐とか健康とかは何なのかとは思いますが、大会の成績向上とか、指導者がどうのこうのというのはスポーツ推進委員の活動とは遠いと思います。スポーツ推進委員の若返りと、定年制など図るべきだと思います。

枚方市立津田南小学校で社会人講師をしています。朝の信号での見守りと体育の時間に種目別の段取りと走り方の基本、走の幅跳びの練習、記録測定をして児童のバックアップをしている。児童とのふれ愛を毎日行って、元気をもらっています。

問11について、毎週土曜日の午前中に「いきいき広場」で、約60名程の児童と学校で、陸上指導を実施していますが、施設(学校運動場)の利用が中止される事が多いので、外での練習が出来なくなるので、子供達のフラストレーションが溜って精神的に落ち着きがない。大人も同様です。

形式的な事業は取りやめた方が良いと思う。※このアンケート形式をメールで返信するのは、ワードファイルなので面倒でした。手書き FAX でお許し下さい。

スポーツ施設の駐車場が有料になり、その料金が使われているか分かる様にしてほしいです。

枚方市のテニス大会運営を担当していますが、春日コートの4~7番コートがオムニコートでなく、イレギュラーが多発して参加頂いた選手よりクレームを頂いています。枚方市のコートに限りがありますので、これらのコートを使用せざるを得ません。ぜひ4~7番コートのオムニコート化を進めて頂きますようお願いいたします。

まずは、毎年各校区に(順番に)一つの取り組みを枚方市観光にぎわい部スポーツ振興課と校区の全市民との集いを行うことで、スポーツに関心を持ってもらえるように考えて頂ければと思います。

生涯スポーツとして水泳がありますが、施設が少なすぎる。私の知っている処では、枚方市ではラポールしか知りません。そのため、他市に行っており残念です。

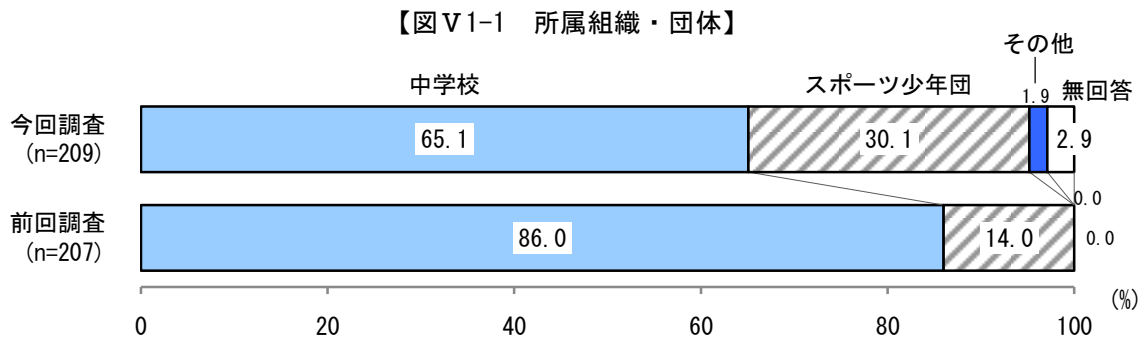
市民へのいろいろな活動ありがとうございます。地域での活動との重複が多く、本来の活動に参加できないことが多くありますが、今後とも宜しく願います。若い世代へと繋がっていければ良いかと思っています。

施設関係ではないが、市内在住者無作為アンケートの実施。

## V スポーツ指導者の調査結果

### 1 スポーツ指導者の属性

#### (1) 所属組織・団体

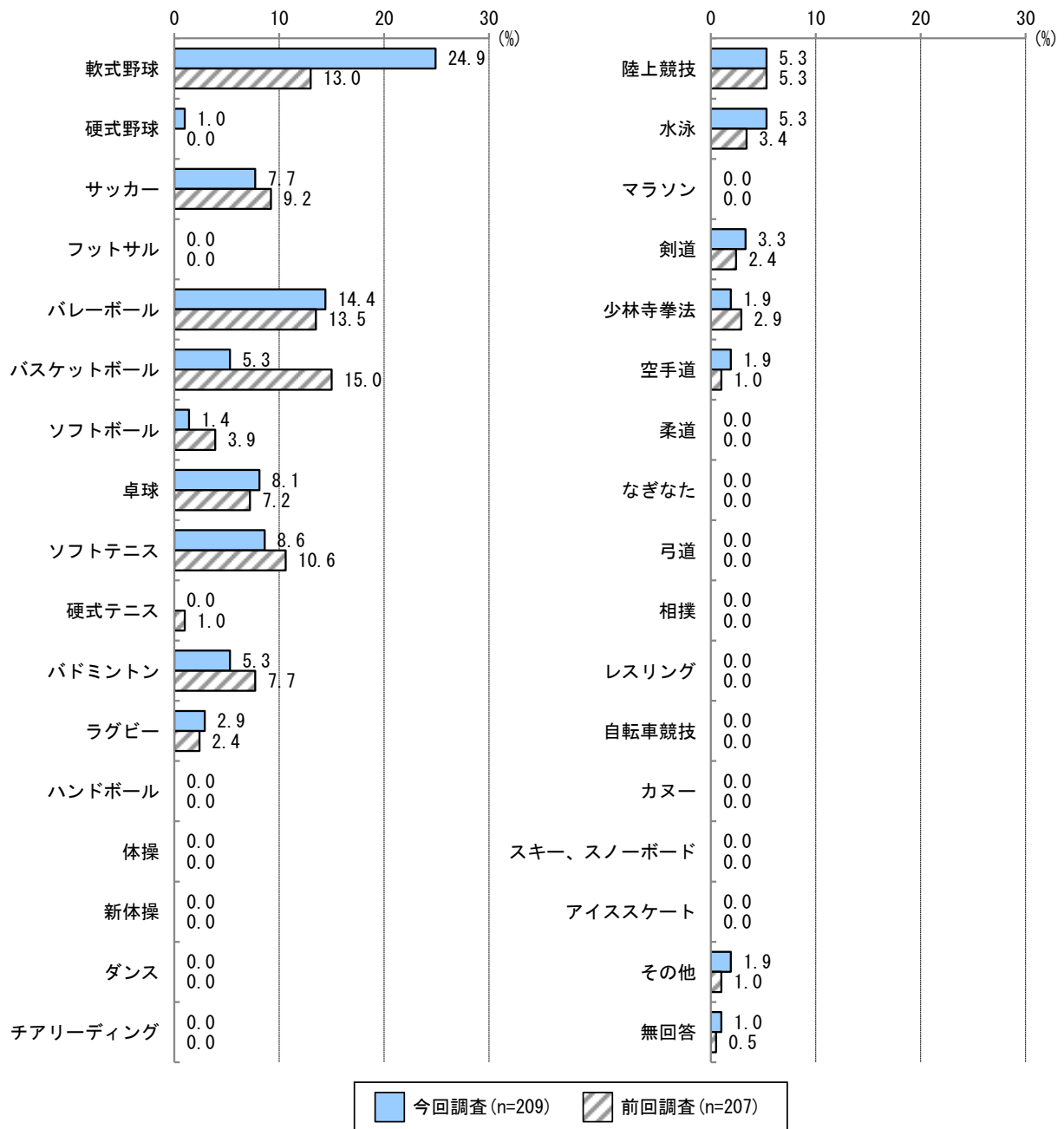


回答者の所属組織・団体については、「中学校」が65.1%で最も多く、次いで「スポーツ少年団」が30.1%となっている。

前回調査と比較すると、「中学校」は前回より20.9ポイント低いが、「スポーツ少年団」は前回より16.1ポイント高くなっている。(図 V1-1)

(2) 活動または指導種目

【図V1-2 活動または指導種目】



活動または指導種目については、「軟式野球」が24.9%で最も多く、次いで「バレーボール」が14.4%、「ソフトテニス」が8.6%となっている。

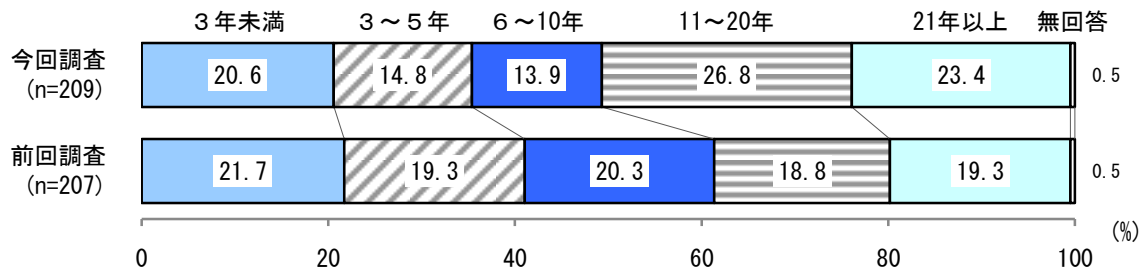
前回調査と比較すると、「軟式野球」は前回より11.9ポイント高くなっている。(図V1-2)



## (3) 活動または指導経験年数

活動または指導経験年数は何年ぐらいですか。 ※上記で○をした種目

【図V1-3 活動または指導経験年数】



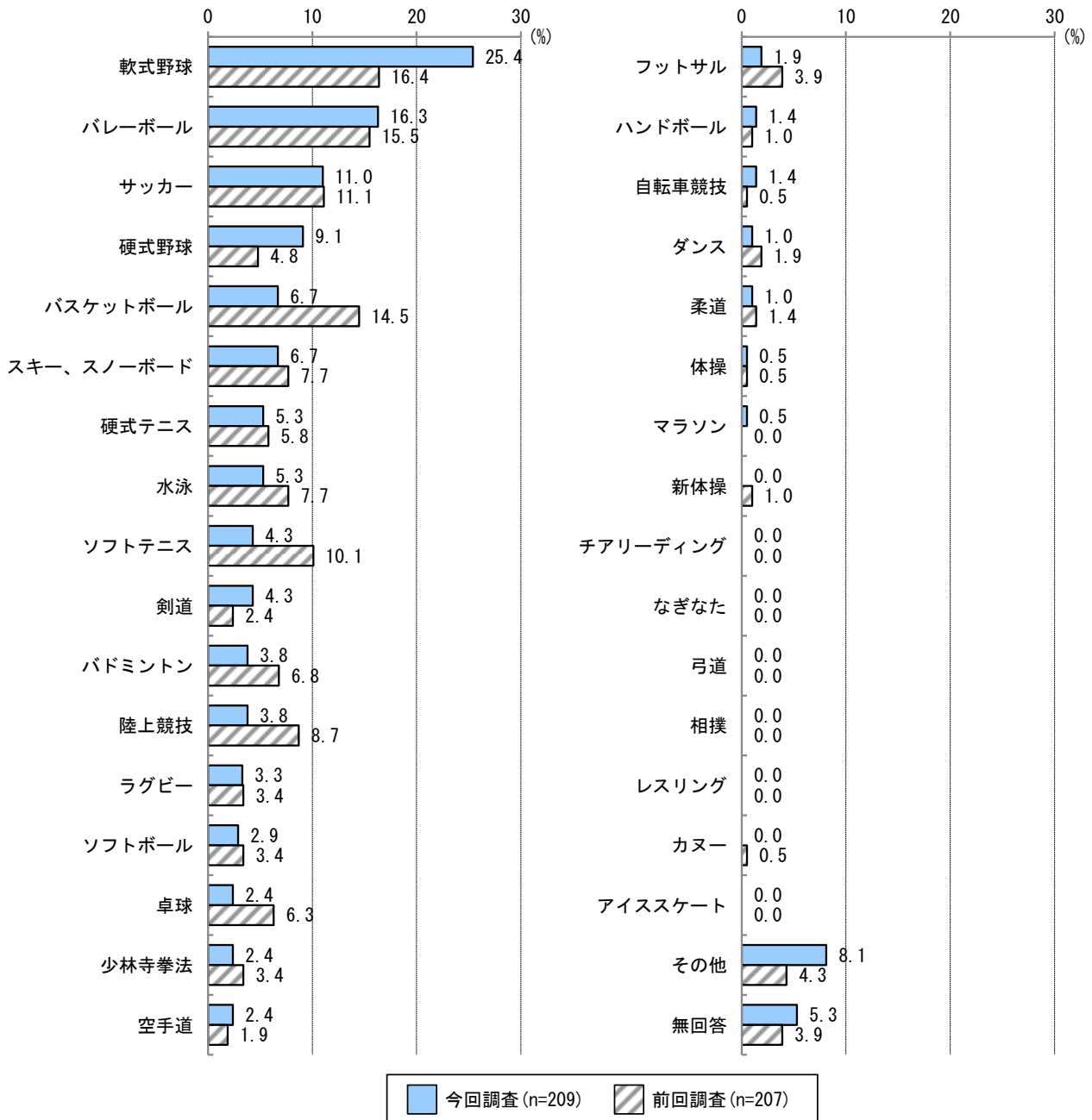
活動または指導経験年数については、「11～20年」が26.8%で最も多く、次いで「21年以上」が23.4%、「3年未満」が20.6%となっている。

前回調査と比較すると、「11～20年」は前回より8.0ポイント高くなっている。(図V1-3)

#### (4) 行っているスポーツ

主に自身がどのようなスポーツを行っていますか。

【図V1-4 行っているスポーツ】



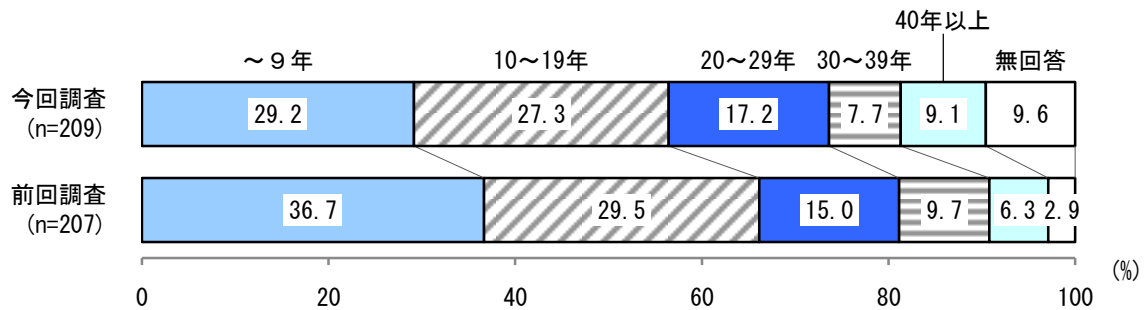
回答者が行っているスポーツについては、「軟式野球」が25.4%で最も多く、次いで「バレーボール」が16.3%、「サッカー」が11.0%となっている。

前回調査と比較すると、「軟式野球」は前回より9.0ポイント高くなっている。(図V1-4)

### (5) スポーツの実践経験年数

スポーツの実践経験の年数は何年ですか。 ※上記で○をした種目

【図V1-5 スポーツの実践経験年数】



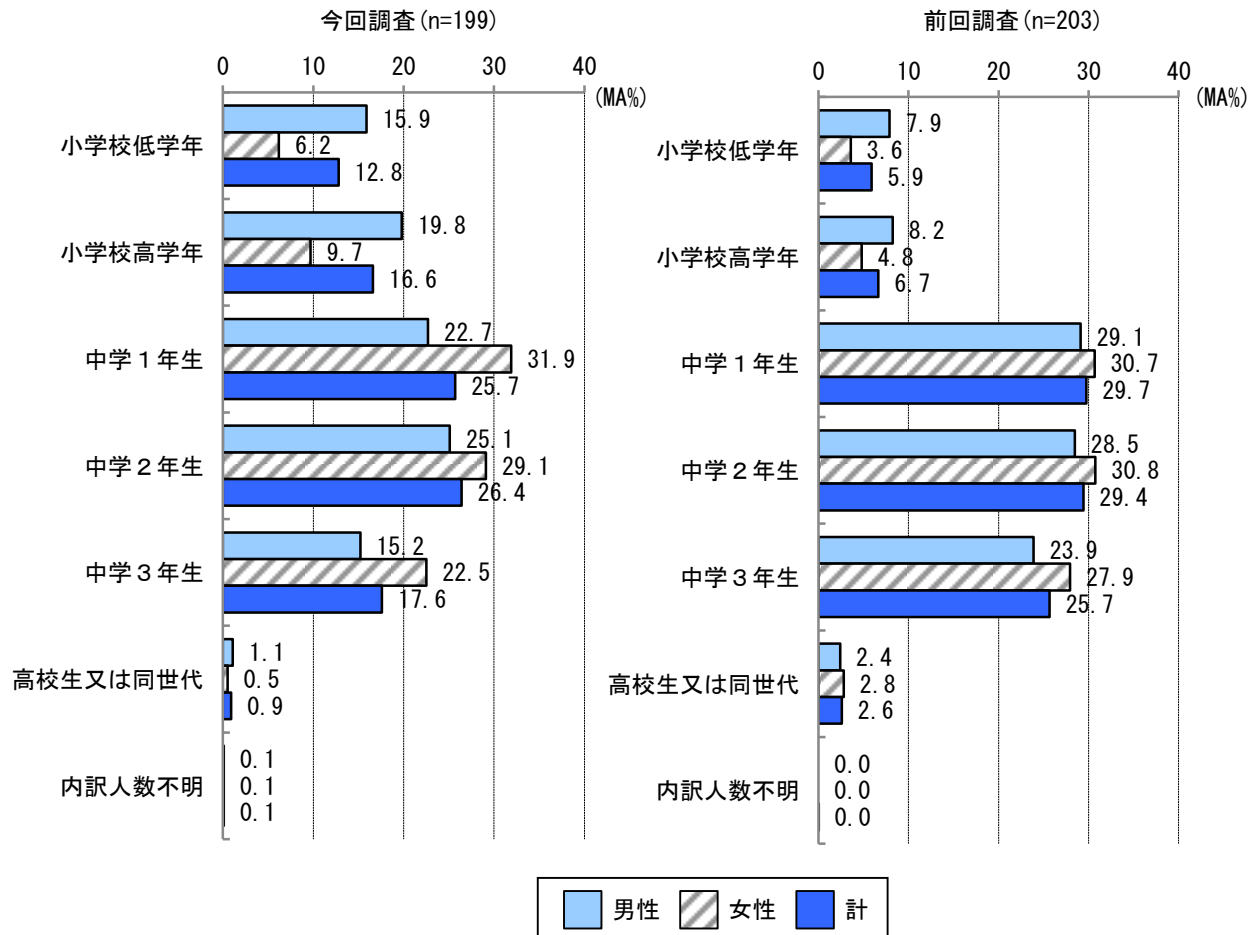
スポーツの実践経験年数については、「~9年」が29.2%で最も多く、次いで「10~19年」が27.3%、「20~29年」が17.2%となっている。

前回調査と比較すると、「~9年」が前回より7.5ポイント低くなっている。(図V1-5)

## (6) 指導人数

指導人数は何人ぐらいですか。

【図V1-6 指導人数】



指導人数は、「中学2年生」が26.4%で最も多く、次いで「中学1年生」が25.7%となっている。

性別で見ると、男性は「中学2年生」が25.1%で最も多く、次いで「中学1年生」が22.7%となっている。女性は「中学1年生」が31.9%で最も多く、次いで「中学2年生」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、「中学2年生」、「中学3年生」は男女とも前回より低くなっている。

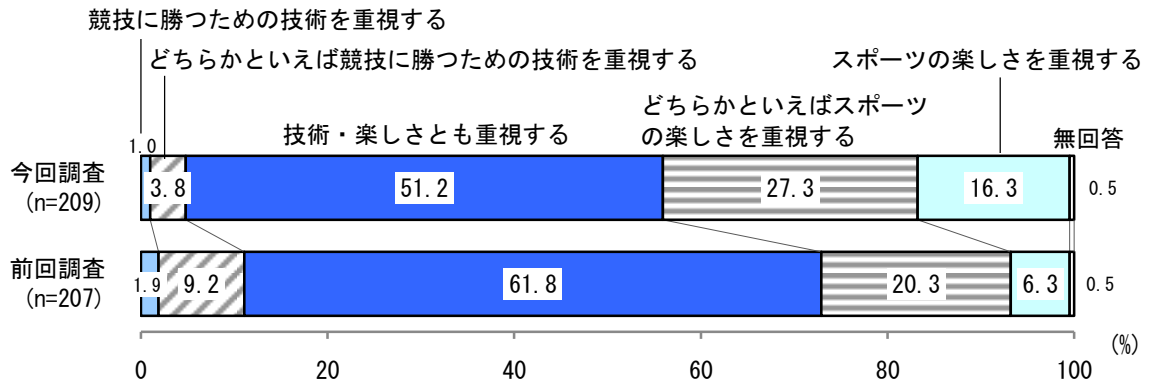
(図V1-6)

## 2 指導状況

### (1) 指導方法に対する考え方

問2. あなたの指導方法に対する考え方は、次の意見のうちどちらに近いですか。(○は1つ)

【図V2-1 指導方法に対する考え方】



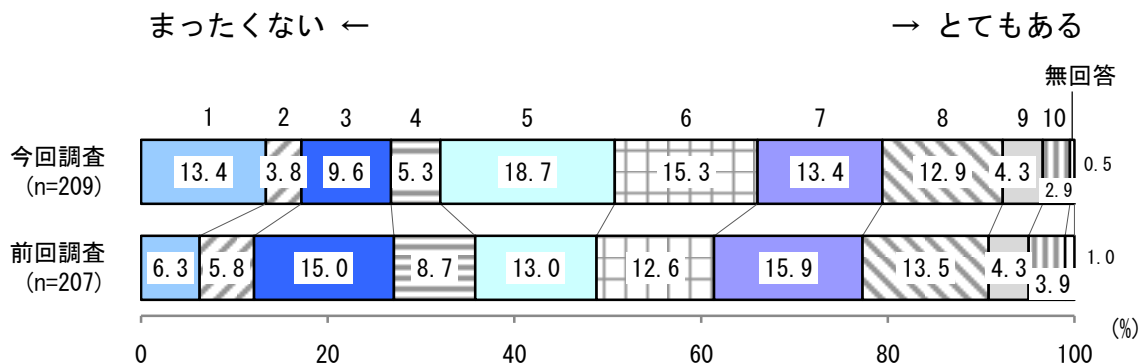
指導方法に対する考え方については、「技術・楽しさとも重視する」が51.2%で最も多く、次いで「どちらかといえばスポーツの楽しさを重視する」が27.3%、「スポーツの楽しさを重視する」が16.3%となっている。

前回調査と比較すると、「スポーツの楽しさを重視する」は前回より10.0ポイント高く、「どちらかといえばスポーツの楽しさを重視する」も7.0ポイント高く、競技に勝つための技術よりスポーツの楽しさを重視している割合のほうが高い。(図V2-1)

### (2) 指導技術への自信

問3. あなたは、自身の指導技術にどの程度自信がありますか。「10: とてもある」から「1: まったくない」の10段階でお答えください。(○は1つ)

【図V2-2 指導技術への自信】



自身の指導技術への自信について10段階で評価すると、「5」が18.7%で最も多く、次いで「6」が15.3%、「1」と「7」がそれぞれ13.4%となっている。

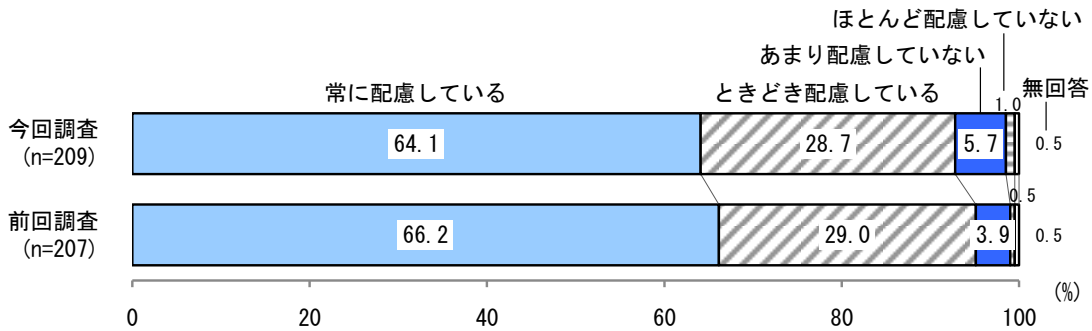
前回調査と比較すると、「1」が前回より7.1ポイント高くなっている。(図V2-2)

### (3) 子どもたちへのスポーツを指導する際の配慮

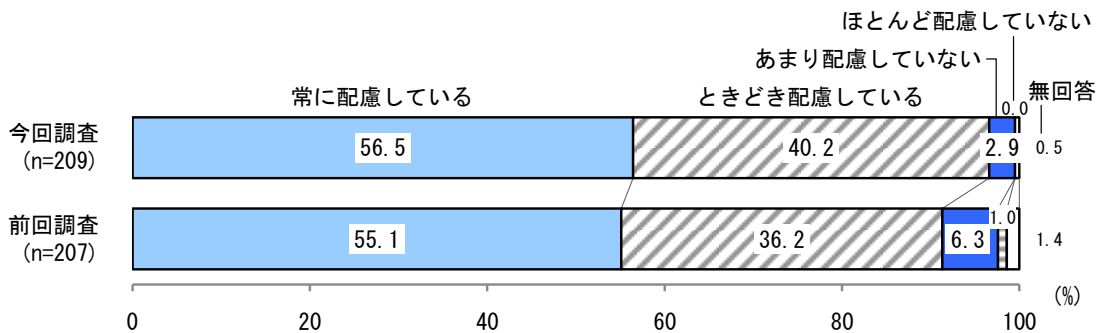
問4. あなたは、子どもたちへのスポーツを指導する際、次あげる事柄についてどの程度配慮して取り組んでいますか。(それぞれの項目ごとに○印は1つ)

【図V2-3 子どもたちへのスポーツを指導する際の配慮】

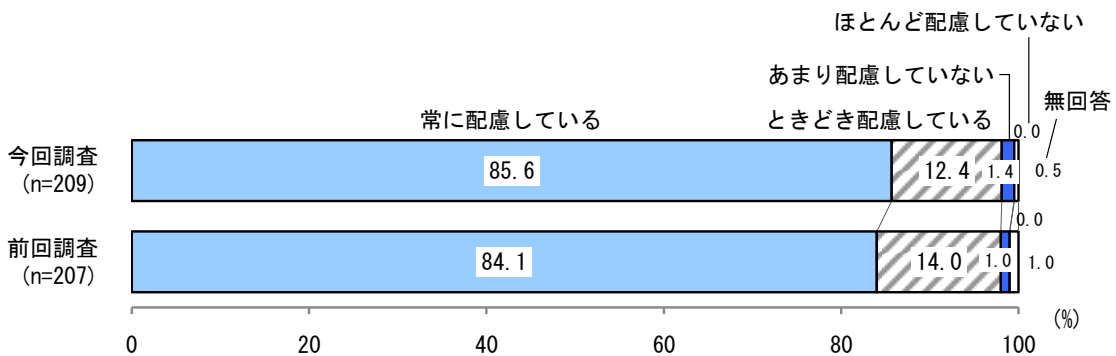
① できる子ども、できない子どもなど、子どもの能力の個人差に配慮すること



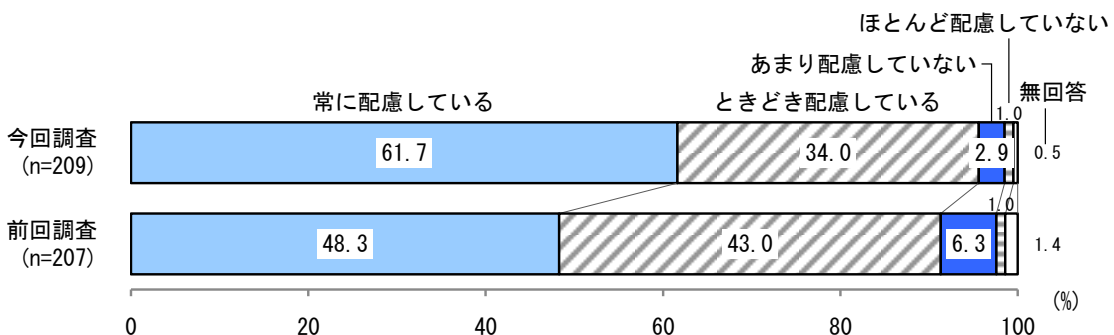
② 子どもの間違いや異なる考え方を大切にし、そこから学ばせること



③ 特定の子供だけをえこひいきせず、公平に接すること



④ 他の子どものよさを引き合いに出さず、その子の良い点を見つけほめてあげること



子どもたちへのスポーツを指導する際の配慮についてたずねた。

“①できる子ども、できない子どもなど、子どもの能力の個人差に配慮すること”については、「常に配慮している」が64.1%で最も多く、次いで「ときどき配慮している」が28.7%で、『配慮している』（「常に配慮している」と「ときどき配慮している」をあわせた割合）は92.8%となっており、前回調査と比べても、大きな差はみられない。

“②子どもの間違いや異なる考え方を大切にし、そこから学ばせること”については、「常に配慮している」が56.5%で最も多く、次いで「ときどき配慮している」が40.2%で、『配慮している』は96.7%となっており、前回調査より5.4ポイント高くなっている。

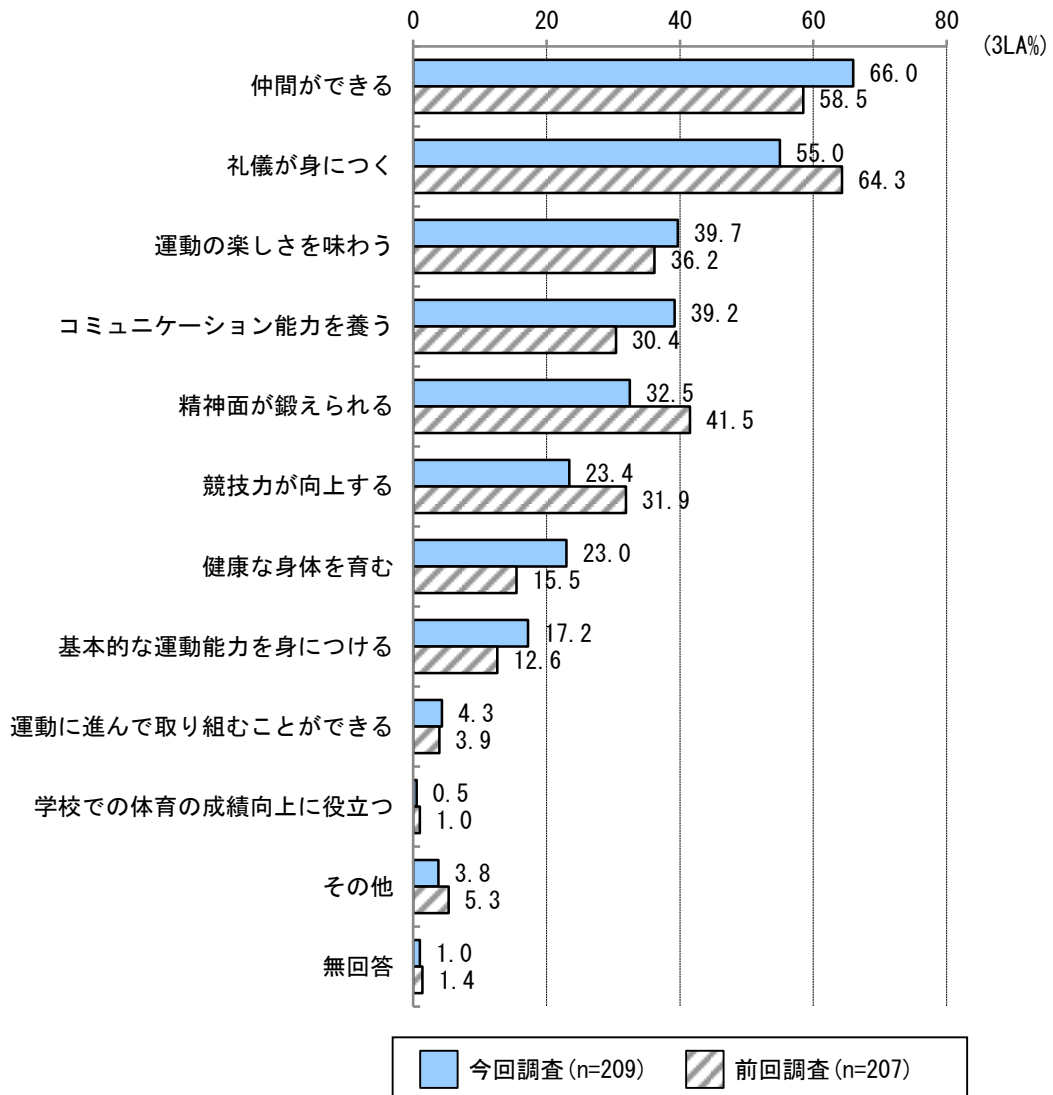
“③特定の子どもだけをえこひいきせず、公平に接すること”については、「常に配慮している」が85.6%で最も多く、次いで「ときどき配慮している」が12.4%で、『配慮している』は98.0%となっており、前回調査と比べても、大きな差はみられない。

“④他の子どものよさを引き合いに出さず、その子の良い点を見つけほめてあげること”については、「常に配慮している」が61.7%で最も多く、次いで「ときどき配慮している」が34.0%で、『配慮している』は95.7%となっており、前回調査より4.4ポイント高くなっている。（図V2-3）

#### (4) 子どもたちへのスポーツの指導において期待している効果

問5. 子どもたちに対するスポーツの指導において、主にどのような効果を期待して行っていますか。(○は期待していること上位3つまで)

【図V2-4 子どもたちへのスポーツの指導において期待している効果】



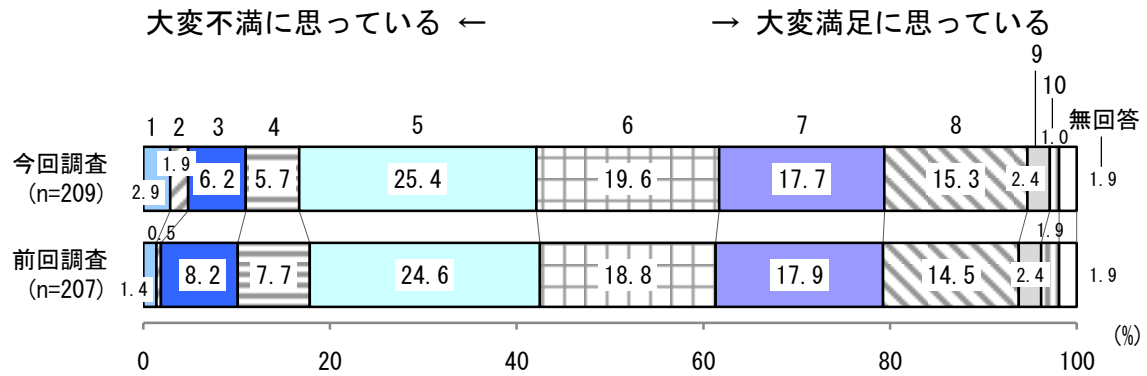
子どもたちへのスポーツの指導において期待している効果については、「仲間ができる」が66.0%で最も多く、次いで「礼儀が身につく」が55.0%、「運動の楽しさを味わう」が39.7%、「コミュニケーション能力を養う」が39.2%となっている。(図V2-4)



### (5) 自身の指導に対する子どもたちの満足度

問6. あなたは、自身の指導に対して子どもたちはどの程度満足していると思いますか。「10：大変満足」から「1：大変不満」の10段階で自己評価してください。(○は1つ)

【図V2-5 自身の指導に対する子どもたちの満足度】



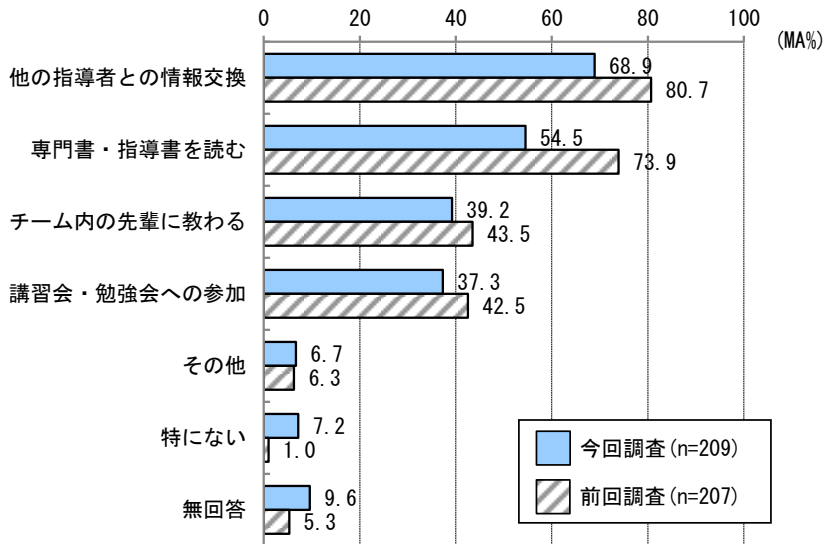
自身の指導に対する子どもの満足度を10段階で評価すると、「5」が25.4%で最も多く、次いで「6」が19.6%、「7」が17.7%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。(図V2-5)

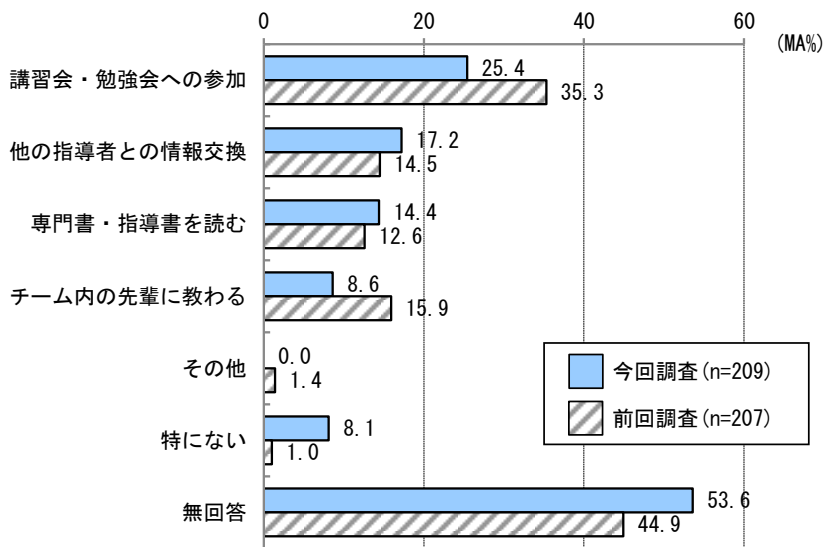
(6) コーチングスキルを向上させるために行っていること・行いたいこと

問7. 自身のコーチングスキルを向上させるために行っていること・行いたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図V2-6-1 コーチングスキルを向上させるために行っていること】



【図V2-6-2 コーチングスキルを向上させるために行いたいこと】



自身のコーチングスキル向上のために行っていることについては、「他の指導者との情報交換」が68.9%で最も多く、次いで「専門書・指導書を読む」が54.5%となっている。

前回調査と比較すると、「専門書・指導書を読む」は前回より19.4ポイント、「他の指導者との情報交換」は前回より11.8ポイント、それぞれ低くなっている。(図V2-6-1)

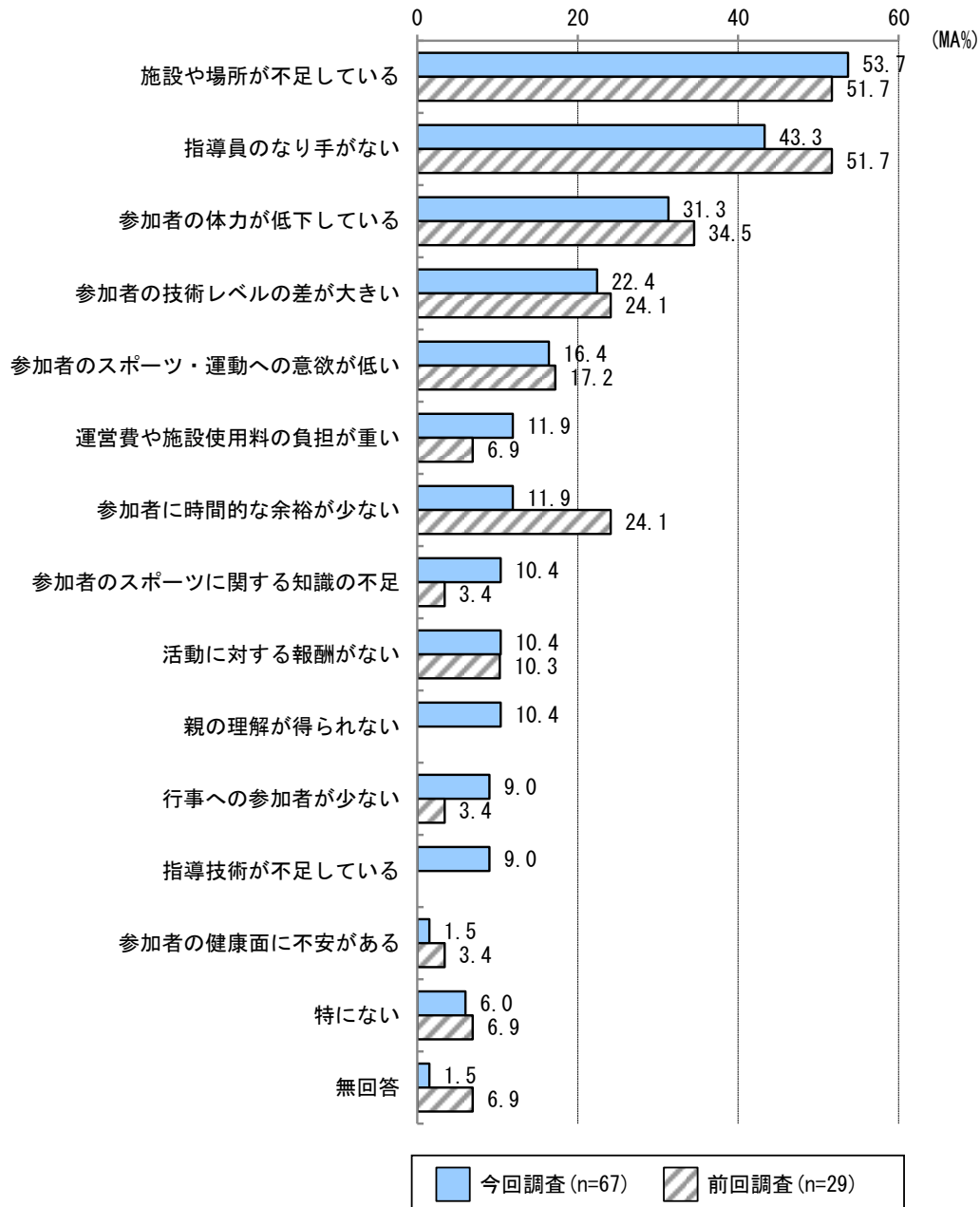
また、自身のコーチングスキル向上のために行いたいことについては、「講習会・勉強会への参加」が25.4%で最も多く、次いで「他の指導者との情報交換」が17.2%、「専門書・指導書を読む」が14.4%となっている。

前回調査と比較すると、「講習会・勉強会への参加」は前回より9.9ポイント低くなっている。(図V2-6-2)

(7) 指導を行う際に問題になっていること

【枚方市スポーツ協会やスポーツ少年団で、子どもに指導している方にうかがいます。】  
 問8. あなたが、スポーツの指導を行う際に、何か問題になっていることはありますか。(〇はいくつでも)

【図V2-7 指導を行う際に問題になっていること】



※「指導技術が不足している」「親の理解が得られない」は今回調査のみ

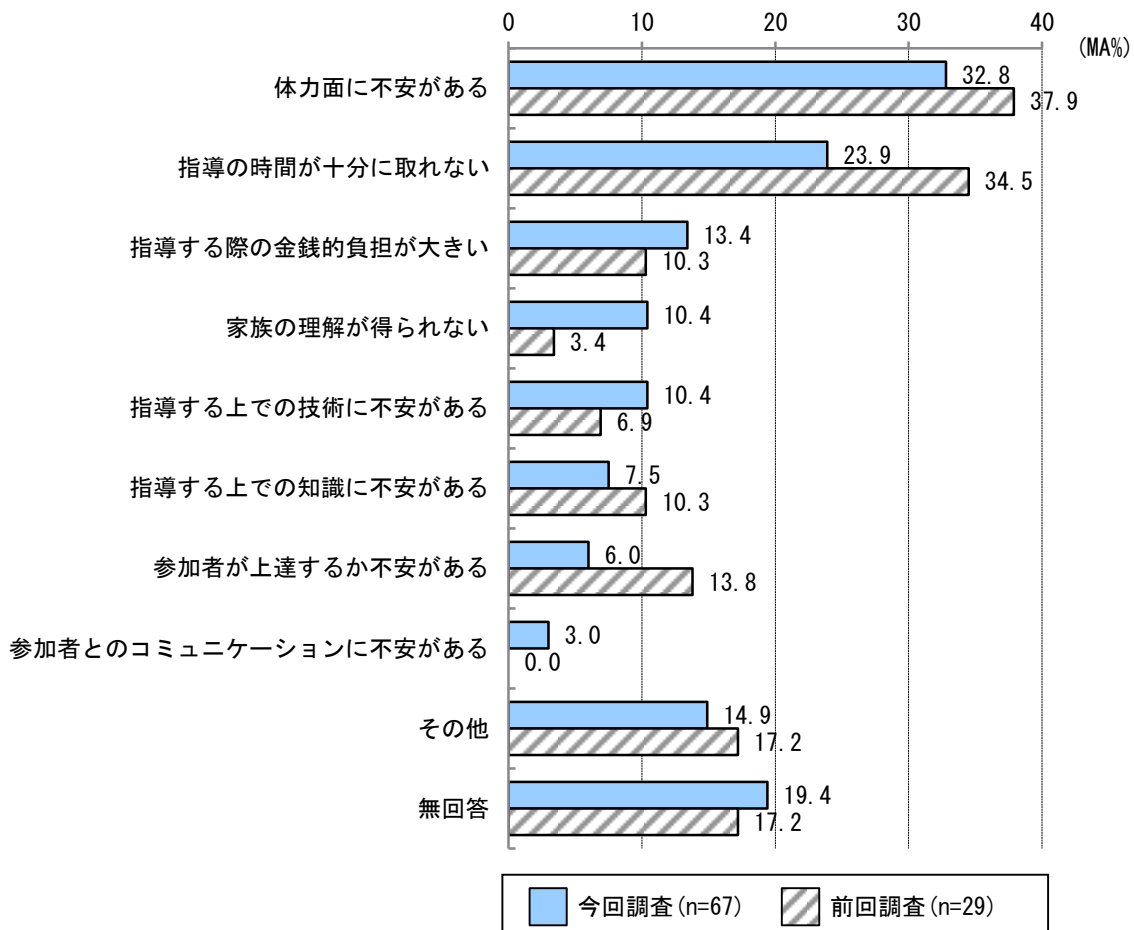
スポーツ指導を行う際に問題になっていることについては、「施設や場所が不足している」が53.7%で最も多く、次いで「指導員のなり手がいない」が43.3%、「参加者の体力が低下している」が31.3%となっている。

前回調査と比較すると、「参加者に時間的な余裕が少ない」は前回より12.2ポイント、「指導員のなり手がいない」は前回より8.4ポイント、それぞれ低くなっている。(図V2-7)

(8) 指導をしていく上で、自身が抱えている問題点

問9. スポーツ・運動を指導していく上で、あなた自身が抱えている問題点がありますか。  
(〇はいくつでも)

【図V2-8 指導をしていく上で、自身が抱えている問題点】



指導をしていく上で、自身が抱えている問題点については、「体力面に不安がある」が32.8%で最も多く、次いで「指導の時間が十分に取れない」が23.9%、「指導する際の金銭的負担が大きい」が13.4%となっている。

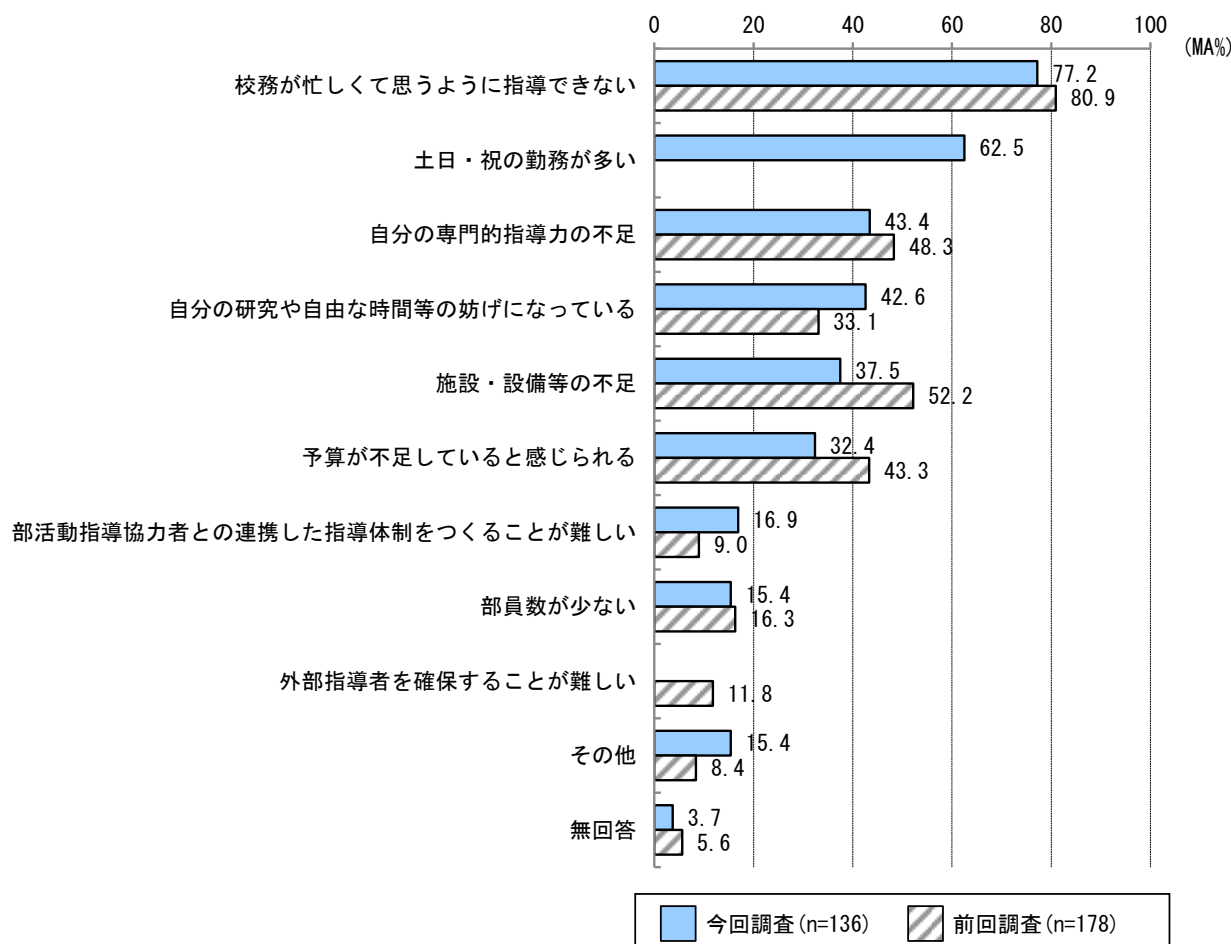
前回調査と比較すると、「家族の理解が得られない」(10.4%)が前回より7.0ポイント高いが、「指導の時間が十分に取れない」は前回より10.6ポイント低くなっている。(図V2-8)

### (9) 運動部で指導する際に問題・課題となること

【中学校の部活動顧問の方にはうかがいます。】

問10. あなたが、運動部で指導する際に、問題・課題となることはありますか。(〇はいくつでも)

【図V2-9 運動部で指導する際に問題・課題となること】



※「外部指導者を確保することが難しい」は前回調査のみ

※「土日・祝の勤務が多い」は今回調査のみ

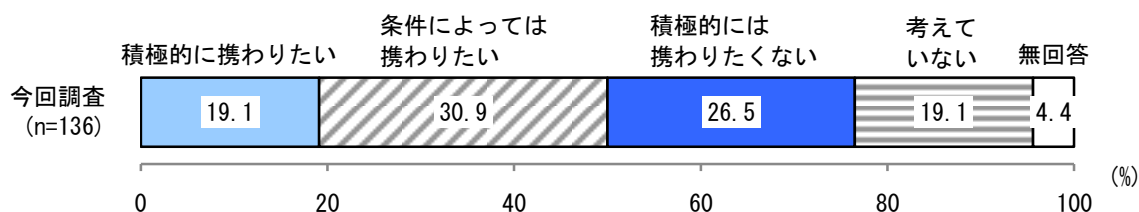
運動部で指導する際に問題・課題となることについては、「校務が忙しくて思うように指導できない」が77.2%で最も多く、次いで「土日・祝の勤務が多い」が62.5%、「自分の専門的指導力の不足」が43.4%となっている。

前回調査と比較すると、「自分の研究や自由な時間等の妨げになっている」(42.6%)は前回より9.5ポイント高くなっている。(図V2-9)

### (10) 中学部活動顧問としての指導意向

問11. 中学部活動の地域移行を令和5年度より段階的に進めるにあたって、現在、行政内で協議を行っています。あなたは、中学部活動顧問として指導に携わりたいと思いますか。(指導者になるためには、JSP0 公認スポーツ指導者資格が必要です)

【図V2-10 中学部活動顧問としての指導意向】

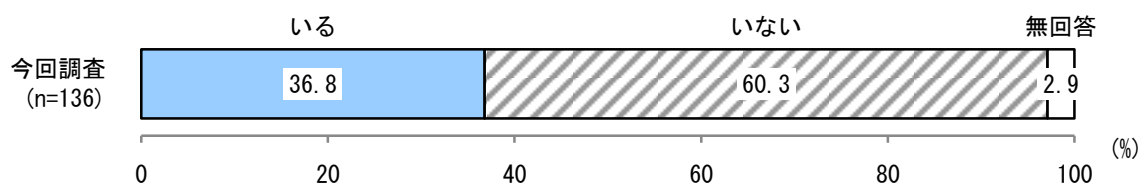


中学部活動顧問としての指導意向については、「条件によっては携わりたい」が30.9%で最も多く、次いで「積極的には携わりたくない」が26.5%、「積極的に携わりたい」、「考えていない」がそれぞれ19.1%となっている。(図V2-10)

### (11) 部活動指導協力者の有無

問12. 現在指導している運動部には部活動指導協力者はいますか。(○は1つ)

【図V2-11 部活動指導協力者の有無】

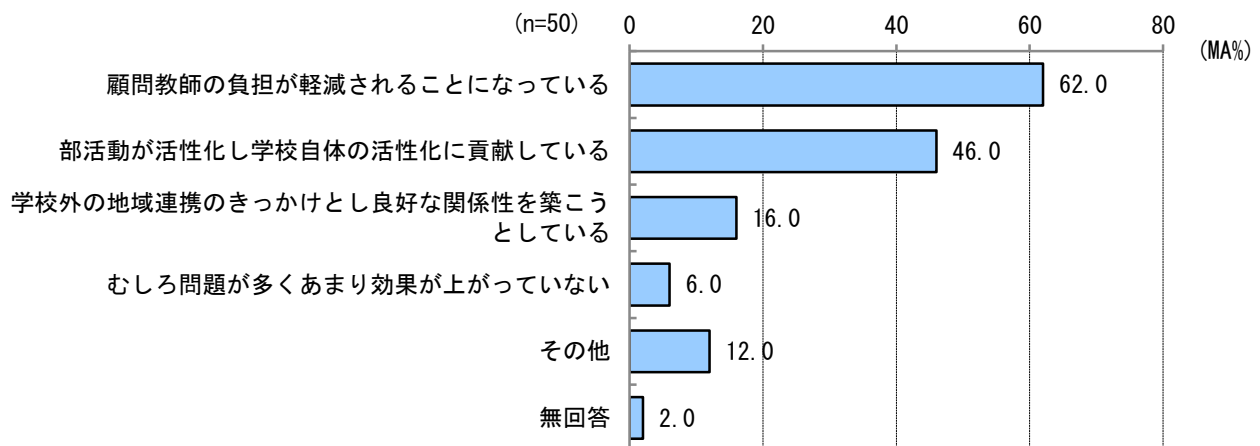


部活動指導協力者の有無については、「いない」が60.3%に対し、「いる」は36.8%となっている。(図V2-11)

## (12) 部活動指導協力者の活動状況への評価

問13. 現在の部活動指導協力者の活動状況について、どのような評価をしていますか。(○はいくつでも)

【図V2-12 部活動指導協力者の活動状況への評価】

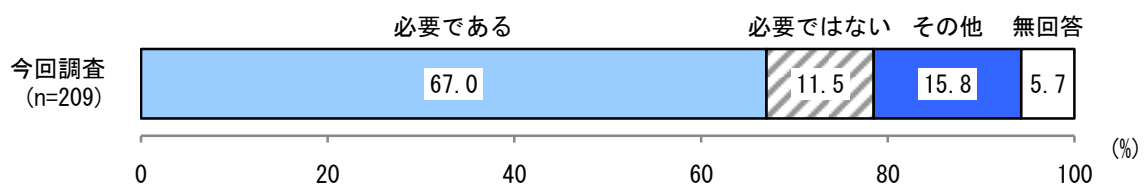


部活動指導協力者の活動状況への評価については、「顧問教師の負担が軽減されることになっている」が62.0%で最も多く、次いで「部活動が活性化し学校自体の活性化に貢献している」が46.0%、「学校外の地域連携のきっかけとし良好な関係性を築こうとしている」が16.0%となっている。(図V2-12)

## (13) 部活動指導協力者の必要性

問14. あなたの学校の運動部活動には部活動指導協力者は必要だと感じますか。(○は1つ)

【図V2-13 部活動指導協力者の必要性】

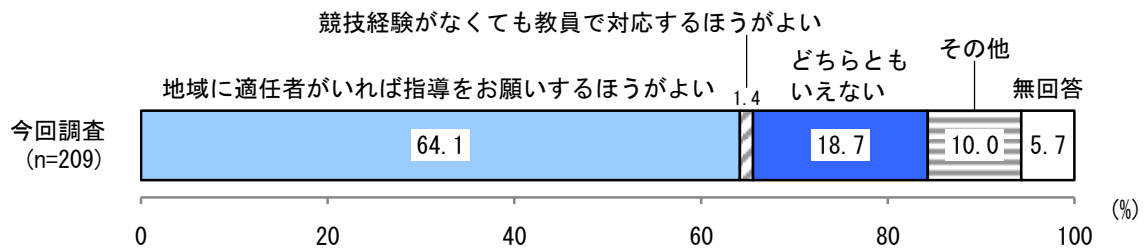


部活動指導協力者の必要性については、「必要である」が67.0%に対し、「必要ではない」は11.5%となっている。(図V2-13)

(14) 部活動における地域の人材活用について

問15. 学校の部活動における地域の人材活用について、どう思われますか。(○は1つ)

【図V2-14 部活動における地域の人材活用について】



部活動における地域の人材活用については、「地域に適任者がいれば指導をお願いするほうがよい」が64.1%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が18.7%、「競技経験がなくても教員で対応するほうがよい」が1.4%となっている。(図V2-14)

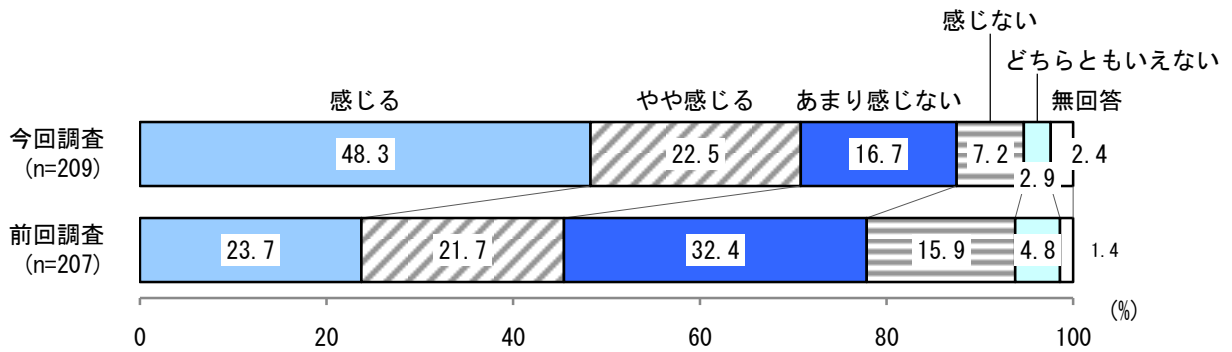


(15) スポーツ活動種目を通して感じていること

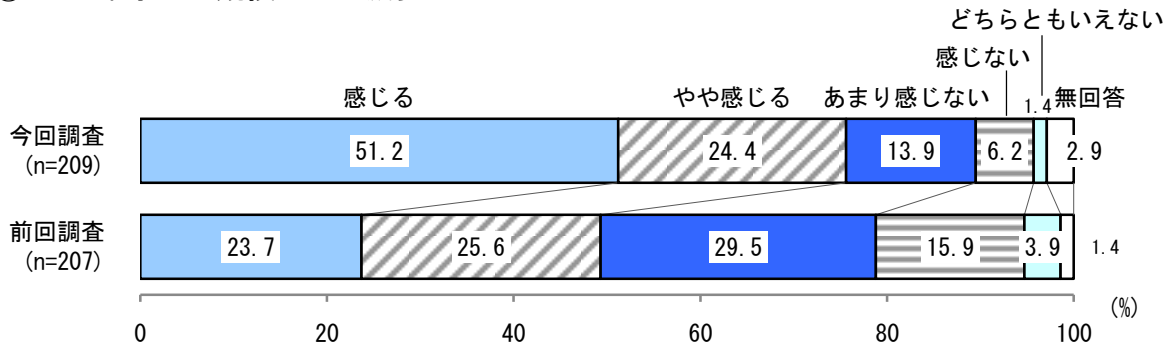
問16. あなたは、ふだんのスポーツ活動種目(部活動の種目)を通して、次にあげる事柄についてどのように感じていますか。(それぞれの項目ごとに○印は1つ)

【図V2-15-1 スポーツ活動種目を通して感じていること〔競技人口について〕①】

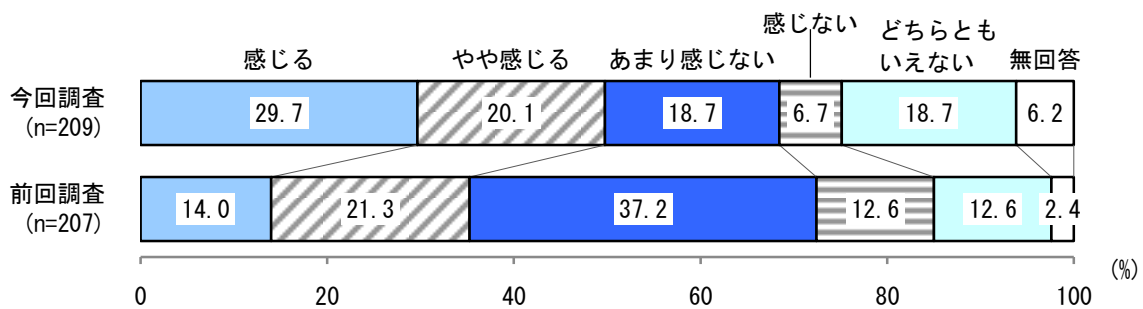
① 競技人口全体が減少している



② 小・中学生の競技人口が減少している

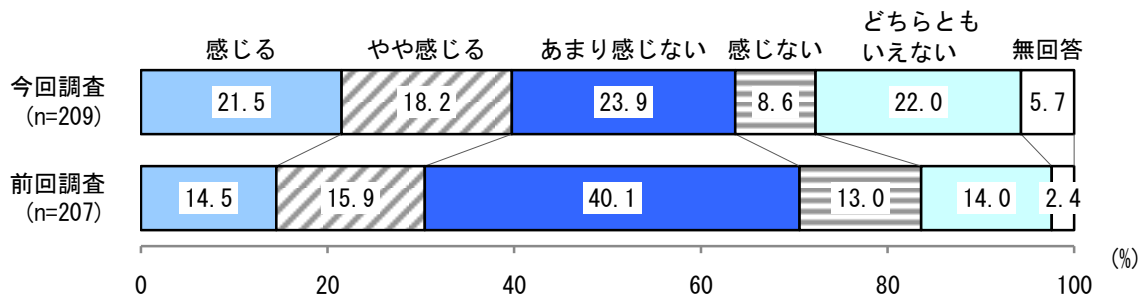


③ 高校生の競技人口が減少している

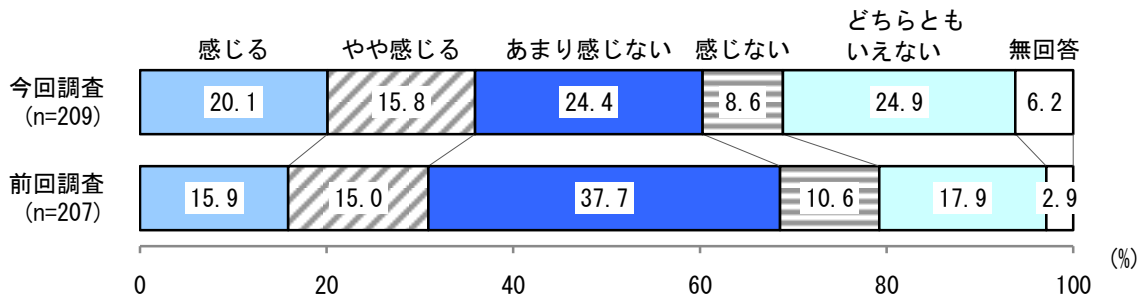


【図V2-15-1 スポーツ活動種目を通して感じていること〔競技人口について〕②】

④ 一般の競技人口が減少している



⑤ 企業（実業団）の競技人口が減少している



スポーツ活動種目を通じて、競技人口について感じていることをたずねた。

“①競技人口全体が減少している”については、「感じる」が48.3%で最も多く、次いで「やや感じる」が22.5%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は70.8%となっており、前回調査より25.4ポイント高くなっている。

“②小・中学生の競技人口が減少している”については、「感じる」が51.2%で最も多く、次いで「やや感じる」が24.4%で、『感じる』は75.6%となっており、前回調査より26.3ポイント高くなっている。

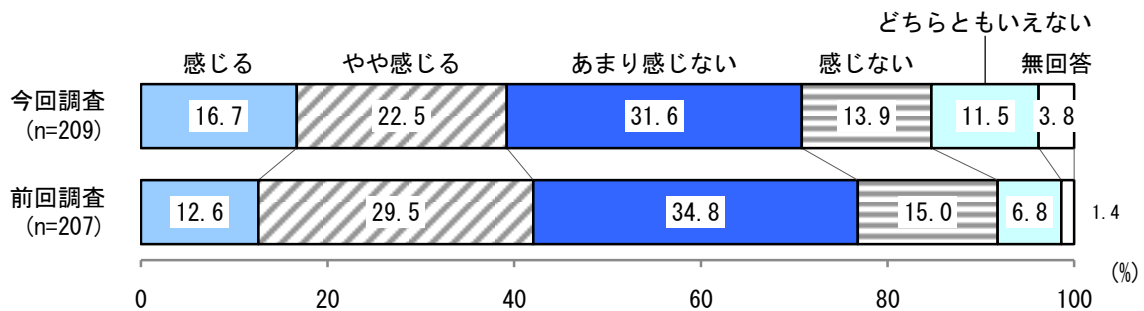
“③高校生の競技人口が減少している”については、「感じる」が29.7%で最も多く、次いで「やや感じる」が20.1%で、『感じる』は49.8%となっており、前回調査より14.5ポイント高くなっている。

“④一般の競技人口が減少している”については、「あまり感じない」が23.9%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.0%で、『感じる』は39.7%となっており、前回調査より9.3ポイント高くなっている。

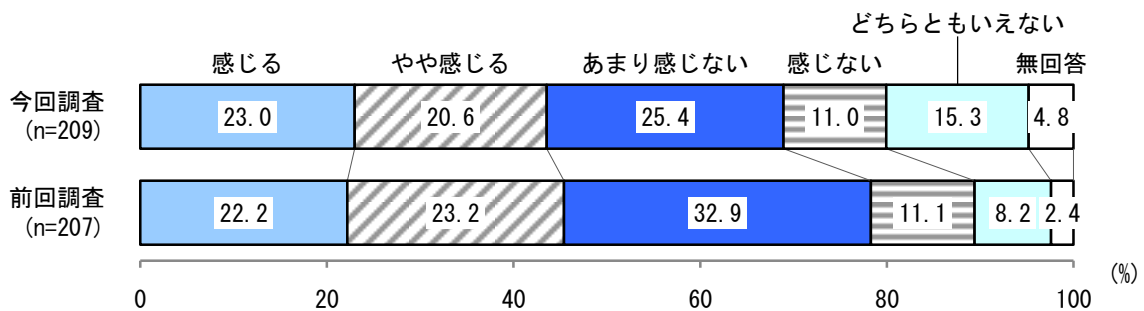
“⑤企業（実業団）の競技人口が減少している”については、「どちらともいえない」が24.9%で最も多く、次いで「あまり感じない」が24.4%で、『感じる』は35.9%となっており、前回調査より5.0ポイント高くなっている。（図V2-15-1）

【図V2-15-2 スポーツ活動種目を通して感じていること〔競技力について〕】

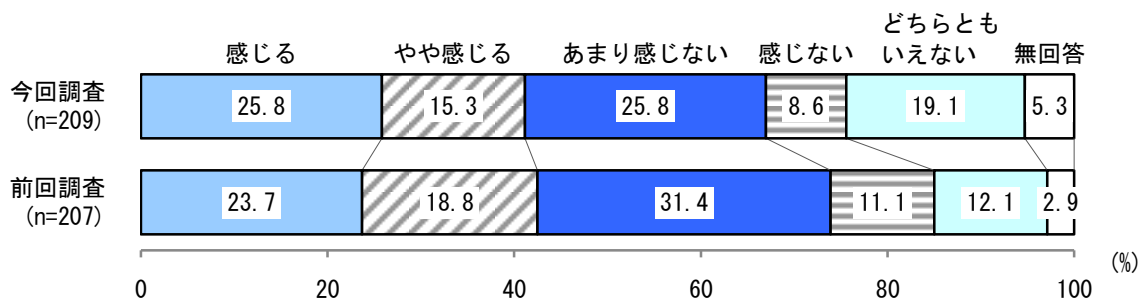
① 大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）



② 選手強化を定期的に行える施設が少ない



③ 選手強化費が少ない



スポーツ活動種目を通じて、競技力について感じていることをたずねた。

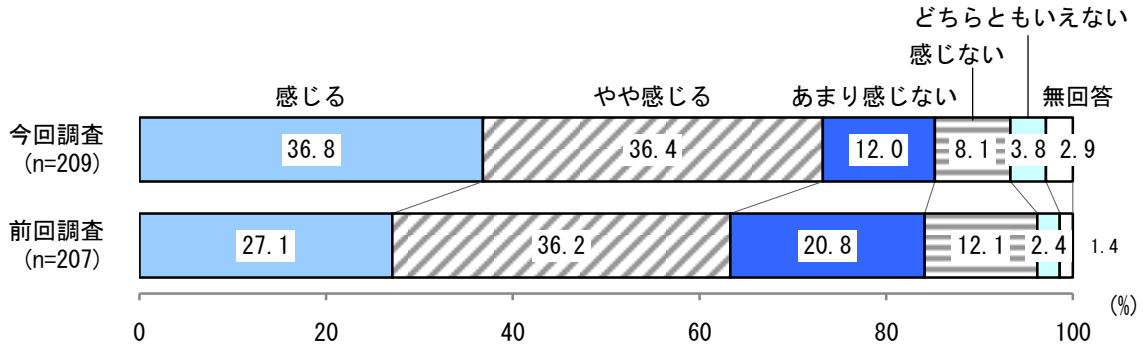
“①大会等における成績が向上しない（競技力が低迷している）”については、「あまり感じない」が31.6%で最も多く、次いで「やや感じる」が22.5%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は39.2%となっており、前回調査より2.9ポイント高くなっている。

“②選手強化を定期的に行える施設が少ない”については、「あまり感じない」が25.4%で最も多く、次いで「感じる」が23.0%で、『感じる』は43.6%となっており、前回調査と比較すると、「どちらともいえない」（15.3%）が前回より7.1ポイント高くなっている。

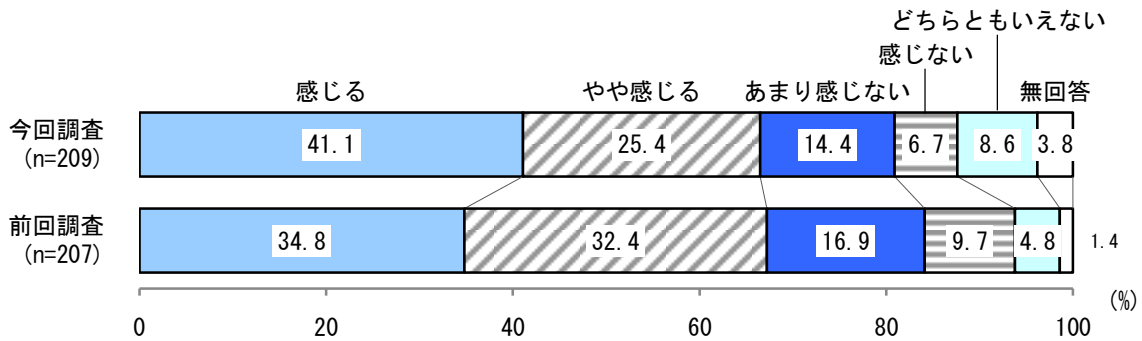
“③選手強化費が少ない”については、「感じる」と「あまり感じない」がともに25.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.1%で、『感じる』は41.1%となっており、前回調査と比較すると、「どちらともいえない」（19.1%）が前回より7.0ポイント高くなっている。（図V2-15-2）

【図V2-15-3 スポーツ活動種目を通して感じていること〔指導者等について〕①】

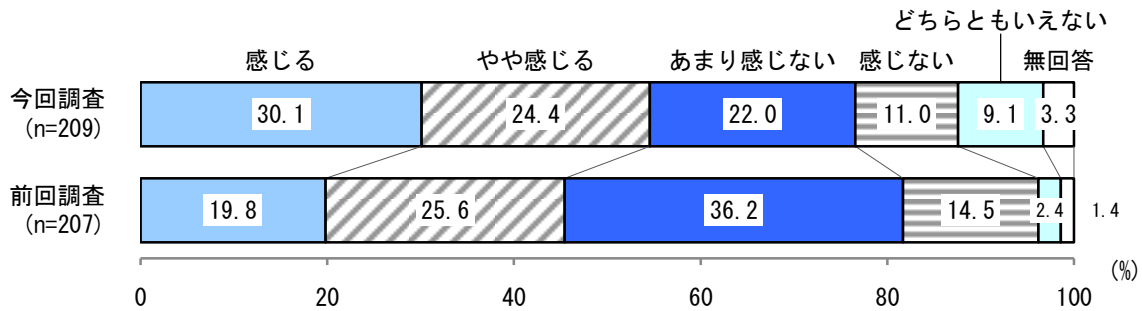
① 指導者そのものが少ない



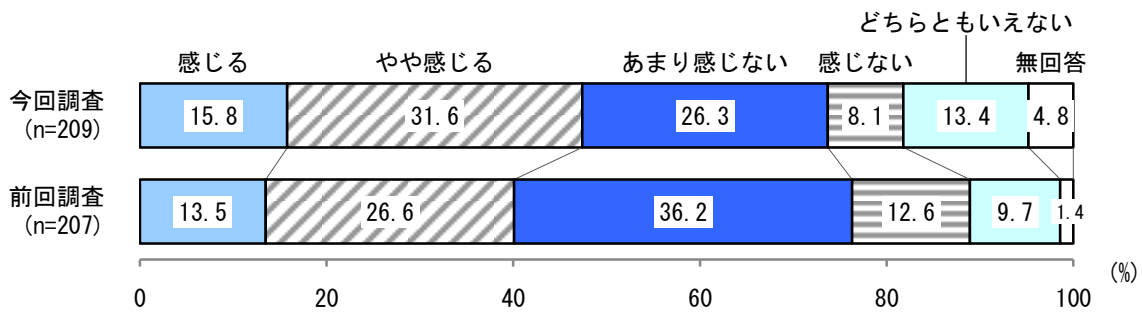
② トップレベルの指導ができる指導者が少ない



③ 指導者が高齢化している

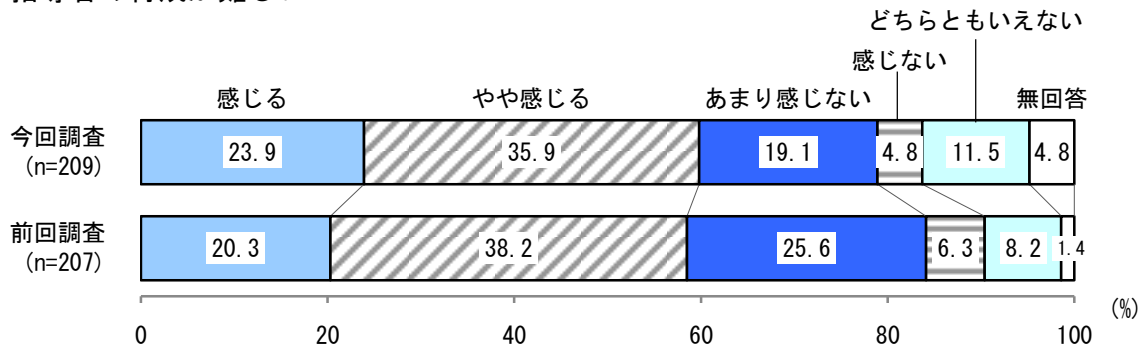


④ 指導者がうまく活用されていない

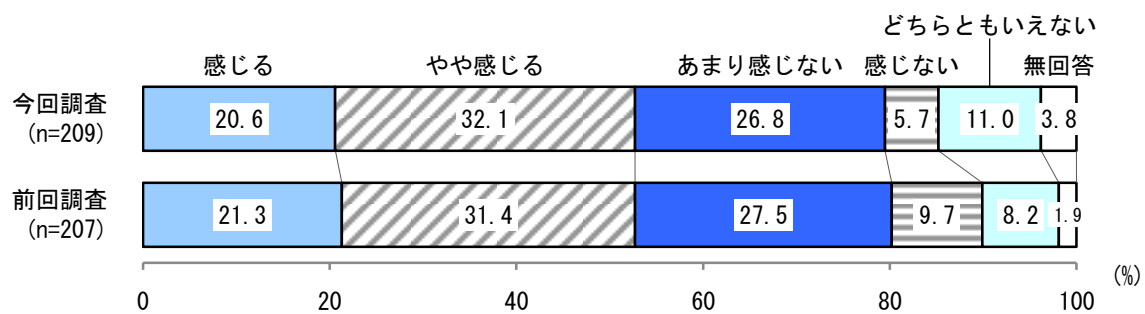


【図V2-15-3 スポーツ活動種目を通して感じていること〔指導者等について〕②】

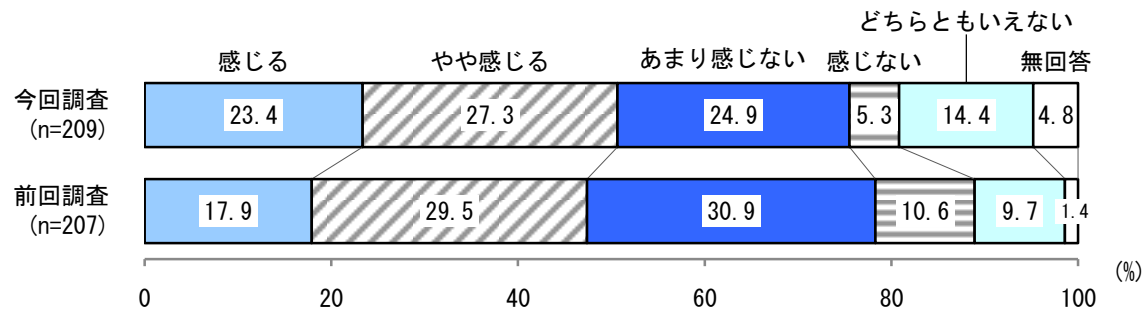
⑤ 指導者の育成が難しい



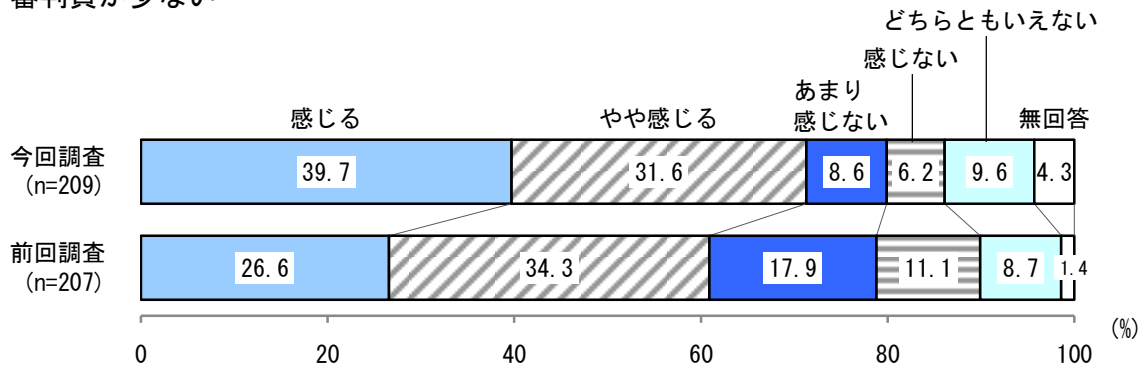
⑥ 一貫した指導が行われていない



⑦ ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない



⑧ 審判員が少ない



スポーツ活動種目を通じて、指導者等について感じていることをたずねた。

“①指導者そのものが少ない”については、「感じる」が36.8%で最も多く、次いで「やや感じる」が36.4%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合）は73.2%となっており、前回調査より9.9ポイント高くなっている。

“②トップレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「感じる」が41.1%で最も多く、次いで「やや感じる」が25.4%で、『感じる』は66.5%となっており、前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

“③指導者が高齢化している”については、「感じる」が30.1%で最も多く、次いで「やや感じる」が24.4%で、『感じる』は54.5%となっており、前回調査より9.1ポイント高くなっている。

“④指導者がうまく活用されていない”については、「やや感じる」が31.6%で最も多く、次いで「あまり感じない」が26.3%で、『感じる』は47.4%となっており、前回調査より7.3ポイント高くなっている。

“⑤指導者の育成が難しい”については、「やや感じる」が35.9%で最も多く、次いで「感じる」が23.9%で、『感じる』は59.8%となっており、前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

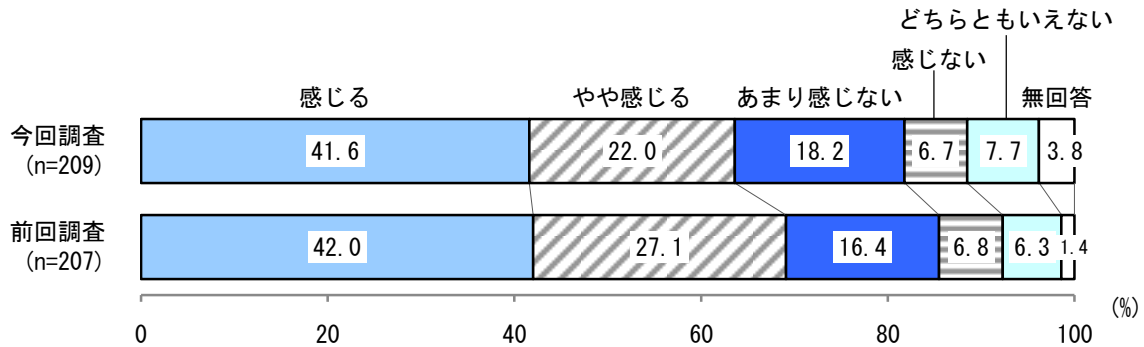
“⑥一貫した指導が行われていない”については、「やや感じる」が32.1%で最も多く、次いで「あまり感じない」が26.8%で、『感じる』は52.7%となっており、前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

“⑦ジュニアレベルの指導ができる指導者が少ない”については、「やや感じる」が27.3%で最も多く、次いで「あまり感じない」が24.9%で、『感じる』は50.7%となっており、前回調査より3.3ポイント高くなっている。

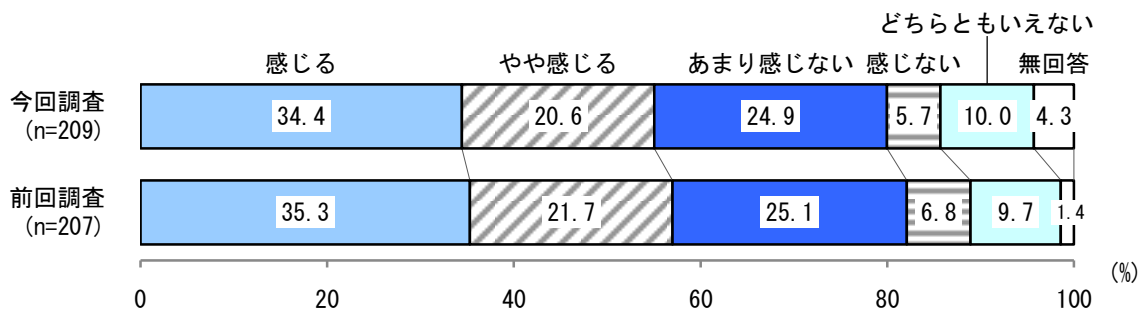
“⑧審判員が少ない”については、「感じる」が39.7%で最も多く、次いで「やや感じる」が31.6%で、『感じる』は71.3%となっており、前回調査より10.4ポイント高くなっている。（図V2-15-3）

【図V2-15-4 スポーツ活動種目を通して感じていること〔市内のスポーツ施設について〕】

① 日常的に利用できる施設が少ない



② 施設設備が充実していない



スポーツ活動種目を通じて、市内のスポーツ施設について感じていることをたずねた。

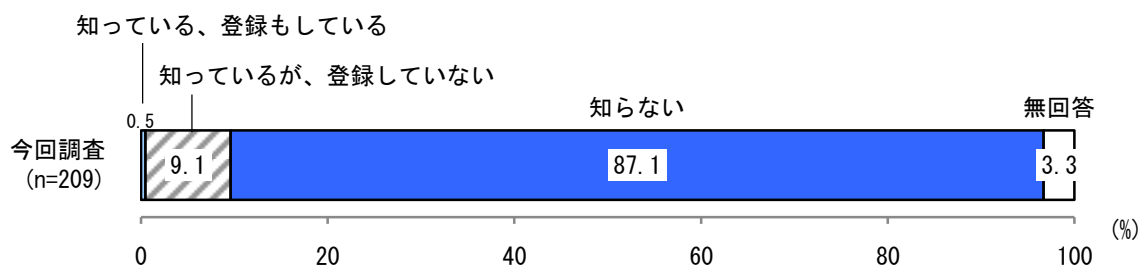
“①日常的に利用できる施設が少ない”については、「感じる」が41.6%で最も多く、次いで「やや感じる」が22.0%で、『感じる』（「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合）は63.6%となっており、前回調査より5.5ポイント低くなっている。

“②施設設備が充実していない”については、「感じる」が34.4%で最も多く、次いで「あまり感じない」が24.9%で、『感じる』は55.0%となっており、前回調査より2.0ポイント低くなっている。（図V2-15-4）

## (16) 「スポーツサポーターズバンク」の認知度

問17. あなたは、「スポーツサポーターズバンク」を知っていますか。(○は1つ)

【図V2-16 「スポーツサポーターズバンク」の認知度】



「スポーツサポーターズバンク」の認知度については、「知らない」が87.1%で最も多く、次いで「知っているが、登録していない」が9.1%、「知っている、登録もしている」が0.5%となっている。(図V2-16)

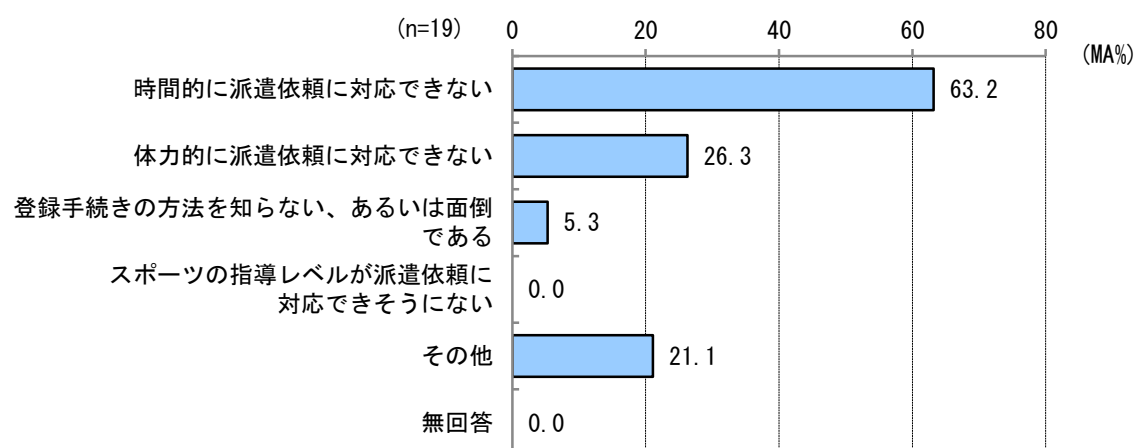
## (17) 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由

【問17で「1. 知っているが、登録していない」と回答した方におうかがいします】

問17-1. スポーツサポーターズバンクに登録しない理由についてお答えください。

(○はいくつでも)

【図V2-17 「スポーツサポーターズバンク」に登録しない理由】



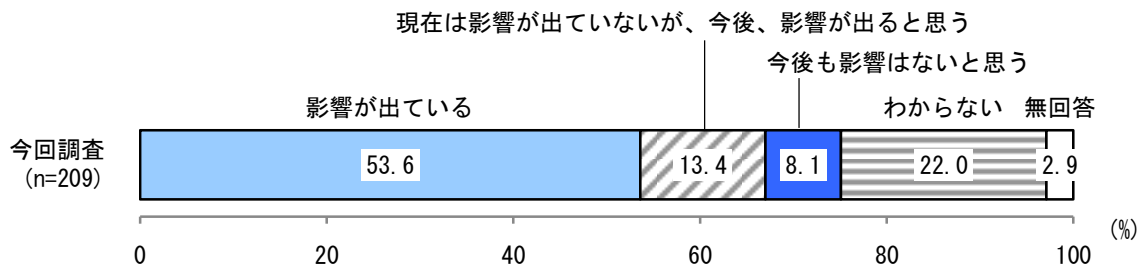
スポーツサポーターズバンクを知っているが、登録していないと回答した人(19人)に、登録しない理由をたずねると、「時間的に派遣依頼に対応できない」が63.2%(12人)で最も多く、次いで「体力的に派遣依頼に対応できない」が26.3%(5人)、「登録手続きの方法を知らない、あるいは面倒である」が5.3%(1人)となっている。(図V2-17)



(18) 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無

問18. 新型コロナウイルス感染症の流行は、スポーツ(部活動)指導者としての活動に影響を及ぼしていますか。(○は1つ)

【図 V2-18 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無】



新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響の有無は、「影響が出ている」が53.6%で最も多く、次いで「わからない」が22.0%、「現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う」が13.4%、「今後も影響はないと思う」が8.1%となっている。(図 V2-18)

(19) 新型コロナウイルス感染症の流行が活動に及ぼした影響

【問18で「1. 影響が出ている」と回答した方におうかがいします】

問18-1. どのような影響が出ていますか。(自由にご記入ください)

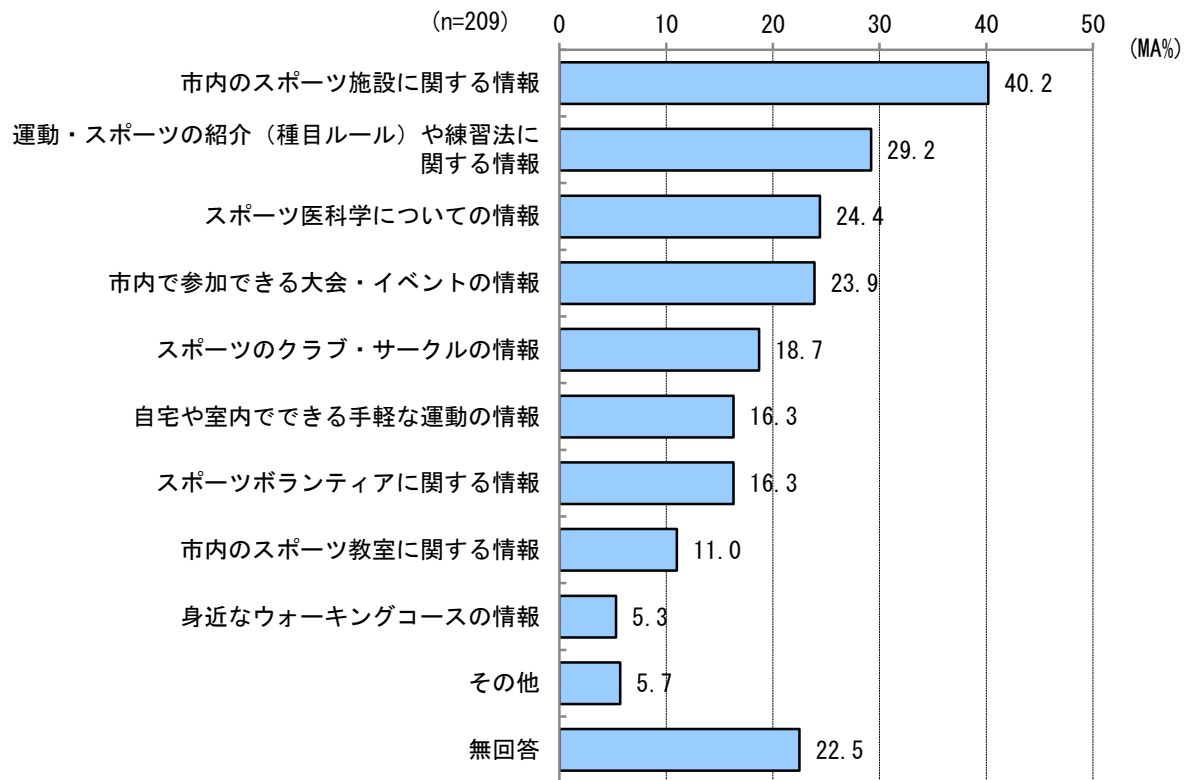
新型コロナウイルス感染症の流行が活動に影響を及ぼしたと回答した人に、その影響について自由記述形式でたずねたところ、104人から延べ166件の意見が挙げられた。意見を分類した結果は次のとおりである。

意 見	件数
活動の制限・練習日・時間の減少	32
大会・試合の中止・延期・日程の長期化	22
体力レベルの低下	11
対外試合、他校との交流・情報交換の減少	8
応援や声かけができなくなった	8
感染・濃厚接触による出場辞退	6
感染対策の徹底	6
活動者（部員）の勧誘が難しい・入門者の減少	5
試合に向けたモチベーションが保てない	5
マスク着用による練習時間の短縮	4
運営・活動方法の変更	4
保護者の観戦機会の減少	3
感染者が出た時の対応が難しい	3
コミュニケーションが取りづらい	3
施設使用に制約が多い・利用制限	3
マスク着用への考え方の違い	3
競技人口の減少	3
指導者の地域移行について	2
マスク未着用への批判	2
審判教員・指導者の不足	2
校外試合での公共交通機関利用に対する意向	2
規制が多すぎる	2
体調管理、チーム管理	2
大会運営の困難	2
手間・提出書類が増えた	2
その他	21
合 計	166

## (20) 行政からあれば良いスポーツに関する情報

問19. スポーツに関する情報について、行政からどのような情報があれば良いと思いますか。  
(〇はいくつでも)

【図V2-20 行政からあれば良いスポーツに関する情報】



行政からあれば良いスポーツに関する情報については、「市内のスポーツ施設に関する情報」が40.2%で最も多く、次いで「運動・スポーツの紹介（種目ルール）や練習法に関する情報」が29.2%、「スポーツ医科学についての情報」が24.4%となっている。（図V2-20）

(21) 自由意見

問20. 最後に市のスポーツ施策全般についてご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

市のスポーツ施策全般について自由記述形式でたずねたところ、82人から延べ101件の意見が挙げられた。意見を分類した結果は次のとおりである。

意 見	件数
スポーツ施設の新設（ラグビー場、野球場、グラウンド、体育館等）	11
スポーツ施設の設備の充実	11
部活動の地域移行する中での課題	11
部活動と学校業務を切り離すべき（業務から部活動をなくしてほしい）	10
市のスポーツ施策への意見・要望	6
部活動の地域移行への行政の積極的な推進	5
練習場所の確保が問題	4
部活動の顧問は希望制にしてほしい	4
スポーツの情報提供の充実	4
スポーツ施設の駐車料金を減額・無料化してほしい	3
部活動の地域移行への反対意見	3
スポーツ施設の有効利用	3
スポーツ少年団の登録業務の問い合わせ窓口の充実	2
指導者への報酬、謝礼を時間に応じた金額を支払ってほしい	2
子どもが施設を利用しやすい環境づくり	2
グラウンドの草刈りを実施してほしい	2
中学の大会運営・審判が教員であること	2
その他	16
合 計	101

## VI 障がい者調査の結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 性別

(上段：人数、下段：%)

n	男性	女性	どちらでもない	答えたくない
15	6	9	-	-
100.0	40.0	60.0	-	-

#### (2) 年齢

(上段：人数、下段：%)

n	18・19歳	20・24歳	25・29歳	30・34歳	35・39歳	40・44歳	45・49歳	50・54歳	55・59歳	60・64歳	65・69歳	70・74歳	75・79歳	80歳以上	無回答
15	-	2	1	-	-	1	1	3	1	-	1	2	1	1	1
100.0	-	13.3	6.7	-	-	6.7	6.7	20.0	6.7	-	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7

#### (3) 職業

(上段：人数、下段：%)

n	正社員・フルタイム	パート・アルバイト	自営業	専業主婦・主夫	年金受給者	学生	無職・求職中	その他
15	1	4	1	4	-	-	5	-
100.0	6.7	26.7	6.7	26.7	-	-	33.3	-

#### (4) 居住中学校区

(上段：人数、下段：%)

n	第一中学校	第二中学校	第三中学校	津田中学校	第四中学校	枚方中学校	中宮中学校	招提中学校	楠葉中学校	東香里中学校	楠葉西中学校	長尾中学校	杉中学校	山田中学校	渚西中学校	桜丘中学校	蹊跼中学校	招提北中学校	長尾西中学校	わからない
15	1	-	-	2	4	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3	-	1	-
100.0	6.7	-	-	13.3	26.7	-	6.7	-	-	-	13.3	-	6.7	-	-	-	20.0	-	6.7	-

## 2 運動やスポーツに関する意識

### (1) 現在の運動量

問5. あなたは、自分自身の現在の運動量をどう思いますか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	足りている	不足である	ない病 気など で運動 ができ	わから ない
15 100.0	5 33.3	10 66.7	- -	- -

### (2) 運動やスポーツへの関心

問6. あなたは運動・スポーツに関心がありますか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	関心 がある	がど ちら か とい え ば 関 心	がど ちら か とい え ば 関 心	関心 がない
15 100.0	9 60.0	5 33.3	1 6.7	- -

### (3) 運動やスポーツとの関わり方

問7. あなたは運動・スポーツにどう関わるのが好きですか。(○はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	する こと が 好 き	観 る こ と が 好 き	ど、 ボ ラ ン テ イ ア 活 動 が 好 ま な き	好 き で は な い
15 100.0	9 60.0	6 40.0	2 13.3	4 26.7

#### (4) 運動やスポーツが好きではない理由

【問7で「4. 好きではない」と回答した方にうかがいます。】

問7-1. 好きではない理由をお選びください。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	疲れる	苦手である	格好悪い	見られたくない	けが等	衣類が汚れる	費用面	時間がかかる	青少年期に所属していたクラブ等が嫌い	その他
4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0

### 3 運動やスポーツの実施状況

#### (1) 運動やスポーツの実施頻度

問8. あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度していますか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	全くしていない
15 100.0	4 26.7	6 40.0	1 6.7	- -	1 6.7	3 20.0

#### (2) 運動やスポーツをしていない理由

【問8で「4. 3か月に1～2日」「5. 年に1～3日」「6. 全くしていない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問9. 運動やスポーツをあまりしていない(しなくなった)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	仕事・家事・育児・学業が忙しくて時間がない	体が弱いから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がないから	お金がかかるから	運動・スポーツは好きではないから	新型コロナウイルス感染症が拡大したから	機会がなかった	指導者がいない	特に理由はない	わからない	その他
4 100.0	2 50.0	- -	- -	2 50.0	2 50.0	- -	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -

### (3) 運動やスポーツをしなくなった時期

問10. 運動やスポーツをしなくなった時期はいつ頃からですか。(○は1つ)

n	前幼少期(小学校入学から)	小学校低学年の頃から	小学校高学年の頃から	中学生の頃から	高校生の頃から	大学生の頃から	(上段:人数、下段:%)		n	平均(歳)
							社会人になって以降	新型コロナウイルス感染症拡大後		
4 100.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -	3 75.0	- -	3 100.0	21.7

### (4) 運動やスポーツを始めようと思えるきっかけ

問11. どのようなきっかけがあればスポーツを始めようと思えますか。(○はいくつでも)

n	スポーツイベント開催	スポーツの情報提供	指導者がいる	友人・家族の誘い	興味のあるスポーツ教室の開催	医師からの指導	スポーツ観戦の機会	施設の環境整備	(上段:人数、下段:MA%)	
									その他	
4 100.0	- -	- -	- -	2 50.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	

### (5) 運動やスポーツを始めた時期

【問8で「1. 週に3日以上」「2. 週に1~2日」「3. 月に1~3日」のいずれかを回答した方にうかがいます。それ以外の回答の方は問21へお進みください。】

問12. 運動やスポーツを始めた時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

n	前幼少期(小学校入学から)	小学校低学年の頃から	小学校高学年の頃から	中学生の頃から	高校生の頃から	大学生の頃から	(上段:人数、下段:%)		n	平均(歳)
							社会人になって以降	新型コロナウイルス感染症拡大後		
11 100.0	2 18.2	2 18.2	- -	2 18.2	- -	- -	4 36.4	1 9.1	4 100.0	48.8



(6) 運動やスポーツをしている理由

問13. 運動やスポーツをしている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	健康・体力づくりのため	楽しみ・気晴らし(ストレス発散)として	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	友人・仲間との交流として	美容や肥満解消のため	時間的余裕があるため	家で運動ができるため	その他
11 100.0	8 72.7	7 63.6	4 36.4	3 27.3	1 9.1	5 45.5	2 18.2	1 9.1	- -	- -

(7) 運動やスポーツを始めたきっかけ

問14. 運動やスポーツを始めたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	スポーツ教室・講座などに参加して	地域や職場で経験して	テレビ・SNS等を見て	観戦して	家族や友人、近所の人に誘われて	学生時代の部活動	時間に余裕ができたから	健康で運動するよう指導されたから	その他	特になし
11 100.0	3 27.3	1 9.1	- -	- -	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1

(8) 現在行っている運動やスポーツの種目

問15. 現在行っている運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	キャッチボール、ドッジボール	体操	ウォーキング	自転車	スケートボード	アーバンスポーツ	ダンス	ボウリング	ニュースポーツ	ランニング(ジョギング)	水泳	室内運動器具を使って	スキー、スノーボード	登山
11 100.0	- -	4 36.4	6 54.5	1 9.1	- -	- -	1 9.1	- -	- -	1 9.1	- -	3 27.3	- -	- -

キャンプ、オートキャンプ	ハイキング、ワンダーフォーゲル	サーフィン、釣り等	ボート、ヨット、スクーバダイビング、スノーボード	ゴルフ	クライミング、ハンググライダー、スカイダイビング等	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	陸上競技	リング	柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	弓道、アーチェリー	野球、ソフトボール	サッカー、フットサル	バレーボール、バスケットボール	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球	その他
- -	1 9.1	- -	- -	- -	- -	- -	1 9.1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 18.2	1 9.1

(9) 運動やスポーツの1回あたりの実施時間

問16. 問15で答えた運動・スポーツを1回につき、どのくらいの時間で行っていますか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上
11 100.0	- -	4 36.4	4 36.4	3 27.3	- -

(10) 汗をかく運動を30分以上実施した頻度

問17. この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数はどのくらいですか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	週に3日以上	週に1~2日	月に1~3日	3か月に1~2日	年に1~3日	無回答
11 100.0	4 36.4	5 45.5	1 9.1	- -	- -	1 9.1

(11) 運動やスポーツをする主な曜日

問18. 主にいつ運動やスポーツをしますか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	平日(月~金曜日)	土曜日	日曜日・祝日	特に決まっていない	無回答
11 100.0	6 54.5	- -	2 18.2	2 18.2	1 9.1

### (12) 運動やスポーツを一緒にする相手

問19. 主に誰と運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	一人で	友人・知人・恋人と	家族と	サークル・クラブのメンバーと	職場や学校の仲間と	地域のひと	その他
11 100.0	5 45.5	4 36.4	5 45.5	4 36.4	- -	- -	- -

### (13) 運動やスポーツをする場所

問20. ふだん、どこで運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	学校の体育施設	公立のスポーツ施設	スポーツ施設以外の公共施設	民間のスポーツ施設	公園、河川敷	自宅	その他
11 100.0	2 18.2	3 27.3	1 9.1	1 9.1	4 36.4	3 27.3	2 18.2

### (14) 新型コロナウイルス感染拡大による運動・スポーツ環境の変化

問21. 新型コロナウイルスの感染拡大(2020年3月頃)以降において、あなたが運動・スポーツを行う環境には、どのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	自宅等の屋内で運動が多くなった	屋外での運動が多くなった	以前より運動する機会が多くなった	複数人で運動する機会が多くなった	オンラインを介した運動が多くなった	新たな運動・スポーツを行うようになった	新しいスポーツ施設ができた	緊急事態宣言などにより、自らのスポーツの実施を控えた	それまで行っていた運動を止めた	クラブや部活動が休止した	その他	特に変化はない
15 100.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	- -	- -	- -	2 13.3	1 6.7	- -	- -	1 6.7	10 66.7

(15) スケートボードの実施状況

問22. 東京2020オリンピック以降、アーバンスポーツの人気の高まり、その中でも新競技で金メダルを獲得したことでスケートボードの人気の沸騰しています。  
あなたは、スケートボードを現在していますか。又は周りにスケートボードをしている人はいますか。

(上段：人数、下段：%)

n	いる(競技として知っている人を知って)	をし趣味を知っている(レジャーとして)	度公園などで見かける程	人も周りにいない(していない)
15	-	1	1	13
100.0	-	6.7	6.7	86.7

(16) スケートボード場の利用意向

問23. 市内にスケートボード場ができたなら利用したいですか。

(上段：人数、下段：%)

n	利用したい	一家族にや友達が行うため	利用しない
15	1	1	13
100.0	6.7	6.7	86.7

(17) スケートボード場の設置条件

問24. 市スケートボード場が市内のどのような場所にあればよいと思いますか。  
最も優先すべき事項を選んでください。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	駐車場が整備されている	電車、バスで行ける場所	騒音の影響が無い場所	市内にスケートボード場	その他	無回答
15	2	2	5	3	1	2
100.0	13.3	13.3	33.3	20.0	6.7	13.3

## 4 スポーツの観戦状況

### (1) 1年間のスポーツ観戦状況

問25. この1年間でスポーツを何らかの形で観る機会がありましたか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	市内の 会場で 観戦した	市外の 会場で 観戦した	テレビ・ ネット・ ラジオ・ YouTube 等 で 観 戦 し た	機会が あれば 観戦し た	関心な い た め 観 戦 し な か つ た	その他
15	1	1	11	-	3	1
100	6.7	6.7	73.3	-	20	6.7

### (2) 直接会場で観戦したスポーツ

【問25. で「1.」～「2.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問26. 観戦したスポーツをあてはまるものを全て教えてください。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	マラソン・ 駅伝	陸上競技	体操	ダンス	フィギュア アスケート	水泳	ボウリング	ゴルフ	テニス	バドミントン	卓球	ラグビー	バレーボール	バスケット ボール	野球	ソフト ボール	サッカー	フットサル	格闘技	大相撲	その他	特 に な い
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### (3) 1年間で直接観戦した回数

【問26で「1.」～「21.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問26-1. 観戦に行った回数はこの1年間でどのくらいですか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	1 ～ 2 回	3 ～ 5 回	6 ～ 9 回	約 1 0 回	そ れ 以 上
1	1	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-

(4) 観戦に行った理由

問26-2. 観戦に行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	好きな種目・競技だから	好きなチーム(選手)が出るから	チケットが手に入ったから	家族や友人、仲間から誘われたから	会場の近くに住んでいるから	会場の観戦環境が良いから	会場周辺の観光が楽しめるから	飲食・物販が楽しめるから	選手と交流ができるから	その他
1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(5) 1回の観戦にかかる費用

問26-3. 1回の観戦にかかる費用はいくらくらいですか。(チケット代、観戦グッズ購入費等。交通費は除く。)(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	0円(お金がかけていない)	2,000円未満	5,000円未満	10,000円未満	15,000円未満	15,000円以上	20,000円未満	30,000円未満	30,000円以上
1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

(6) 観戦と一緒にいく相手

問26-4. 観戦には、誰と行くことが多かったですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	一人で	友人・知人・恋人と	家族と	サークル・クラブと	職場や学校の仲間と	地域の人と	その他
1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

(7) 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後のプロスポーツ等の直接観戦意向

問27. 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたら、プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツについて、開催会場や間近で直接観戦したいですか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	観戦したい	オンライン観戦等でよい	関心がないため観ない	その他
15	8	4	2	1
100.0	53.3	26.7	13.3	6.7

(8) 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の認知度

問28. 枚方市をホームタウンとして活動している、「FCティアモ枚方」(サッカー)、「パナソニックパンサーズ」(バレーボール)を知っていますか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	両チームとも知って	FCティアモ枚方のみ	パナソニックパンサーズのみ	両チームとも知らない
15	4	-	7	4
100.0	26.7	-	46.7	26.7

(9) 「FCティアモ枚方」「パナソニックパンサーズ」の観戦経験と愛着度

【問28で「1.」～「3.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問28-1. 「FCティアモ枚方」又は「パナソニックパンサーズ」の試合を観戦したことがありますか。また、観戦したチームを応援し、愛着がありますか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	両チームとも観戦し、愛着が	両チームとも観戦し、愛着がない	観戦したチームのみ、愛着がある	観戦したチームのみ、愛着がない	両チームとも観戦し、愛着がない
11	-	-	3	3	5
100.0	-	-	27.3	27.3	45.5

(10) ホームタウンチームの試合を観戦したくなる条件

問28-2. どういった環境や機会が整えば、ホームタウンチームの試合を観戦したいと思えますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	交通アクセスの良さ	チケットの割引制度の充実	市民観戦無料招待デーがあること	観戦する仲間がいること	試合情報等が充実していること	会場に出店している魅力的な飲食店	対戦相手があること	選手との交流機会があること	その他	観戦したいと思わない
11 100.0	7 63.6	7 63.6	8 72.7	3 27.3	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1

5 スポーツ活動への支援

(1) スポーツボランティア活動の参加有無

問29. この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、あなた自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	日常的・定期的に行った	イベント・大会で不定期に行った	行っていない	わからない
15 100.0	- -	2 13.3	13 86.7	- -

(2) スポーツボランティア活動の内容

【問29で「1. 日常的・定期的に行った」または「2. イベント・大会で不定期に行った」を回答した方にうかがいます。】

問29-1. そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	運動・コーチ・審判の指導	イベント・大会などでボランティア	スポーツ施設の運営補助	地域・競技団体等の運営補助	スポーツ用具等の寄付	寄付募金やチャリティ活動	その他
2 100.0	- -	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -



(3) スポーツボランティア活動と一緒に参加した相手

問29-2. そのボランティア活動には誰と参加しましたか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	一人で	配偶者・恋人と	子どもと	親・兄弟姉妹と	友人・知人と	職場や学校の仲間と	地域の人と	ボランティア仲間	その他
2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -

(4) スポーツボランティア活動に参加・継続のためのきっかけや動機づけ

問30. どのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツボランティア活動に参加したり続けたりすると思いますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	時間に余裕ができれば	活動の場所が近ければ	地域での居場所、役割があれば	出会い、交流の場になれば	一緒にいる仲間がいれば	活動に関する情報があれば	参加したい活動があれば	ボランティアセンターがあれば	実費程度の報酬があれば	好きなスポーツチームの普及・支援	その他	なくても参加しない・できなかつない	無回答
15 100.0	6 40.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	5 33.3	1 6.7	2 13.3	- -	2 13.3	- -	- -	4 26.7	1 6.7

(5) スポーツ推進委員の認知度

問31. 地域スポーツの充実のために活動するスポーツ推進委員を知っていますか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	知っている	活動内容については知らないが、聞いたことはある	知らない	無回答
15 100.0	2 13.3	4 26.7	8 53.3	1 6.7

(6) 期待するスポーツ推進委員が担う活動

【問31で「1.知っている」～「2.聞いたことはあるが、活動内容は知らない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問31-1. スポーツ推進委員が担う次の活動のうち、あなたが最も期待する活動は何でしょうか。(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	スポーツ教室の開催	PTAや職場の親睦会などへの支援	障害者スポーツの普及啓発	市等が実施するスポーツの協力	市民へのスポーツ指導・助言等	その他
6	1	-	4	-	2	-
100.0	16.7	-	66.7	-	33.3	-

(7) 子どもが所属している部活動以外のクラブの状況

【お子さんがいる方にうかがいます。】

問32. あなたのお子様は、学校部活動以外のクラブ等に所属し、活動していますか。

(上段：人数、下段：MA%)

n	小学生	中学生	高校生	無回答
15	2	1	1	12
100.0	13.3	6.7	6.7	80.0

n	小学生
2	1.5
100.0	

n	中学生
1	2
100.0	

n	高校生
1	1
100.0	

(上段：人数、下段：MA%)

n	地域のクラブ	民間の教室	活動していない	その他
3	-	-	3	-
100.0	-	-	100.0	-

(8) 子どものスポーツ環境の充足度

問33. お子様のスポーツをする環境は足りていると思いますか。

(上段：人数、下段：%)

n	足りている	不足している	その他	どちらでもない
3	-	2	-	1
100.0	-	66.7	-	33.3

6 障がい者スポーツとのかかわり

(1) 障がい者スポーツへの関心度

問34. 障がい者スポーツに関心がありますか。(障がい者スポーツとは、車椅子バスケットボール、ボッチャ等) (○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない
15	7	4	2	-	2
100.0	46.7	26.7	13.3	-	13.3

(2) 障がい者スポーツに関心を持ったきっかけ

【問34. で「1. 関心がある」または「2. やや関心がある」を回答した方にうかがいます。】  
問34-1. あなたが障がい者スポーツに関心を持ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	からビ東京大会や競技大会を見た	大会や競技大会以外	配信・メヤ報道を見たから	TVやオンラインから	アスリート自身に魅力を感じたから	たすこがとあるから	障がい者スポーツに関	報Sインを見たらスポーツの情	見映画や漫画、本などで	がの通つわ校でいたりから教育も	躍地元のアスリートが活	わ障自ツ用勤	ツ用勤	無回答
11	2	1	3	-	4	1	1	-	-	-	5	-	-	2
100.0	18.2	9.1	27.3	-	36.4	9.1	9.1	-	-	-	45.5	-	-	18.2

(3) 障がい者スポーツを体験したことの有無

問35. あなたは、これまで過去に一度でも障がい者スポーツを体験したことがありますか。  
(○は1つ)

(上段：人数、下段：%)

n	ある	ない
15	9	6
100.0	60.0	40.0

(4) 障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なこと

問36. 市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なことは何だと思えますか。  
(○はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	の育学校 実、校 施障に が お け る ス ポ ー ツ	活障 動が への の 参 加 機 会 の 促 進 域	報す障 提るが 供講い 演者ス 会のポ 開ー 催ツ やに 情関	どい障 のスが ポポい ラーの ンツあ テイ イベ アン や 活ト 動な	そ の 他	無 回 答
15	12	9	5	5	1	1
100.0	80.0	60.0	33.3	33.3	6.7	6.7

## 7 スポーツに関する情報の入手方法

### (1) 枚方市のスポーツ情報の入手先

問37. 枚方市のスポーツ情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	市のホームページ	広報ひらかた	枚方市のSNS等	友人からの紹介	施設等にあるポスター・チラシ	学校からの配布物	N各種スポーツ団体のSNS等	その他
15 100.0	1 6.7	10 66.7	- -	3 20.0	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3

### (2) 枚方市のスポーツ情報で知りたい情報

問38. 枚方市のスポーツ情報について、どのような情報を知りたいですか。(〇は1つ)

(上段：人数、下段：MA%)

n	健康や体力づくりに関する情報	専門的なスポーツ・医学に関する情報	各種スポーツ指導者に関する情報	スポーツ教室の情報	案内などの施設情報・利用所	地域のスポーツクラブ	大会や行事イベント情報	枚方市やゆかりのチームの情報	その他
15 100.0	6 40.0	1 6.7	- -	5 33.3	1 6.7	1 6.7	3 20.0	- -	1 6.7

※複数回答として集計した。

## 8 今後の運動やスポーツへの意向

### (1) 運動やスポーツの実施意向

問39. 今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と思いますか。（○は1つ）

（上段：人数、下段：％）

n	い き た い	今 行 つ て い る も と は	ポ ー ツ も や つ て い る も と は	ポ ー ツ を つ づ け 、 別 の ポ ー ツ を は	や り た い と は 思 わ な い	無 回 答
15	10	1	-	3	-	1
100.0	66.7	6.7	-	20.0	-	6.7

### (2) 今後やってみたい運動やスポーツの種目

【問39で「1.」～「4.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問39-1. 今後、やってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。（○はいくつでも）

（上段：人数、下段：MA%）

n	ジ ョ ウ キ ャ ッ チ ポ ー ル 、 ド ツ	体 操	ウ オ ー キ ン グ	自 転 車	ス ケ ー ト ボ ー ド	ア ー バ ン ス ポ ー ツ	ダ ン ス	ポ ウ リ ン グ	ニ ュ ー ス ポ ー ツ	グ ラ ン ニ ン グ （ ジ ョ ギ ン	水 泳	す ま り の 運 動 器 具 を 使 っ て	ス キ ー 、 ス ノ ー ボ ー ド	登 山
14	-	4	6	1	-	-	3	1	-	1	2	1	-	-
100.0	-	28.6	42.9	7.1	-	-	21.4	7.1	-	7.1	14.3	7.1	-	-

ン キ ャ ン プ 、 オ ー ト キ ャ	テ ー リ ン グ	フ ォ ー リ ン グ	ハ イ キ ン グ 、 ワ ン ダ ー	ク ー バ ド 、 ヨ ッ ト 、 ス ア ー フ イ ン 、 釣 り 等	ポ ー ト 、 ヨ ッ ト 、 ス	ゴ ル フ	グ ラ イ ダ ー 、 ス カ イ ダ イ 、 ス カ イ ダ イ 、 ス カ イ ダ イ	グ ラ イ ダ ー 、 ス カ イ ダ イ	ポ ー ツ （ サ イ ク ル ） ス	サイ ク リ ン グ 、 モ ー タ ー （ サ イ ク ル ） ス	陸 上 競 技	リ ン グ	柔 道 、 剣 道 、 空 手 、 相 撲 、 ボ ク シ ン グ 、 レス	弓 道 、 ア ー チ エ リ ー	野 球 、 ソ フ ト ボ ー ル	サ ツ カ ー 、 フ ツ ト サ ル	ケ ッ ト ボ ー ル 、 バ ス	球 、 テ ニ ス 、 ソ フ ト テ ニ ス 、 バ ド ミ ン ト ン 、 卓 球	テ ニ ス 、 ソ フ ト テ ニ ス 、 バ ド ミ ン ト ン 、 卓 球	そ の 他
1	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	1	4	4	1
7.1	-	-	7.1	7.1	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	7.1	-	7.1	7.1	28.6	28.6	7.1

### (3) 運動やスポーツを一緒に行きたい相手

問39-2. 主に誰と運動やスポーツを行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	一人で	友人・知人・恋人と	家族と	サークル・クラブのメンバーと	職場や学校の仲間と	地域のひと	その他
14	8	6	3	3	-	-	-
100.0	57.1	42.9	21.4	21.4	-	-	-

### (4) 運動やスポーツを行いたい場所

問39-3. どこで運動やスポーツを行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	学校の体育施設	公立のスポーツ施設	公共スポーツ施設以外の公	民間のスポーツ施設	公園、河川敷	自宅	その他
14	1	5	2	2	5	3	-
100.0	7.1	35.7	14.3	14.3	35.7	21.4	-

### (5) 公共スポーツ施設への要望

【問39-3で「2.」～「3.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問39-4. 公共スポーツ施設を利用する上で、特に要望することは何ですか。(〇はいくつでも)

(上段：人数、下段：MA%)

n	て利用し てほしい 利用し し利用 時間を延ばしてほ い	て施設 を大きく・広くし ほ	て施設 の設備を充実させ ほ	どレスト ラン、カフェな どを整備してほ しい	し託児 施設を整備してほ しい	し利用 料金を安くしてほ しい	い駐 車場を広くしてほ しい	て交 通の利便性を良くし ほ	て戦 博 ス ポ ー ツ な どを 観 望 し ほ しい	そ の 他	特 に な い
6	3	-	1	2	2	3	2	2	1	-	1
100.0	50.0	-	16.7	33.3	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	-	16.7







## 9 自由意見

問44. スポーツに関してその他ご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

- ・枚方市民は、枚方のスポーツ施設などが格安で利用できるようにしてほしいです。
- ・障がいのある子の親ですので、どうしてもハンディのある子の参加しやすいものを求めています。団体の方からの情報以外はどうしても市発信の情報が少ないように思います。SNS(ライン等)を利用した発信なんかもいいかもしれません(紙媒体に偏りがちに思う)。
- ・枚方市のスポーツ施設の駐車場に関しまして、現在コインパーク(タイムス)を導入され、税込アップにつながっております。その中で、枚方市民利用の場合は、減免もしくは割引制度を設けていただきたく、よろしく願いいたします(ひらかたポイントでの還元含む)。公共施設で身体を動かし、心身共に健やかに豊かに過ごし、経済的に負担が軽減することで、健康維持、増進になり、身近な居場所となり、利用度アップにもつながります。ご高齢者には、枚方市駅等発着の送迎車(バス)を設けていただくと、福祉サービスの充実にもつながるかと思じます。
- ・私たちの行っている障害者卓球は健常者も入っており、本来の運動で勝ち負の判定はありません。健康的に和気あいあい、人との交流が主であります。
- ・私自身の地域に身軽に参加できる場所がほしい。